

広島大学大学院医系科学研究科
(歯学分野) 及び広島大学病院
診療科 (歯科)

研究業績年報 2022

目 次

広島大学大学院医系科学研究科（歯学分野）及び広島大学病院診療科（歯科）

○歯学科研究室

- ・ [硬組織代謝生物学](#)
- ・ [顎顔面解剖学](#)
- ・ [口腔生理学](#)
- ・ 生体分子機能学
- ・ [口腔顎顔面病理病態学](#)
- ・ [細菌学](#)
- ・ [細胞分子薬理学](#)
- ・ [生体材料学](#)
- ・ [粘膜免疫学](#)
- ・ [ゲノム口腔腫瘍学](#)
- ・ [歯周病態学及び口腔維持修復歯科（歯周診療科）](#)
- ・ [口腔腫瘍制御学及び口腔再建外科（顎・口腔外科）](#)
- ・ [口腔外科学及び口腔再建外科（口腔顎顔面再建外科）](#)
- ・ [先端歯科補綴学及び口腔維持修復歯科（口腔インプラント診療科）](#)
- ・ [先端歯科補綴学及び口腔維持修復歯科（咬合・義歯診療科）](#)
- ・ [歯科矯正学及び口腔健康発育歯科（矯正歯科）](#)
- ・ [歯科放射線学及び口腔再建外科（歯科放射線科）](#)
- ・ [歯髓生物学及び口腔維持修復歯科（歯科保存診療科）](#)
- ・ [小児歯科学及び口腔健康発育歯科（小児歯科）](#)
- ・ [歯科麻酔学及び口腔再建外科（歯科麻酔科）](#)

○口腔健康科学科研究室

- ・ [公衆口腔保健学](#)
- ・ [口腔保健疫学](#)
- ・ 口腔保健管理学
- ・ [生体構造・機能修復学](#)
- ・ [医療システム工学](#)
- ・ [口腔生物工学](#)

○医系科学（歯）

- ・ [医系科学（歯）中央研究室](#)
- ・ [医系科学（歯）死因究明教育研究センター](#)

○病院（歯科）

- ・ [歯系総合診療科（口腔総合診療科）](#)
- ・ [口腔健康発育歯科（口腔健康科）](#)
- ・ [口腔健康発育歯科（障害者歯科）](#)
- ・ [特殊歯科総合治療部](#)

- [口腔検査センター](#)
- [歯科技工室](#)
- [歯科衛生室](#)
- [医療情報部](#)

硬組織代謝生物学研究室

(1) 職員並びに学生

教授 : 吉子裕二
 助教 : 南崎朋子 (10月まで), 河野尚平, Davood Kharaghani, 星野友則
 大学院生 : 小笠原伯宏 (矯正歯科学, 3月まで), 大頭慎太郎 (矯正歯科学), 大城理紗子 (矯正歯科学), 畠野怜奈 (矯正歯科学, 6月から)
 研究員 : 南崎朋子 (12月から)

(2) 主な研究活動

- 1: 石灰化機構 (異所性石灰化を含む)
- 2: オステオネットワーク
- 3: マイクロ RNA
- 4: がん骨転移

(3) 研究業績

A) 原著 (症例報告を含む)

- 1: Occlusal Trauma and Bisphosphonate-Related Osteonecrosis of the Jaw in Mice. Mine Y, Okuda K, Yoshioka R, Sasaki Y, Peng TY, Kaku M, Yoshiko Y, Nikawa H, Murayama T. *Calcif Tissue Int.* 110(3):380-392, 2022.
- 2: 2,3-Diphospho-D-glyceric acid inhibits calciprotein particle growth and calcification in MOVAS cells but not in MC3T3-E1 cells. Kharaghani D, Kohno S, Minamizaki T, Hoshino T, Yoshiko Y. *Colloids Interface Sci. Commun.* 50: 100668, 2022.
- 3: “Clay-corn-caprolactone” a novel bioactive clay polymer nanofibrous scaffold for bone tissue engineering. Ullah A, Haider MK, Wang FF, Morita S, Kharaghani D, Ge Y, Yoshiko Y, Lee JS, Kim IS. *Appl Clay Sci.* 220: 106455, 2022.
- 4: Development of PVA–Psyllium Husk Meshes via Emulsion Electrospinning: Preparation, Characterization, and Antibacterial Activity. Fatma Nur Parin, Azeem Ullah, Aysenur Yeşilyurt, Ugur Parin, Md Kaiser Haider, Davood Kharaghani, , *Polymers*, 14:1490, 2022.
- 5: In vitro biocompatibility, antibacterial activity, and release behavior of halloysite nanotubes loaded with diclofenac sodium salt incorporated in electrospun soy protein isolate/hydroxyethyl cellulose nanofibers. Ullah A, Sarwar MN, Wang FF, Kharaghani D, Sun L, Zhu C, Yoshiko Y, Mayakrishnan G, Lee JS, Kim IS. *CRBIOT*, 4:445-458, 2022.

B) 総説

C) 著書

- 1: miRNAと骨代謝；疾患バイオマーカーとしてのマイクロRNAと診断応用 (監修：落谷孝広, 松崎潤太郎)：河野尚平, 南崎朋子, 吉子裕二：シーエムシー出版 (東京), 182-191, 2022.
- 2: 神経変性疾患における細胞死研究；医学のあゆみ 第5土曜特集 細胞死のすべて-そのメカニズムと, 生命現象・疾患との関わり：星野友則, 高橋良輔, 松澤秀一：医歯

薬出版（東京），283(5)，2022.

D) その他の出版物

E) 学会発表

- 1: MAPE 由来 ASARM ペプチドの石灰化抑制作用：河野尚平, Davood Kharaghani, 南崎朋子, 星野友則, 吉子裕二：第 40 回骨代謝学会学術集会（岐阜），2022.
- 2: MEPE-derived pASARM peptide selectively inhibits vascular calcification: Kohno S, Minamizaki T, Kharaghani D, Hoshino T, Yoshiko Y: ASBMR 2022 Annual Meeting (Online, Austin), 2022.
- 3: Extracellular histones promote vascular calcification in mouse vascular smooth muscle cells: Hoshino T, Kohno S, Minamizaki T, Kharaghani D, Yoshiko Y: ASBMR 2022 Annual Meeting (Online, Austin), 2022.
- 4: ダメージ関連分子パターンの石灰化への関与：細胞外ヒストンのマウス血管平滑筋細胞への影響：星野友則, 河野尚平, 南崎朋子, Kharaghani Davood, 吉子裕二：第 40 回日本骨代謝学学術集会（岐阜），2022.
- 5: 血管石灰化を呈する慢性腎臓病モデルマウスを用いた脳組織における組織学的解析：星野友則, 吉子裕二：2022 年度 若手支援技術講習会（名古屋），2022.

F) 特別講演・シンポジウム等

（4）科学研究費補助金等の受領状況

- 1: AMED（橋渡し研究プログラム preF）新規：吉子裕二（代表），血管石灰化抑制剤の開発。10,000 千円
- 2: 科学研究費補助金（基盤研究（C））継続：南崎朋子（代表），miR-125b を導入した基質小胞による癌骨転移治療の検討。課題番号 20K09879. 900 千円
- 3: 科学研究費補助金（基盤研究（C））継続：吉子裕二（分担），miR-125b を導入した基質小胞による癌骨転移治療の検討。課題番号 20K09879. 200 千円
- 4: 科学研究費補助金（基盤研究（C））継続：河野尚平（代表），クロマチンと遺伝子発現の網羅的解析の併用による組織特異的石灰化機序の同定。課題番号 21K09816. 600 千円
- 5: 科学研究費補助金（基盤研究（C））継続：吉子裕二（分担），クロマチンと遺伝子発現の網羅的解析の併用による組織特異的石灰化機序の同定。課題番号 21K09816. 200 千円
- 6: 科学研究費補助金（基盤研究（C））継続：南崎朋子（分担），クロマチンと遺伝子発現の網羅的解析の併用による組織特異的石灰化機序の同定。課題番号 21K09816. 200 千円
- 7: 科学研究費補助金（若手研究（B））継続：星野友則（代表），血管石灰化が中枢神経系に及ぼす影響の解明。課題番号 21K15628. 1,950 千円
- 8: 科学研究費補助金（基盤研究（C））継続：吉子裕二（分担），一細胞遺伝子発現プロファイルに基づく骨芽細胞系譜の分化多様性機構の解明。課題番号 21K09331. 300 千円
- 9: 科学研究費補助金（基盤研究（C））継続：吉子裕二（分担），乳歯歯髄幹細胞由来エクソソームの機能解析と顎裂部骨再生誘導への応用。課題番号 21K10186. 150 千円
- 10: ノーベルファーマ 継続：吉子裕二（代表），3,022 千円
- 11: ラフィーネインターナショナル 継続：吉子裕二（代表），2,700 千円
- 12: 土谷記念医学振興基金：河野尚平（代表），マルチオミクスを駆使した透析患者のサルコペニア発症機序における Calciprotein particle の病態生理学的意義の解明，1,521 千円（12 月から）
- 13: 公益信託 循環器学研究振興基金：星野友則（代表），血管石灰化形成が好中球の NETosis

- に及ぼす影響の解明, 2,000 千円 (2024 年 1 月まで)
- 14: 広島大学創発的次世代研究者育成・支援プログラム 継続 大城理紗子, 300 千円
 - 15: 広島大学創発的次世代研究者育成・支援プログラム 継続 大頭慎太郎, 300 千円
 - 16: 先端モデル動物支援プラットフォーム モデル動物作製支援(ウイルスベクター作製支援): 星野友則, 2022 年度 第 2 回 JP 16H06277 (AdAMS)
 - 17: 先進ゲノム解析研究推進プラットフォーム(先進ゲノム支援), 星野友則, 2022 年度 22H04925 (PAGS)
 - 18: 先端バイオイメージング支援プラットフォーム (光学顕微鏡支援), 星野友則, 2022 年度 JP22H04926 (ABiS)
 - 19: 先端モデル動物支援プラットフォーム 生理機能解析支援, 星野友則, 2021 年度第 3 回 JP 16H06277 (AdAMS)

(5) 学会賞等の受賞状況

- 1: 河野尚平: ASBMR 2022 Travel Award (日本骨代謝学会)

(6) 特許

[目次へ戻る](#)

顎顔面解剖学研究室

(1) 職員並びに学生

教授 : 寺山 隆司
准教授 : 内部 健太

(2) 主な研究活動

- 1: 口腔、顎顔面領域の侵害受容伝達機構に関する研究
- 2: 神経障害性疼痛の発症機構におけるグリア細胞の役割に関する研究
- 3: 神経障害性疼痛に対する薬剤投与の効果に関する研究
- 4: レチノイン酸と骨格組織に関する研究
- 5: 異所性骨化の発生機序とその治療開発に関する研究

(3) 研究業績

A) 原著 (症例報告を含む)

- 1: Nakatani A, Kunimatsu R, Tsuka Y, Sakata S, Horie K, Gunji H, Ito S, Kado I, Putranti NAR, Terayama R, Tanimoto K, Effects of high-frequency near infrared laser irradiation on experimental tooth movement-induced pain in rats. *Lasers Med Sci.* 2022 Aug;37(6):2697-2706. doi: 10.1007/s10103-022-03543-x.
- 2: Terayama R, Tsuji K, Furugen H, Duong M, Nakatani A, Uchibe K, Effects of peripheral nerve injury on the induction of c-Fos and phosphorylated ERK in the brainstem trigeminal sensory nuclear complex. *Ann Neurosci.* 2022 in press.

B) 総説

- 1: Terayama R, Uchibe K, Reorganization of synaptic inputs to spinal dorsal horn neurons in neuropathic pain. *Int J Neurosci.* 2022 Dec;132(12):1210-1216. doi: 10.1080/00207454.2021.1873980.

C) 著書

D) その他の出版物

E) 学会発表

- 1: 寺山隆司, 内部健太, 三叉神経知覚核群での c-Fos および p-ERK 誘発における末梢神経損傷の影響, 第 64 回歯科基礎医学会 (徳島), 2022.
- 2: 内部健太, 寺山隆司, ナノ粒子を用いたレチノイド局所投与による骨成長の調整, 第 64 回歯科基礎医学会 (徳島), 2022.
- 3: Dilimulati Yimiti, 味八木茂, 内部健太, 中佐智幸, 石川正和, 安達伸生, 腱修復時における異所性骨化に対するレチノイン酸受容体アゴニストの治療効果, 第 37 回日本整形外科学会基礎学術集会 (宮崎), 2022.

(4) 科学研究費補助金等の受領状況

- 1: 基盤研究 (C) (一般) : 内部健太、レチノイン酸による骨の形成・維持の制御メカニズムの解明と臨床応用への発展. 課題番号 22K10017, 4, 160 千円

(5) 学会賞等の受賞状況

(6) 特許

[目次へ戻る](#)

口腔生理学研究室

(1) 職員並びに学生

教授 : 杉田 誠
助教 : 酒寄 信幸
助教 : 宮部 梨紗子
契約職員 : 横山 絵美 (7月～)
大学院生 : 山本 州代

(2) 主な研究活動

- 1: 味覚識別と味覚誘発行動・情動の神経回路基盤に関する研究
- 2: 必須脂肪酸の脳発生および行動における役割の研究
- 3: 全身麻酔薬による意識消失および回復機構の研究
- 4: 唾液腺のイオン・水分分泌機構に関する研究
- 5: イオンチャネル・トランスポーターの分子機能と機能異常による病態発現機構の研究

(3) 研究業績

A) 原著

- 1: Post-cardiac arrest Sedation Promotes Electroencephalographic Slow-wave Activity and Improves Survival in a Mouse Model of Cardiac Arrest: Ikeda T, Amorim E, Miyazaki Y, Kato R, Marutani E, Silverman MG, Malhotra R, Solt K, Ichinose F: *Anesthesiology*, 137(6), 716-732, 2022.
- 2: Characterization of the fatty acid profile in the ventral midbrain of mice exposed to dietary imbalance between omega-6 and omega-3 fatty acids during specific life stages: Sakayori N, Katakura M, Setogawa S, Sugita M, Kobayashi K: *BMC Res Notes*, 15(285), 1-6, 2022.

B) 総説

- 1: 脳の発生・発達における多価不飽和脂肪酸の役割: 酒寄信幸: *脂質栄養学*, 31(1), 3-10, 2022.

C) 著書

D) その他の出版物

E) 学会発表

- 1: Distinct neural firing patterns are observed in unit recordings from the rat prefrontal cortex during anesthetic-induced unconsciousness: Kato R, Flores F, Menendez JC, Brown EN, Solt K: *International Anesthesia Research Society 2022 Annual Meeting (オンライン)*, 2022.
- 2: Comprehensive behavioral analyses of male and female mice derived from mothers fed a diet high in omega-6 and low in omega-3 fatty acids: Sakayori N, Fujii K, Katakura M, Takao K, Sugita M: *22nd IUNS International Congress of Nutrition (Tokyo)*, 2022.
- 3: Subcellular localization of FoxA2 in liver cells and VTA neurons: Chau Van Ngoc Tuan, Sugita M: *The 1st Ho Chi Minh City International Dental Exhibition & Congress (HIDEC 2022) (Ho Chi Minh)*, 2022.
- 4: 脳における必須脂肪酸の発生的意義: 酒寄信幸: *日本生物工学会第4回脂質駆動学術産業創生研究部会講演会(博多)*, 2022.
- 5: 妊娠マウスにおける偏った必須脂肪酸摂取が仔の行動に及ぼす影響の網羅的解析: 酒寄信

- 幸：第9回日本DOHaD学会学術集会（仙台），2022.
- 6: 胎仔期における必須脂肪酸の神経生物学的役割：酒寄信幸：日本脂質栄養学会第31回大会（弘前），2022.
 - 7: 妊娠マウスにおける偏った必須脂肪酸摂取はストレス負荷時の仔の不安様行動を増加させる：菊池太郎，表川大悟，片倉賢紀，杉田誠，酒寄信幸：日本脂質栄養学会第31回大会（弘前），2022.
 - 8: 妊娠期の偏った多価不飽和脂肪酸摂取は胎仔ドーパミンニューロン産生に影響し、仔の様々な行動異常に関連する：酒寄信幸，藤井一希，片倉賢紀，小林和人，高雄啓三，杉田誠：NEURO2022（オンライン），2022.
 - 9: 妊娠中の必須脂肪酸摂取は仔のドーパミン依存的摂食行動を制御する：酒寄信幸：先端モデル動物支援プラットフォーム成果発表会（オンライン），2022.
 - 10: 扁桃体内側核の苦味経路ニューロン活動の味覚嫌悪学習時に観察される可塑性変化：杉田誠，Chang C-M：第99回日本生理学会大会（仙台），2022.
 - 11: 発生工学的トレーニングにより可視化された扁桃体内側核の苦味経路ニューロンで観察される味覚嫌悪学習後の甘味刺激への反応性変化：杉田 誠：第64回歯科基礎医学会学術大会（徳島），2022.
 - 12: *Wasabi sulfanyl* 誘導体ヘキサラファンはヒト象牙芽細胞の石灰化を誘導する：古澤誉彰，木村麻記，黄地健仁，中島克真，杉田誠，奥西勲，澁川義幸，古澤成博：第64回歯科基礎医学会学術大会（徳島），2022.
 - 13: *Wasabi sulfanyl* 誘導体「ヘキサラファン」によるヒト象牙芽細胞の石灰化促進：古澤誉彰，木村麻記，黄地健仁，中島克真，倉島竜哉，奥西勲，加藤朋恵，杉田誠，澁川義幸，古澤成博：日本歯科保存学会2022年度秋季学術大会（第157回）（岡山），2022.
 - 14: 抗がん剤 *irinotecan* 投与により引き起こされる味覚誘発行動の変化様式とその細胞・分子基盤：杉田 誠，酒寄信幸，河口浩之，大林奈美：第74回日本生理学会中国四国地方会（高知市），2022.

（4）科学研究費補助金等の受領状況

- 1: 科学研究費補助金（研究活動スタート支援）：宮部 梨紗子，全身麻酔薬を用いた意識ネットワークの解明．課題番号22K21063．1,100千円
- 2: 科学研究費補助金（基盤研究（B））：酒寄信幸，妊娠中の脂肪酸摂取が仔の摂食行動を制御する新規メカニズムの解明．課題番号21H03357．3,300千円
- 3: 科学研究費補助金（基盤研究（C））：杉田 誠，発生工学的トレーニングを基盤とした全脳領野の味覚機能地図の構築．課題番号21K09828．1,100千円
- 4: 公益財団法人ロッテ財団奨励研究助成（A）：酒寄信幸，多価不飽和脂肪酸が脳内報酬系に与える影響の解明．1,000千円

（5）学会賞等の受賞状況

- 1: Sakayori N, Fujii K, Katakura M, Takao K, Sugita M: Young Investigator Excellent Abstract Award, IUNS 22nd International Congress of Nutrition, 2022
- 2: 酒寄信幸：第9回日本DOHaD学会学術集会 優秀演題賞、2022
- 3: 酒寄信幸：日本脂質栄養学会 ランズ奨励賞、2022
- 4: 酒寄信幸：学術変革領域研究 学術研究支援基盤形成 先端モデル動物支援プラットフォーム生理機能解析支援（行動学的解析支援）

（6）特許

[目次へ戻る](#)

口腔顎顔面病理病態学研究室 口腔炎症制御学共同研究講座

(1) 職員並びに学生

教授 : 宮内睦美
 助教 : 古庄寿子
 特任助教 : Renn Ting-Yi (~10月)
 共同研究講座助教 : 芝典江 (4月~)
 研究員 : Ngyuyen Thi Phoung Thao (~8月)
 北川 雅恵
 研究生 : 芝典江 (~3月)
 大学院生 : 石田えり (~3月 : D4・先端歯科補綴学)
 小田花奈衣 (D3・歯科矯正学)
 岡本健人 (D3・分子口腔医学・顎顔面外科)

(2) 主な研究活動

- 1 : 早期低体重児出産と歯周病の関係に関する研究
- 2 : 血清 Galectin-3 を標的とした早産の予測・診断検査キットの開発
- 3 : 歯性感染と NASH の関係に関する研究
- 4 : 歯性感染と脳疾患の関係に関する研究
- 5 : 歯周炎と心房細動の関係に関する研究
- 6 : ラクトフェリンペプチドを用いた骨破壊病変の制御
- 7 : 呼吸を用いた検査システム開発研究
- 8 : 歯周病と全身疾患の関係に関する全国健康保険協会広島支部大規模データを用いた疫学研究
- 9 : 口腔炎症制御に関する研究 (口腔炎症制御学共同研究講座)

(3) 研究業績

A) 原著(症例報告を含む)

- 1 : Association between left atrial appendage fibrosis and thrombus formation: A histological approach: Miyauchi S, Tokuyama T, Uotani Y, Miyamoto S, Ikeuchi Y, Okamura S, Okubo Y, Katayama K, Takasaki T, Nakatani N, Matsudaira Y, Furusho H, Miyauchi M, Takahashi S, Nakano Y: J Cardiovasc Electrophysiol. 2022 Jan 23. doi: 10.1111/jce.15384.
- 2 : Oral administration of bovine lactoferrin suppresses the progression of rheumatoid arthritis in an SKG mouse model: Yanagisawa S, Nagasaki K, Chea C, Ando T, Ayuningtyas NF, Inubushi T, Ishikado A, Imanaka H, Sugiyama H, Takahashi I, Miyauchi M, Takata T: PLoS One. 2022 Feb 11;17(2):e0263254. doi: 10.1371/journal.pone.0263254. eCollection 2022.
- 3 : Non-sebaceous lymphadenoma-like mucoepidermoid carcinoma: a case report: Sakamoto S, Miyauchi M, Ando T, Fujihara M, Nakaguro M, Nagao T, Ogawa I: Pathol Int. 2022 Jul;72(7):371-375. doi: 10.1111/pin.13236. Epub 2022 May 21.
- 4 : Progesterone suppresses uterine contraction by reducing odontogenic *Porphyromonas gingivalis*

- induced chronic inflammation in mice: Teraoka Y, Sugimoto J, Konishi H, Miyoshi H, Furusho H, Miyauchi M, Kajioka S, Koh I, Kudo Y: *Biomolecules*. 2022 Jul 26;12(8):1029. doi: 10.3390/biom12081029.
- 5 : 免疫チェックポイント阻害剤投与口腔癌患者の臨床的検討: 吉岡幸男, 虎谷茂昭, 小野重弘, 谷 亮治, 小泉浩一, 浜名智昭, 水田邦子, 中川貴之, 林 靖也, 安藤俊範, 坂本真一, 武知正晃, 宮内睦美, 岡本哲治: *口腔科学会*. 71(3) : 161~172, September 2022. doi: <https://doi.org/10.11277/stomatology.71.161>.
- 6 : Equisetum arvense inhibits alveolar bone destruction in a rat model with lipopolysaccharide (LPS)-induced periodontitis: Shiba S, Furusho H, Takata T, Shimizu R, Miyauchi M: *Int J Dent*. 2022 Dec 30;2022:7398924. doi: 10.1155/2022/7398924. eCollection 2022.
- 7 : Relationship between periodontitis and atrial fibrosis in atrial fibrillation: Histological evaluation of left atrial appendages: Miyauchi S, Nishi H, Ouhara K, Tokuyama T, Okubo Y, Okamura S, Miyamoto S, Oguri N, Uotani Y, Takasaki T, Katayama K, Furusho H, Miyauchi M, Takahashi S, Hiyama T, Nakano Y: *JACC Clin Electrophysiol*. 2023 Jan;9(1):43-53. doi: 10.1016/j.jacep.2022.08.018. Epub 2022 Oct 31.
- 8 : Importance of anti-centromere antibodies in the diagnosis of Sjögren's syndrome: Kitagawa M, Sugimoto T, Ogawa I, Miyauchi M, Hirata S, Sugiyama E: *J Oral Sci*. 2022 Oct 1;64(4):324-326. doi: 10.2334/josnusd.22-0231. Epub 2022 Sep 12.
- 9 : p53 status modifies cytotoxic activity of lactoferrin under hypoxic conditions: Maryami Y. K, Fukazawa T, Miyauchi M, Hirohashi N, Tanimoto K: *Front Pharmacol*. 2022 Sep 19;13:988335. doi: 10.3389/fphar.2022.988335. eCollection 2022.
- 10 : Integrating genetic alterations and the Hippo pathway in head and neck squamous cell carcinoma for future precision medicine: Ando T, Okamoto K, Shintani T, Yanamoto S, Miyauchi M, JS Gutkind, Kajiya M: *J Pers Med*. 2022 Sep 20;12(10):1544. doi: 10.3390/jpm12101544.
- 11 : Imipramine prevents *Porphyromonas gingivalis* lipopolysaccharide-induced microglial neurotoxicity: Yamawaki Y, So S, Oue K, Asano S, Furusho H, Miyauchi M, Tanimoto K, Kanematsu T: *Biochem Biophys Res Commun*. 2022 Dec 17;634:92-99. doi: 10.1016/j.bbrc.2022.09.109.
- 12 : Effects of baicalin on the proliferation and expression of OPG and RANKL in human cementoblast-lineage cells: Kunimatsu R, Kimura A, Sakata S, Tsuka Y, Yoshimi Y, Abe T, Kado I, Yashima Y, Izumino J, Nakatani A, Kitagawa M, Miyauchi M, Takata T, Tanimoto K: *J Dent Sci*. 2022 Jan;17(1):162-169. doi: 10.1016/j.jds.2021.05.009.
- 13 : Some tips on age estimation using DNA methylation in saliva samples as an index across the Japanese and Indonesian ethnicities: Oka H, Dwi Ariani M, Akazaki T, Miyauchi M, Kitagawa M. *Leg Med (Tokyo)*. 2022 May;56:102042. doi: 10.1016/j.legalmed.2022.102042.
- 14 : Periapical lesion following Cnm-positive *Streptococcus mutans* pulp infection worsens cerebral hemorrhage onset in an SHRSP rat model: Taniguchi Y, Ouhara K, Kitagawa M, Akutagawa K, Kawada-Matsuo M, Tamura T, Zhai R, Hamamoto Y, Kajiya M, Matsuda S, Maruyama H, Komatsuzawa H, Shiba H, Mizuno N. *Clin Exp Immunol*. 2022 Dec 31;210(3):321-330. doi: 10.1093/cei/uxac094.

B) 総説

C) 著書

- 1: Medical Technology : 悪性腫瘍の早期発見に必要な細胞診の目を養う. 2.早期発見に必要な目の付け所 3) 唾液腺: 坂本真一, 安藤俊範, 安村奈緒子, 斎藤彰久, 倉岡和矢, 河本涼助, 山元利枝, 西阪 隆, 宮内睦美, 小川郁子: (医歯薬出版)(東京), 第 50 卷 第 6 号, 568-571, 別冊, 2022.
- 2: 糖尿病・内分泌代謝科 (内分泌・糖尿病・代謝内科): 非アルコール性脂肪性肝疾患と歯周病の関連および同疾患への歯周病治療効果について - 基礎的・臨床的視点から - : 三辺正人, 宮内睦美, 古庄寿子, 長崎敦洋, 鎌田要平, 結束貴臣, 中島 淳, 児玉利朗: (科学評論社)(東京都), 第 54 巻第 6 号, 726-738, 2022.

D) その他の出版物

E) 学会発表

(1) 特別講演, シンポジウム, ワークショップ等

- 1: 「バイオ薬品としてのラクトフェリン展開」口腔扁平上皮癌の増殖・浸潤および腫瘍血管新生に及ぼすウシラクトフェリンの抑制効果: 宮内睦美, 高田 隆: 日本ラクトフェリン学会第 10 回学術集会 (八王子), 2022.
- 2: 口腔細胞診と歯周病・インプラント周囲がん・歯肉がんの基礎知識」歯周炎の病態と全身疾患との関係—早産を中心に—: 宮内睦美: 第 61 回日本臨床細胞学会秋季大会 (仙台), 2022.
- 3: 歯周炎は肝疾患の病態を悪化させる: 宮内睦美: 教育講演: 第 27 回日本エンドトキシン・自然免疫研究会 (広島), 2022.

(2) 一般・国際学会

- 1: Impact of maternal *Porphyromonas gingivalis* infection on brain of offspring : Ishida E, Furusho H, Miyauchi M: 2022 IADR/APR General Session & Exhibition/ the 70th Annual Meeting of IADR (Web), 2022.
- 2: COR588 treatment prevents preterm birth induced by *P. gingivalis*-odontogenic infection : Florian E, Furusho H, Miyauchi M: 2022 IADR/APR General Session & Exhibition, (Web), 2022.

(3) 一般・国内学会

- 1: 歯周炎は心房細動患者の心房線維化に関与している - ヒト左心耳組織を用いた組織学的評価 : 宮内睦美, 宮内俊介, 西 裕美, 應原一久, 古庄寿子, Renn TY, 中野由紀子, 河口浩之, 水野智仁: 第 65 回秋季日本歯周病学会学術大会 (仙台), 2022.
- 2: スギナエキスは LPS 誘発歯周炎モデルラットの歯槽骨破壊を抑制する: 芝 典江, 古庄寿子, 高田 隆, 清水梨加, 宮内睦美: 第 65 回秋季日本歯周病学会学術大会 (仙台), 2022.

- 3: The inhibitory effects of gingipain inhibitor X on preterm birth caused by *Porphyromonas gingivalis* odontogenic infection: Nguyen HH, Renn TY, Nose M, Yamane S, Suenaka S, Nakajima A, Pham TP, Furusho H, Miyauchi M: 第 55 回広島大学歯学会総会 (広島), 2022.
- 4: AXL activates YAP and confers resistance to EGFR inhibitors in oral squamous cell carcinoma: Okamoto K, Ando T, Kajiya M, Yanamoto S, Miyauchi M.: 第 55 回広島大学歯学会総会 (広島), 2022.
- 5: スギナエキスは LPS 誘発歯周炎モデルラットの歯槽骨破壊を抑制する: 芝 典江, 古庄寿子, 高田 隆, 清水梨加, 宮内睦美: 第 27 回日本エンドトキシン・自然免疫研究 (広島), 2022.
- 6: 母親の *Porphyromonas gingivalis* 菌性感染が仔の脳組織に与える影響: 石田えり, 古庄寿子, 芝 典江, Renn Ting Yi, 宮内睦美, 津賀一弘: 第 64 回歯科基礎医学会学術大会 (徳島), 2022.
- 7: スギナ抽出物は LPS 誘発歯周炎モデルラットの破骨細胞形成を抑制する: 芝 典江, 古庄寿子, 高田 隆, 清水梨加, 宮内睦美: 第 64 回歯科基礎医学会学術大会 (徳島), 2022.
- 8: 口腔扁平上皮癌における AXL の YAP 活性化および EGFR 阻害薬耐性機構の解明: 岡本健人, 安藤俊範, 虎谷茂昭, 柳本惣市, 宮内睦美: 第 76 回 NPO 法人日本口腔科学会学術集会 (福岡), 2022.
- 9: AXL による新たな Hippo 経路制御機構の解明: 安藤俊範, 岡本健人, 柳本惣市, 宮内睦美: 第 32 回日本口腔内科学会・第 33 回日本臨床口腔病理学会・第 35 回日本口腔診断学会合同学術大会 (札幌), 2022.
- 10: AXL による YAP 活性化と EGFR 阻害薬耐性機構の解明: 岡本健人: 先端歯学スクール 2022 (徳島), 2022.
- 11: 上顎に若年性砂粒腫様骨形成線維腫を伴った下顎巨大歯牙腫の 1 例: 佐藤亜希, 松村達志, 中野 誠, 澤木康一, 吉岡洋祐, 明石 翔, 古庄寿子, 宮内睦美, 水川展吉, 飯田征二: 第 67 回(公社)日本口腔外科学会総会・学術大会 (幕張, Web), 2022.
- 12: 下顎に生じた幻影細胞性菌原性癌の 1 例: 水田邦子, 小野重弘, 佐々木和起, 加藤大喜, 坂本真一, 安藤俊範, 宮内睦美, 相川友直.: 第 67 回(公社)日本口腔外科学会総会・学術大会 (幕張, Web), 2022.
- 13: 下顎骨に発生した周辺性象牙質形成性幻影細胞腫由来の幻影細胞性菌原性癌の 1 例: 加藤大喜, 水田邦子, 植月 亮, 佐々木和起, 小野重弘, 坂本真一, 安藤俊範, 宮内睦美, 相川友直.: 第 40 回日本口腔腫瘍学会総会・学術大会 (群馬, Web), 2022.
- 14: 高齢者の口腔内に使用されている歯科用金属材料の検証—死因究明教育研究センター21 事例の分析—: 岡 広子, 大林奈美, 北川雅恵, 勝矢脩嵩, 石内直樹, 柿本直也, 長尾正崇: 第 106 回広島大学歯学会例会 (広島), 2022.
- 15: 歯科治療後に急激な顔面浮腫を伴ったレジニアレルギーの 1 例: 大林奈美, 新谷智章, 北川雅恵, 岡 広子, 安藤俊範, 西谷正展, 河口浩之, 加治屋幹人: 第 15 回日本口腔検査学会学術大会 (横浜), 2022.

(4) 症例検討

- 1: 上顎腫瘍 (Juvenile psammoma type ossifying fibroma and complex odontoma associated with Stargie-Weber syndrome) : 古庄寿子, 佐藤亜希, 松村達志, 柿本直也, 中野 誠, 澤木康一, 吉岡洋祐, 明石 翔, 水川展吉, 飯田征二, 宮内睦美 : 第 33 回日本臨床口腔病理学会総会・学術大会 2022 年 9 月 22-24 日(札幌)

(4) 科学研究費補助金等の受領状況

- 1: AMED 「橋渡し研究戦略的推進プログラム」 (シーズ A) : 宮内睦美 (代表, 継続), 「子宮内の炎症・感染を反映する自然早産マーカーセットの開発」
- 2: 科学研究費補助金 (基盤研究(B)) : 宮内睦美 (代表, 継続), 歯周病原細菌が心房細動の病態に及ぼす影響に関する総合的研究
- 3: 科学研究費補助金 (基盤研究(C)) : 宮内睦美 (分担, 継続), 歯周病と口腔内細菌叢に着目した非アルコール性脂肪性肝炎-肝がん発症予防法の確立.
- 4: 科学研究費補助金 (基盤研究(C)) : 宮内睦美, 古庄寿子 (分担, 継続), 歯性感染慢性炎症性早産マウスを用いた黄体ホルモンによる早産予防, 抗炎症作用の検討.
- 5: 科学研究費補助金 (基盤研究(C)) : 宮内睦美 (分担, 継続), 全身疾患関連口腔細菌遺伝子迅速検出法の確立～cnm 陽性 *S. mutans* 臨床検査への応用～
- 6: 科学研究費補助金 (基盤研究(B)) : 宮内睦美 (分担, 継続), 呼気成分による複数疾病の AI 診断と生物学的基盤に関する研究
- 7: 科学研究費補助金 (基盤研究(C)) : 宮内睦美 (分担, 継続), 硬組織のエピジェネティックな加齢変化の評価と年齢推定への応用
- 8: 科学研究費補助金 (基盤研究(C)) : 北川雅恵 (代表, 継続), 全身疾患関連口腔細菌遺伝子迅速検出法の確立～cnm 陽性 *S. mutans* 臨床検査への応用～
- 9: Cortexyme Co. 共同研究費 : 宮内睦美, 口腔と全身疾患の関係に関する研究
- 10: アース製薬株式会社 共同研究費 : 宮内睦美, 口腔疾患に関する研究
- 11: アース製薬株式会社 共同研究費 : 宮内睦美, 口腔炎症制御の研究
- 12: 広島市医師会委任経理金 : 宮内睦美, 口腔疾患の診断の研究
- 13: 三菱三原病院委任経理金 : 宮内睦美, 口腔疾患の診断の研究

(5) 学会賞等の受賞状況

- 1: 石田 えり : JADR/GC 学術奨励賞 : 第 70 回 JADR 総会・学術大会
- 2: Nguyen Huu Hanh Tien: 優秀賞 : 第 55 回広島大学歯学会総会
- 3: 芝 典江: 優秀賞 : 日本エンドトキシン・自然免疫研究会

(6) 特許 Patents

[目次へ戻る](#)

細菌学研究室

(1) 職員並びに学生

教授 : 小松澤均
准教授 : 松尾美樹
助教 : Le Nguyen Tra Mi
研究員 : 鶴田圭子、林幾江
大学院生 : 安富慶昌

(2) 主な研究活動

- 1: 薬剤耐性菌の分離および性状解析
- 2: 病原性細菌の病原性、薬剤耐性因子の解明
- 3: 新規抗菌性因子の探索
- 4: 口腔マイクロバイオーーム形成機序の解明
- 5: バクテリオファージに関する研究

(3) 研究業績

A) 原著 (症例報告を含む)

- 1: Complete sequences of epidermin and nukacin encoding plasmids from oral-derived *Staphylococcus epidermidis* and their antibacterial activity: Nakazono K, Le MN, Kawada-Matsuo M, Kimheang N, Hisatsune J, Oogai Y, Nakata M, Nakamura N, Sugai M, Komatsuzawa H: PLoS One 2022 Jan 18;17(1):e0258283.
- 2: Comprehensive characterization of sortase A-dependent surface proteins in *Streptococcus mutans*: Katsumata T, Nguyen-Tra Le M, Kawada-Matsuo M, Taniguchi Y, Ouhara K, Oogai Y, Nakata M, Mizuno N, Nishitani Y, Komatsuzawa H: Microbiology and Immunology 2022 Mar;66(3):145-156.
- 3: Gene Rearrangement and Modification of Immunity Factors Are Correlated with the Insertion of Bacteriocin Cassettes in *Streptococcus mutans*: Le MN, Kawada-Matsuo M, Komatsuzawa H: Microbiology Spectrum 2022 Jun 29;10(3):e0180621.
- 4: Genomic epidemiology and temperature dependency of hypermucoviscous *Klebsiella pneumoniae* in Japan: Le MN, Kayama S, Wyres KL, Yu L, Hisatsune J, Suzuki M, Yahara K, Terachi T, Sawa K, Takahashi S, Okuhara T, Kohama K, Holt KE, Mizutani T, Ohge H, Sugai M: Microbial Genomics 2022 May;8(5):mgen000827.
- 5: Oral and Rectal Colonization by Antimicrobial-Resistant Gram-Negative Bacteria and Their Association with Death among Residents of Long-Term Care Facilities: A Prospective, Multicenter, Observational, Cohort Study: Kajihara T, Yahara K, Yoshikawa M, Haruta A, Kawada-Matsuo M, Le MN, Arai C, Takeuchi M, Kitamura N, Sugawara Y, Hisatsune J, Kayama S, Ohta K, Tsuga K, Komatsuzawa H, Ohge H, Sugai M: Gerontology 2022 Oct 6:1-12.
- 6: Periapical lesion following Cnm-positive *Streptococcus mutans* pulp infection worsens cerebral hemorrhage onset in an SHRSP rat model. Taniguchi Y, Ouhara K, Kitagawa M, Akutagawa K, Kawada-Matsuo M, Tamura T, Zhai R, Hamamoto Y, Kajiya M, Matsuda S, Maruyama H, Komatsuzawa H, Shiba H, Mizuno N. Clin Exp Immunol. 2022 Dec 31;210(3):321-330.

B) 総説

- 1: Efficiency of Antimicrobial Peptides Against Multidrug-Resistant *Staphylococcal* Pathogens. Le MN, Kawada-Matsuo M, Komatsuzawa H: Front Microbiol 2022 Jun 9;13:930629.

C) 著書

- 1: 口腔微生物学・免疫学：小松澤 均：医歯薬出版株式会社（東京都文京区），212-213, 221-240, 254-258, 287-292 第5版 2021年
- 2: 口腔微生物学・免疫学：松尾 美樹：医歯薬出版株式会社（東京都文京区），254-258, 287-292 第5版 2021年
- 3: 歯科衛生士教本 微生物学：小松澤 均：医歯薬出版株式会社（東京都文京区），110-121, 144-153, 157-177, 2019年.

D) その他の出版物 ←12 ポイント

- 1: 月間「細胞」：MRSA 感染症に対する新規治療薬としてのバクテリオシンの可能性：松尾美樹、小松澤均：ニュー・サイエンス社（東京都目黒区）2022年

E) 学会発表

- 1: Complete sequences of bacteriocin plasmids of *S. epidermidis* and their antibacterial activity: Miki Matsuo, Mi Nguyen-Tra Le, Junzo Hisatsune, Motoyuki Sugai, Hitoshi Komatsuzawa: The 95th Annual Meeting of Japanese Society for Bacteriology (Tokyo), 2022.
- 2: Classification and characterization of bacteriocin immunity factors in *Streptococcus mutans*: Mi Nguyen-Tra Le, Miki Matsuo, Hitoshi Komatsuzawa: The 95th Annual Meeting of Japanese Society for Bacteriology (Tokyo), 2022.
- 3: Genetic analysis of ESBL-producing bacteria in Hiroshima Prefecture in 2020: Tomoko Kawayanagi, Miki Matsuo, Mi Nguyen-Tra Le, Hitoshi Komatsuzawa: The 70th Annual Meeting of the Japanese Society of Chemotherapy (Gifu), 2022.
- 4: Resistance mechanism of cariogenic bacteria *Streptococcus mutans* to nukacin produced by *Staphylococcus epidermidis*: Naoki Sadaoka, Miki Matsuo, Mi Nguyen-Tra Le, Hitoshi Komatsuzawa: The 64th Annual Meeting of Japanese Association for Oral Biology (Tokushima), 2022.
- 5: Susceptibility of disinfectants against cephalosporin-resistant Gram-negative bacteria isolated from oral cavity: Haruta Azusa, Matsuo-Kawada-Miki, Yoshikawa Mineka, Takeuchi Maho, Mi Nguyen-Tra Le, Tsuga Kazuhiro, Komatsuzawa Hitoshi: The 64th Annual Meeting of Japanese Association for Oral Biology (Tokushima), 2022.
- 6: Temperature-dependent hypermucoviscosity and genomic population structure of *Klebsiella pneumoniae*: Mi Nguyen-Tra Le, Shizuo Kayama, Kelly L. Wyres, Liansheng Yu, Junzo Hisatsune, Masato Suzuki, Koji Yahara, Tsuneko Terachi, Kana Sawa, Shin Takahashi, Toshihiko Okuhara, Kunihiko Kohama, Kathryn E. Holt, Tetsu Mizutani, Hiroki Ohge, Motoyuki Sugai: 13th International Meeting on Microbial Epidemiological Markers (IMMEM XIII) (Bath, United Kingdom), 2022.
- 7: Identification of bacteriocin Pep5 from *Staphylococcus epidermidis* and elucidation of resistance mechanism in *Staphylococcus aureus*: Yujin Suzuki, Miki Matsuo, Mi Nguyen-Tra Le, Hitoshi Komatsuzawa: The 75th Meeting of the Japanese Society for Bacteriology - Chugoku-Shikoku Branch (Okayama), 2022.
- 8: Genetic analysis of ESBL-producing bacteria in Hiroshima Prefecture in 2020: Tomoko Kawayanagi, Miki Matsuo, Mi Nguyen-Tra Le, Hitoshi Komatsuzawa: The 75th Meeting of the Japanese Society for Bacteriology - Chugoku-Shikoku Branch (Okayama), 2022.
- 9: Susceptibility of disinfectants against cephalosporin-resistant Gram-negative bacteria isolated from oral cavity of long-term care facility residents: Haruta Azusa, Matsuo-Kawada-Miki, Yoshikawa Mineka, Takeuchi Maho, Mi Nguyen-Tra Le, Tsuga Kazuhiro, Komatsuzawa Hitoshi: The 15th Korea-Japan International Symposium on Microbiology (Korea), 2022.
- 10: Different amino acid sequence for CprABC affects nisin A susceptibility in *Clostridioides difficile* isolates.: Noriaki Ide, Miki Matsuo, Mi Nguyen-Tra Le, Hiromo Nishi, Hiroyuki Kawaguchi, Hitoshi Komatsuzawa: The 15th Korea-Japan International Symposium on Microbiology (Korea), 2022.
- 11: Novel candidates of antimicrobial peptides (AMPs) against MRSA and Resistance mechanisms of MRSA against AMPs.: Miki Matsuo, Mi Nguyen-Tra Le, Hitoshi Komatsuzawa: The 15th Korea-Japan International Symposium on Microbiology (Korea), 2022.

(4) 科学研究費補助金等の受領状況

- 1: 日本医療研究開発機構 (AMED) : 小松澤 均, 口腔・気道内薬剤耐性菌の定着阻害に関する研究開発, 21fk0108606h0001, 29,300 千円
- 2: 基盤研究(C) : 松尾美樹, 口腔由来高度多剤耐性黄色ブドウ球菌のリスク診断法確立に向けた基盤研究. 21K09858. 1,430 千円
- 3: Le Nguyen Tra Mi, Grant-in-Aid for Early-Career Scientists from the Ministry of Education, Culture, Sports, Sciences, and Technology of Japan. Temperature-driven regulation system of hypermucoviscosity in carbapenem-resistant *Klebsiella pneumoniae*. Grant No. 21K16947. 1,560 千円

(5) 学会賞等の受賞状況

(6) 特許

[目次へ戻る](#)

細胞分子薬理学研究室

(1) 職員並びに学生

教授 : 吾郷由希夫

助教 : 浅野智志

大学院生 : 今戸瑛二 (D4, 歯科麻酔学), 神尾航平 (D2), 小野亜美 (D1, 歯科矯正学)

(2) 主な研究活動

- 1: 抗うつ薬, 抗精神病薬, 抗不安薬, 神経変性疾患治療薬の作用機構に関する研究
- 2: 脳機能の発達における遺伝的要因と環境因子の役割に関する研究
- 3: 細胞の接着・増殖・遊走のメカニズムとそれらの生理病態的意義に関する研究

(3) 研究業績

A) 原著

- 1: Ishimoto K, Nakamura Y, Otani S, Miki S, Maeda S, Iwamoto T, Konishi Y, Ago Y, Nakagawa S. Examination of dissolution ratio of β -carotene in water for practical application of β -carotene amorphous solid dispersion. **Journal of Food Science and Technology** 59: 114-122, 2022.
- 2: Niu M, Kasai A, Tanuma M, Seiriki K, Igarashi H, Kuwaki T, Nagayasu K, Miyaji K, Ueno H, Tanabe W, Seo K, Yokoyama R, Ohkubo J, Ago Y, Hayashida M, Inoue KI, Takada M, Yamaguchi S, Nakazawa T, Kaneko S, Okuno H, Yamanaka A, Hashimoto H. Claustrom mediates bidirectional and reversible control of stress-induced anxiety responses. **Science Advances** 8: eabi6375, 2022.
- 3: Takemoto T, Baba M, Yokoyama K, Kitagawa K, Nagayasu K, Ago Y, Seiriki K, Hayata-Takano A, Kasai A, Mori D, Ozaki N, Takuma K, Hashimoto R, Hashimoto H, Nakazawa T. Oxytocin ameliorates impaired social behavior in a mouse model of 3q29 deletion syndrome. **Molecular Brain** 15: 26, 2022.
- 4: Ishimoto K, Shimada Y, Ohno A, Otani S, Ago Y, Maeda S, Lin B, Nunomura K, Hino N, Suzuki M, Nakagawa S. Physicochemical and biochemical evaluation of amorphous solid dispersions of naringenin prepared using hot-melt extrusion. **Frontiers in Nutrition** 9: 850103, 2022.
- 5: Takayama K, Tobori S, Andoh C, Kakae M, Hagiwara M, Nagayasu K, Shirakawa H, Ago Y, Kaneko S. Autism spectrum disorder model mice induced by prenatal exposure to valproic acid exhibit enhanced empathy-like behavior via oxytocinergic signaling. **Biological and Pharmaceutical Bulletin** 45: 1124-1132, 2022.
- 6: Hisaoka-Nakashima K, Ohata K, Yoshimoto N, Tokuda S, Yoshii N, Nakamura Y, Wang D, Liu K, Wake H, Yoshida T, Ago Y, Hashimoto K, Nishibori M, Morioka N. High-mobility group box 1-mediated hippocampal microglial activation induces cognitive impairment in mice with neuropathic pain. **Experimental Neurology** 355: 114146, 2022.
- 7: Imado E, Samnang S, Abawa AR, Tahara T, Kochi T, Huynh TNB, Asano S, Hasebe S, Nakamura Y, Hisaoka-Nakashima K, Kotake Y, Irifune M, Tsuga K, Takuma K, Morioka N, Kiguchi N, Ago Y. Prenatal exposure to valproic acid causes allodynia associated with spinal microglial activation. **Neurochemistry International** 160: 105415, 2022.
- 8: Asano S, Yamasaka M, Ozasa K, Sakamoto K, Hayata-Takano A, Nakazawa T, Hashimoto H, Waschek JA, Ago Y. Vasoactive intestinal peptide-VIPR2 signaling regulates tumor cell migration. **Frontiers in Oncology** 12: 852358, 2022.
- 9: Hisaoka-Nakashima K, Moriwaki K, Yoshimoto N, Yoshii T, Nakamura Y, Ago Y, Morioka N. Anti-interleukin-6 receptor antibody improves allodynia and cognitive impairment in mice with neuropathic pain following partial sciatic nerve ligation. **International Immunopharmacology** 112: 109219, 2022.

- 10: Asano S, Maetani Y, Ago Y, Kanematsu T. Phospholipase C-related catalytically inactive protein enhances cisplatin-induced apoptotic cell death. **European Journal of Pharmacology** 933: 175273, 2022.
- 11: Yamawaki Y, So H, Oue K, Asano S, Furusho H, Miyauchi M, Tanimoto K, Kanematsu T. Imipramine prevents *Porphyromonas gingivalis* lipopolysaccharide-induced microglial neurotoxicity. **Biochemical and Biophysical Research Communications** 634: 92-99, 2022.
- 12: Sakamoto K, Asano S, Ago Y, Hirokawa T. AlphaFold version 2.0 elucidates the binding mechanism between VIPR2 and KS-133, and reveals an S-S bond (Cys²⁵-Cys¹⁹²) formation of functional significance for VIPR2. **Biochemical and Biophysical Research Communications** 636: 10-16, 2022.

B) 総説

該当なし

C) 著書

該当なし

D) その他の出版物

該当なし

E) 学会発表

一般 (国際学会)

- 1: Satoshi Asano, Misa Yamasaka, Kairi Ozasa, Kotaro Sakamoto, Atsuko Hayata-Takano, Takanobu Nakazawa, Hitoshi Hashimoto, James A. Waschek, Yukio Ago. The VIP/VIPR2 pathway regulates breast cancer cell migration. VPAC ISBAP 2022 (Joint symposium of the 1st Meeting of the International Society for Bioactive Peptides and the 15th International Symposium on VIP, PACAP and Related Peptides), Osaka, October 30–November 2, 2022.
- 2: Ami Ono, Daichi Koan, Satoshi Asano, Tatsunori Miyaoka, Lu Chen, Mei Yamada, Shinsaku Nakagawa, Atsuko Hayata-Takano, Takanobu Nakazawa, Akihiro Harada, Hitoshi Hashimoto, James A. Waschek, Yukio Ago. Neuron-specific overexpression of human VPAC2 receptors in mice causes cognitive dysfunction. VPAC ISBAP 2022 (Joint symposium of the 1st Meeting of the International Society for Bioactive Peptides and the 15th International Symposium on VIP, PACAP and Related Peptides), Osaka, October 30–November 2, 2022.
- 3: Kohei Kitagawa, Masayuki Baba, Tomoya Takemoto, Kazuki Nagayasu, Atsushi Kasai, Kazuhiro Takuma, Ryota Hashimoto, Hitoshi Hashimoto, Yukio Ago, Takanobu Nakazawa. Impaired neurodevelopment in iPS cell-derived neural stem cells from psychiatric patients with 7q36.3 microduplication. VPAC ISBAP 2022 (Joint symposium of the 1st Meeting of the International Society for Bioactive Peptides and the 15th International Symposium on VIP, PACAP and Related Peptides), Osaka, October 30–November 2, 2022.
- 4: Rei Yokoyama, Yukio Ago, Atsushi Kasai, Masato Tanuma, Misuzu Hayashida, Yuto Shimazaki, Momoko Higuchi, Hisato Igarashi, Kaoru Seiriki, Shun Yamaguchi, Takanobu Nakazawa, Kenji Hashimoto, Hitoshi Hashimoto. Agranular insular cortex mediates the antidepressant actions of arketamine. The 51st Annual Meeting of the Society for Neuroscience (Neuroscience 2022), San Diego, USA, November 12-16, 2022.
- 5: Kohei Kitagawa, Masayuki Baba, Tomoya Takemoto, Masato Tanuma, Misuzu Hayashida, Shun Yamaguchi, Yukio Ago, Kaoru Seiriki, Atsuko Hayata-Takano, Kazuhiro Takuma, Atsushi Kasai, Hitoshi Hashimoto, Takanobu Nakazawa. Intranasal oxytocin administration suppresses social contact-induced neural activity in a POGZ-Q1038R mutant mouse model of autism spectrum disorder. The 51st Annual Meeting of the Society for Neuroscience (Neuroscience 2022), San Diego, USA, November 12-16, 2022.
- 6: Yukio Ago, Rei Yokoyama, Atsushi Kasai, Masato Tanuma, Misuzu Hayashida, Yuto Shimazaki,

Momoko Higuchi, Hisato Igarashi, Kaoru Seiriki, Shun Yamaguchi, Takanobu Nakazawa, Kenji Hashimoto, Hitoshi Hashimoto. Activation of the rostral agranular insular cortex is involved in the antidepressant actions of arketamine. The 61st Annual Meeting of the American College of Neuropsychopharmacology (ACNP), December 4-7, 2022.

- 7: Hitoshi Hashimoto, Misaki Niu, Masato Tanuma, Kaoru Seiriki, Yukio Ago, Shun Yamaguchi, Atsushi Kasai. Claustrum mediates stress-induced anxiety responses and stress resistance. The 61st Annual Meeting of the American College of Neuropsychopharmacology (ACNP), December 4-7, 2022.

一般（国内学会）

- 1: 浅野智志, 小笹かいり, 中澤敬信, Waschek James, 吾郷由希夫. 神経ペプチド受容体 VIPR2 のオリゴマー化とその機能的意義. 第 95 回日本薬理学会年会, 福岡, 2022 年 3 月 7-9 日.
- 2: 小笹かいり, 浅野智志, 山坂美紗, 早田敦子, 中澤敬信, 橋本均, Waschek James, 吾郷由希夫. 神経ペプチド VIP は VPAC2 受容体を介する PI3K 経路の活性化により細胞遊走を引き起こす. 第 95 回日本薬理学会年会, 福岡, 2022 年 3 月 7-9 日.
- 3: 今戸瑛二, Samnang Sun, Abawa Abrar, 浅野智志, 中村庸輝, 中島一恵, 森岡徳光, 津賀一弘, 入船正浩, 田熊一徹, 木口倫一, 吾郷由希夫. 神経発達障害モデルマウスにおける機械的アロディニアの発症とミクログリアの関与. 第 95 回日本薬理学会年会, 福岡, 2022 年 3 月 7-9 日.
- 4: 吉本夏輝, 中島一恵, 大畑一努, 中村庸輝, 王登莉, 劉克約, 和氣秀徳, 吾郷由希夫, 西堀正洋, 森岡徳光. 神経障害性疼痛マウスにおける認知機能障害に対する HMGB1 中和抗体の効果に関する検討. 第 95 回日本薬理学会年会, 福岡, 2022 年 3 月 7-9 日.
- 5: 笠井淳司, 彌永祐輔, 植野寛貴, 中井悠花, 原雄大, 三浦大樹, 田沼将人, 林田美鈴, 横山玲, 大久保仁, 勢力薫, 早田高野敦子, 山口瞬, 北岡志保, 古屋敷智之, 吾郷由希夫, 中澤敬信, 田熊一徹, 橋本均. ASD モデルマウスの社会性行動と前頭前皮質の機能異常. 第 95 回日本薬理学会年会, 福岡, 2022 年 3 月 7-9 日.
- 6: 山口拓海, 片平海雅, 山口稜太, 石本憲司, 樋野展正, 高垣晶子, 大木渉吾, 鈴木壯幸, 中川晋作, 吾郷由希夫. 緑茶カテキン代謝物 EGC-M5 はマウスの認知機能障害と抑うつ様行動を軽減する. 日本薬学会第 142 年会, 名古屋（オンライン開催）, 2022 年 3 月 25-28 日.
- 7: 山口稜太, 山口拓海, 中川晋作, 浅野智志, 松浦圭介, 中川正則, 吾郷由希夫. イミダゾールジペプチドの中樞作用に関する検討. 日本薬学会第 142 年会, 名古屋（オンライン開催）, 2022 年 3 月 25-28 日.
- 8: 植野寛貴, 笠井淳司, 彌永祐輔, 原雄大, 三浦大樹, 田沼将人, 横山玲, 大久保仁, 中井悠花, 勢力薫, 山口瞬, 吾郷由希夫, 中澤敬信, 田熊一徹, 橋本均. 抗てんかん薬による発達障害モデルマウスの社会性行動異常の回復に関連する脳活動の同定. 日本薬学会第 142 年会, 名古屋（オンライン開催）, 2022 年 3 月 25-28 日.
- 9: Satoshi Asano, Misa Yamasaka, Kairi Ozasa, James Waschek, Yukio Ago. A potential role of neuropeptide receptor VIPR2 signaling in tumor cell migration. 第 55 回広島大学歯学会総会, 広島, 2022 年 6 月 11 日.
- 10: Eiji Imado, Sun Samnang, Abrar Rizal Abawa, Satoshi Asano, Kazuhiro Tsuga, Masahiro Irifune, Yukio Ago. Abnormal pain sensitivity associated with spinal microglial activation in a prenatal valproic acid-induced mouse model of autism. 第 55 回広島大学歯学会総会, 広島, 2022 年 6 月 11 日.
- 11: 吾郷由希夫, 今戸瑛二, Samnang Sun, 中村庸輝, 中島一恵, 森岡徳光, 田熊一徹, 木口倫一, 浅野智志. マウス胎生期のバルプロ酸曝露は脊髄でのミクログリアの増殖とアロディニアを引き起こす. Neuro2022 (第 45 回日本神経科学大会・第 65 回日本神経化学会大会・第 32 回日本神経回路学会大会 合同大会), 沖縄, 2022 年 6 月 30 日-7 月 3 日.
- 12: Samnang Sun, Eiji Imado, Tran Ngoc Bao Huynh, Yoki Nakamura, Kazue Hisaoka-Nakashima, Norimitsu Morioka, Norikazu Kiguchi, Satoshi Asano, Yukio Ago. Possible role of histone deacetylase inhibition in tactile hypersensitivity in a mouse model of autism spectrum disorder. 第 37 回創薬・薬理フォーラム岡山, オンライン開催, 2022 年 7 月 23 日.
- 13: 浅野智志, 吾郷由希夫. 神経ペプチド受容体 VIPR2 は PI3K 経路を介してがん細胞遊走を制御する. 第 64 回歯科基礎医学会学術大会, 徳島, 2022 年 9 月 17-19 日.
- 14: 今戸瑛二, 入船正浩, 吾郷由希夫. 自閉スペクトラム症モデルマウスにおける持続的なアロディ

ニアの発現と脊髄内ミクログリア活性化の関与. 第 50 回日本歯科麻酔学会総会・学術集会, 東京, 2022 年 10 月 27-29 日.

- 15: 佐々木詩佳, 入船正浩, 今戸瑛二, 本池芹佳, 小田 綾, 大植香菜, 吉田充広, 吾郷由希夫. 静脈麻酔から覚醒後の悪心・嘔吐におけるラット延髄最後野のドーパミン神経とセロトニン神経の関与—行動薬理学実験及び脳マイクロダイアリス法による検討—. 第 50 回日本歯科麻酔学会総会・学術集会, 東京, 2022 年 10 月 27-29 日.
- 16: 吾郷由希夫, 内藤 恵, 川瀬啓生, 樋口桃子, 山川英訓, 大波壮一郎, 小川公一, 中邨篤史, 河内貴弘, 今戸瑛二, 田原 孟, 浅野智志, 古武弥一郎, 田熊一徹, 橋本 均. 鎮痛作用を示さない低用量 μ オピオイド受容体アゴニストは自閉スペクトラム症モデルマウスの社会性行動障害を改善する. 第 44 回日本生物学的精神医学会年会、第 32 回日本臨床精神神経薬理学会年会、第 52 回日本神経精神薬理学会年会、第 6 回日本精神薬学会総会・学術集会 4 学会合同年会 (BPCNP4 学会合同年会), 東京, 2022 年 11 月 4-6 日.
- 17: 今戸瑛二, Sun Samnang, Huynh Ngoc Bao Tran, 中村庸輝, 中島一恵, 森岡徳光, 木口倫一, 浅野智志, 吾郷由希夫. 胎生期のヒストン脱アセチル化酵素阻害は脊髄ミクログリアの活性化と機械的アロディニアを引き起こす. 第 96 回日本薬理学会年会, 横浜, 2022 年 11 月 30 日-12 月 3 日.
- 18: 田原 孟, 今戸瑛二, 川瀬啓生, 樋口桃子, 山川英訓, 小川公一, 古武弥一郎, 田熊一徹, 橋本 均, 浅野智志, 吾郷 由希夫. TRPV1 アンタゴニスト AMG517 は胎生期バルプロ酸投与誘発の自閉症モデルマウスにおいて痛覚感受性の異常と社会性行動障害を改善する. 第 96 回日本薬理学会年会, 横浜, 2022 年 11 月 30 日-12 月 3 日.
- 19: 浅野智志, 吾郷由希夫, 兼松 隆. PLC 様タンパク質 PRIP1 の PH domain 内包リポソームはシスプラチン耐性乳ガン細胞のアポトーシス細胞死を促進する. 第 96 回日本薬理学会年会, 横浜, 2022 年 11 月 30 日-12 月 3 日.
- 20: 横山 玲, 吾郷由希夫, 笠井淳司, 田沼将人, 林田美鈴, 島崎雄人, 樋口桃子, 五十嵐久人, 勢力 薫, 山口 瞬, 中澤敬信, 橋本謙二, 橋本 均. アールケタミンの抗うつ作用発現には島皮質が関与する. 第 96 回日本薬理学会年会, 横浜, 2022 年 11 月 30 日-12 月 3 日.

F) 招待講演 (特別講演, シンポジウム)

- 1: 吾郷由希夫. 抗うつ薬・抗うつ薬候補の反応性からみるモデル動物の役割. 第 95 回日本薬理学会年会, 福岡, 2022 年 3 月 7 日.
- 2: 吾郷由希夫, 坂元孝太郎. 統合失調症治療を目指したクラス B GPCR VIPR2 アンタゴニストペプチドの薬理学的研究. 第 95 回日本薬理学会年会, 福岡, 2022 年 3 月 9 日.
- 3: Yukio Ago, Kotaro Sakamoto, Satoshi Asano. KS-133, a novel peptide antagonist targeting VIPR2 for the treatment of schizophrenia. VPAC ISBAP 2022 (Joint symposium of the 1st Meeting of the International Society for Bioactive Peptides and the 15th International Symposium on VIP, PACAP and Related Peptides), Osaka, November 2, 2022.
- 4: 吾郷由希夫. 自閉スペクトラム症の病態基盤解明と創薬を目指して. 特別講演 3「発達障害の基礎的研究」第 39 回日本障害者歯科学会, 倉敷, 2022 年 11 月 6 日.
- 5: 吾郷由希夫. 自閉スペクトラム症の新しい治療戦略: 社会性障害の回復機構における脳部位特異的オピオイドシステムバランスの役割. 第 96 回日本薬理学会年会・第 43 回日本臨床薬理学会学術総会 合同大会, 横浜, 2022 年 11 月 30 日.

(4) 科学研究費補助金等の受領状況

- 1: AMED シーズ開発・研究基盤事業部拠点研究事業課 橋渡し研究プログラム (大阪大学拠点 シーズ A) 種類: 吾郷由希夫(代表, 新規), 新規の統合失調症治療薬の開発. 課題番号 A-194
- 2: 科学研究費補助金 (挑戦的研究(萌芽)): 吾郷由希夫 (代表, 継続), 運動に規定されない環境強化の精神機能障害抑制因子の同定. 課題番号 21K19714
- 3: 科学研究費補助金 (基盤研究(B)(一般)): 吾郷由希夫 (代表, 継続), 難治性統合失調症の克服を目指した統合的創薬・薬物治療戦略の基盤構築. 課題番号 20H03392
- 4: 科学研究費補助金 (基盤研究(B)(一般)): 吾郷由希夫 (分担, 継続), 抗原の動態制御に基づく

- 有効かつ安全な新規経鼻ワクチン創製基盤の構築. 課題番号 20H03404
- 5: 科学研究費補助金 (基盤研究(B)(一般)): 吾郷由希夫 (分担, 継続), ストレス性情動障害における PACAP の神経アストロサイト機能連関の病態生理的意義. 課題番号 20H03429
 - 6: 科学研究費補助金 (基盤研究(C)(一般)): 吾郷由希夫 (分担, 継続), ドパミン受容体サブタイプの選択的リガンドを応用した麻酔・鎮静深度調節法の開発. 課題番号 21K10139
 - 7: 科学研究費補助金 (基盤研究(C)(一般)): 浅野智志 (代表, 継続), 細胞接着制御に着目した新規癌転移抑制剤の開発研究. 課題番号 20K09905
 - 8: 三井農林株式会社 R&D グループ 共同研究費: 吾郷由希夫 (代表, 新規)
 - 9: 一丸ファルコス株式会社 共同研究費: 吾郷由希夫 (代表, 継続(追加配分))
 - 10: 株式会社トクヤマ 共同研究費: 吾郷由希夫 (代表, 継続(追加配分))
 - 11: 公益財団法人東京生化学研究会: 吾郷由希夫 (代表, 新規)

(5) 学会賞等の受賞状況

- 1: 今戸瑛二: 広島大学歯学会奨励賞. 第 55 回広島大学歯学会総会, 2022 年 6 月 11 日.
- 2: 小野亜美: The Akira Arimura Travel Award. VPAC ISBAP 2022 (Joint symposium of the 1st Meeting of the International Society for Bioactive Peptides and the 15th International Symposium on VIP, PACAP and Related Peptides), October 30–November 2, 2022.

(6) 特許

- 1: 吾郷由希夫, 浅野智志, 坂元孝太郎: 癌転移抑制用の VIPR2 アンタゴニストペプチド (番号: 特願 2022-27791) (出願人: 国立大学法人広島大学, 一丸ファルコス株式会社)

[目次へ戻る](#)

生体材料学研究室

(1) 職員並びに学生

教授 : 加藤功一
 助教 : 平田伊佐雄, Mootha Archana
 共同研究員: 中野綾菜 (歯科矯正学)
 大学院生 : 阿部文香 (歯科矯正学), Erda Karina (生体材料学),
 Yustisia Yenny (生体材料学), Ardhiyanto Hengky (先端歯科補綴学),
 パサネン紫衣生 (歯科矯正学), 松山たかも (口腔腫瘍制御学)
 学部生 : 鳴神晶子, 武田果奈, 小林優太, 久林直斗, 浅野幹太, 宮下日菜美

(2) 主な研究活動

- 1: 再生医療の早期実現を目指したバイオマテリアル及びバイオデバイスの設計
- 2: 自己組織化単分子膜をモデルとした生体システム—材料間相互作用に関する研究
- 3: 生体材料による新規疾病治療法の研究

(3) 研究業績

A) 原著論文

- 1: I. Goel, M. Noiri, Y. Yamauchi, K. Kato, U. Chung, Y. Teramura, Enhancement of intercellular interaction between iPSC-derived neural progenitor cells and activated endothelial cells using cell surface modification with functional oligopeptides. *Biomater. Sci.*, 10:925–938 (2022)
- 2: H. Kimura, H. Tsuka, K. Morita, I. Hirata, F. Nishio, H. Abekura, L. Doi, K. Tsuga, Nd:YVO₄ laser groove treatment can improve the shear bond strength between dental PEEK and adhesive resin cement with an adhesive system. *Dent. Mater. J.*, 41:382–391 (2022)

B) 総説

- 1: T. Ogasawara, K. Kato, Solid-phase cytometry using antibody microarrays. *J. Hiroshima Univ. Dent. Soc.*, 54:1–10 (2022)
- 2: A. Nakano, K. Kato, Recombinant protein synthesis for nanomaterial assembly: Technical overview. *Bull. Soc. Nano Sci. Technol.*, 20:31–37 (2022)

C) 著書

- 1: 加藤功一: スタンダード歯科理工学・第4章 生体材料の安全性と適合性(第7版第3刷), 中畠裕, 宮崎隆, 米山隆之編, 学建書院, 印刷中
- 2: K. Kato. Bioengineering challenges in regenerative medicine: Biofunctional materials design., In *Biomedical Engineering*, Akihiro Miyachi, Yuji Miyahara, eds., Jenny Stanford Publishing, Singapore, in press.
- 3: A. Nakano, K. Kato. Regenerative nanotechnology: Engineered surfaces for stem cell production, In *Nanomedicine*. Ning Gu, ed., Springer, Singapore. First online: 9 September 2022.

D) その他の出版物及び成果物

- 1: K. Kato, Japan-China academic exchange in nanomedicine. *Bull. Japan China Med. Assoc.*, 37:35 & 60 (2022)
- 2: Website: <https://biomaterials-hu.wixsite.com/global-dent> "Hiroshima University e-START Program, Healthcare in a Global Perspective"

E) 学会発表

- 1: A. Mootha, K. Kato, Surface immobilization of BMP-7 for promoting osteogenesis at tissue-material interface. IDMC2022 (November 4-5, 2022, Taipei)

F) 招待講演

- 1: K. Kato. Hiroshima University School of Dentistry, History of internationalization. JSPS Core-to-Core Program Asia-Africa Science Platforms, International Seminar (November 11, 2022, Hiroshima)
- 2: T. Ogasawara, K. Kato. Quantitative cell subset analysis on antibody microarrays. ISNM 2022 (December 6-8, 2022, Tokushima)
- 3: K. Kato: Introduction to stem cells. Special lecture, 3 in 1 Program at Faculty of Dentistry Universitas Brawijaya Malang, Indonesia (November 2, 2022, Online)
- 4: K. Kato: Bioengineering challenges in stem cell-based regenerative medicine 1. Faculty of Dentistry Universitas Brawijaya Malang, Indonesia (December 12, 2022, Online)
- 5: K. Kato: Bioengineering challenges in stem cell-based regenerative medicine 2. Faculty of Dentistry Universitas Brawijaya Malang, Indonesia (December 13, 2022, Online)

(4) 科学研究費補助金等の受領状況

- 1: 科学研究費補助金 (国際共同研究加速基金(国際共同研究強化(B)) 代表・加藤功一) : 加藤功一, 組織再生の空間制御法に関する研究. 課題番号 19KK0278. 1,800 千円
- 2: 科学研究費補助金 (基盤研究(C) 代表・平田伊佐雄) : 平田伊佐雄, 間葉系幹細胞の Stemness を維持する代謝系制御培養基板の開発. 課題番号 20K09994. 800 千円
- 3: 科学研究費補助金 (若手研究 代表・Mootha Archana) : Mootha Archana, Bio-mimicry of paracellular surface on implant neck surface by immobilizing functional claudin peptide to establish an epithelial seal. 課題番号 22K17077. 1,900 千円
- 4: 科学研究費補助金 (研究スタート支援 代表・中野綾菜) : 中野綾菜, 組織工学による顎裂部閉鎖治療を目的としたタンパク質性因子の放出制御. 課題番号 21K21014. 1,651 千円
- 5: 科学研究費補助金 (国際共同研究加速基金(国際共同研究強化(B)) 代表・加藤功一) : 平田伊佐雄, 組織再生の空間制御法に関する研究. 課題番号 19KK0278. 200 千円
- 6: 科学研究費補助金 (基盤研究(C) 代表・平田伊佐雄) : 加藤功一, 間葉系幹細胞の Stemness を維持する代謝系制御培養基板の開発. 課題番号 20K09994. 50 千円
- 7: 科学研究費補助金 (基盤研究(C) 代表・谷本幸太郎) : 加藤功一, 乳歯歯髄幹細胞由来エクソソームの機能解析と顎裂部骨再生誘導への応用. 課題番号 21K10186. 150 千円
- 8: 科学研究費補助金 (基盤研究(B) 代表・加治屋幹人) : 加藤功一, 集塊培養技術による iPS 細胞由来顎骨・歯肉オルガノイドの樹立と口腔再生医学の深化. 課題番号 22H03275. 300 千円
- 9: 脂肪由来間葉系幹細胞の分化ポテンシャル予知マーカーシステムの開発 (基盤研究(C) 代表・金輪真佐美) : 平田伊佐雄. 課題番号 21K09792. 100 千円
- 10: 体にやさしいポリエーテルエーテルケトン(PEEK)複合型修復物の開発 (基盤研究(C) 代表・下江宰司) : 平田伊佐雄. 課題番号 21K10002. 100 千円
- 11: 科学研究費補助金 (基盤研究(C) 代表・森田晃司) : 平田伊佐雄, 要介護者の咀嚼能力が腸内細菌叢と短鎖脂肪酸産生に及ぼす影響の解明. 課題番号 20K10034. 50 千円
- 12: JST さくらサイエンスプログラム : 加藤功一, 生体材料学に関する科学技術体験. 課題番号 S2022F0500201. 2,813 千円

[目次へ戻る](#)

粘膜免疫学研究室

(1) 職員並びに学生

教授 : 高橋一郎
准教授 : 飛梅圭

(2) 主な研究活動

- 1: 自然免疫細胞における微生物細胞内共生現象について
- 2: 顎顔面領域遺伝性疾患の原因遺伝子の解明

(3) 研究業績

A) 原著

- 1: Dexamethasone resets stable association of nuclear Snail with LSD1 concomitant with transition from EMT to partial EMT. Okuda S, Yamakado N, Higashikawa K, Uetsuki R, Ishida F, Rizqiawan A, Ono S, Mizuta K, Kamata N, Tobiume K. *Biochem Biophys Res Commun*. 2022 Jul;301:101277. doi: 10.1016/j.bbrep.2022.101277. eCollection 2022 Jul. PMID: 35592611.
- 2: Oral administration of bovine lactoferrin suppresses the progression of rheumatoid arthritis in an SKG mouse model Yanagisawa S., Nagasaki K., Chea C., Ando T., Ayuningtyas N. F., Inubushi T., Ishikado A., Imanaka H., Sugiyama E., Takahashi I., Miyauchi M., Takata T. *PLOS ONE* 17(2):e0263254-e0263254.

(4) 科学研究費補助金等の受領状況

- 1: 基盤研究 C : 飛梅圭, Snail が口腔がん細胞の partial EMT と EMT を分別して支配する機構, 課題番号 22K10171. 2,080,000 円.
- 2: 基盤研究 C : 高橋一郎, 微生物・細胞内共生現象の解明とその破綻に起因する日和見感染症発症機構の解明, 課題番号 19K10088. 749,658 円.

[目次へ戻る](#)

歯周病態学研究室及び口腔維持修復歯科（歯周診療科）

（１）職員並びに学生

教授：水野 智仁
 助教：應原 一久，加治屋 幹人（～3月），岩田 倫幸，松田 真司，佐々木 慎也，濱本 結太（12月～）
 医員：橘高 瑞穂（留学中），吉本 哲也（留学中），岡信 愛（4月～），竹村 翼，畑野 紗希，堀越 励，田利 美沙子，曾根 久勝
 特別研究員：目見田 匠
 大学院生：Zhai Ruoqi（～3月），森本 慎，谷口 友梨，田村 哲也，吉井 寛毅，吉野 舞，上田 智也，河野 祥子，中嶋 良徳，二宮 由梨香，藤森 良介，安田 佳祐
 研究生：鈴川 雅彦
 研修登録医：清田 真理，島崎 嘉朗，竹脇 学，岸 遼子（～3月），柳原 琢磨，高橋 慶太，小川 智也

（２）主な研究活動

- 1: 歯周炎の発症に関する免疫学的・遺伝学的研究
- 2: 骨髄間葉系幹細胞を用いた歯周組織再生に関する研究
- 3: 神経栄養因子を用いた歯周組織再生に関する研究
- 4: 歯周病と関節リウマチとの関連に関する研究
- 5: 歯周病と糖尿病との関連に関する研究
- 6: 歯周靱帯由来細胞の生理機能や分化に関する研究
- 7: 歯周病の予防に関する研究
- 8: 歯肉増殖症に関する研究
- 9: 歯周病と強皮症との関連に関する研究
- 10: インプラント周囲炎の治療法発症確立に関する研究

（３）研究業績

A) 原著（症例報告を含む）

- 1: Cancellous bone-like tissue replacement from calcinosis patients with systemic sclerosis with multiple external root resorption.
Memida T, Matsuda S, Nakamoto T, Ouhara K, Kajiya M, Hirata S, Sugiyama E, Kakimoto N, Mizuno N.
Bone Rep. 2022; January; 16; 101165
- 2: Cytokines regulate stemness of mesenchymal stem cells via miR-628-5p during periodontal regeneration.
Iwata T, Mizuno N, Nagahara T, Kaneda-Ikeda E, Kajiya M, Sasaki S, Takeda K, Kiyota M, Yagi R, Fujita T, Kurihara H.
J Periodontol. 2022; February; 93(2); 269-286
- 3: Comprehensive characterization of sortase A-dependent surface proteins in *Streptococcus mutans*.
Katsumata T, Nguyen-Tra Le M, Kawada-Matsuo M, Taniguchi Y, Ouhara K, Oogai Y, Nakata M, Mizuno N, Nishitani Y, Komatsuzawa H.
Microbiol Immunol. 2022; March; 66(3); 145-156
- 4: Xenotransplantation of cryopreserved human clumps of mesenchymal stem cells/extracellular matrix complexes pretreated with IFN- γ induces rat calvarial bone regeneration.
Ogawa T, Kajiya M, Horikoshi S, Yoshii H, Yoshino M, Motoike S, Morimoto S,

- Sone H, Iwata T, Ouhara K, Matsuda S, Mizuno N.
Regen Ther. 2022; April; 20; 117-125
- 5: Masticatory dysfunction in patients with diabetic neuropathy: A cross-sectional study
Hamamoto Y, Ouhara K, Miyagawa T, Shintani T, Komatsu N, Kajiya M, Matsuda S, Fujita T, Sasaki S, Iwata T, Ohno H, Yoneda M, Mizuno N, Kurihara H
PLoS One. 2022; June; 17(6); e0269594
 - 6: Induction of functional xeno-free MSCs from human iPSCs via a neural crest cell lineage
Kamiya D, Takenaka-Ninagawa N, Motoike S, Kajiya M, Akaboshi T, Zhao C, Shibata M, Senda S, Toyooka Y, Sakurai H, Kurihara H, Ikeya M
NPJ Regenerative Medicine 2022; September; 7(1); 47
 - 7: Clumps of mesenchymal stem cells/ extracellular matrix complexes directly reconstruct the functional periodontal tissue in a rat periodontal defect model
Sone H, Kajiya M, Takeda K, Sasaki S, Horikoshi S, Motoike S, Morimoto S, Yoshii H, Yoshino M, Iwata T, Ouhara K, Matsuda S, Mizuno N
J Tissue Eng Regen Med. 2022; October; 16(10); 945-955
 - 8: Regulation of osteogenesis in bone marrow-derived mesenchymal stem cells via histone deacetylase 1 and 2 co-cultured with human gingival fibroblasts and periodontal ligament cells
Iwata T, Kaneda-Ikeda E, Takahashi K, Takeda K, Nagahara T, Kajiya M, Sasaki S, Ishida S, Yoshioka M, Matsuda S, Ouhara K, Fujita T, Kurihara H, Mizuno N.
J Periodontal Res. 2022; November; Epub
 - 9: The Lipopolysaccharide Mutant Re-LPS Is a Useful Tool for Detecting LPS Contamination in Rheumatoid Synovial Cell Cultures.
Kohno H, Ouhara K, Mokuda S, Tokunaga T, Sugimoto T, Watanabe H, Ishitoku M, Yoshida Y, Mizuno N, Ozawa T, Kawataka M, Hirata S, Kishi H, Sugiyama E. Pathobiology. 2022; November; 89(2); 92-100
 - 10: Periapical lesion following Cnm-positive Streptococcus mutans pulp infection worsens cerebral hemorrhage onset in an SHRSP rat model
Taniguchi Y, Ouhara K, Kitagawa M, Akutagawa K, Kawada-Matsuo M, Tamura T, Zhai R, Hamamoto Y, Kajiya M, Matsuda S, Maruyama H, Komatsuzawa H, Shiba H, Mizuno N
Clinical and Experimental Immunology 2022; December; 210(3); 321-330
 - 11: Anti-Inflammatory Effects of Geniposidic Acid on Porphyromonas gingivalis-Induced Periodontitis in Mice
Tamura T, Zhai R, Takemura T, Ouhara K, Taniguchi Y, Hamamoto Y, Fujimori R, Kajiya M, Matsuda S, Munenaga S, Fujita T and Mizuno N
Biomedicines 2022; December; 10(12); 3096

B) 総説

C) 著書

D) その他の出版物

E) 学会発表

- 1: Clumps of MSCs/ECM complexes は自身の分化能によって歯周組織再生を促進する
曾根 久勝, 加治屋 幹人, 佐々木 慎也, 堀越 励, 小川 智也, 森本 進, 吉井 寛毅,
吉野 舞, 松田 真司, 岩田 倫幸, 應原 一久, 水野 智仁
第 65 回春季日本歯周病学会学術大会 (2022 年 6 月, 東京)
- 2: ブチリデンフタリドを用いた薬物性歯肉増殖症の治癒効果の検証
上田 智也, 松田 真司, 二宮 由梨香, 岡信 愛, 畑野 紗希, 目見田 匠,
加治屋 幹人, 應原 一久, 水野 智仁
第 65 回春季日本歯周病学会学術大会 (2022 年 6 月, 東京)
- 3: セメント質剥離を伴う下顎右側中切歯の唇側垂直性骨欠損に対して歯周組織再生療法 (リ

- グロス®) が奏功した症例
永原 隆吉, 徳丸 操, 上田 智也, 河野 祥子, 岩田 倫幸, 應原 一久, 水野 智仁
第 65 回春季日本歯周病学会学術大会 (2022 年 6 月, 東京)
- 4: 継続した歯科保健指導が知的障害を有する患者及び介助者の行動変容をもたらした口腔衛生状態の改善につながった 2 症例
小園 知佳, 加治屋 幹人, 徳井 文, 木村 祥子, 中岡 美由紀, 吉田 結梨子, 尾田 友紀, 岡田 芳幸
第 65 回春季日本歯周病学会学術大会 (2022 年 6 月, 東京)
- 5: 3 次元培養間葉系幹細胞集塊を用いた骨髄脂肪組織様 in vitro モデルの開発
吉野 舞, 加治屋 幹人, 森本 慎, 吉井 寛毅, 堀越 励, 曾根 久勝, 岩田 倫幸, 應原 一久, 松田 真司, 水野 智仁
第 43 回日本炎症・再生学会 (2022 年 7 月, 淡路/web 開催)
- 6: 全身性強皮症患者に出現した多発性歯根外部吸収のメカニズム解明
目見田 匠, 松田 真司, 水野 智仁
第 40 回日本骨代謝学会学術集会 (2022 年 7 月, 岐阜)
- 7: 軟骨分化・骨硬化誘導を併用した間葉系幹細胞集塊 Clumps of MSCs/ECM complexes の移植は軟骨内骨化の様式を経て骨再生を促進する
森本 慎, 加治屋 幹人, 吉井 寛毅, 吉野 舞, 岩田 倫幸, 水野 智仁
第 40 回日本骨代謝学会学術集会 (2022 年 7 月, 岐阜)
- 8: *porphyromonas gingivalis* 由来ジンジパイン抗体の歯周組織破壊への影響についての検討
田村 哲也, 應原 一久, Ruoqi Zhai, 竹村 翼, 谷口 友梨, 濱本 結太, 藤森 良介, 加治屋 幹人, 松田 真司, 宗永 修一, 藤田 剛, 水野 智仁
第 65 回秋季日本歯周病学会学術大会 (2022 年 9 月, 仙台)
- 9: 全身性疾患への影響を考慮した新たな歯周病重症度検査項目の策定～学会主導型多施設臨床研究～
松田 真司, 菅谷 勉, 加藤 幸紀, 根本 英二, 竹内 康雄, 喜田 大智, 沼部 幸博, 西田 哲也, 小方 頼昌, 申 基喆, 長野 孝俊, 両角 俊哉, 小松 康高, 出分 菜々衣, 神谷 洋介, 北村 正博, 田口 洋一郎, 高柴 正悟, 湯本 浩通, 山下 明子, 吉永 泰周, 吉村 篤利, 河口 浩之
第 65 回秋季日本歯周病学会学術大会 (2022 年 9 月, 仙台)
- 10: 高齢者の薬物性歯肉増殖症を伴う広汎型慢性歯周炎に対して初期糖尿病の発見と改善および降圧剤未変更下で歯周治療が奏功した症例
永原 隆吉, 徳丸 操, 上田 智也, 河野 祥子, 岩田 倫幸, 應原 一久, 水野 智仁
第 65 回秋季日本歯周病学会学術大会 (2022 年 9 月, 仙台)
- 11: YAP/TAZ メカノシグナルは間葉系幹細胞の細胞保護因子産生を制御する
吉井 寛毅 加治屋 幹人, 吉野 舞
第 64 回歯科基礎医学会学術大会 (2022 年 9 月, 徳島)
- 12: 3 次元培養間葉系幹細胞集塊を用いた骨髄脂肪組織様 in vitro モデルの開発
吉野 舞, 加治屋 幹人, 吉井 寛毅
第 64 回歯科基礎医学会学術大会 (2022 年 9 月, 徳島)
- 13: *Cnm* 陽性 *Streptococcus mutans* 歯髄感染が脳出血を誘導するメカニズムの解明
谷口 友梨, 應原 一久, 北川 雅恵, 松尾 美樹, 濱本 結太, 加治屋 幹人, 松田 真司, 丸山 博文, 小松澤 均, 柴 秀樹, 水野 智仁
日本歯科保存学会 2022 年度秋季学術大会 (第 157 回) 第 24 回日韓歯科保存学会学術大会 (2022 年 11 月, 岡山)
- 14: 包括治療により関節炎症状の改善がみられた口腔崩壊症例
永原 隆吉, 岩田 倫幸, 應原 一久, 水野 智仁
日本歯科保存学会 2022 年度秋季学術大会 (第 157 回) 第 24 回日韓歯科保存学会学術大会 (2022 年 11 月, 岡山)
- 15: HIV 感染者の歯周治療効果に及ぼす CD4 数の影響について
岡田 美穂, 新谷 智章, 岩田 倫幸, 川越 麻衣子, 山崎 尚也, 井上 暢子,

- 古玉 大祐, 武田 克浩, 中岡 美由紀, 水野 智仁, 藤井 輝久, 加治屋 幹人,
柴 秀樹
第 61 回広島県歯科医学会・第 106 回広島大学歯学会例会 (2022 年 11 月, 広島)
- 16: HIV 感染者の歯周治療効果に及ぼす CD4 数の影響について
新谷 智章, 岡田 美穂, 岩田 倫幸, 川越 麻衣子, 山崎 尚也, 井上暢子,
藤井 輝久, 柴 秀樹
第 36 回日本エイズ学会学術集会 (2022 年 11 月, 浜松)

F) 学会シンポジウム, 特別講演

- 1: 招待講演
歯周組織における免疫応答と 全身疾患への影響
應原 一久
リウマチ WEB セミナー/ブリストル・マイヤーズスクイブ株式会社 (2022 年 1 月, Web 配
信)
- 2: 招待講演
歯周外科治療後の患者フォローとその後の治療計画
水野 智仁
保険診療で行う歯周外科治療ベーシック Web セミナー/科研製薬 (2022 年 3 月, Web 配信)
- 3: 招待講演
歯周病原細菌 *Porphyromonas gingivalis* 感染が影響する関節リウマチと SDGs
應原 一久
第 76 回 NPO 法人日本口腔科学会学術集会 (2022 年 4 月, 福岡)

(4) 科学研究費補助金等の受領状況

- 1: 科学研究費補助金 (基盤研究(C)): 水野 智仁: 侵襲性歯周炎の新規責任遺伝子の同定
と病態解析, 課題番号: 22K10000
- 2: 科学研究費補助金 (基盤研究(C)): 應原 一久: 関節リウマチ患者由来 ACPA と歯周病原
菌関連タンパクによる歯周組織破壊機序の解明, 課題番号: 22K09983
- 3: 科学研究費補助金 (基盤研究(C)): 岡信 愛: インテグリンを標的とした薬物性歯肉増
殖症の新規治療法の開発, 課題番号: 22K10001
- 4: 科学研究費助成事業 (若手研究): 佐々木 慎也: 間葉系幹細胞集塊 (C-MSCs) を用いた
インプラント周囲炎の再生治療の開発, 課題番号: 22K17092
- 5: 科学研究費補助金 (若手研究): 堀越 励: 生体外で軟骨内骨化を誘導した間葉系幹細胞
集塊を用いた新規歯周組織再生療法の開発, 課題番号: 22K17060
- 6: 科学研究費補助金 (若手研究): 田利 美沙子: 歯周炎による NAFLD 増悪における腸管バ
リア機能の関与の解明, 課題番号: 22K17039
- 7: 科学研究費補助金 (基盤研究(B)): 應原 一久: Cnm 陽性う蝕原因細菌の PRIP を介した
脳出血増悪機序解明による健康寿命の延伸, 課題番号: 21H03120
- 8: 科学研究費補助金 (基盤研究(B)): 應原 一久: 歯周病原細菌が心房細動の病態に及ぼ
す影響に関する総合的研究, 課題番号: 21H03112
- 9: 科学研究費補助金 (基盤研究(B)): 應原 一久: ACPA 可変領域の N 結合型糖鎖が引き起
こす関節リウマチ病態メカニズムの解明, 課題番号: 21H02962
- 10: 特別研究員奨励費: 目見田 匠: 全身性強皮症に出現する多発性骨置換性歯根外部吸収の
メカニズム解明研究, 課題番号: 21J14643

- 11: 11. 科学研究費補助金(基盤研究(C)):岩田 倫幸: エクソソームを介する歯周組織再生メカニズム解明および歯周組織再生治療法への応用, 課題番号: 20K09975
- 12: 12. 科学研究費補助金(基盤研究(C)): 應原 一久: 全身疾患関連口腔細菌遺伝子の迅速検出法の確立, 課題番号: 20K09940
- 13: 13. 科学研究費助成事業(若手研究):佐々木 慎也: BDNF を用いた新規インプラント周囲炎治療法開発の基礎研究, 課題番号: 20K18574
- 14: 14. 広島大学創発的次世代研究者育成・支援プログラム: 谷口 友梨, Cnm 陽性う蝕原因細菌の PRIP を介した脳出血増悪機序解明に関する研究
- 15: 15. 広島大学創発的次世代研究者育成・支援プログラム:中嶋 良徳, ロモソズマブによる顎骨壊死発症の検証およびそのメカニズム解明の研究
- 16: 16. 広島大学創発的次世代研究者育成・支援プログラム:吉野 舞, 3次元培養間葉系幹細胞集塊と血管内皮細胞の共培養を用いた骨再生療法開発
- 17: 17. 広島大学創発的次世代研究者育成・支援プログラム:二宮 由梨香, インテグリンを標的とした薬物性歯肉増殖症の治療開発
- 18: 18. 広島大学創発的次世代研究者育成・支援プログラム:河野 祥子, 脳由来神経栄養因子(BDNF)を応用したインプラント周囲炎に対する骨再生治療法の開発
- 19: 19. 広島大学創発的次世代研究者育成・支援プログラム:藤森 良介, 関節リウマチ患者由来 ACPA と歯周病原菌関連タンパクによる免疫複合体の病原性に関する研究
- 20: 20. 広島大学創発的次世代研究者育成・支援プログラム:安田佳祐, 歯周炎が関連する全身の慢性炎症に対して性差が及ぼす影響

(5) 学会賞等の受賞状況

- 1: 畑野 紗希
日本歯周病学会奨励賞
薬物性歯肉増殖症における NR4A1 の役割
- 2: 谷口 友梨
日本歯科保存学会 2022 年度(秋季) 学術大会(第 157 回) 研究領域 B
ジーシー優秀ポスター賞
Cnm 陽性 Streptococcus mutans 歯髄感染が脳出血を誘導するメカニズムの解明
- 3: 畑野 紗希
広島大学女性研究者奨励賞
ロモソズマブによる顎骨壊死発症の検証およびそのメカニズム解明の研究

(6) 特許

[目次へ戻る](#)

口腔腫瘍制御学 及び口腔再建外科（顎・口腔外科）

（１）職員並びに学生

教授 : 柳本惣市 (*）科長：柳本惣市（併任）
 准教授 : 虎谷茂昭（～3月）
 講師 : 林堂安貴
 助教 : 谷 亮治, 吉岡幸男（学内講師）, 小泉浩一, 角 健作, 浜名智昭,
 砂田（山崎）佐知子, 濱田充子, 檜垣美雷
 医員 : 木村直大, 伊藤奈七子, 上田（田口）有紀, 大林史誠, 小林（福谷）多恵子,
 三島健史
 研修登録医: 明見能成, 藤田善教(5月～), 岡本康正（～3月）, 石田康隆, 伊藤 翼,
 山崎恵里佳（5月～）
 大学院生 : 高橋秀明, 岡本健人, 烏帽子田夏希, 松山たまも
 専門研究員: 神田 拓, 櫻井 繁, 廣田 傑（～3月）, 中瀬洋司（～3月）, 信本忠義

（２）主な研究活動

- 1: 口腔癌に対する EBM 確立のための多機関共同臨床研究
- 2: 口腔癌における血中循環腫瘍細胞と cfDNA の解析
- 3: 遠隔操作可能な歯科用チェアへの開発に関する研究
- 4: 口腔癌患者の腸内並びに口腔内細菌叢に関する研究

（３）研究業績

A) 原著（症例報告を含む）

- 1: Impact of maximum tongue pressure in patients with jaw deformities who underwent orthognathic surgery: Koizumi K, Shintani T, Yoshimi Y, Higaki M, Kunimatsu R, Yoshioka Y, Tsuga K, Tanimoto K, Shiba H, Toratani S.: *Diagnosits*, 12(2), 404, 2022.
- 2: Identification of a Cowden syndrome patient with a novel PTEN mutation and establishment of patient derived induced pluripotent stem cells: Obayashi F, Hamada A, Yamasaki S, Kanda T, Toratani S, Okamoto T.: *In Vitro Cell Dev Biol Anim*, 58(1), 69-78, 2022.
- 3: Nivolumab monotherapy after induction chemotherapy, bioradiotherapy, and cetuximab monotherapy leading to complete remission of locoregional advanced tongue cancer: A case report: Yoshioka Y, Hamana T, Mishima T, Tani R, Toratani S, Okamoto T.: *Oral Sci Int*, 19, 72-76, 2022.
- 4: A case of lichenoid oral mucositis associated with nivolumab therapy: Ito N, Tani R, Obayashi F, Okamoto K, Toratani S, Okamoto T.: *Oral Sci Int*, 19, 68-71, 2022.
- 5: Effects of tongue pressure on cerebral blood volume dynamics: a functional near-infrared spectroscopy study: Miyata H, Tani R, Toratani S, Okamoto T.: *Brain Sci*, 12(2), 296, 2022.
- 6: Two cases of temporomandibular synovial chondromatosis associated with *Gli1* gene mutation: Fukutani T, Toratani S, Kanda T, Matsui K, Yamasaki S, Sumi K, Ogawa I, Yanamoto S.: *Int J Environ Res Public Health*, 19(8), 4702, 2022.
- 7: Simultaneous defect reconstruction in stage 3 medication-related osteonecrosis of the maxilla and mandible using the buccal fat flap and submental island flap: case report: Myoken Y, Kawamoto T, Fujita Y, Toratani S.: *J Dent Sci*, 17(2), 1066-1068, 2022.
- 8: Identification of a familial cleidocranial dysplasia with a novel RUNX2 mutation and establishment of patient-derived induced pluripotent stem cells: Hamada A, Mukasa H, Taguchi Y, Akagi E, Obayashi F, Yamasaki S, Kanda T, Koizumi K, Toratani S, Okamoto T.: *Odontology*, 110(3), 444-451, 2022.
- 9: VEGF-A promotes the motility of human melanoma cells through the VEGFR1-PI3K/Akt signaling

- pathway: Koizumi K, Shintani S, Hamada A, Higaki M, Yoshioka Y, Sakamoto A, Yanamoto S, Okamoto T.: *In Vitro Cell Dev Biol Anim*, 58(8), 758-770, 2022.
- 10: A rare case of pleomorphic adenoma originating at the tip of palatine uvula: Obayashi F, Yamasaki S, Ito N, Toratani S.: *J Oral Maxillofac Surg Med Pathol*, 34(6), 784-787, 2022.
 - 11: Evaluation of oral mucosal lesions using the IllumiScan® fluorescence visualisation device: Distinguishing squamous cell carcinoma: Taguchi Y, Toratani S, Matsui K, Hayashi S, Eboshida, N, Hamada A, Ito N, Obayashi F, Kimura N, Yanamoto S.: *Int J Environ Res Public Health*, 19(16), 10414, 2022.
 - 12: Treatment and prognosis of oral cancer patients with confirmed contralateral neck metastasis: a multicenter retrospective analysis: Sakamoto Y, Otsuru M, Hasegawa T, Akashi M, Yamada SI, Kurita H, Okura M, Yamakawa N, Kirita T, Yanamoto S, Umeda M, Kojima Y.: *Int J Environ Res Public Health*, 19(15), 9229, 2022.
 - 13: Whole blood transcriptome profiling identifies gene expression subnetworks and a key gene characteristic of the rare type of osteomyelitis: Yahara H, Yanamoto S, Takahashi M, Hamada Y, Sakamoto H, Asaka T, Kitagawa Y, Moridera K, Noguchi K, Sugiyama M, Maruoka Y, Yahara K.: *Biochem Biophys Rep*, 32, 101328, 2022.
 - 14: Protocol for a multicentre, prospective observational study of elective neck dissection for clinically node-negative oral tongue squamous cell carcinoma (END-TC study): Yanamoto S, Michi Y, Otsuru M, Inomata T, Nakayama H, Nomura T, Hasegawa T, Yamamura Y, Yamada SI, Kusakawa J, Yamakawa N, Hasegawa O, Ueda M, Kitagawa Y, Hiraki A, Hasegawa T, Ohiro Y, Kobayashi W, Asoda S, Kobayashi T, Iino M, Fukuda M, Ishibashi-Kanno N, Kawaguchi K, Aijima R, Noguchi K, Okura M, Tanaka A, Sugiura T, Shintani Y, Yagihara K, Yamashiro M, Ota Y, Miyazaki A, Takeshita A, Kawamata H, Hiroshi I, Uchida K, Umeda M, Kurita H, Kirita T.: *BMJ Open*, 12(9), e059615, 2022.
 - 15: A preliminary clinical study of segmental mandibulectomy on medication-related osteonecrosis of the jaw: Otsuru M, Soutome S, Hayashida S, Rokutanda S, Yanamoto S, Umeda M.: *J Dent Sci*, 17(1), 444-450, 2022.
 - 16: Imaging findings and treatment outcomes of a rare subtype of medication-related osteonecrosis of the jaw: Otsuru M, Soutome S, Hayashida S, Yanamoto S, Sasaki M, Takagi Y, Sumi M, Umeda M.: *J Bone Miner Metab*, 40(1), 150-156, 2022.
 - 17: Long-term immunosuppressive therapy for leads to poor outcomes in patients with oral squamous cell carcinoma: Naruse T, Yanamoto S, Otsuru M, Okuyama K, Morishita K, Yamada SI, Umeda M.: *J Oral Maxillofac Surg Med Pathol*, 34(3), 275-279, 2022.
 - 18: Effects of sleep position on the treatment response of oral appliance for obstructive sleep apnea: Akahoshi R, Yanamoto S, Sakamoto Y, Naruse T, Hayashida S, Soutome S, Nakamura W, Umeda M.: *Cranio*, 40(3), 262-267, 2022.
 - 19: Prevalence of immune-related adverse events and anti-tumor efficacy following immune checkpoint inhibitor therapy in Japanese patients with various solid tumors: Yoshikawa Y, Imamura M, Yamauchi M, Hayes CN, Aikata H, Okamoto W, Miyata Y, Okada M, Hattori N, Sugiyama K, Yoshioka Y, Toratani S, Takechi M, Ichinohe T, Ueda T, Takeno S, Kobayashi T, Ohdan H, Teishima J, Hide M, Nagata Y, Kudo Y, Iida K, Chayama K.: *BMC Cancer*, 22(1), 1232, 2022.
 - 20: Analgesia-based sedation for oral surgery in patients with chronic respiratory obstructive disease: Takahashi T, Yoshida M, Ono S, Kanda T, Obayashi F, Kamio H, Oda A, Oue K, Mukai A, Doi M, Shimizu Y.: *J Craniofac Surg*, 34(1), e70-74, 2022.
 - 21: First isolation of vancomycin-resistant enterococcus faecium carrying plasmid-borne vanD1: Hisatsune J, Tanimoto K, Kohara T, Myoken Y, Tomita Y, Sugai M.: *Antimicrob Agents Chemother*, 66(11), e0102922, 2022.
 - 22: 全国歯科大学・歯学部における睡眠歯科学の学生教育に関する実態調査：奥野健太郎，後藤基宏，犬飼周佑，猪子芳美，川上哲司，佐藤貴子，柳本惣市，外木守雄：睡眠口腔医学，8（3），56-63，2022.
 - 23: 口蓋に発生した嚢胞腺腫の1例：伊藤奈七子，小泉浩一，大林史誠，坂本真一，安藤俊範，虎谷茂昭：広大歯誌，54(1)，34-38，2022.
 - 24: 免疫チェックポイント阻害剤投与口腔癌患者の臨床的検討：吉岡幸男，虎谷茂昭，小野重弘，谷亮治，小泉浩一，浜名智昭，水田邦子，中川貴之，林靖也，安藤俊範，坂本真一，武知正晃，宮内睦美，岡本哲治：口科誌，71(3)，161-172，2022.
 - 25: MTX内服患者の口腔内に生じたEBV陽性皮膚粘膜潰瘍の3例および本邦報告例25例の文献的考察：大森景介，大鶴光信，片瀬直樹，森下廣太，柳本惣市，林田 咲，梅田正博：

- 口腔腫瘍, 34(1), 39-48, 2022.
- 26: 口蓋部に発生した血管平滑筋腫の1例と本邦報告例92例の文献的考察: 陶山弘暉, 徳久美都子, 鳴瀬智史, 柳本惣市, 梅田正博, 岡野慎士, 六反田 賢: 口腔腫瘍, 34(1), 49-55, 2022.
- 27: 開口障害を初発症状とした側頭骨ランゲルハンス細胞組織球症の1例: 古川浩平, 鳴瀬智史, 津田翔真, 片瀬直樹, 柳本惣市, 梅田正博: 口腔腫瘍, 34(1), 57-63, 2022.
- 28: 尾道総合病院における12年間の学年継承治療の臨床統計学的検討: 伊藤 翼, 三島健史, 鷹津冬良, 原 潤一, 浜名智昭, 神田 拓, 小泉浩一, 小林雅史, 谷 亮治, 柳本惣市, 岡本哲治: 厚生連尾道総合病院医報, 32(1), 3-9, 2022.

B) 総説

- 1: 睡眠呼吸障害における口腔内装置による治療の役割: 柳本惣市 (単著): 睡眠口腔医学, 8(3), 52-55, 2022.
- 2: Integrating Genetic Alterations and the Hippo Pathway in Head and Neck Squamous Cell Carcinoma for Future Precision Medicine: Ando T, Okamoto K, Shintani T, Yanamoto S, Miyauchi M, Gutkind JS, Kajiya M.: J Pers Med, 12(10), 1544, 2022.
- 3: TMEM16A as a Potential Treatment Target for Head and Neck Cancer: Okuyama K, and Yanamoto S.: J Exp Clin Cancer Res, 41(1), 196, 2022.

C) 著書

該当なし

D) その他の出版物

該当なし

E) 学会発表

- 1: ステージ3の下顎薬剤関連顎骨壊死 (MRONJ) に対する外科療法: オトガイ下皮弁の応用: 櫻井 繁, 明見能成, 藤田善教, 虎谷茂昭: 第50回(公社)日本口腔外科学会 中国四国支部学術集会 (岡山 (WEB)), 2022. 1. 22.
- 2: 長期間にわたり再発とリンパ節転移をくりかえした腺様嚢胞癌の1例: 松井健作, 神田拓, 上田結芽, 川畑秀雄, 新保慶輔, 服部 結, 西阪 隆, 桐山 健: 第50回(公社)日本口腔外科学会中国四国支部学術集会 (岡山 (WEB)), 2022. 1. 22.
- 3: 遺伝子解析により確定診断を得た口唇腺原発の分泌癌の1例: 濱田充子, 谷 亮治, 木村直大, 田口有紀, 安藤俊範, 廣田 傑, 岡本康正, 虎谷茂昭: 第50回(公社)日本口腔外科学会中国四国支部学術集会 (岡山 (WEB)), 2022. 1. 23.
- 4: 早期舌扁平上皮癌における頸部リンパ節転移に関する検討-多施設共同研究の結果から-: 山川延宏, 桐田忠昭, 梅田正博, 柳本惣市, 大倉正也, 太田嘉英, 大鶴光信, 栗田 浩, 山田慎一, 明石昌也, 長谷川巧実, 上田倫弘: 第40回日本口腔腫瘍学会総会・学術大会 (群馬 (WEB)), 2022. 2. 14~3. 13.
- 5: 術後再発転移高リスク因子の再考とその対応-多施設共同研究から-: 長谷川巧実, 寛康正, 山川延宏, 桐田忠昭, 大倉正也, 柳本惣市, 大鶴光信, 梅田正博, 山田慎一, 栗田浩, 平井英治, 林 信, 上田倫弘, 明石昌也: 第40回日本口腔腫瘍学会総会・学術大会 (群馬 (WEB)), 2022. 2. 14~3. 13.
- 6: 下顎歯肉癌の治療成績の検討および外科的治療の再考-多施設共同研究から-: 山川延宏, 大倉正也, 長谷川巧実, 明石昌也, 柳本惣市, 大鶴光信, 梅田正博, 山田慎一, 栗田 浩, 平井英治, 林 信, 上田倫弘, 上田順宏, 桐田忠昭: 第40回日本口腔腫瘍学会総会・学術大会 (群馬 (WEB)), 2022. 2. 14~3. 13.

- 7: 顎骨中心性扁平上皮癌の治療成績に関する多施設共同後ろ向き観察研究: Japan Oral Oncology Group (J00G) study: 鳴瀬智史, 大鶴光信, 長谷川巧実, 明石昌也, 大倉正也, 山川延宏, 桐田忠昭, 山田慎一, 栗田 浩, 林 信, 上田倫弘, 柳本惣市, 梅田正博: 第40回日本口腔腫瘍学会総会・学術大会(群馬(WEB)), 2022.2.14~3.13.
- 8: 悪性黒色腫の治療と予後-多施設共同後ろ向き研究より-: 山田慎一, 長谷川巧実, 柳本惣市, 鎌田孝広, 大鶴光信, 山川延宏, 田村優志, 大倉正也, 山下徹郎, 高後友之, 林 信, 上田倫弘, 明石昌也, 桐田忠昭, 太田嘉英, 梅田正博, 栗田 浩: 第40回日本口腔腫瘍学会総会・学術大会(群馬(WEB)), 2022.2.14~3.13.
- 9: 術後原発頸部制御例における遠隔転移高リスク因子の再考-多施設共同研究から-: 寛 康正, 長谷川巧実, 山川延宏, 桐田忠昭, 大倉正也, 柳本惣市, 大鶴光信, 梅田正博, 山田慎一, 栗田 浩, 平井英治, 林 信, 上田倫弘, 明石昌也: 第40回日本口腔腫瘍学会総会・学術大会(群馬(WEB)), 2022.2.14~3.13.
- 10: 口腔癌後方進展例において翼突下顎縫線を意識した手術について: 大鶴光信, 柳本惣市, 鳴瀬智史, 森下廣太, 坂元 裕, 大森景介, 三好太郎, 林田 咲, 川崎五郎, 村田真穂, 角 美佐, 梅田正博: 第40回日本口腔腫瘍学会総会・学術大会(群馬(WEB)), 2022.2.14~3.13.
- 11: 多施設後ろ向き試験による舌癌における手術断端近接症例の検討-Japan Oral Oncology Group (J00G) study-: 大鶴光信, 長谷川巧実, 明石昌也, 山川延宏, 桐田忠昭, 大倉正也, 山田慎一, 栗田 浩, 平井英治, 山本晃三, 猪俣 徹, 里見貴史, 齋藤寛一, 野村武史, 古川浩平, 鳴瀬智史, 柳本惣市, 梅田正博: 第40回日本口腔腫瘍学会総会・学術大会(群馬(WEB)), 2022.2.14~3.13.
- 12: 口腔癌頸部リンパ節転移節外浸潤の進展に関する免疫組織学的検討: 福嶋大将, 鳴瀬智史, 柳本惣市, 大森景介, 古川浩平, 梅田正博: 第40回日本口腔腫瘍学会総会・学術大会(群馬(WEB)), 2022.2.14~3.13.
- 13: 当科における再発・転移口腔癌に対し Pembrolizumab を用いた症例: 三好太郎, 大森景介, 中村則夫, 福嶋大将, 鳴瀬智史, 大鶴光信, 柳本惣市, 梅田正博: 第40回日本口腔腫瘍学会総会・学術大会(群馬(WEB)), 2022.2.14~3.13.
- 14: ミコナゾール口腔付着錠による口腔・中咽頭癌放射線治療時の口腔カンジダ症予防: 五月さき子, 大鶴光信, 三好太郎, 大森景介, 坂元 裕, 森下廣太, 林田 咲, 鳴瀬智史, 村田真穂, 柳本惣市, 梅田正博: 第40回日本口腔腫瘍学会総会・学術大会(群馬(WEB)), 2022.2.14~3.13.
- 15: 骨吸収抑制薬関連顎骨壊死(ARONJ)に由来した側頭部ガス壊疽の1例: 村田美月, 松坂由紀, 伊藤晴菜, 伊藤 翼: 第150回広島皮膚科地方会(広島), 2022.2.27.
- 16: 当科における再建用チタンプレートによる下顎再建後の合併症の検討: 木村直大, 吉岡幸男, 檜垣美蕾, 濱田充子, 浜名智昭, 小泉浩一, 谷 亮治, 虎谷茂昭, 柳本惣市: 第76回NPO法人日本口腔科学会学術集会(福岡), 2022.4.21~4.23.
- 17: 口腔扁平上皮癌におけるAXLのYAP活性化およびEGFR阻害薬耐性機構の解明: 岡本健人, 安藤俊範, 虎谷茂昭, 柳本惣市, 宮内睦美: 第76回NPO法人日本口腔科学会学術集会(福岡), 2022.4.21~4.23.
- 18: Lemierre 症候群が疑われた菌性感染症の1例: 松山たまも, 浜名智昭, 濱田充子, 檜垣美雷, 虎谷茂昭, 柳本惣市: 第76回NPO法人日本口腔科学会学術集会(福岡), 2022.4.23.
- 19: 公立下蒲刈病院において歯科による口腔ケアを実施した入院患者の全身および口腔内状態の評価: 石田康隆, 東ひとみ, 永原美佳, 丸本明美: 第19回日本口腔ケア学会総会・学術大会, 第2回国際口腔ケア学会・学術集会(合同開催)(大阪), 2022.4.23~24.
- 20: Clinical analysis of mandibular reconstruction with titanium plate in patients with oral cancer: Kimura N, Yoshioka Y, Higaki M, Hamada A, Hamana T, Koizumi K, Tani R, Toratani S, Yanamoto S.: The 55th Annual Meeting of Hiroshima University Dental Society (Hiroshima), 2022.6.11.
- 21: AXL activates YAP and confers resistance to EGFR inhibitors in oral squamous cell carcinoma: Okamoto K, Ando T, Kajiya M, Yanamoto S, Miyauchi M.: The 55th Annual Meeting of Hiroshima University Dental Society (Hiroshima), 2022.6.11.
- 22: 広島大学病院口腔外科における免疫チェックポイント阻害剤投与口腔癌患者の臨床的検討: 吉岡幸男, 小野重弘, 小泉浩一, 浜名智昭, 中川貴之, 檜垣美雷, 相川友直, 柳本惣

- 市：第46回日本頭頸部癌学会（奈良），2022.6.17～6.18.
- 23: 口腔扁平上皮癌頸部リンパ節転移の節外浸潤進展度の臨床的意義に関する検討：檜垣美雷，安藤俊範，吉岡幸男，小泉浩一，浜名智昭，山崎佐知子，濱田充子，伊藤奈七子，木村直大，田口有紀，大林史誠，福谷多恵子，岡本健人，烏帽子田夏希，松山たまも，柳本惣市：第46回日本頭頸部癌学会（奈良），2022.6.17～6.18.
- 24: 治療開始前の外科的介入が歯肉扁平上皮癌の予後に与える影響に関する検討：大森景介，鳴瀬智史，福嶋大将，三好太郎，古川浩平，大鶴光信，柳本惣市，梅田正博：第46回日本頭頸部癌学会（奈良），2022.6.17～6.18.
- 25: 多施設後ろ向き試験による舌癌における手術断端近接症例の検討 J00G study(RA2101)：大鶴光信，長谷川巧実，山川延宏，大倉正也，山田慎一，平井英治，猪俣 徹，齋藤寛一，三浦桂一郎，古川浩平，鳴瀬智史，柳本惣市，梅田正博：第46回日本頭頸部癌学会（奈良），2022.6.17～6.18.
- 26: 口腔癌頸部リンパ節転移節外浸潤に関する臨床病理学的検討：古川浩平，福嶋大将，鳴瀬智史，大森景介，三好太郎，大鶴光信，柳本惣市，梅田正博：第46回日本頭頸部癌学会（奈良），2022.6.17～6.18.
- 27: 口腔癌における後発リンパ節転移までの期間と予後に関する臨床的検討：鳴瀬智史，大鶴光信，古川浩平，福嶋大将，大森景介，坂元 裕，三好太郎，中村則夫，柳本惣市，梅田正博：第46回日本頭頸部癌学会（奈良），2022.6.17～6.18.
- 28: 口腔癌後方進展例における翼突下顎縫線浸潤分類の検討：大鶴光信，柳本惣市，鳴瀬智史，森下廣太，坂元 裕，大森景介，角 美佐，梅田正博：第46回日本頭頸部癌学会（奈良），2022.6.17～6.18.
- 29: 顎骨中心性扁平上皮癌に関する多施設共同後ろ向き観察研究:Japan Oral Oncology Group(J00G)study：鳴瀬智史，大鶴光信，長谷川巧実，明石昌也，大倉正也，山川延宏，桐田忠昭，山田慎一，栗田 浩，林 信，上田倫弘，柳本惣市，梅田 正博：第46回日本頭頸部癌学会（奈良），2022.6.17～6.18.
- 30: 再発・転移口腔癌に対する pembrolizumab の使用経験：三好太郎，大森景介，中村則夫，福嶋大将，大鶴光信，柳本惣市，梅田正博：第46回日本頭頸部癌学会（奈良），2022.6.17～6.18.
- 31: Multi-institutional research of oral cancer in Japan: Yanamoto S, Umeda M, Kurita H, Yamada SI, Ota Y, Okura M, Ueda M, Hasegawa T, Yamakawa N, Kirita T.: International Association of Oral Oncology 2022 (Chicago), 2022.6.23.
- 32: AXLによるYAP活性化とEGFR阻害薬耐性機構の解明：岡本健人：先端歯学スクール2022（徳島），2022.8.26～8.27.
- 33: 当院摂食嚥下チームの活動推進にむけた取り組みと今後の課題：下村清夏，大原かおり，近藤泰子，江原寛尚，川崎育美，中村のぞみ，岩見裕信，世良武大，上田結芽，松井健作，神田 拓：第14回日本臨床栄養代謝学会 中国四国支部学術集会（広島（WEB）），2022.8.27.
- 34: 周術期管理センターのチーム医療において口腔管理の果たす役割：延原 浩，眞次康弘，伊藤圭子，福田秀樹，石橋里美，青木由紀，佐々木絵理，川井千恵子，松井健作，神田拓：第14回日本臨床栄養代謝学会 中国四国支部学術集会（広島（WEB）），2022.8.27.
- 35: 大腿骨近位部骨折急性期患者の嚥下機能：田中正宏，菊川和彦，露口勇輔，渡邊能，五島寛治，出家正佳，有田裕一，松岡聖剛，月坂和宏：第24回骨粗鬆症学会（大阪），2022.9.2～9.4.
- 36: 顎口腔再建におけるVirtual Surgical Planningによる下顎再建の有用性：浜名智昭，吉岡幸男，伊藤奈七子，福谷多恵子，松山たまも，烏帽子田夏希，岡本健人，高橋秀明，三島健史，大林史誠，田口有紀，木村直大，檜垣美雷，濱田充子，山崎佐知子，角 健作，小泉浩一，谷 亮治，林堂安貴，永松将吾，佐々木彩乃，藤岡弓朗，藤田明日香，光嶋勲，柳本惣市：第116回 広島がん治療研究会（広島），2022.9.10.
- 37: AXLによる新たなHippo経路制御機構の解明：安藤俊範，岡本健人，柳本惣市，宮内睦美：第33回日本口腔臨床口腔病理学会 第32回日本口腔内科学会 第35回日本口腔診断学会合同学術大会（札幌），2022.9.22～24.
- 38: 嚥下機能障害患者における抗精神病薬の影響：長田一晃，森川記道，安原昌宏，横山匠太，

- 原田靖子, 有田裕一: 第 32 回日本医療薬学会 (高崎), 2022. 9. 23~25.
- 39: Multicentre, prospective observational study of elective neck dissection for clinically node-negative oral tongue squamous cell carcinoma (END-TC study) -An ongoing study in Japan-: Yanamoto S, Umeda M, Kurita H, Kirita T.: European Association of Craniofacial Maxillofacial Surgery 2022 (Madrid), 2022. 9. 27.
- 40: 全身麻酔下にて上顎嚢胞摘出術を施行した糖原病 1 a 患児の一例: 大林史誠, 谷 亮治, 檜垣美雷, 濱田充子, 山崎佐知子, 伊藤奈七子, 柳本惣市: 第 69 回 NPO 法人日本口腔科学会中国四国地方部会 (鳥取 (WEB)), 2022. 10. 22.
- 41: 下顎の薬剤関連顎骨壊死 (MRONJ) におけるオトガイ下皮弁での外科治療: 櫻井 繁, 明見能成, 藤田善教, 小山 惇, 虎谷茂昭, 柳本惣市: 第 67 回日本口腔外科学会総会・学術大会 (幕張), 2022. 11. 4~6.
- 42: 上下顎のステージ 3 の薬剤関連顎骨壊死 (MRONJ) の再建に頬脂肪体弁とオトガイ下皮弁を用いた 1 例: 小山 惇, 明見能成, 櫻井 繁, 藤田善教, 虎谷茂昭, 柳本惣市: 第 67 回日本口腔外科学会総会・学術大会 (幕張), 2022. 11. 4~6.
- 43: 口腔扁平上皮癌の局所再発に対する救済手術の検討: 伊藤奈七子, 小泉浩一, 三島健史, 福谷多恵子, 上田有紀, 木村直大, 浜名智昭, 吉岡幸男, 谷 亮治, 柳本惣市: 第 67 回日本口腔外科学会総会・学術大会 (幕張), 2022. 11. 4~11. 6.
- 44: cT1-2N0 舌癌の後発リンパ節転移症例の臨床的検討: 大林史誠, 小泉浩一, 檜垣美雷, 伊藤奈七子, 濱田充子, 山崎佐知子, 浜名智昭, 吉岡幸男, 谷 亮治, 柳本惣市: 第 67 回日本口腔外科学会総会・学術大会 (幕張), 2022. 11. 4~11. 6.
- 45: 口腔扁平上皮癌頸部リンパ節転移の節外浸潤進展度の臨床的意義に関する検討: 檜垣美雷, 小泉浩一, 安藤俊範, 谷 亮治, 吉岡幸男, 浜名智昭, 山崎佐知子, 濱田充子, 伊藤奈七子, 木村直大, 田口有紀, 大林史誠, 福谷多恵子, 岡本健人, 烏帽子田夏希, 松山たまも, 柳本惣市: 第 67 回日本口腔外科学会総会・学術大会 (幕張), 2022. 11. 4~11. 6.
- 46: 当科における高齢口腔扁平上皮癌患者の臨床的統計: 濱田充子, 小泉浩一, 大林史誠, 伊藤奈七子, 檜垣美雷, 山崎佐知子, 浜名智昭, 吉岡幸男, 谷 亮治, 柳本惣市: 第 67 回日本口腔外科学会総会・学術大会 (幕張), 2022. 11. 4~11. 6.
- 47: 県立広島病院歯科・口腔外科における顎矯正手術の臨床統計的検討: 大町香衣, 上田結芽, 松井健作, 神田 拓, 桐山 健: 第 68 回日本口腔外科学会総会・学術大会 (幕張), 2022. 11. 4~11. 6.
- 48: オトガイ部に発生した軟骨脂肪腫の 1 例: 上田結芽, 大町香衣, 松井健作, 神田 拓, 服部 結, 西阪 隆, 桐山 健: 第 69 回日本口腔外科学会総会・学術大会 (幕張), 2022. 11. 4~11. 6.
- 49: ニボルマブ後にセツキシマブ+パクリタキセル療法が奏効した頭蓋底浸潤した口唇癌症例: 山崎佐知子, 谷 亮治, 虎谷茂昭, 柳本惣市: 第 67 回日本口腔外科学会総会・学術大会 (幕張), 2022. 11. 4~11. 6.
- 50: 根尖性歯周炎を伴った下顎骨 Paget 病の一例: 廣田 傑, 岡本康正, 金子真弓: 第 67 回日本口腔外科学会総会・学術大会 (幕張), 2022. 11. 4~11. 6.
- 51: MRONJ に由来した側頭部のガス壊疽の 1 例: 伊藤 翼: 第 68 回日本口腔外科学会総会・学術大会 (幕張), 2022. 11. 4~11. 6.
- 52: 全血 RNA-Seq による顎骨骨髓炎の遺伝子発現バイオマーカーの探索: 矢原寛子, 柳本惣市, 高橋美穂, 濱田裕嗣, 浅香卓哉, 北川善政, 森寺邦康, 野口一馬, 丸岡 豊: 第 67 回日本口腔外科学会総会・学術大会 (幕張), 2022. 11. 4~11. 6.
- 53: 多施設後ろ向き試験による早期舌癌における手術断端距離の検討: 大鶴光信, 長谷川巧実, 明石昌也, 山川延宏, 桐田忠昭, 大倉正也, 山田慎一, 栗田 浩, 平井英治, 山本晃三, 猪俣 徹, 里見貴史, 齋藤寛一, 野村武史, 三浦桂一郎, 古川浩平, 鳴瀬智史, 柳本惣市, 梅田正博: 第 67 回日本口腔外科学会総会・学術大会 (幕張), 2022. 11. 4~11. 6.
- 54: 口腔癌切除・再建における手術テクニックとデバイスのイノベーション: 柳本惣市: 第 67 回日本口腔外科学会総会・学術大会 (幕張), 2022. 11. 5.
- 55: 神経線維腫症 1 型 (レックリングハウゼン病) を有する患者に口腔衛生管理を行った 1 例: 和木田敦子, 時数智子, 神田 拓, 福谷多恵子, 尾田友紀, 中岡美由紀, 岡田芳幸: 第 39 回日本障害者歯科学会総会および学術大会 (倉敷), 2022. 11. 4~11. 6.

- 56: 笑気吸入鎮静法導入前後の保護者の不安と効果に対するイメージの変化：渡真由子，盛實俊也，中野将志，神田 拓，尾田友紀，岡田芳幸：第 40 回日本障害者歯科学会総会および学術大会（倉敷），2022. 11. 4～11. 6.
- 57: 口腔ケアによる SSI 予防：延原 浩，眞次康弘，伊藤圭子，池田 聡，大町香衣，上田結芽，松井健作，神田 拓：第 35 回日本外科感染症学会総会学術集会（倉敷），2022. 11. 9.
- 58: 上下顎のステージ 3 の薬剤関連顎骨壊死（MRONJ）の再建に頬脂肪体弁とオトガイ下皮弁を用いた 1 例：小山 惇，明見能成，櫻井 繁，藤田善教，小林順子，虎谷茂昭：第 61 回広島県歯科医学会 併催 第 106 回広島大学歯学会例会（広島），2022. 11. 13.
- 59: 耳鼻咽喉科と連携し鼻腔側から摘出を行なった逆行性過剰埋伏歯の一例：伊藤 翼，林 靖也，石井秀将，高橋昌司：第 61 回広島県歯科医学会 併催 第 106 回広島大学歯学会例会（広島），2022. 11. 13.
- 60: CAD/CAM を用いたカスタムメイドプレートによる下顎再建の有用性：福谷多恵子，浜名智昭，吉岡幸男，伊藤奈七子，松山たまも，烏帽子田夏希，岡本健人，高橋秀明，三島健史，大林史誠，田口有紀，木村直大，檜垣美雷，濱田充子，山崎佐知子，角 健作，小泉浩一，谷 亮治，林堂安貴，永松将吾，佐々木彩乃，藤岡弓朗，藤田明日香，光嶋 勲，柳本惣市：第 61 回広島県歯科医学会 併催 第 106 回広島大学歯学会例会（広島），2022. 11. 13.
- 61: 広島大学病院顎・口腔外科を受診した口腔癌患者の動向調査および症例検討：烏帽子田夏希，小泉浩一，谷川朝光，松山たまも，岡本健人，高橋秀明，三島健史，福谷多恵子，大林史誠，田口有紀，木村直大，伊藤奈七子，檜垣美雷，濱田充子，山崎佐知子，浜名智昭，吉岡幸男，谷 亮治，林堂安貴，柳本惣市：第 61 回広島県歯科医学会 併催 第 106 回広島大学歯学会例会（広島），2022. 11. 13.
- 62: 広島大学病院顎・口腔外科における高齢口腔扁平上皮癌患者の臨床的統計：濱田充子，小泉浩一，川原 萌，福谷多恵子，山崎佐知子，烏帽子田夏希，松山たまも，岡本健人，高橋秀明，三島健史，大林史誠，田口有紀，木村直大，伊藤奈七子，檜垣美雷，浜名智昭，吉岡幸男，谷 亮治，林堂安貴，柳本惣市：第 61 回広島県歯科医学会 併催 第 106 回広島大学歯学会例会（広島），2022. 11. 13.
- 63: 広島大学病院顎・口腔外科における cT1-2N0 舌癌後発リンパ節転移症例の臨床的検討：大林史誠，小泉浩一，烏帽子田夏希，松山たまも，岡本健人，高橋秀明，三島健史，福谷多恵子，田口有紀，木村直大，伊藤奈七子，檜垣美雷，濱田充子，山崎佐知子，浜名智昭，吉岡幸男，谷 亮治，林堂安貴，柳本惣市：第 61 回広島県歯科医学会 併催 第 106 回広島大学歯学会例会（広島），2022. 11. 13.
- 64: 口腔扁平上皮癌における頸部リンパ節転移の節外浸潤進達度と予後との関連性：檜垣美雷，小泉浩一，國原颯斗，安藤俊範，濱田充子，伊藤奈七子，大林史誠，烏帽子田夏希，松山たまも，岡本健人，高橋秀明，三島健史，福谷多恵子，田口有紀，木村直大，山崎佐知子，浜名智昭，吉岡幸男，谷 亮治，林堂安貴，柳本惣市：第 61 回広島県歯科医学会 併催 第 106 回広島大学歯学会例会（広島），2022. 11. 13.
- 65: 理想的な口腔癌診療：柳本惣市：第 61 回広島県歯科医学会 併催 第 106 回広島大学歯学会例会（広島），2022. 11. 13.
- 66: OSA の治療に苦慮した Pierre Robin Syndrome の 1 例：坂本由紀，柳本惣市，兒島由佳：第 21 回日本睡眠歯科学会総会・学術集会（沖縄），2022. 11. 20.
- 67: 多施設共同研究の進め方：柳本惣市：第 55 回 NPO 法人日本口腔科学会九州地方部会（長崎），2022. 11. 26.
- 68: 下顎骨に発症した超巨大なセメント質骨形成線維腫の一例：三島健史，小泉浩一，伊藤奈七子，吉岡幸男，濱田充子，柳本惣市：第 51 回日本口腔外科学会中国四国支部学術集会（香川（WEB）），2022. 12. 3.
- 69: 数珠状に多発した口底部神経鞘腫の 1 例：松井健作，上田結芽，大町香衣，神田 拓，西坂 隆，桐山 健：第 51 回日本口腔外科学会中国四国支部学術集会（香川（WEB）），2022. 12. 3.

F) その他

- 1: 再発転移口腔癌に対する治療戦略-ガイドラインと臨床経験より考える-：柳本惣市：第 37 回奈良県頭頸部腫瘍研究会（奈良）2022. 1. 15.
- 2: 当科における症例報告：佐渡友浩：三次市歯科医師会救急医療研修会（三次）2022. 1. 29.
- 3: 地域医療における嚥下障害への対応：有田裕一：第 20 回西区・佐伯区合同地域保健対策協議会シンポジウム（広島県医師会館）（広島）2022. 2. 16.
- 4: 口腔がんの多機関共同研究-CTC や ctDNA を解析対象としたリキッドバイオプシーの臨床応用-：柳本惣市：がん・ゲノム医療グループ会議ショートセミナー（広島）2022. 4. 13.
- 5: 理想的な口腔癌診療とは：柳本惣市：令和 4 年度長崎大学歯学部同窓会講演会（長崎）2022. 5. 14.
- 6: 再発・転移口腔がんにおけるペムプロリズマブの実臨床経験と多診療科連携の実際：柳本惣市：Oral Cancer インターネット講演会（広島（WEB））2022. 5. 19.
- 7: 舌部分切除：柳本惣市：歯科口腔外科ビデオセミナー（WEB）2022. 6. 23.
- 8: 高齢口腔癌患者に対する手術療法：柳本惣市：高齢者の口腔がん治療を考える会（横浜）2022. 7. 8.
- 9: 口腔ケアで健康に：石田康隆：介護予防教室「おたっしや筋力アップ教室」（呉）2022. 8. 1.
- 10: 再発転移口腔がんの治療戦略：柳本惣市：口腔癌治療セミナー in 長崎（長崎）2022. 9. 6.
- 11: 薬剤関連顎骨壊死：柳本惣市：広島大学病院オンコロジーミーティング（広島）2022. 9. 14.
- 12: 有病者歯科医療を考える：柳本惣市：高知市歯科医師会 令和 4 年度第 3 回学術講演会（高知）2022. 10. 16.
- 13: 抗精神病薬と嚥下障害：有田裕一：第 9 回摂食嚥下カンファレンス（安芸郡）2022. 11. 10.
- 14: 口腔ケアで健康に：石田康隆：介護予防教室「おたっしや筋力アップ教室」（呉）2022. 11. 16.
- 15: MRONJ の予防・早期発見について：伊藤奈七子：尾道市歯科医師会学術講演会（WEB）2022. 11. 27.
- 16: 睡眠呼吸障害における歯科的治療の役割：柳本惣市：令和 3 年度広島矯正歯科医会学術講演会（広島）2022. 12. 1.

（4）科学研究費補助金等の受領状況

- 1: 基盤研究(B)：柳本惣市，口腔癌遠隔転移に関与する循環腫瘍細胞および循環腫瘍 DNA の多施設共同研究. 22H03292. 3, 600 千円
- 2: 基盤研究(C)：林堂安貴，細胞接着分子を標的とした選択的オートファジー誘導による口腔癌転移阻止療法の開発. 19K10310. 1, 200 千円
- 3: 基盤研究(C)：谷 亮治，マイクロバイームが制御する口腔癌幹細胞ニッチにおける PD-L1 の発現動態の解明. 22K10120. 1, 700 千円
- 4: 基盤研究(C)：小泉浩一，口腔癌患者の血中循環腫瘍細胞検出システムの開発とそれを用いた臨床病態及び予後予測. 22K10146. 1, 100 千円
- 5: 基盤研究(C)：浜名智昭，E-カドヘリンプロセッシングを介した口腔癌細胞増殖機構の解明と治療応用への基盤研究. 21K10114. 1, 000 千円
- 6: 基盤研究(C)：山崎佐知子，無血清培養系における口腔癌患者由来活性化リンパ球からの iPS 細胞の樹立と治療応用. 18K09723. 900 千円
- 7: 基盤研究(C)：濱田充子，鎖骨頭蓋異形成症疾患特異的 iPS 細胞をモデルとした過剰歯発生メカニズムの解明. 22K10148. 800 千円
- 8: 若手研究：檜垣美雷，CRISPR/Cas9 法による扁平上皮癌細胞における FGF 結合蛋白の機能解析. 21K17141. 900 千円
- 9: 若手研究：田口有紀，無血清培養系での歯髄由来 iPS 細胞の未分化性の維持に関する細胞増殖因子群の同定. 19K19233. 800 千円
- 10: 若手研究：大林史誠，PTEN+/-カウデン症候群特異的 iPSC 由来オルガノイドを用いた腫瘍幹細胞研究. 20K18670. 1, 000 千円

- 11: 基盤研究(C): 神田 拓, 無血清培養系 iPS 細胞を用いた PTEN 異常 Cowden 症候群の遺伝子治療の開発. 20K10117. 1,000 千円
- 12: 若手研究: 櫻井 繁, 口腔扁平上皮癌の浸潤転移に関与するインテグリン $\beta 8$ を標的とした核酸医薬の開発研究. 20K18726. 1,000 千円
- 13: 若手研究: 信本忠義, 口腔癌転移に関与するタイトジャンクション構成蛋白のプロセシング機構の解明. 21K17139. 1,200 千円
- 14: 基盤研究(C): 柳本惣市(分担者), 口腔癌の partial-EMT を介した浸潤・転移に関わるバイオマーカーの探索. 22K10161. 50 千円
- 15: 基盤研究(C): 柳本惣市(分担者), 口腔扁平上皮癌頸部リンパ節転移被膜外浸潤メカニズムの分子生物学的検討. 21K10040. 10 千円
- 16: 基盤研究(C): 柳本惣市(分担者), 多施設共同研究による舌癌予防郭清の適応決定、バイオマーカー検索と組織バンクの構築. 21K10098. 10 千円
- 17: 基盤研究(C): 柳本惣市(分担者), ペムプロリズマブの治療効果予測に関する薬剤感受性機構の解明. 21K10117. 50 千円
- 18: 基盤研究(C): 柳本惣市(分担者), ステロイド軟膏による放射線性口腔粘膜炎予防と口腔内細菌叢変化に関する第Ⅲ相試験. 20K10097. 30 千円
- 19: 基盤研究(C): 柳本惣市(分担者), US を用いた高精度口腔癌リンパ節転移診断法の確立. 20K10122. 0 千円
- 20: 県立広島病院令和 4 年度院長裁量経費 (研究研修費): 神田 拓, 摂食嚥下障害に対するリハビリテーション指導の質的向上. 500 千円

(5) 学会賞等の受賞状況

該当なし

(6) 特許

該当なし

[目次へ戻る](#)

口腔外科学研究室及び口腔再建外科（口腔顎顔面再建外科）

（1）職員並びに学生

- 教授 : 相川友直（2022年1月～）
 助教 : 二宮嘉昭（診療講師）、小野重弘（診療講師）、水田邦子、中川貴之、多田美里（～2022年5月）、福井暁子、鳴瀬貴子、植月 亮（2022年4月～）、佐久間美雪（2022年11月～）
 医員 : 石岡康希、石田陽子、佐々木和起、植月 亮（～2022年3月）、佐久間美雪（～2022年10月）、深田翔平（2022年4月～）
 大学院生 : 深田翔平（～2022年3月）、山門奈央、赤木美沙季、鈴木えりな（～2022年3月）、庭田千恵子、藤井愛弓、村上大徳、大段慶十朗（2022年4月～）
 教育研究補助職員 : 新宅優子（2022年12月～）
 登録研修医 : 清見原正騎、井上義久、柏原太郎

（2）主な研究活動

- 1: 顎顔面再建法の改良と機能評価
- 2: 口腔疾患のゲノム研究
- 3: 口腔腫瘍の生物学的特性と治療に関する研究
- 4: 口腔癌の浸潤・転移制御に関する細胞生物学的研究
- 5: 顎骨の硬組織形成線維性病変の原因遺伝子に関する研究
- 6: 歯と歯周組織の再生治療に関する細胞生物学的研究
- 7: 新規生体材料、口腔組織の再生・造成に関する研究
- 8: インプラント治療のための新規生体材料の基礎的研究

（3）研究業績

A) 原著（症例報告を含む）

- 1: Analgesia-based Sedation for Oral Surgery in Patients With Chronic Respiratory Obstructive Disease. Takahashi T, Yoshida M, Ono S, Kanda T, Obayashi F, Kamio H, Oda A, Oue K, Mukai A, Doi M, Shimizu Y. *J Craniofac Surg*. 2022.
- 2: Sunitinib promotes apoptosis via p38 MAPK activation and STAT3 downregulation in oral keratinocytes. Fukada S, Ohta K, Sakuma M, Akagi M, Kato H, Naruse T, Nakagawa T, Shigeishi H, Nishi H, Takechi M, Aikawa T. *Oral Dis*. 2022. (Online ahead of print)
- 3: Postoperative Complications of Impacted Mandibular Third Molar Extraction Related to Patient's Age and Surgical Difficulty Level: A Cross-Sectional Retrospective Study. Rizqiawan A, Lesmaya YD, Rasyida AZ, Amir MS, Ono S, Kamadjaja DB. *Int J Dent*. 2022.
- 4: Dexamethasone resets stable association of nuclear Snail with LSD1 concomitant with transition from EMT to partial EMT. Okuda S, Yamakado N, Higashikawa K, Uetsuki R, Ishida F, Rizqiawan A, Ono S, Mizuta K, Kamata N, Tobiume K. *Biochem Biophys Rep*. 13;30:101277, 2022.
- 5: Long-standing temporomandibular joint dislocation treated by intraoral condylectomy: a case report and review of the literature. Uetsuki R, Ono S, Tada M, Okuda S, Takechi M. *J Med Case Rep*. 23;16:245, 2022.
- 6: Melatonin enhances cisplatin-induced cell death through inhibition of DERL1 in mesenchymal-like CD44high OSCC cells. Shigeishi H, Yokoyama S, Murodumi H, Sakuma M, Fukada S, Okuda S, Yamakado N, Ono S, Takechi M, Ohta K. *J Oral Pathol Med*. 51:281-289, 2022.
- 7: Decision-Making Criteria of Odontectomy or Surgical Exposure in Impacted Maxillary Canine Based on Treatment Difficulty Index Modification. Gunardi OJ, Danudiningrat CP, Rizqiawan A, Mulyawan I, Amir MS, Kamadjaja DB, Sumarta NPM, Anugraha G, Fessi RA, Barus L, Ono S. *Eur J Dent*. 16:796-802, 2022.

- 8: Development of a radiomics and machine learning model for predicting occult cervical lymph node metastasis in patients with tongue cancer. Kubo K, Kawahara D, Murakami Y, Takeuchi Y, Katsuta T, Imano N, Nishibuchi I, Saito A, Konishi M, Kakimoto N, Yoshioka Y, Toratani S, Ono S, Ueda T, Takeno S, Nagata Y. *Oral Surg Oral Med Oral Pathol Oral Radiol.* 134:93-101, 2022.
- 9: Inhibition of angiogenesis and tumor progression of MK-0429, an integrin $\alpha\beta 3$ antagonist, on oral squamous cell carcinoma. Nakagawa T, Ohta K, Naruse T, Sakuma M, Fukada S, Yamakado N, Akagi M, Sasaki K, Niwata C, Ono S, Aikawa T. *J Cancer Res Clin Oncol.* 148:3281-3292, 2022.
- 10: Immune response to cytosolic DNA via intercellular receptor modulation in oral keratinocytes and fibroblasts. Naruse T, Ohta K, Kato H, Ishida Y, Shigeishi H, Sakuma M, Fukui A, Nakagawa T, Tobiume K, Nishi H, Takechi M. *Oral Dis.* 28:150-163, 2022.
- 11: Expression of anti-fungal peptide, β -defensin 118 in oral fibroblasts induced by *C. albicans* β -glucan-containing particles. Sakuma M, Ohta K, Fukada S, Kato H, Naruse T, Nakagawa T, Shigeishi H, Nishi H, Takechi M. *J Appl Oral Sci.* 30: e20210321, 2022.
- 12: Effects of CEACAM1 in oral keratinocytes on HO-1 expression induced by *Candida* β -glucan particles. Sakuma M, Ohta K, Fukada S, Akagi M, Kato H, Ishida Y, Naruse T, Takechi M, Shigeishi H, Nishi H, Aikawa T. *J Appl Oral Sci.* 30:20220158, 2022.
- 13: Physical Properties and Antimicrobial Release Ability of Gentamicin-Loaded Apatite Cement/ α -TCP Composites: An In Vitro Study. Sasaki K, Ninomiya Y, Takechi M, Tsuru K, Ishikawa K, Shigeishi H, Ohta K, Aikawa T. *Materials.* 16(3): 995, 2022. (In press)
- 14: Chemical inhibition of LSD1 leads to epithelial to mesenchymal transition in vitro of an oral squamous cell carcinoma OM-1 cell line via release from LSD1-dependent suppression of ZEB1. Yamakado N, Okuda S, Tobiume K, Uetsuki R, Ono S, Mizuta K, Nakagawa T, Aikawa T. *Biochem Biophys Res Commun.* 647: 23-29, 2022. (In press)
- 15: 内側翼突筋に進展し開口障害をきたした小児の下顎骨類腱線維腫の1例：松賀ひとみ, 徳宮元富, 妹尾日登美, 西村奈穂, 石橋美樹, 岸野万伸, 田中 晋, 村上秀明, 相川友直. : 大阪大学歯学雑誌 66(2): 55-59, 2022.
- 16: 経カテーテル塞栓術にて止血し得た上顎智歯抜去後に生じた仮性動脈瘤の1例：松賀ひとみ, 石橋美樹, 原 崇之, 徳宮元富, 妹尾日登美, 相川友直. : 日本口腔外科学会雑誌 68(5): 219-225, 2022.
- 17: RED system による上顎骨仮骨延長術および下顎枝矢状分割術を施行後長期観察した左側口唇口蓋裂の1例：青山剛三, 黒坂 寛, 三原聖美, 上松節子, 相川友直, 古郷幹彦, 山城隆：日本口蓋裂学会雑誌 7(3): 220-230, 2022.
- 18: 開口障害を主訴に受診した破傷風の1例: 中原和美, 奥村俊哉, 小野重弘, 武知正晃.: 口腔顎顔面外傷 21(1): 14-18, 2022.
- 19: 下顎水平埋伏智歯抜歯時にゼクリアバーの破折片が抜歯窩に迷入した1例：二宮嘉昭, 武知正晃. : 日本顎咬合学会誌 41(3): 208-211, 2022.
- 20: 上顎智歯抜歯時に歯科用切削バーが上顎洞内に迷入した1例：二宮嘉昭. : 日本顎咬合学会誌 42(1): 26-29, 2022.
- 21: AYA 世代舌癌患者の肺転移に対する薬物療法中に Trousseau 症候群を発症した1例：加藤大喜, 水田邦子, 佐々木和起, 安藤俊範, 太田耕司, 武知正晃. : 日本口腔外科学会雑誌 68(9): 362-369, 2022.
- 22: 潰瘍性大腸炎発見の契機となった類上皮細胞肉芽種の1例：長谷川大悟, 庭田千恵子, 細井鴻之介, 田林万奈, 別所央城. : 日本口腔外科学会雑誌 68(3): 155-160, 2022.
- 23: 免疫チェックポイント阻害剤投与口腔癌患者の臨床的検討：吉岡幸男, 虎谷茂昭, 小野重弘, 谷 亮治, 小泉浩一, 浜名智昭, 水田邦子, 中川貴之, 林 靖也, 安藤俊範, 坂本真一, 武知正晃, 宮内睦美, 岡本哲治. : 日本口腔科学会雑誌 71(3): 161-172, 2022.

B) 総説

C) 著書

- 1: 歯科におけるくすりの使い方 2023-2026：相川友直, 他. 編集委員：金子明寛, 富野康日巳, 小林真之, 飯田征二, 北川善政, 一戸達也, 篠原光代. 株式会社デンタルダイヤモンド社, 東京, 2022：186-195.

- 2: 口腔外科ハンドマニュアル' 22 : 相川友直, 他. 編著者: 日本口腔外科学会. クインテッセンス出版, 東京, 2022 : 194-292.
- 3: 顎変形症治療の基礎知識 : 相川友直, 他. 編著者: 定非営利活動法人. 日本顎変形症学会. クインテッセンス出版, 東京, 2022 : 14-17, 46-48.

D) その他の出版物

E) 学会発表

- 1: 両側下顎智歯部に生じた巨大な含歯性嚢胞の 1 例: 藤井愛弓, 小野重弘, 中川貴之, 多田美里, 福井暁子, 西 裕美, 坂本真一, 武知正晃, 相川友直.: 第 50 回 (公社) 日本口腔外科学会 中国四国支部学術集会 (2022.1.22 岡山 Web)
- 2: 下顎骨に発生した周辺性象牙質形成性幻影細胞腫由来の幻影細胞性歯原性癌の 1 例: 加藤大喜, 水田邦子, 植月 亮, 佐々木和起, 小野重弘, 坂本真一, 安藤俊範, 宮内睦美, 相川友直.: 第 40 回日本口腔腫瘍学会総会・学術大会 (2022.2.14~3.13 群馬 Web)
- 3: 口唇裂・口蓋裂患者に対する上下移動術と上顎前方骨延長術の臨床的検討: 川田 創, 関 壮樹, 田中信和, 原田計眞, 宮川和晃, 相川友直, 横田祐介, 野原幹司, 田中 晋.: 第 76 回日本口腔科学会学術集会 (2022.4.21~4.23 福岡)
- 4: 口唇裂・口蓋裂の外科的矯正治療を再考する.口唇裂・口蓋裂に対する顎矯正手術 上顎前方部骨延長術(MASDO)の評価: 相川 友直.: 第 46 回日本口蓋裂学会学術集会 (2022.5.26~5.27 鹿児島) シンポジウム
- 5: Beckwith-Wiedemann Syndrome による重度開咬を伴う骨格性下顎前突症に対して外科的矯正治療を施行した 1 例: 植月 亮, 小野重弘, 水田邦子, 中川貴之, 佐々木和起, 福井暁子, 多田美里, 武知正晃, 野々山大介, 相川友直.: 第 32 回日本顎変形症学会総会・学術大会 (2022.6.9~6.10 新潟)
- 6: 下顎枝水平切離術 (Kostecka 法) を適用した下顎骨二次再建の 1 例: 中川記世子, 占部一彦, 新宅優子, 相川友直.: 第 32 回日本顎変形症学会総会・学術大会 (2022.6.9~6.10 新潟)
- 7: 思春期患者の特発性下顎頭吸収に対する関節円板整位手術の術後経過: 相川友直, 新宅優子, 原田計眞, 宮川和晃, 関 壮樹, 有川千尋, 小野重弘, 田中 晋, 古郷幹彦.: 第 32 回日本顎変形症学会総会・学術大会 (2022.6.9~6.10 新潟)
- 8: 広島大学病院口腔外科における免疫チェックポイント阻害剤投与口腔癌患者の臨床的検討: 吉岡幸男, 小野重弘, 小泉浩一, 浜名智昭, 中川貴之, 檜垣美雷, 相川友直, 柳本惣市.: 第 46 回日本頭頸部癌学会学術講演会 (2022.6.17~6.18 奈良)
- 9: 唇顎口蓋裂患者に, 上顎骨前方部骨延術および上下顎骨骨切り術を併用し, 中顔面の陥凹感を改善した一症例: 白石優季, 黒坂 寛, 相川友直, 田中 晋, 山城 隆: 第 81 回日本矯正歯科学会学術大会 (2022.10.5~10.7 大阪)
- 10: 顔面神経麻痺を伴い軟骨無形性症を有する下顎前突に対し, 上下顎骨切術と遊離広背筋皮弁移植術を施した 1 例: 室谷智哉, 伊藤慎将, 相川友直, 辻本貴行, 犬伏俊博, 黒坂 寛, 山城 隆.: 第 81 回日本矯正歯科学会学術大会 (2022.10.5~10.7 大阪)
- 11: スニチニブの口腔粘膜上皮細胞に対する p38MAPK/STAT3 を介したアポトーシス誘発の解析: 深田翔平, 太田耕司, 赤木美沙季, 佐久間美雪, 重石英生, 鳴瀬貴子, 中川貴之, 加藤大喜, 武知正晃, 相川友直.: 第 69 回 NPO 法人日本口腔科学会中国・四国地方部会 (2022.10.22 鳥取 Web)
- 12: 顎関節全置換型人工関節による顎関節退行性病態の治療経験: 相川友直. 第 67 回 (公社) 日本口腔外科学会総会・学術大会 (2022.11.4~11.6 千葉 Web)
- 13: 顎矯正手術後に下顎頭吸収を認めた症例における三次元構造特性解析: 有川千尋, 宮川和晃, 松下 豊, 原田和眞, 関 壮樹, 島岡祐加子, 宮本浩樹, 横田祐介, 田中 晋, 相川友直.: 第 67 回 (公社) 日本口腔外科学会総会・学術大会 (2022.11.4~11.6 千葉 Web)
- 14: 下顎に生じた幻影細胞性歯原性癌の 1 例: 水田邦子, 小野重弘, 佐々木和起, 加藤大喜, 坂本真一, 安藤俊範, 宮内睦美, 相川友直.: 第 67 回 (公社) 日本口腔外科学会総会・学

- 術大会 (2022.11.4~11.6 千葉 Web)
- 15: Inhibition of angiogenesis and tumor progression of MK-0429, an integrin $\alpha v \beta 3$ antagonist, on oral squamous cell carcinoma: Nakagawa T, Ohta K, Naruse T, Sakuma M, Okuda S, Fukada S, Yamakado N, Akagi M, Sasaki K, Niwata C, Ono S, Aikawa T. : 第 67 回 (公社) 日本口腔外科学会総会・学術大会 (2022.11.4~11.6 千葉 Web)
 - 16: 顎骨骨髓炎の症状を呈した AA アミロイドーシスの 1 例: 福井暁子, 中川貴之, 小野重弘, 佐々木和起, 安藤俊範, 相川友直. : 第 67 回 (公社) 日本口腔外科学会総会・学術大会 (2022.11.4~11.6 千葉 Web)
 - 17: スニチニブは p38MAPK/STAT3 を介して口腔粘膜上皮細胞にアポトーシスを誘発する: 深田翔平, 太田耕司, 赤木美沙季, 佐久間美雪, 重石英生, 鳴瀬貴子, 中川貴之, 加藤大喜, 武知正晃, 相川友直. : 第 67 回 (公社) 日本口腔外科学会総会・学術大会 (2022.11.4~11.6 千葉 Web)
 - 18: 口腔癌細胞におけるデキサメタゾンによる EMT から partial EMT への移行: 山門奈央, 飛梅圭, 奥田哲史, 植月 亮, 中川貴之, 水田邦子, 小野重弘, 相川友直. : 第 67 回 (公社) 日本口腔外科学会総会・学術大会 (2022.11.4~6 千葉 Web)
 - 19: 口腔粘膜細胞における核酸の細胞内導入による ACE2 の発現誘導: 赤木美沙季, 太田耕司, 深田翔平, 佐久間美雪, 加藤大喜, 鳴瀬貴子, 中川貴之, 重石英生, 相川友直. : 第 67 回 (公社) 日本口腔外科学会総会・学術大会 (2022.11.4~11.6 千葉 Web)
 - 20: インプラント初期固定に影響を与える各種因子についての臨床的検討: 石岡康希, 二宮嘉昭, 小野重弘, 水田邦子, 中川貴之, 佐々木和起, 深田翔平, 佐久間美雪, 植月 亮, 石田陽子, 福井暁子, 大段慶十朗, 相川友直. : 第 61 回広島県歯科医学会・第 106 回広島大学歯学会例会 (2022.11.13 広島)
 - 21: インプラント周囲炎患者の撤去症例となったリスク因子の検討: 二宮嘉昭, 石岡康希, 小野重弘, 水田邦子, 中川貴之, 佐々木和起, 深田翔平, 佐久間美雪, 植月 亮, 石田陽子, 福井暁子, 大段慶十朗, 相川友直. : 第 61 回広島県歯科医学会・第 106 回広島大学歯学会例会 (2022.11.13 広島)
 - 22: Beckwith-Wiedemann Syndrome による開咬を伴う骨格性下顎前突症に対して外科的矯正治療を施行した 1 例: 植月 亮, 小野重弘, 水田邦子, 中川貴之, 佐々木和起, 福井暁子, 武知正晃, 野々山大介, 相川友直. : 第 61 回広島県歯科医学会・第 106 回広島大学歯学会例会 (2022.11.13 広島)
 - 23: ヒアルロン酸注入によりオトガイ部に骨吸収をきたした顎変形症の 1 例: 石田陽子, 中川貴之, 福井暁子, 小野重弘, 樋口将隆, 松下 豊, 新宅優子, 加藤功一, 相川友直. : 第 51 回 (公社) 日本口腔外科学会中国四国支部学術集会 (2022.12.3 香川 Web)
 - 24: 下顎孔伝達麻酔時に麻酔針が破折し軟組織に迷入した一例: 深田翔平, 小野重弘, 水田邦子, 二宮嘉昭, 植月 亮, 佐々木和起, 鳴瀬貴子, 相川友直. : 第 51 回 (公社) 日本口腔外科学会中国四国支部学術集会 (2022.12.3 香川 Web)
 - 25: 広島大学病院における腸球菌解析: 藤井愛弓, 松尾美樹, 増田加奈子, 田寺加代子, 久恒順三, 菅原 庸, 櫻山誠也, 横崎典哉, 相川友直, 大毛宏喜, 菅井基行, 小松澤 均. : 第 15 回院内感染症プロジェクト研究センター報告会 (2022.12.20 広島 Web)

F) 講演

- 1: 広島大学歯学部歯科衛生士教育研修センター主催 2021 年度後期リカレント研修会「一般歯科診療所で歯科衛生士が知っておくべき“口腔外科”の基礎知識」(2022.1.13 Web), 小野重弘
- 2: 令和 3 年度広島市歯科医師会 WEB 学術講演会「口腔がん-早期発見・早期治療の重要性-」(2022.2.17 Web), 小野重弘
- 3: 九州エッジワイズ矯正研究会「顎変形症治療の現状, 最先端, そしてこれからの発展」(2022.7.21 WEB), 相川友直
- 4: SORG セミナー「Jaw deformity Class II」(2022.7.22 Web), 相川友直
- 5: 第 18 回 日本顎変形症学会 第 18 回教育研修会 「顎変形症治療の基礎知識」、Le Fort I

- 型骨切り術」, (2022.8.15~9.19 Web), 相川友直
- 6: 1st SONS Stryker Orthognathic Nishi-nihon Seminar, 「SSRO を極める」 (2022.10.16 Web), 相川友直
 - 7: 第 61 回広島県歯科医学会・第 105 回広島大学歯学会例会 特別講演「口腔外科領域の plastic and reconstructive surgery をめざして」 (2022.11.13 広島), 相川友直
 - 8: 広島矯正歯科医会学術講演会, 「顎変形症治療の現状、最先端、そしてこれからの発展」, (2022.12.1 広島), 相川友直
 - 9: IBRA (international bone research association) seminar, orthognathic surgery, Yokohama, Tomonao Aikawa (2022.12.3~12.4 横浜), 相川友直
 - 10: 2st SONS Stryker Orthognathic Nishi-nihon Seminar, 「Le Fort I 型骨切り術を極める」 (2022.12.22 Web), 相川友直

(4) 科学研究費補助金等の受領状況

- 1: 科学研究費補助金 (基盤研究 (C)) 継続: 相川友直: 腫瘍性骨吸収機序の研究:RANKL 発現調節と破骨細胞形成を軸とした網羅的解析. 課題番号 19K10266
- 2: 科学研究費補助金 (基盤研究 (C)) 継続: 石岡康希, 小野重弘, ヒト唾液腺腫瘍における核内受容体を介した抗癌剤抵抗性獲得機序に関する研究. 課題番号 20K10161
- 3: 科学研究費補助金 (基盤研究 (C)) 継続: 小野重弘, 武知正晃, 飛梅 圭, Snail 誘導型口腔癌転移能獲得機構における EMT と癌幹細胞の関与の解明. 課題番号 20K10139
- 4: 科学研究費補助金 (基盤研究 (C)) 継続: 重石英生, 小野重弘, CD44 高発現口腔扁平上皮癌細胞におけるメカノトランスダクション機構の解明. 課題番号 20K10138
- 5: 科学研究費補助金 (基盤研究 (C)) 継続: 武知正晃, 太田耕司, 中川貴之, ビスホスホネート投与患者の歯科インプラント治療指針作成のための基礎的研究. 課題番号 21K09952
- 6: 科学研究費補助金 (基盤研究 (C)) 継続: 中川貴之, 武知正晃, 太田耕司 血管新生作用を有する顎骨壊死治療用移植材料の開発. 課題番号 21K10094
- 7: 科学研究費補助金 (若手研究) 継続: 鳴瀬貴子, 口腔粘膜における SARS-Cov-2 結合受容体の免疫応答機構の解明. 課題番号 21 K17116
- 8: 科学研究費補助金 (基盤研究 (C)) 新規: 水田邦子, 飛梅 圭, 顎骨骨幹異形成症 (GDD) の発症にノンコーディング RNA は関与するか?. 課題番号 22K10119
- 9: 科学研究費補助金 (基盤研究 (C)) 新規: 相川友直, 宮川和晃, がん微小環境における骨吸収機序: IL-7 と RANKL 発現機序を軸とした解析. 課題番号 22K10145
- 10: 科学研究費補助金 (若手研究) 新規: 植月 亮, 口腔癌細胞における Snail 誘導性 EMT と癌幹細胞特性の関連性の解析. 課題番号 22K17158
- 11: 科学研究費補助金 (若手研究) 新規: 石田陽子, 口腔粘膜から C.a で誘導される HO-1 の発現と炎症性遺伝子の発現. 課題番号 22K17185

(5) 学会賞等の受賞状況

- 1: 日本歯科理工学会論文賞 「In vitro investigation of the cell compatibility and antibacterial properties of titanium treated with calcium and ozone」 Takechi M, Takamoto M, Ninomiya Y, Ono S, Mizuta K, Nakagawa T, Shigeishi H, Ohta K, Ishikawa K, Tsuru K. Dental Materials Journal 40 (3) (2022.5.21)

(6) 特許

[目次へ戻る](#)

先端歯科補綴学研究室及び 口腔維持修復歯科 口腔インプラント診療科

(1) 職員並びに学生

教授 : 津賀一弘
 准教授 : 阿部泰彦, 吉川峰加, 久保隆靖 (診療)
 助教 : 大上博史, 岡田信輔, 沖 佳史, 竹内真帆, 梅原華子
 医員 : 丸山真理子, 平岡 綾, 中守貴一
 大学院生 : 春田 梓, 竹原杏菜, 高橋優太郎, 畠山理恵, 濱 陽子, Hengky Bowo Ardhianto
 特別研究員 : 石田えり
 研究生 : 荻野貴嗣
 研修登録医 : 河村道彦, 山本英輝, 阿久津徹
 契約職員 : 来実倫子

(2) 主な研究活動

- 1: 歯科応用の PEEK 材料に関する基礎研究と大臼歯 PEEK クラウンの臨床研究
- 2: 長期療養施設における薬剤耐性菌の保菌調査
- 3: 高齢者を対象とする舌抵抗訓練の実施と効果の検証
- 4: 若年健常者における食行動と口腔機能との関連性
- 5: 歯の喪失による認知機能低下と腸内細菌の関連について
- 6: 歯の喪失が認知機能低下を引き起こすメカニズムについて
- 7: バイオメタルを用いた新規生体材料の開発
- 8: 口腔内スキャナを用いた新規口腔衛生評価法の確立
- 9: インプラント治療に用いる予測診断システムの開発
- 10: 新規無機系抗菌剤を配合した歯科材料の性能・安全性評価

(3) 研究業績

A) 原著 (症例報告を含む)

- 1: 1: Relationship between food crushing and oral function in older adults requiring nursing home care: Yamawaki K, Mori T, Itaki S, Haruta A, Takeda C, Hiraoka A, Maruyama M, Yoshikawa M, Yoshida M, Tsuga K.: A pilot study: International Journal of Environmental Research and Public Health, 19(6):3419, 2022.
- 2: Oral and Rectal Colonization by Antimicrobial-Resistant Gram-Negative Bacteria and Their Association with Death among Residents of Long-Term Care Facilities: A Prospective, Multicenter, Observational, Cohort Study: Kajihara T, Yahara K, Yoshikawa M, Haruta A, Kawada-Matsuo M, Le MN, Arai C, Takeuchi M, Kitamura N, Sugawara Y, Hisatsune J, Kayama S, Ohta K, Tsuga K, Komatsuzawa H, Ohge H, Sugai M.: Gerontology, 6:1:12, 2022.
- 3: Disinfectant Susceptibility of Third-Generation-Cephalosporin/Carbapenem-Resistant Gram-Negative Bacteria Isolated from the Oral Cavity of Residents of Long-Term-Care Facilities: Haruta A, Kawada-Matsuo M, Le MN, Yoshikawa M, Kajihara T, Yahara K, Kitamura N, Kutsuno S, Arai C, Takeuchi M, Sugawara Y, Hisatsune J, Tsuga K, Ohge H, Sugai M, Komatsuzawa H.: Appl Environ Microbiol, 89(1): e0171222, 2022.
- 4: Oral hypofunction and its relation to frailty and sarcopenia in community-dwelling older people: Yoshida M, Hiraoka A, Takeda C, Mori T, Maruyama M, Yoshikawa M, Tsuga K: Gerodontology. 39(1): 26-32, 2022.
- 5: 顎義歯製作と栄養指導を行った下顎区域切除・顎骨非再建症例: 森 隆浩: 日本補綴歯科学会誌, 14(1): 81-84, 2022.
- 6: Association between dietary hardness score and activities of daily living among individuals aged 90

years. Urabe H, Oue H, Hiasa K, Tsuga K. Clin Exp Dent Res. 2022 Oct;8(5):1202-1206. doi: 10.1002/cre2.622. Epub 2022 Jun 24.

- 7: Experimental tooth loss affects spatial learning function and blood-brain barrier of mice. Oue H, Hatakeyama R, Ishida E, Yokoi M, Tsuga K. Oral Dis. 2022 Sep 17. doi: 10.1111/odi.14379. Online ahead of print.
- 8: Clinical report of six-month follow-up after cementing PEEK crown on molars: Kimura H(1), Morita K(2), Nishio F(3), Abekura H(1), Tsuga K(1): Sci Rep. Nov 9;12(1):19070. doi: 10.1038/s41598-022-23458-5, 2022.
- 9: Implant Stability Following Osseointegration of Dental Implants in Bone Sites Reconstructed with Novel Porous Titanium Scaffold: Wakamatsu K, Doi K, Kobatake R, Makihara Y, Yoshiga C, Tsuga K.: J Hard Tissue Biol, 31(2): 115-120, 2022.
- 10: Investigation to Predict Primary Implant Stability Using Frictional Resistance Torque of Tap Drilling: Wakamatsu K, Doi K, Kobatake R, Makihara Y, Oki Y, Tsuga K.: J Oral Maxillofac Res, 13(4): e1, 2022.
- 11: Histological and histomorphometric aspects of continual intermittent parathyroid hormone administration on osseointegration in osteoporosis rabbit model.: Oki Y, Doi K, Kobatake R, Makihara Y, Morita K, Kubo T, Tsuga K.: PLoS One. 8;17(6):e0269040, 2022.
- 12: Antimicrobial adhesive polyurethane gel sheet with cetylpyridinium chloride-montmorillonite for facial and somato prosthesis fastening. Nakamori K, Abe Y, Takeuchi M, Kagawa K, Yoshihara K, Yoshida Y, and Tsuga K : *J Prosthodont Res*, Available online 3 June 2022.
- 13: Microbial differences between active and remission peri-implantitis: Hashimoto Y, Okada S, Yasuda K, Kawagoe M, Kajiya M, Tsuga K: Sci Rep. 2022 Mar 28;12(1):5284
- 14: Impact of Maximum Tongue Pressure in Patients with Jaw Deformities Who Underwent Orthognathic Surgery: Koizumi K, Shintani T, Yoshimi Y, Higaki M, Kunimatsu R, Yoshioka Y, Tsuga K, Tanimoto K, Shiba H, Toratani S.: *Diagnostics (Basel)*, 12(2):404, 2022.
- 15: Prenatal exposure to valproic acid causes allodynia associated with spinal microglial activation: Imado E, Sun S, Abawa AR, Tahara T, Kochi T, Huynh TNB, Asano S, Hasebe S, Nakamura Y, Hisaoka-Nakashima K, Kotake Y, Irifune M, Tsuga K, Takuma K, Morioka N, Kiguchi N, Ago Y.: *Neurochem Int*, Epub, 2022.
- 16: Prosthodontic treatment can improve the ingestible food profile in Japanese adult outpatients: Kimura-Ono A, Maekawa K, Kuboki T, Nawachi K, Fujisawa M, Sato H, Aita H, Koyama S, Hideshima M, Sato Y, Wake H, Nagao K, Kodaira-Ueda Y, Tamaki K, Sadamori S, Tsuga K, Nishi Y, Sawase T, Koshino H, Masumi SI, Sakurai K, Ishibashi K, Ohyama T, Akagawa Y, Hirai T, Sasaki K, Koyano K, Yatani H, Matsumura H, Ichikawa T, Ohkawa S, Baba K.: *J Prosthodont Res*, Online ahead of print, 2022.
- 17: 口腔インプラント治療相談窓口に関する 8 年間の調査(原著論文). 塩田 真, 西村 正宏, 懸田 明弘, 加藤 英治, 上林 毅, 岸本 博人, 興 秀利, 津賀 一弘, 西郷 慶悦, 宮崎 隆, 公益 社団法人日本口腔インプラント学会医療・社会保険委員会, 日本口腔インプラント学会誌 (0914-6695)35 巻 3 号, 2022.

B) 総説

C) 著書

- 1: サイエンス 「長期療養する要介護高齢者における摂食嚥下機能と口腔内薬剤耐性菌の分布～最期まで口から食べるために歯科がサポートできること～」: 吉川峰加: 日本歯科医師会雑誌, Vol75, No.6, P17-25, 433-441, 2022.

D) その他の出版物

E) 学会発表

- 1: 口腔から分離されたセファロスポリン耐性グラム陰性菌に対する消毒剤感受性: 春田梓, 松

- 尾美樹, 吉川峰加, 竹内真帆, Le Nguyen Tra Mi, 津賀一弘, 小松澤均: 一般社団法人歯科基礎医学会第 64 回歯科基礎医学会学術大会, 徳島, 2022.
- 2: Susceptibility of disinfectants against 3rd-generation Cephalosporin/Carbapenem-resistant Gram-negative bacteria isolated from oral cavity of long-term care facility residents: Haruta A, Matsuo-Kawada M, Yoshikawa M, Takeuchi M, Le MN, Tsuga K, Komatsuzawa H: The 15th Korea-Japan International Symposium on Microbiology, Yeosu (Korea), 2022.
 - 3: 一介護医療院における口腔内薬剤耐性菌の保菌調査: 竹内真帆, 春田梓, 吉川峰加, 平岡綾, 森隆浩, 丸山真理子, 竹田智帆, 高橋優太郎, 上田裕次, 吉田光由, 津賀一弘: 一般社団法人日本老年歯科医学会第 33 回学術大会, 新潟, 2022.
 - 4: 欠損様式と咀嚼能率および習慣性咀嚼側の関係: 高橋優太郎, 森隆浩, 春田梓, 竹田智帆, 横井美有希, 平岡綾, 丸山真理子, 森田晃司, 吉川峰加, 吉田光由, 守谷直史, 津賀一弘: 公益社団法人日本補綴歯科学会第 131 回学術大会, 大阪 (現地開催+ライブ配信), 2022
 - 5: 要介護高齢者におけるペコぱんだを利用した舌抵抗訓練が口腔内環境へ及ぼす変化: 吉川峰加, 山脇加奈子, 竹本理恵, 崎濱光, 平岡綾, 竹田智帆, 長崎信一, 津賀一弘: 第 28 回日本摂食嚥下リハビリテーション学会, 千葉, 2022
 - 6: 骨吸収抑制薬関連顎骨壊死の高リスク患者に対し侵襲的歯科治療を実施した 2 症例: 板木咲子, 金久弥生, 山脇加奈子, 田地豪, 吉川峰加: 一般社団法人日本老年歯科医学会第 33 回学術大会, 新潟, 2022
 - 7: 脳卒中発症後, 長期経過した高齢患者の摂食嚥下障害に対し, 摂食嚥下リハビリテーションを行った一症例: 尾田友紀, 吉川峰加: 一般社団法人日本老年歯科医学会第 33 回学術大会, 新潟, 2022
 - 8: マウス若齢期の歯の喪失が認知機能ならびに大腿骨の骨強度に及ぼす影響: 畠山理恵, 横井美有希, 石田えり, 大上博史, 津賀一弘: 公益社団法人日本補綴歯科学会第 131 回学術大会 (大阪), 2022.
 - 9: Impact of maternal Porphyromonas gingivalis infection on brain of offspring: Ishida E, Furusho H, Miyauchi M: 2022 IADR/APR General Session & Exhibition, WEB, 2022
 - 10: 母親の Porphyromonas gingivalis 菌性感染が仔の脳組織に与える影響: 石田えり, 古庄寿子, 芝典江, Renn Ting Yi, 宮内睦美, 津賀一弘: 第 64 回歯科基礎医学会学術大会, 徳島, 2022
 - 11: 歯冠色 PEEK 材の研磨方法の検討: 加藤真康, 安部倉 仁, 西尾文子, 木村仁美, 横井美希, 香川和子, 堂脇一朗, 森田晃司, 津賀一弘: 日本補綴歯科学会 第 131 回学術大会, 大阪, 2022.
 - 12: 大白歯 PEEK クラウン装着から 2 年経過した 8 症例: 横井美有希, 安部倉 仁, 香川和子, 西尾文子, 木村仁美, 梅原華子, 沖 佳史, 土井一矢, 森田晃司, 津賀一弘: 日本補綴歯科学会 第 131 回学術大会, 大阪, 2022.
 - 13: 日中覚醒時の咬筋筋電図波形積分値の実態解明: 石丸智也, 山口泰彦, 服部佳功, 小野高裕, 荒井良明, 長谷川陽子, 志賀博, 玉置勝司, 田中順子, 福本 貴宏, 津賀一弘, 安部倉仁, 宮脇正一, 前田綾, 三上紗季, 後藤田章人, 佐藤華織, 清水 孝一, 加藤 祐次, 浪田健: 令和 4 年度公益法人日本補綴歯科学会東北・北海道支部学術大会, 仙台, WEB 開催, 2022.
 - 14: A case report of oral health evaluation using intraoral scanner: Yoshiga C, Doi K, Oue H, Umehara H, Kawagoe M, Tsuga K: 第 55 回広島大学歯学会総会, 広島, 2022.
 - 15: Novel method of predictable primary implant stability using frictional resistance torque of tap drilling measurement: Wakamatsu K, Doi K, Makihara Y, Oki Y, Kobatake R, Kubo T, Tsuga K: 第 55 回広島大学歯学会総会, 広島, 2022.
 - 16: タップドリルによる摩擦抵抗測定とインプラント初期固定についての予備的検討: 若松海燕, 土井一矢, 牧原勇介, 沖佳史, 小島玲子, 久保隆靖, 津賀一弘: 第 52 回公益社団法人日本口腔インプラント学会学術大会, 名古屋, 2022.
 - 17: 抗菌性ポリウレタンゲル粘着シートの塩化セチルピリジニウム徐放特性と粘着性能: 中守 貴一, 阿部泰彦, 吉原久美子, 吉田靖弘, 津賀一弘: 第 79 回日本歯科理工学会学術講演会 (盛岡), 2022.
 - 18: ラットを用いた Aa 母子垂直感染の検討: 橋本悠平, 岡田信輔, 土井一矢, 久保隆靖, 津賀

一弘: 公益社団法人 日本口腔インプラント学会 第 42 回 中国・四国支部学術大会, 山口, 2022.

F) その他(講演等)

- 1: 楽しく咀嚼するための「舌」の健康法：津賀一弘，特定非営利活動法人 日本咀嚼学会学術講演会「咀嚼を考える」，2022
- 2: 美味しい食事と舌の役割：吉川峰加，特定非営利活動法人 日本咀嚼学会学術講演会「咀嚼を考える」，2022.
- 3: 第 5 回「歯科衛生士が取り組むべき口腔機能低下症への対応」：吉川峰加，「2022 年度前期広島大学歯学部歯科衛生士教育研修センターリカレント研修会」，2022.
- 4: 基調講演 2 「気づいてますか？お口の機能のわずかな衰え～オーラルフレイルと口腔機能低下症～」：吉川峰加，プラスケアスタイルセミナー（広島 Web セミナー），2022
- 5: 「摂食嚥下障害に対する補綴学的アプローチ」：吉川峰加，公益社団法人日本補綴歯科学会 第 4 回専門医研修会，2022
- 6: 歯科医師による口腔ケアのお話：横井美有希，梅原華子，広島市家族介護教室（広島），2022.
- 7: 要介護高齢者の基礎知識と歯科的対応：津賀一弘，広島県歯科保健医療サービス提供困難者相談医養成研修会（広島），2022.

(4) 科学研究費補助金等の受領状況

- 1: 科学研究費補助金（基盤研究（C））継続：吉川峰加，：口腔内耐性菌の分布の把握と歯科による口腔衛生管理が医療・介護関連肺炎に及ぼす影響. 課題番号 20K10248. 3700 千円
- 2: 科学研究費補助金（基盤研究(C)）継続：大上博史，横井美有希，歯の喪失が認知機能低下を引き起こすメカニズムの解明. 課題番号 20K10035, 910 千円
- 3: 科学研究費補助金（研究活動スタート支援）継続：梅原華子：バイオチタンメッシュメンブレンの開発. 課題番号 21K21088. 1,560 千円
- 4: 科学研究費補助金（基盤研究（C））継続：久保隆靖，骨質改善療法が咀嚼機能および認知機能におよぼす影響の探索. 課題番号 20K10072. 1,690 千円
- 5: 科学研究費（基盤研究 C）新規：沖佳史：骨代謝制御性チタン多孔体の新規開発. 課題番号 22K 10034. 780 千円
- 6: 科学研究費補助金（基盤研究（C））継続：阿部泰彦，義歯床深層にカンジダ菌を定着させない抗菌性義歯床用材料の開発. 課題番号 20K10052. 1,690 千円
- 7: 科学研究費補助金（若手研究 継続: 岡田信輔，侵襲性歯周炎新規モデルラットのインプラントの周囲組織反応の解明. 課題番号 20K18560. 2,600 千円
- 8: 科学研究費補助金（基盤研究（B））継続：津賀一弘，前期高齢者の低舌圧診断と早期介入は口腔機能低下症を予防できるか. 課題番号 21H03132. 3,380 千円
- 9: 広島大学創発的次世代研究者育成支援プログラム：津賀一弘，400 千円

(5) 学会賞等の受賞状況

- 1: 石田えり：Impact of maternal Porphyromonas gingivalis infection on brain of offspring：第 70 回 JADR 総会・学術大会，JADR/GC 学術奨励賞，2022
- 2: 中守貴一：抗菌性ポリウレタンゲル粘着シートの塩化セチルピリジニウム徐放特性と粘着性能：第 79 回日本歯科理工学会学術講演会 研究奨励賞，2022.

(6) 特許

[目次へ戻る](#)

先端歯科補綴学研究室及び 口腔維持修復歯科 咬合・義歯診療科

(1) 職員並びに学生

教授	: 津賀一弘
助教	: 土井一矢, 森田晃司, 牧原勇介, 保田啓介, 横井美有希
医員	: 香川和子, 西尾文子, 木村仁美, 竹田智帆
大学院生	: 橋本悠平, 若松海燕, 吉賀ちひろ, 加藤真康
専門研究員	: 小島玲子
研究員	: 安部倉仁
研修登録医	: 甲山尚幸
契約職員	: 来実倫子

(2) 主な研究活動

- 1: 歯科応用の PEEK 材料に関する基礎研究と大白歯 PEEK クラウンの臨床研究
- 2: 長期療養施設における薬剤耐性菌の保菌調査
- 3: 高齢者を対象とする舌抵抗訓練の実施と効果の検証
- 4: 若年健常者における食行動と口腔機能との関連性
- 5: 歯の喪失による認知機能低下と腸内細菌の関連について
- 6: 歯の喪失が認知機能低下を引き起こすメカニズムについて
- 7: バイオメタルを用いた新規生体材料の開発
- 8: 口腔内スキャナを用いた新規口腔衛生評価法の確立
- 9: インプラント治療に用いる予測診断システムの開発
- 10: 新規無機系抗菌剤を配合した歯科材料の性能・安全性評価

(3) 研究業績

A) 原著 (症例報告を含む)

- 1: Relationship between food crushing and oral function in older adults requiring nursing home care: Yamawaki K, Mori T, Itaki S, Haruta A, Takeda C, Hiraoka A, Maruyama M, Yoshikawa M, Yoshida M, Tsuga K.: A pilot study: *International Journal of Environmental Research and Public Health*, 19(6):3419, 2022.
- 2: Oral hypofunction and its relation to frailty and sarcopenia in community-dwelling older people: Yoshida M, Hiraoka A, Takeda C, Mori T, Maruyama M, Yoshikawa M, Tsuga K: *Gerodontology*. 39(1): 26-32, 2022.
- 3: Experimental tooth loss affects spatial learning function and blood-brain barrier of mice. Oue H, Hatakeyama R, Ishida E, Yokoi M, Tsuga K. *Oral Dis*. 2022 Sep 17. doi: 10.1111/odi.14379. Online ahead of print.
- 4: Clinical report of six-month follow-up after cementing PEEK crown on molars: Kimura H, Morita K, Nishio F, Abekura H, Tsuga K: *Sci Rep*. Nov 9;12(1):19070. doi: 10.1038/s41598-022-23458-5, 2022.
- 5: Implant Stability Following Osseointegration of Dental Implants in Bone Sites Reconstructed with Novel Porous Titanium Scaffold: Wakamatsu K, Doi K, Kobatake R, Makihara Y, Yoshiga C, Tsuga K.: *J Hard Tissue Biol*, 31(2): 115-120, 2022.
- 6: Investigation to Predict Primary Implant Stability Using Frictional Resistance Torque of Tap Drilling: Wakamatsu K, Doi K, Kobatake R, Makihara Y, Oki Y, Tsuga K.: *J Oral Maxillofac Res*, 13(4): e1, 2022.
- 7: Histological and histomorphometric aspects of continual intermittent parathyroid hormone administration on osseointegration in osteoporosis rabbit model.: Oki Y, Doi K, Kobatake R, Makihara Y, Morita K, Kubo T, Tsuga K.: *PLoS One*. 8;17(6):e0269040, 2022.

- 8: Antimicrobial adhesive polyurethane gel sheet with cetylpyridinium chloride-montmorillonite for facial and somato prosthesis fastening.
Nakamori K, Abe Y, Takeuchi M, Kagawa K, Yoshihara K, Yoshida Y, and Tsuga K : *J Prosthodont Res*, Available online 3 June 2022.

B) 総説

C) 著書

D) その他の出版物

E) 学会発表

- 1: 一介護医療院における口腔内薬剤耐性菌の保菌調査：竹内真帆，春田梓，吉川峰加，平岡綾，森隆浩，丸山真理子，竹田智帆，高橋優太郎，上田裕次，吉田光由，津賀一弘：一般社団法人日本老年歯科医学会第 33 回学術大会，新潟，2022.
- 2: 欠損様式と咀嚼能率および習慣性咀嚼側の関係：高橋優太郎，森隆浩，春田梓，竹田智帆，横井美有希，平岡綾，丸山真理子，森田晃司，吉川峰加，吉田光由，守谷直史，津賀一弘：公益社団法人日本補綴歯科学会第 131 回学術大会，大阪（現地開催＋ライブ配信），2022
- 3: 要介護高齢者におけるペコばんだを利用した舌抵抗訓練が口腔内環境へ及ぼす変化：吉川峰加，山脇加奈子，竹本理恵，崎濱光，平岡綾，竹田智帆，長崎信一，津賀一弘：第 28 回日本摂食嚥下リハビリテーション学会，千葉，2022
- 4: 歯冠色 PEEK 材の研磨方法の検討: 加藤真康、安部倉 仁、西尾文子、木村仁美、横井美有希、香川和子、堂脇一朗、森田晃司、津賀一弘:日本補綴歯科学会 第 131 回学術大会, 大阪, 2022.
- 5: 大臼歯 PEEK クラウン装着から 2 年経過した 8 症例: 横井美有希, 安部倉 仁, 香川和子, 西尾文子, 木村仁美, 梅原華子, 沖 佳史, 土井一矢, 森田晃司, 津賀一弘: 日本補綴歯科学会 第 131 回学術大会, 大阪, 2022.
- 6: 日中覚醒時の咬筋筋電図波形積分値の実態解明:石丸智也, 山口泰彦, 服部佳功, 小野高裕, 荒井良明, 長谷川陽子, 志賀博, 玉置勝司, 田中順子, 福本 貴宏, 津賀一弘, 安部倉仁, 宮脇正一, 前田綾, 三上紗季, 後藤田章人, 佐藤華織, 清水 孝一, 加藤 祐次, 浪田健: 令和 4 年度公益法人日本補綴歯科学会東北・北海道支部学術大会, 仙台, WEB 開催, 2022.
- 7: 咬耗症に対して咬合挙上を行い審美回復した症例：森田 晃司: 日本補綴歯科学会 第 131 回学術大会, 大阪, 2022.
- 8: A case report of oral health evaluation using intraoral scanner: Yoshiga C, Doi K, Oue H, Umehara H, Kawagoe M, Tsuga K : 第 55 回広島大学歯学会総会，広島，2022.
- 9: Novel method of predictable primary implant stability using frictional resistance torque of tap drilling measurement: Wakamatsu K, Doi K, Makihara Y, Oki Y, Kobatake R, Kubo T, Tsuga K : 第 55 回広島大学歯学会総会，広島，2022.
- 10: タップドリルによる摩擦抵抗測定とインプラント初期固定についての予備的検討：若松海燕，土井一矢，牧原勇介，沖佳史，小島玲子，久保隆靖，津賀一弘：第 52 回公益社団法人日本口腔インプラント学会学術大会，名古屋，2022.

F) その他(講演等)

- 1: 歯科医師による口腔ケアのお話：横井美有希，梅原華子，広島市家族介護教室（広島），2022.
- 2: ワンランク上の接着、われない、はずれない CAD/CAM レジン冠、オールセラミック冠，講演I 保険 CAD/CAM レジン冠とオールセラミック冠の概要: 安部倉 仁, 令和 4 年度 鳥取県歯科医師会 生涯学習公開セミナー, 公社 日本補綴歯科学会共催, 鳥取 WEB 開催, 2022.

- 3: スポンジ状チタンおよびマイクロメッシュチタンの新規生体材料への試み：土井一矢，2022年度第一回次世代医療システム産業化フォーラム（MDF）医工連携マッチング例会（大阪），2022
- 4: The Possibility of Titanium Porous Materials in Implant Treatment, Satellite Symposium of Advances for Implant Dentistry section: Doi K: 2022 IADR/APR General Session & Exhibition Virtual Experience, China, Chengdu and WEB, 2022
- 5: Plant cultivation plan with the Porous Titanium: Yoshiga C: Woman in Entrepreneurship Education Symposium, Hiroshima, 2022.
- 6: Creation of the new mask with titanium mesh membranes: Wakamatsu K: Woman in Entrepreneurship Education Symposium, Hiroshima, 2022.

（４）科学研究費補助金等の受領状況

- 1: 科学研究費助成事業(若手研究) 継続：横井美有希，FGF受容体シグナル阻害を用いたインプラント周囲炎骨欠損に対する骨再生療法の確立．課題番号：19K19069．1,398千円
- 2: 科学研究費助成事業（若手研究）新規：横井美有希，歯の欠損による認知機能低下と腸内細菌の関連についての探索研究．課題番号：22K171140．2,100千円．
- 3: 科学研究費補助金（基盤研究(C)）継続：大上博史，横井美有希，歯の喪失が認知機能低下を引き起こすメカニズムの解明．課題番号 20K10035，910千円
- 4: 科学研究費補助金（基盤研究(C)）継続：安部倉仁，PEEK材による最後臼歯クラウンおよび臼歯ブリッジの臨床応用についての研究．910千円
- 5: 治験・臨床研究及び研究論文への研究助成 広島大学病院，助成金額：50万円，研究論文題目：Clinical report of six-month follow-up after cementing PEEK crown on molars，研究代表者 安部倉仁．
- 6: 科学研究費補助金（基盤研究(C)）継続：森田晃司，要介護者の咀嚼能力が腸内細菌叢と短鎖脂肪酸産生に及ぼす影響の解明．800千円
- 7: 科学研究費補助金（基盤研究（C））継続：土井一矢，骨形成促進および骨リモデリング機能を有するバイオメタルを用いた顎骨再建療法の確立．課題番号 21K09934．1,170千円
- 8: 科学研究費補助金（若手研究）継続：小島玲子：ハイブリッド機能性顎骨再建複合体の新規開発．2,730千円
- 9: 2022年度サタケ基金研究助成金：吉賀ちひろ：AI口腔衛生評価法による予防的診断システムの研究．200千円．
- 10: 共同研究(2021-2022)：(株)NSK ナカニシ：土井一矢：課題番号 A2100628．2,040千円

（５）学会賞等の受賞状況

- 1: 吉賀ちひろ：根が見える家庭菜園プランター：第20回キャンパスベンチャーグランプリ（CVG）中国 優秀賞（エネルギー中国電力賞），2022.
- 2: 若松海燕：SDGsに向けた新規機能性マスクの創造：第20回キャンパスベンチャーグランプリ（CVG）中国 特別賞（日刊工業新聞社賞），2022.
- 3: 吉賀ちひろ：AI口腔衛生評価法による予防的診断システムの研究：2022年度サタケ基金研究助成金，2022.

（６）特許

[目次へ戻る](#)

歯科矯正学及び口腔健康発育歯科（矯正歯科）

（１）職員並びに学生

教授	: 谷本 幸太郎
准教授	: 國松 亮
診療准教授	: 廣瀬 尚人 (2022.10～)
助教 (大学院)	: 麻川 由起, 矢野下 真, 角 伊三武
助教 (病院)	: 吉見 友希, 柄 優至, 阿部 崇晴
医員 (研修医)	: 岩井 宏次, 山田 桜, 伊藤 翔太, 安藤 和代, 坂田 修三, 中谷 文香, 西山 沙由理, 小泉 祐真, 池田 和隆, 石田 恵莉, 小笠原 伯宏, 壺井 英里, 力武 航大
教育研究補助職員	: Cynthia Concepción Medina
大学院生	: 小田 花奈衣, 久保 尚毅, Nurul Aisyah Rizky Putranti, 阿部 文香, 大頭 慎太郎, 大島 翔, 大堂 綾香, 大城 理紗子, 小川 咲希, 北大樹, 菅井 克仁, 田邊 泉, 緒方 駿, 沖村 尚信, 小野 亜美, 柴田 梨央, 武居 咲希, 仲里 みのり, 中嶋 亮介, パサネン 紫衣生, 畠野 怜奈, 平生 旭
客員教授	: 丹根 一夫 (広島大学名誉教授), 田中 栄二 (徳島大学教授), 高橋 一郎 (九州大学教授), 宮脇 正一 (鹿児島大学教授)
研修登録医	: 田中 邦昭, 板谷 和徳, 小島 将督, 木村 綾, 山本 多栄子, 大西 梓, 高野 真実, 泉野 尋, 曾 浩紀, 平木 智香, 中野 綾菜
歯科衛生士	: 岡田 美穂, 中村 真梨子

（２）主な研究活動

- 1 : 不正咬合の成立機構の解明と、顎顔面骨格成長の制御
 - * 骨代謝に関する基礎的研究
 - * 成長に対する呼吸と口腔周囲筋の影響
 - * エレクトロパラトグラフィーを用いた構音機能の評価
 - * 骨格性下顎前突の関連遺伝子の検索
- 2 : 矯正力による歯の移動の最適化
 - * 歯根吸収発現機序の解明と治療法の探索
 - * 歯の移動時におけるレーザー照射の影響
 - * 消炎鎮痛剤による歯の移動時の歯根吸収抑制
 - * 歯の移動に対する高圧酸素の影響
- 3 : 顎関節症の発現機序の解明と治療法の確立
 - * メカニカルストレスによる関節破壊機序の解明
 - * 変形性顎関節症の治療法の検討
- 4 : 矯正歯科領域における再生医療
 - * 未分化間葉系幹細胞を用いた顎裂閉鎖治療の確立
 - * 幹細胞の骨・軟骨細胞への分化制御に関する検討
 - * エナメル蛋白の再生医療への応用
- 5 : 矯正歯科治療におけるカリエスリスクの低減
 - * エナメル質形成不全症に関する研究
 - * バイオミネラリゼーションによるエナメル質の修復
 - * 矯正歯科治療時のカリエスリスクに関する研究
- 6 : 口腔機能と全身の健康との関わりに関する検討
 - * 睡眠時無呼吸症候群に関する研究
- 7 : 新規医療機器の開発

(3) 研究業績

A) 原著 (2022.1-2022.12 症例報告を含む)

英文

- 1 : Automated segmentation of articular disc of the temporomandibular joint on magnetic resonance images using deep learning : Ito S., Mine Y., Toshimi Y., Takeda S., Tanaka A., Tzu-Yu Peng, Nakamoto T., Nagasaki T., Kakimoto N., Murayama T., Tanimoto K.: *Sci Rep*, 7;12(1): 221. 2022. doi: 10.1038/s41598-021-04354-w.
- 2 : Imipramine prevents Porphyromonas gingivalis lipopolysaccharide-induced microglial neurotoxicity : Yamawaki Y., So H., Oue K., Asano H., Furusho H., Miyauchi M., Tanimoto K., Kanematsu T.: *Biochem Biophys Res Commun.*, 634: 92-99, 2022. doi: 10.1016/j.bbrc.2022.09.109.
- 3 : Complete Genome Sequence of a Hyaluronate Lyase HysA- and HysB-Producing, Methicillin-Resistant Staphylococcus aureus Sequence Type 30, Staphylococcal Cassette Chromosome mec Type IVc Strain Isolated from Furunculosis in Japan. : Koizumi Y., Hisatsune J., Toyoda A., Yamasaki O., Kaneko J., Sugai M.: *Microbiology resource Announcements*, 11(9): e0030822, 2022. doi: 10.1128/mra.00308-22. doi: 10.1038/s41598-021-04354-w
- 4 : Effects of high-frequency near-infrared diode laser irradiation on pain induced by experimental tooth movement in rats : Nakatani A., Kunimatsu R., Tsuka Y., Sakata S., Horie K., Gunji H., Ito S., Kado I., Putranti NAR., Terayama R., Tanimoto K.: *Lasers Med Sci.*, 37(6):2697-2706, 2022. doi: 10.1007/s10103-022-03543-x.
- 5 : Regenerative Nanotechnology: Engineered Surfaces for Stem Cell Production : Nakano A., Kato K.: *Nanomedicine*, 1-18, 2022. doi.org/10.1007/978-981-13-9374-7_20-1
- 6 : Masticatory Function Assessment of Adult Patients With Cleft Lip and Palate After Orthodontic Treatment : Miura S., Ueda H., Iwai K., Medina CC., Ishida E., Kunimatsu R., Tanimoto K.: *Cleft Palate Craniofac J.*, 59 (3):390-398, 2022. doi: 10.1177/1055665621991733.
- 7 : Dental and occlusal changes during mandibular advancement device therapy in Japanese patients with obstructive sleep apnea: four years follow-up : Ishida E., Kunimatsu R., Medina CC., Iwai K., Miura S., Tsuka Y., Tanimoto K.: *J clin Med.*, 19;11(24):7539, 2022. doi: 10.3390/jcm11247539.
- 8 : Combination of carbonate apatite and stem cells from human deciduous teeth promotes bone regeneration by enhancing BMP2, VEGF, and CD31 expression in immunodeficient mice : Putranti NAR., Rikitake K., Hiraki T., Nakajima K., Abe T., Tsuka Y., Sakata S., Nakatani A., Nikawa H., Tanimoto K.: *Cells.*, 13;11(12):1914, 2022. doi: 10.3390/cells11121914.
- 9 : Longitudinal effects of estrogen on mandibular growth and changes in cartilage during the growth period in rats : Kubo N., Awada T., Hirose N., Yanoshita M., Takano M., Nishiyama S., Tsuboi E., Kita D., Ito S., Nakatani A., Onishi A., Asakawa Y., Tanimoto K.: *Developmental Biology*, 492: 126-132, 2022. doi: 10.1016/j.ydbio.2022.10.007.
- 10 : Correction of severe skeletal Class II high angle case with mandibular retrusion and a gummy smile by double jaw surgery. : Yamamoto T., Kaku M., Ono S., Takechi M., Tanimoto K.: *Bull. Tokyo Dent. Coll.*, 11;63(4):177-187, 2022. doi: 10.2209/tdcpublication.2022-0016.
- 11 : Orthodontic treatment for a patient with root resorption of all four maxillary incisors due to bilaterally impacted canines : Yanoshita M., Hirose N., Onishi A., Nishiyama S., Kubo N., Kita D., Tanimoto K.: *Case reports in dentistry*, 5628030, 2022. doi: org/10.1155/2022/5628030
- 12 : Effects of baicalin on the proliferation and expression of OPG and RANKL in human cementoblast-lineage cells : Kunimatsu R., Kimura A., Tsuka Y., Horie K., Yoshimi Y., Abe T., Yamada S., Sakata S., Nakatani A., Kitagawa M., Miyauchi M., Takata T., Tanimoto K.: *J Dent Sci.*, 2022;17(2):162-169 doi.org/10.1016/j.jds.2021.05.009.
- 13 : The Influence of 2-Methacryloyloxyethyl Phosphorylcholine Polymer Materials on Orthodontic Friction and Attachment of Oral Bacteria : Kunimatsu R., Tsuka Y., Nakajima K., Sumi K., Yoshimi

- Y., Kado I., Inada A., Kiritoshi Y., Tanimoto K.: *Materials*, 21;15(16):5770, 2022. doi: 10.3390/ma15165770.
- 14 : Effects of Human Deciduous Dental Pulp-Derived Mesenchymal Stem Cell-Derived Conditioned Medium on the Metabolism of HUVECs, Osteoblasts, and BMSCs : Kunimatsu R., Hiraki T., Rikitake K., Nakajima K., Putranti NAR., Abe T., Ando K., Nakatani A., Sakata S., Tanimoto K.: *Cells*, 14;11(20):3222, 2022. doi: 10.3390/cells11203222.
- 15 : Functional regulation of osteoblastic MC3T3E-1 cells by hyperbaric oxygen treatment : Kaku M., Izumino J., Yamamoto T., Yashima Y., Shimoe S., Tanimoto K.: *Arch Oral Biol.*, 2022. Online ahead of print doi: 10.1016/j.archoralbio.2022.105410.
- 16 : Impact of Maximum Tongue Pressure in Patients with Jaw Deformities Who Underwent Orthognathic Surgery : Koizumi K., Shintani T., Yoshimi Y., Higaki M., Kunimatsu R., Yoshioka Y., Tsuga K., Tanimoto K., Shiba H., Toratani S.: *Diagnostics*, 12(2): 404, 2022. doi: 10.3390/diagnostics12020404.
- 17 : Characteristics of the Maxillofacial Morphology in Patients with Idiopathic Mandibular Condylar Resorption : Tanimoto K., Awada T., Onishi A., Kubo N., Asakawa Y., Kunimatsu R., Hirose N.: *J Clin Med.*, 2022 11;11(4):952 doi: 10.3390/jem11040952.
- 18 : Study of Alveolar Bone Remodeling Using Deciduous Tooth Stem Cells and Hydroxyapatite by Vascular Endothelial Growth Factor Enhancement and Inhibition of Matrix Metalloproteinase-8 Expression in vivo : Saskianti T., Nugraha AP., Prahasanti C., Ernawati DS., Tanimoto K., Riawan W., Kanawa M., Kawamoto T., Fujimoto K.: *Clin Cosmet Investig Dent.*, 14: 71-78, 2022. doi: 10.2147/CCIDE.S354153.

和文

- 1 : Evaluation of Frictional Force due to Bracket Size Difference -A Pilot Study- : 柄 優至, 國松 亮, 中島健吾, 津賀一弘, 谷本幸太郎 : *広島歯誌*, 54(1) : 18-24, 2022.
- 2 : 非症候性部分無歯症を伴う骨格性上顎前突患者の一治療例 : 國松 亮, 麻川由起, 柄 優至, 坂田修三, 池田和隆, 谷本幸太郎 : *広島歯誌*, 54(2) : 89-98, 2022.
- 3 : Recombinant protein synthesis for nanomaterial assembly: Technical overview. : 中野綾菜, 加藤功一 : *ナノ学会会報*, 20(2) : 31-37, 2022.
- 4 : 連続抜去法の施行後に生じた叢生に対し歯科矯正用アンカースクリューを併用して再治療を行った1例 : 廣瀬尚人, 大西 梓, 矢野下 真, 山内優佳, 西山沙由理, 久保尚毅, 北 大樹, 松永 萌, 谷本幸太郎 : *中・四国矯正歯科学会雑誌*, 34(1) : 31-38, 2022.
- 5 : 骨格性下顎前突および象牙質形成不全症を伴う骨形成不全症患者に対し外科的矯正治療を行った一例 : 小松真実, 麻川由起, 廣瀬尚人, 壺井英里, 中谷文香, 國松 亮, 谷本幸太郎 : *中・四国矯正歯科学会雑誌*, 34(1) : 65-74, 2022.

B) 総説 (2022.1-2022.12)

C) 著書 (2022.1-2022.12)

D) その他の出版物 (2022.1-2022.12)

- 1 : 谷本幸太郎 : *解剖学と歯科医学教育*, 広大 白菊, 52, 21-22, 2022.
- 2 : 谷本幸太郎 : *公益社団法人日本矯正歯科学会会報 委員会だより 卒後教育委員会・研修機関 検討委員会*, 公益社団法人日本矯正歯科学会インフォメーションレター, No.1, 7, 2022.

E) 学会発表 (2022.1-2022.12)

- 1 : Deep Learning を用いた MRI 画像からの顎関節円板自動検出法の検討 : 吉見友希, 峯 裕一, 伊藤翔太, 竹田沙織, 岡崎昌太, 占部志歩, 村山 長, 谷本幸太郎 : 日本デジタル歯科学会第 13 回学術大会 (東京), 2022.
- 2 : 畳み込みニューラルネットワークによる側貌写真からの骨格系角度予測 : 占部志歩, 峯裕一, 岡崎昌太, 伊藤翔太, 吉見友希, 竹田沙織, 江口 透, 谷本幸太郎, 村山 長 : 日本デジタル歯科学会第 13 回学術大会 (東京), 2022.
- 3 : CD146 陽性乳歯歯髄由来間葉系幹細胞を用いた骨再生治療への応用 : 力武航大, 國松亮, 吉見友希, 中島健吾, 平木智香, Putranti NAR., 柄 優至, 阿部崇晴, 安藤和代, 谷本幸太郎 : 第 46 回日本口蓋裂学会総会・学術集会 (鹿児島), 2022.
- 4 : 著しい過蓋咬合を伴う骨格性下顎前突、脊髄終止症候群患者の一治療 : 柄 優至, 國松亮, 麻川由起, 谷 亮治, 谷本幸太郎 : 第 32 回日本顎変形症学会総会・学術大会 (新潟), 2022.
- 5 : Prediction of cephalometric ANB angle on lateral profile photographs using convolutional neural network : 岡崎昌太, 峯 裕一, 占部志歩, 伊藤翔太, 吉見友希, 谷本幸太郎, 竹田沙織, 村山 長 : 第 55 回広島大学歯学会総会 (広島), 2022.
- 6 : Deep Learning によるマルチベンダーMRI 画像からの関節円板検出 : 峯 裕一, 岡崎昌太, 吉見友希, 伊藤翔太, 谷本幸太郎, 村山 長 : 日本補綴歯科学会第 131 回学術大会 (大阪), 2022.
- 7 : 3D 歯列模型を用いた顎変形症患者における保定期間中の後戻りについての検討 : 阿部崇晴, 伊藤翔太, 泉野 尋, 吉見友希, 角 伊三武, 平野恒陽, 谷本幸太郎 : 第 65 回中・四国矯正歯科学会大会 (福山), 2022.
- 8 : 過去 30 年間の広島大学病院矯正歯科における骨格性上顎前突に対する外科的矯正治療の臨床的検討 : 坂田修三, 麻川由起, 吉見友希, 大西 梓, 中野綾菜, 池田和隆, 力武航大, 谷本幸太郎 : 第 65 回中・四国矯正歯科学会大会 (福山), 2022.
- 9 : 著しい開口障害および下顎頭の変形を伴う不正咬合患者に対し包括的な矯正歯科治療を行った一例 : 廣瀬尚人, 矢野下 真, 大西 梓, 西山沙由理, 久保尚毅, 北 大樹, 壺井英里, 麻川由起, 谷本幸太郎 : 第 35 回一般社団法人日本顎関節学会総会・学術大会 (北海道), 2022.
- 10 : 週齢の違いがラット顎関節および血清中の Semaphorin 3 A 発現に与える影響 : 壺井英里, 廣瀬尚人, 麻川由起, 矢野下 真, 大西 梓, 高野真実, 西山沙由理, 久保尚毅, 北 大樹, 谷本幸太郎 : 第 35 回一般社団法人日本顎関節学会総会・学術大会 (北海道), 2022.
- 11 : 下顎頭の成長に伴うエストロゲンの下顎骨および軟骨への影響 : 久保尚毅, 廣瀬尚人, 栗田哲也, 矢野下 真, 西山沙由理, 壺井英里, 北 大樹, 大西 梓, 麻川由紀, 谷本幸太郎 : 第 35 回一般社団法人日本顎関節学会総会・学術大会 (北海道), 2022.
- 12 : 関節円板前方転位モデルラットにおける下顎頭の形態学的、組織学的変化 : 北 大樹, 矢野下 真, 廣瀬尚人, 西山沙由理, 壺井英里, 久保尚毅, 大西 梓, 麻川由起, 谷本幸太郎 : 第 35 回日本顎関節学会総会・学術大会 (北海道), 2022.
- 13 : 下顎頭の変形および顎位の不安定さを認めた開咬を伴う上顎前突症に対する矯正歯科治療の一例 : 廣瀬尚人, 矢野下 真, 西山沙由理, 久保尚毅, 北 大樹, 岩井宏次, 石田恵莉, 谷本幸太郎 : 第 81 回日本矯正歯科学会学術大会&第 9 回日韓ジョイントシンポジウム (大阪), 2022.
- 14 : 埋伏犬歯による上顎 4 前歯の歯根吸収を認めた叢生症例に対し行ったマルチブラケット治療の 1 例 : 矢野下 真, 廣瀬尚人, 大西 梓, 西山沙由理, 久保尚毅, 北 大樹, 谷本幸太郎 : 第 81 回日本矯正歯科学会学術大会&第 9 回日韓ジョイントシンポジウム (大阪), 2022.
- 15 : 畳み込みニューラルネットワークを用いた顔面写真からの骨格型角度予測 : 伊藤翔太, 吉見友希, 峯 裕一, 占部志歩, 岡崎昌太, 竹田沙織, 村山 長, 谷本幸太郎 : 第 81 回日本矯正歯科学会学術大会&第 9 回日韓ジョイントシンポジウム (大阪), 2022.
- 16 : 高周波近赤外線半導体レーザー照射は実験的歯の移動によって誘発された過度な炎症性マーカー発現を抑制させる : 中谷文香, 國松 亮, 柄 優至, 坂田修三, 伊藤翔太, 角 伊三武, Putranti NAR., 谷本幸太郎 : 第 81 回日本矯正歯科学会学術大会&第 9 回日韓ジョイントシンポジウム (大阪), 2022.

- 17 : 歯科矯正用アンカースクリューを用いて治療した下顎の側方偏位を伴う骨格性開咬の1例 : 西山沙由理, 廣瀬尚人, 矢野下 真, 大西 梓, 久保尚毅, 北 大樹, 谷本幸太郎 : 第 81 回日本矯正歯科学会学術大会&第 9 回日韓ジョイントシンポジウム (大阪), 2022.
- 18 : 矯正歯科治療と並行して口腔筋機能療法を行った前歯部開咬症例 : 石田恵莉, 麻川由起, 廣瀬尚人, 矢野下 真, 岩井宏次, Cynthia CM., 西山沙由理, 久保尚毅, 北 大樹, 柄 優至, 安藤和代, 岡田美穂, 山田幸子, 谷本幸太郎 : 第 81 回日本矯正歯科学会学術大会&第 9 回日韓ジョイントシンポジウム (大阪), 2022.
- 19 : CD146 陽性乳歯歯髓由来間葉系幹細胞の骨分化能についての評価 : 力武航大, 國松 亮, 吉見友希, 中島健吾, 平木智香, Putranti NAR., 柄 優至, 阿部崇晴, 安藤和代, 谷本幸太郎 : 第 81 回日本矯正歯科学会学術大会&第 9 回日韓ジョイントシンポジウム (大阪), 2022.
- 20 : 乳歯歯髓由来間葉系幹細胞および炭酸アパタイト担体を併用した骨再生治療への応用 : Putranti NAR., 國松 亮, 力武航大, 平木智香, 吉見友希, 中島健吾, 柄 優至, 阿部崇晴, 坂田修三, 中谷文香, 二川浩樹, 谷本幸太郎 : 第 81 回日本矯正歯科学会学術大会&第 9 回日韓ジョイントシンポジウム (大阪), 2022.
- 21 : 歯髓由来間葉系幹細胞のエクソソームが骨髄由来間葉系幹細胞に及ぼす影響 : 阿部崇晴, 國松亮, 伊藤翔太, 坂田修三, 力武航大, Putranti NAR., 柴田梨央, 谷本幸太郎 : 第 61 回広島県歯科医学会・第 106 回広島大学歯学会例会 (広島), 2022.
- 22 : 下顎骨前方移動術後の骨片の位置変化が上気道形態へ及ぼす影響の検討 : 坂田修三, 國松亮, 阿部崇晴, 岩井宏次, Cynthia CM., 麻川由起, 吉見友希, 池田和隆, 力武航大, 谷本幸太郎 : 第 61 回広島県歯科医学会・第 106 回広島大学歯学会例会 (広島), 2022.
- 23 : 高周波近赤外線半導体レーザー照射が実験的歯の移動モデルにおける疼痛に対する影響 : 中谷文香, 國松 亮, 柄 優至, 坂田修三, 伊藤翔太, 角 伊三武, Putranti NAR., 寺山隆司, 谷本幸太郎 : 第 61 回広島県歯科医学会・第 106 回広島大学歯学会例会 (広島), 2022.
- 24 : 乳歯歯髓由来間葉系幹細胞および炭酸アパタイト担体を併用した骨再生治療への応用 : Putranti NAR., 國松 亮, 力武航大, 平木智香, 吉見友希, 中島健吾, 柄 優至, 阿部崇晴, 坂田修三, 中谷文香, 二川浩樹, 谷本幸太郎 : 第 61 回広島県歯科医学会・第 106 回広島大学歯学会例会 (広島), 2022.
- 25 : 下顎骨前方移動術に伴う上気道形態の長期的な変化に関する検討 : 坂田修三, 國松 亮, 阿部崇晴, 岩井宏次, Cynthia CM., 麻川由起, 吉見友希, 池田和隆, 力武航大, 谷本幸太郎 : 第 21 回日本睡眠歯科学会総会・学術集会 (沖縄), 2022.
- 26 : ヒト培養骨芽細胞の骨代謝関連因子に対する Er: YAG レーザー照射の影響 : 柄 優至, 國松亮, 坂田修三, 中谷文香, 谷本幸太郎 : 第 34 回日本レーザー歯学会総会・学術大会 (東京), 2022.
- 27 : ヒト軟骨細胞に惹起された炎症に対する高周波近赤外線半導体レーザー照射の影響 : 坂田修三, 國松 亮, 柄 優至, 中谷文香, 谷本幸太郎 : 第 34 回日本レーザー歯学会総会・学術大会 (東京), 2022.
- 28 : 高周波近赤外線領域半導体レーザー照射がヒト培養セメント芽細胞の骨分化能に及ぼす影響 : 中谷文香, 國松 亮, 柄 優至, 坂田修三, 谷本幸太郎 : 第 34 回日本レーザー歯学会総会・学術大会 (東京), 2022.
- 29 : Euron-specific overexpression of human VPAC2 receptors in mice causes cognitive dysfunction : 小野亜美, 古庵大地, 浅野智志, 宮岡辰典, Chen L., 山田めみ, 中川晋作, 早田-高野敦子, 中澤敬信, 原田彰宏, 橋本 均, Waschek J.A., 吾郷由希夫 : The 15th International Symposium on VIP, PACAP and Related Peptides/The 1st International Society for BioactivePeptides Meeting of VPAC ISBAP 2022 (大阪), 2022.

F) シンポジウムおよび依頼講演 (2022.1-2022.12)

- 1 : 谷本幸太郎 : 矯正歯科治療におけるAIおよびアライナーの活用, 令和3年度広島矯正歯科医学会学術講演会 (広島、オンライン), 2022.
- 2 : Tanimoto K : Orthodontics and temporomandibular disorders -The mechanism of condylar resorption and possible solutions -, The 4th International Advanced Orthodontic Training Program in TMU

- (Taipei, online), 2022.
- 3 : Tanimoto K : Preventive and Interceptive Orthodontics in Children, Stovit Online Series (SOS) 2022, Universitas Airlangga (Surabaya, online), 2022
 - 4 : Tanimoto K : Functional Jaw Orthopedics in Children, Stovit Online Series (SOS) 2022, Universitas Airlangga (Surabaya, online), 2022.
 - 5 : 麻川由起 : 下顎骨前方移動術を施行した下顎後退型上顎前突症の長期経過における術後変化とその要因 : 第65回中・四国矯正歯科学会大会 (広島), 2022
 - 6 : 谷本幸太郎 : 矯正歯科治療中に生じた顎関節症への対応に求められるもの : 第35回日本顎関節学会総会・学術大会 (北海道), 2022.
 - 7 : 矢野下 真 : 過度なメカニカルストレスによる下顎頭吸収メカニズムの検討 : 第35回日本顎関節学会総会・学術大会 (北海道), 2022.
 - 8 : 谷本幸太郎 : 臨床研修施設の新規申請、研修機関からの実態報告、および実地調査 : 第81回日本矯正歯科学会学術大会&第9回日韓ジョイントシンポジウム (大阪), 2022.
 - 9 : 谷本幸太郎 : 特発性下顎頭吸収への対応 : 第81回日本矯正歯科学会学術大会&第9回日韓ジョイントシンポジウム (大阪), 2022.
 - 10 : 谷本幸太郎 : 矯正歯科治療中における顎関節症の経過からの考察 : 第81回日本矯正歯科学会学術大会&第9回日韓ジョイントシンポジウム (大阪), 2022.
 - 11 : 谷本幸太郎 : 外科的矯正治療の経過—術後の長期的な安定性の考察—, 第61回広島県歯科医学会・第106回広島大学歯学会例会 (広島), 2022.
 - 12 : 國松 亮 : 半導体レーザーを応用した歯の移動時における疼痛軽減の作用機序解明 : 第34回日本レーザー歯学会総会・学術大会 (東京), 2022.

(4) 科学研究費補助金等の受領状況

- 1 : 科学研究費補助金基盤研究 (C) : 谷本幸太郎, 乳歯歯髄幹細胞由来エクソソームの機能解析と顎裂部骨再生誘導への応用. 21K10186. 1,300千円
- 2 : 科学研究費補助金基盤研究 (C) : 柄 優至, 乳歯歯髄幹細胞の最適な移植条件探索とコールドレーザーによる口蓋裂再生治療法の確立. 20K10226. 1,300千円
- 3 : 科学研究費補助金基盤研究 (C) : 吉見友希, 機能性アモロゲンペプチドと幹細胞パラクライン作用を用いた歯根吸収予防法への展開. 22K10247. 1,820千円
- 4 : 科学研究費補助金基盤研究 (C) : 廣瀬尚人, エストロゲン-NFAT を介した特発性下顎頭吸収の発症機構の解明と治療法の確立. 22K10272. 1,950千円
- 5 : 科学研究費補助金基盤研究 (C) : 麻川由起, Sema3A による下顎頭軟骨分化促進機構の解明と下顎後退症新規治療への応用. 22K10273. 1,690千円
- 6 : 科学研究費補助金若手研究 : 阿部崇晴, 乳歯歯髄由来間葉系幹細胞エクソソームを応用した低侵襲性顎裂部閉鎖治療の確立. 21K17186. 2,730千円
- 7 : 科学研究費補助金若手研究 : 角 伊三武, 次世代シーケンサーによる矯正歯科患者の網羅的細菌叢解析とリスク管理法構築への展開. 21K17161. 2,990千円
- 8 : 科学研究費補助金若手研究 : 山本多栄子, NSAID およびアセトアミノフェンの歯根吸収抑制効果の比較とそのメカニズムの解明. 21K17184. 1,170千円
- 9 : 科学研究費補助金若手研究 : 木村 綾, フラボノイド配糖体生薬を応用した変形性顎関節症治療法の探索と下顎頭吸収機序の解明. 21K17160. 2,340千円
- 10 : 科学研究費補助金若手研究 : 泉野 尋, 天然物ケミカルバイオロジーによる歯周組織代謝活性の探索と歯根吸収予防治療への応用. 21K17185. 2,730千円
- 11 : 科学研究費補助金若手研究 : 矢野下 真, 関節円板前方転位による変形性顎関節症モデルの新規確立と OA メカニズムの解明. 22K17230. 2,340千円
- 12 : 科学研究費補助金若手研究 : 大西 梓, Integrin を介する機械的負荷がヒアルロン酸レセプターCD44 に及ぼす影響. 22K17231. 2,340千円
- 13 : 科学研究費補助金若手研究 : 伊藤翔太, miR-125b による骨代謝制御を標的とした新規骨再生療法の検討. 22K17252. 1,560千円

- 14：科学研究費補助金若手研究：西山沙由理，ANGPTL2の軟骨基質破壊メカニズムの解明と変形性顎関節症治療薬の新規確立。22K17253。2,210千円
- 15：科学研究費補助金若手研究：平木智香，乳歯歯髄幹細胞培養上清・エクソソームの骨誘導機序の解明と口蓋裂骨再生治療への応用。22K17229。2,470千円
- 16：科学研究費補助金研究活動スタート支援：坂田修三，コールドレーザーによる基質代謝活性の制御技術を応用した顎関節軟骨再生治療法の確立。21K21041。1,560千円
- 17：科学研究費補助金研究活動スタート支援：中野綾菜，組織工学による顎裂部閉鎖治療を目的としたタンパク質性因子の放出制御。21K21014。1,560千円
- 18：科学研究費補助金研究活動スタート支援：安藤和代，線維性異形成症における感受性遺伝子の探索とクリスパー技術を用いた骨分化機構の解明。21K21015。1,560千円
- 19：科学研究費補助金研究活動スタート支援：力武航大，新規顎裂部閉鎖治療を目指した乳歯歯髄由来間葉系幹細胞集団の同定と骨再生機構の解明。22K21062。1,430千円
- 20：科学研究費補助金研究活動スタート支援：小笠原伯宏，miR-125bが担う骨代謝機能の解析と矯正歯科治療への応用の可能性。22K21040。1,170千円
- 21：共同研究:(株)丸善製薬:國松亮，炎症抑制素材の評価。1,000千円
- 22：新産業創出研究会:國松 亮:口腔用途で新たな機能を訴求しうる天然由来生薬エキスの探索と機能性表示食品・口腔ケア商品の開発。1,000千円

(5) 学会賞等の受賞状況

- 1：吉見友希：日本デジタル歯科学会第13回学術大会 優秀発表賞
- 2：力武航大：第25回日本矯正歯科学会 学術奨励賞
- 3：北 大樹：第35回顎関節学会総会・学術大会, ポスター発表最優秀賞 石橋賞
- 4：伊藤翔太：第81回日本矯正歯科学会学術大会&第9回日韓ジョイントシンポジウム 優秀発表賞
- 5：力武航大：第81回日本矯正歯科学会学術大会&第9回日韓ジョイントシンポジウム 優秀発表賞
- 6：中谷文香：第34回日本レーザー歯学会学術大会 優秀発表賞
- 7：坂田修三：第34回日本レーザー歯学会学術大会 優秀発表賞
- 8：久保尚毅：令和4年度広島大学エクセレントスチューデントスカラシップ
- 9：國松 亮：第25回広島大学歯学部同窓会 奨励賞

(6) 特許

[目次へ戻る](#)

歯科放射線学及び口腔再建外科（歯科放射線科）

（１）職員並びに学生

教授	: 柿本直也	(*) 科長 : 柿本直也
准教授	: 中元 崇	
講師	: 末井良和 (診療准教授), 小西 勝	
助教	: 長崎信一, 大塚昌彦, 島袋紀一 (7月~)	
医員	: 島袋紀一 (4月~6月)	
大学院生	: 島袋紀一 (~3月), Pongsapak Wongratwanich (~9月)	

（２）主な研究活動

- 1: 口腔病変のエックス線画像診断
- 2: 下顎骨骨髓炎のエックス線学的検討
- 3: 診断用X線領域における線量測定の研究
- 4: 嚥下造影検査に関する研究
- 5: 口腔癌放射線治療及び小線源治療による治療成績の改善に関する検討
- 6: パノラマX線写真を用いた骨粗鬆症スクリーニングに関する研究
- 7: 口腔癌に対する放射線治療後の味覚障害に関する研究
- 8: MRI を用いた顎関節部定量評価

（３）研究業績

A) 原著（症例報告を含む）

- 1: Brachytherapy with ¹⁹⁸Au grains for cancer of the floor of the mouth: relationships between radiation dose and complications: Konishi M, Takeuchi Y, Imano N, Kubo K, Nishibuchi I, Murakami Y, Shimabukuro K, Wongratwanich P, Kakimoto N, Nagata Y: *Oral Radiol*, 38(1): 105-113, 2022.
- 2: Predictive factors of late cervical lymph node metastasis using intraoral sonography in patients with tongue cancer: Konishi M, Fujita M, Shimabukuro K, Wongratwanich P, Kakimoto N: *Anticancer Res*, 42(1): 287-292, 2022.
- 3: Reirradiation using ¹⁹⁸Au grain brachytherapy for recurrent oral cancer cases previously treated by definitive radiotherapy: Konishi M, Takeuchi Y, Kubo K, Imano N, Nishibuchi I, Murakami Y, Shimabukuro K, Wongratwanich P, Kakimoto N, Nagata Y: *Anticancer Res*, 42(1): 293-300, 2022.
- 4: Investigating the displacement of radioactive sources during ¹⁹⁸Au grain brachytherapy for hospitalized oral cancer patients: Konishi M, Takeuchi Y, Kubo K, Imano N, Nishibuchi I, Murakami Y, Shimabukuro K, Wongratwanich P, Kakimoto N, Nagata Y: *J Contemp Brachytherapy*, 14(2): 115-122, 2022.
- 5: Development of a radiomics and machine learning model for predicting occult cervical lymph node metastasis in patients with tongue cancer: Kubo K, Kawahara D, Murakami Y, Takeuchi Y, Katsuta T, Imano N, Nishibuchi I, Saito A, Konishi M, Kakimoto N, Yoshioka Y, Toratani S, Ono S, Ueda T, Takeno S, Nagata Y: *Oral Surg Oral Med Oral Pathol Oral Radiol*, 134(1):93-101, 2022.
- 6: Periodontal inflamed surface area in oral cavity associated with febrile neutropenia in patients with hematologic malignancy undergoing chemotherapy: Nishi H, Ohta K, Kuramoto Y, Shigeishi H, Obayashi T, Yoshioka Y, Konishi M, Shimizu Y, Munenaga S, Kakimoto N, Ohge H, Kurihara H, Ichinohe T, Kawaguchi H: *Sci Rep*, 15;12(1):2483, 2022.
- 7: Low-Dose-Rate Irradiation Suppresses the Expression of Cell Cycle-Related Genes, Resulting in Modification of Sensitivity to Anti-Cancer Drugs: Shimabukuro K, Fukazawa T, Kanai A, Kawai H, Mekata K, Hirohashi N, Kakimoto N, Tanimoto K.: *Cells*, 11(3):501, 2022
- 8: Osteoporosis screening support system from panoramic radiographs using deep learning by convolutional neural network: Nakamoto T, Taguchi A, Kakimoto N: *Dentomaxillofac Radiol*, 51(6):

20220135. doi: 10.1259/dmfr.20220135, 2022.
- 9: Cancellous bone-like tissue replacement from calcinosis in patients with systemic sclerosis with multiple external root resorption: Memida T, Matsuda S, Nakamoto T, Ouhara K, Kajiya M, Hirata S, Sugiyama E, Kakimoto N, Mizuno N: *Bone Rep*, 16:101165. doi: 10.1016/j.bonr.2021.101165, 2022.
 - 10: Intra- and inter-examination reproducibility of T2 mapping for temporomandibular joint assessment at 3.0 T: Wongratwanich P, Nagasaki T, Shimabukuro K, Konishi M, Ohtsuka M, Suei Y, Nakamoto T, Akiyama Y, Awai K, Kakimoto N: *Sci Rep*. 12(1):10993. doi: 10.1038/s41598-022-15184-9, 2022.
 - 11: Automated segmentation of articular disc of the temporomandibular joint on magnetic resonance images using deep learning: Ito S, Mine Y, Yoshimi Y, Takeda S, Tanaka A, Onishi A, Peng TY, Nakamoto T, Nagasaki T, Kakimoto N, Murayama T, Tanimoto K: *Sci Rep*. 2022 12(1):221. doi: 10.1038/s41598-021-04354-w, 2022.
 - 12: Evaluation of alveolar bone hypomineralization in pediatric hypophosphatasia using orthopantomography: Okawa R, Nakamoto T, Matayoshi S, Nakano K, Kakimoto N: *Sci Rep*. 12(1):1211. doi: 10.1038/s41598-022-05171-5, 2022.
 - 13: Four cases of cytokine storm after COVID-19 vaccination: case report: Murata K, Nakao N, Ishiuchi N, Fukui T, Katsuya N, Fukumoto W, Oka H, Yoshikawa N, Nagao T, Namera A, Kakimoto N, Oue N, Awai K, Yoshimoto K, Nagao M: *Frontiers in Immunology*. 2022 Aug 15;13:967226. doi: 10.3389/fimmu.2022.967226.
 - 14: Analysis of the feasibility of using deep learning for multiclass classification of dental anomalies on panoramic radiographs: Okazaki S, Mine Y, Iwamoto Y, Urabe S, Mitsuhata C, Nomura R, Kakimoto N, Murayama T: *Dent Mater J*. 2022 Nov 30;41(6):889-895. doi: 10.4012/dmj.2022-098.
 - 15: Osteoporosis screening support system from panoramic radiographs using deep convolutional neural network: Nakamoto T, Taguchi A, Kakimoto N: *Dentomaxillofac Radiol*. 2022 Aug 2:20220135. doi: 10.1259/dmfr.20220135.

B) 総説

C) 著書

- 1: 第2章「放射線治療におけるチームビルディング」 第1節チームを作る 3b: 小線源治療の新規導入に活かしたチームワーク ; 実践! がん放射線治療チームオンコロジー”よかった”を全てのひとへ: 広島大学病院放射線治療チーム医療プロジェクト編: 株式会社錦プリント (広島): 柿本直也、45-48, 2022.
- 2: V 章口腔がんの放射線治療 3. 放射線治療患者の有害反応と口腔管理; 視覚で学ぶ歯科放射線学 (金田隆、村上秀明、森本泰宏): 柿本直也: 有限会社砂書房 (東京), 148-150, 2022
- 3: 第1章診察2-2CT; 口腔外科研修ハンドブック (原田浩之、桐田忠明、鄭漢忠、池邊哲郎、岸本裕充): 柿本直也: 医歯薬出版株式会社 (東京): 9-15, 2022

E) 学会発表

- 1: Tastes change after administering brachytherapy for tongue cancer patients: Konishi M, Shimabukuro K, Wongratwanich P, Kakimoto N: *The 13th Asian Congress of Oral and Maxillo-facial Radiology, Gifu, Japan*, 2022.
- 2: 頬粘膜癌に対する 198Au グレインを用いた小線源治療の治療成績と有害事象の検討: 小西勝, 廣川淳一, 三好章太, 勝田剛, 今野伸樹, 西淵いくの, 村上祐司, 島袋紀一, 柿本直也, 永田靖: 日本放射線腫瘍学会第35回学術大会, 広島市, 2022.
- 3: 診断に苦慮した下顎の分葉状毛細血管腫の一例: 鈴木泰志、長崎信一、大林史誠、安藤俊範、島袋紀一、大塚昌彦、末井良和、小西勝、中元崇、柿本直也: 日本歯科放射線学会第41回関西・九州合同地方会, 金沢市, 2022.
- 4: CBCTを用いたPre-Eruptive Intracoronal Resorptionの評価: 島袋紀一, 小西勝, 長崎信一, 大塚昌彦, 中元崇, 末井良和, 柿本直也: 日本歯科放射線学会第41回関西・九州合

- 同地方会, 金沢市, 2022.
- 5: Fiberoptic endoscopic evaluation of swallowing may increase pharyngeal residue in postoperative oral cancer patient: Nagasaki T, Yamada S, Yoshida M, Yoshikawa M, Shimabukuro K, Ohtsuka M, Konishi M, Suei Y, Nakamoto T, Kakimoto N: The 13th Asian Congress of Oral and Maxillo-facial Radiology, Gifu, Japan, 2022.
 - 6: 酵素補充療法を行っていない低ホスファターゼ症患者における下顎骨骨密度に関する経時的分析: 奥田真琴、又吉紗綾、苅谷里奈、中元崇、大川玲奈、柿本直也、仲野和彦: 第 60 回日本小児歯科学会大会, 千葉市 (ハイブリッド), 2022.
 - 7: パノラマエックス線写真を用いた低ホスファターゼ症患者の下顎骨骨密度の定量的評価: 高木美里、又吉紗綾、苅谷里奈、中元崇、大川玲奈、柿本直也、仲野和彦: 第 60 回日本小児歯科学会大会, 千葉市 (ハイブリッド), 2022.
 - 8: 災害対応の多職種連携教育に向けた調査 医・歯学部学生の災害時の歯科および他職種の役割についての知識: 岡広子、柿本直也: 第 41 回日本歯科医学教育学会: Web 開催、2022.
 - 9: 広島大学医系科学研究科附属死因究明教育研究センターおよび同法歯学部門の活動—2021 年度概要報告—: 岡広子、柿本直也、野村良太、福本航、勝矢脩嵩、石内直樹、奈女良昭、栗井和夫、長尾正崇: 第 106 回広島大学歯学会 併催 第 61 回広島県歯科医学会、広島市、2022.
 - 10: 高齢者の口腔内に使用されている歯科用金属材料の検証—死因究明教育研究センター 2 1 事例の分析—: 岡広子、大林奈美、北川雅恵、勝矢脩嵩、石内直樹、柿本直也、長尾正崇: 第 106 回広島大学歯学会 併催 第 61 回広島県歯科医学会、広島市、2022.
 - 11: 上顎腫瘍(Juvenile psammomatoid ossifying fibroma and odontoma associated with Sturge-Weber syndrome): 古庄寿子, 佐藤亜希, 松村達志, 中野誠, 澤木康一, 吉岡洋祐, 明石翔, 水川展吉, 飯田征二, 柿本直也, 宮内睦美: 第 32 回日本口腔内科学会・第 33 回日本臨床口腔病理学会・第 35 回日本口腔診断学会合同学術大会、札幌市、2022.

F) 講演、シンポジウム

(4) 科学研究費補助金等の受領状況

- 1: 科学研究費補助金 若手研究: 小西勝, 放射線治療による味覚障害の本態と回復過程の解明 20K18807, 700 千円
- 2: 放射線災害・医科学研究拠点共同利用・共同研究費: 小西勝, 島袋紀一, 松浦伸也, 放射線による味覚障害メカニズムの研究, 100 千円
- 3: 株式会社ナカニシとの共同研究: 土井一矢 (研究代表者), 小西勝(分担研究者), 骨切削抵抗値による骨質診断システム確立のための基礎研究, 200 千円
- 4: 科学研究費 基盤研究 C: 柿本直也、齋藤明登、中元崇、小西勝. 口腔癌の高線量率適応組織内照射における定量的線量評価と線量分布予測モデル作成. 課題番号 22K10219. 2290 千円

(5) 学会賞等の受賞状況

[目次へ戻る](#)

歯髄生物学研究室 及び口腔維持修復歯科（歯科保存診療科）

(1) 職員並びに学生

教授：柴 秀樹

講師：武田克浩（診療准教授）

助教：土屋志津（診療講師），西藤法子，吉田和真，中西 惇，古玉大祐

大学院生：白輪地聡美，熊谷友樹，貞岡直樹，成瀬友哉，川柳智輝，王楚天，
西濱早紀，宮田彩加

(2) 主な研究活動

- 1: 象牙質/歯髄複合体および根尖歯周組織の生物学的再生
- 2: 炎症制御による歯髄再生療法の開発
- 3: 根尖部根管の生物学的封鎖法
- 4: 難治性疼痛の新規治療薬の開発

(3) 研究業績

A) 原著（症例報告を含む）

- 1: Oxidative stress impairs the calcification ability of human dental pulp cells: Shirawachi S., Takeda K., Naruse T., Takahashi Y., Nakanishi J., Shindo S., Shiba H.: *BMC Oral Health*, 22 :437, 2022.
- 2: Loss of IκB ζ drives dentin formation via altered H3K4me3 Status: Yuan H., Suzuki S., Terui H., Hirata-Tsuchiya S., Nemoto E., Yamasaki K., Saito M., Shiba H., Aiba S., Yamada S.: *J. Dent. Res.*, 101: 951-961, 2022.
- 3: Oxytocin suppresses CXCL10 production in TNF- α -stimulated human dental pulp stem cells: Kumagai T., Shindo S., Takeda K., Shiba H.: *Cell Biol. Int.*, 46: 1530-1535, 2022.
- 4: Impact of maximum tongue pressure in patients with jaw deformities who underwent orthognathic surgery: Koizumi K., Shintani T., Yoshimi Y., Higaki M., Kunimatsu R., Yoshioka Y., Tsuga K., Tanimoto K., Shiba H., Toratani S.: *Diagnostics (Basel)*. 12: 404, 2022.
- 5: Periapical lesion following Cnm-positive *Streptococcus mutans* pulp infection worsens cerebral hemorrhage onset in an SHRSP rat model: Taniguchi Y., Ouhara K., Kitagawa M., Akutagawa K., Kawada-Matsuo M., Tamura T., Zhai R., Hamamoto Y., Kajiya M., Matsuda S., Maruyama H., Komatsuzawa H., Shiba H., Mizuno N.: *Clin. Exp. Immunol.*, uxac094. doi: 10.1093/cei/uxac094, 2022.
- 6: Successful regenerative response of a severe bone defect in a right lower central incisor affected by a cemental tear: Nagahara T., Takeda K., Inoue S., Wada K., Shiba H.: *Clin. Case Rep.*, 10: e6472, 2022.
- 7: Cytokines regulate stemness of mesenchymal stem cells via miR-628-5p during periodontal regeneration: Iwata T., Mizuno N., Nagahara T., Kaneda-Ikeda E., Kajiya M., Sasaki S., Takeda K., Kiyota M., Yagi R., Fujita T., Kurihara H.: *J Periodontol.*, 93(2):269-286, 2022.
- 8: Clumps of mesenchymal stem cells/extracellular matrix complexes directly reconstruct the functional periodontal tissue in a rat periodontal defect model. Sone H., Kajiya M., Takeda K., Sasaki S., Horikoshi S., Motoike S., Morimoto S., Yoshii H., Yoshino M., Iwata T., Ouhara K., Matsuda S., Mizuno N.: *J Tissue Eng Regen Med*. 2022 (in press)
- 9: 歯内・歯周疾患について—成因の異なる3症例—：永原隆吉，武田克浩，柴 秀樹：日歯保存誌，65：294-304，2022.
- 10: 保存修復学・歯内療法学の基礎教育における体験先導型学習・シナリオベース体験実習が卒前後歯学教育に及ぼす影響に関する アンケート調査: 鷺尾絢子，諸富孝彦，西藤法子，

吉居慎二, 藤元政孝, 折本愛, 相原良亮, 北村知昭: 日本歯科保存学会雑誌, 65(2): 134-144, 2022.

B) 総説

なし

C) 著書

- 1: 無菌の処置: 武田克浩, 柴 秀樹: 94-102, エンドドンティクス 第6版 (編集主幹: 興味隆史, 石井信之, 北村知昭, 林美加子), 永末書店 (京都), 2022.
- 2: 新臨床研修歯科医ハンドブック 令和4年度診療報酬改定対応版, 髓床底穿孔時の対応: 西藤法子, 北村知昭 (廣藤卓雄, 栗野秀慈, 米田雅裕 監修) (医歯薬出版): pp340-343, 2022.

D) そのほかの出版物

- 1: セメント質剥離, 構造・病態・原因から具体的対応法まで: 永原隆吉, 柴 秀樹: 74-94, 日本歯科評論, 7月, 2022.

E) 学会発表

- 1: 歯内・歯周疾患について—成因の異なる3症例—: 永原隆吉, 武田克浩, 柴 秀樹: 日本歯科保存学会 2022年度春季学術大会 (第156回), Web開催, 2022.
- 2: 上顎中切歯に発症した侵襲性歯頸部外部吸収の一症例: 武田克浩, 柴 秀樹: 第43回日本歯内療法学会学術大会, Web開催, 2022.
- 3: Periapical Osteoperiostitis と歯根破折を伴う歯根嚢胞罹患歯への自家歯牙移植術症例: 永原隆吉, 和田圭之進, 古玉大祐, 武田克浩, 柴 秀樹: 第43回日本歯内療法学会学術大会, Web開催, 2022.
- 4: HIV感染者の歯周治療効果に及ぼすCD4数の影響について: 新谷智章, 岡田美穂, 岩田倫幸, 川越麻衣子, 山崎尚也, 井上暢子, 藤井輝久, 柴 秀樹: 第36回日本エイズ学会学術集会・総会, 2022.
- 5: Successful regenerative response of severe bone defect with cemental tear: Takayoshi N., Katsuhiro T., Hideki S.: The 108th Annual Meeting of the American Academy of Periodontology in collaboration with the Japanese Academy of Clinical Periodontology, the Japanese Society of Periodontology. Phoenix, AZ, 2022.
- 6: Association between anti-P. gingivalis antibodies and anti-citrullinated vimentin antibodies in the patients with rheumatoid arthritis: Shindo S., Nakamura S., Rawas-Qalaji M., Potempa J., Arvikar S., Kazuhisa O., Shiba H., Kawai T.: IMMUNOLOGY 2022, Portland, OR, 2022.
- 7: HIV感染者の歯周治療効果に及ぼすCD4数の影響について: 岡田美穂, 新谷智章, 岩田倫幸, 川越麻衣子, 山崎尚也, 井上暢子, 古玉大祐, 武田克浩, 中岡美由紀, 水野智仁, 藤井輝久, 加治屋幹人, 柴 秀樹: 第61回広島県歯科医学会, 第106回広島大学歯学会例会, 2022.
- 8: 中国四国ブロックのエイズ対策の実施状況: 柴 秀樹: 第24回日本HIV歯科医療研究会, 2022.
- 9: 臨床分離株 *Streptococcus mutans* の病原性の多様性: 王楚天, 武田克浩, 柴秀樹: 第157回日本歯科保存学会 2022年度秋季学術大会, 岡山, 2022.
- 10: BMP/Smad と TNF α 依存性炎症シグナルとの相互作用の解析: 平田-土屋志津, 鈴木茂樹, 佐藤瞭子, 中西惇, 吉田和真, 山田聡, 柴秀樹: 第157回日本歯科保存学会 2022年度秋季学術大会, 岡山, 2022.
- 11: 髓細胞における MXRA5 の機能解析: 吉田和真, 鈴木茂樹, 佐藤瞭子, 山田聡, 柴秀樹: 第157回日本歯科保存学会 2022年度秋季学術大会, 岡山, 2022.

- 12: BMP-2 誘導性骨形成にハイブリッド組み換え PP の抗炎症機能が及ぼす影響：中西惇，鈴木茂樹，吉田和真，平田-土屋志津，佐藤瞭子，山田聡，柴秀樹：第 157 回日本歯科保存学会 2022 年度秋季学術大会，岡山，2022.
- 13: 根尖部根管が ISO 規格の 55 号以上に拡大された単根管歯の根管充填後の予後調査：古玉大祐，平田-土屋志津，西藤法子，成瀬友哉，川柳智輝，西濱早紀，宮田彩加，貞岡直樹，白輪地聡美，吉田和真，中西惇，武田克浩，柴秀樹. 第 157 回日本歯科保存学会 2022 年度秋季学術大会，岡山，2022.
- 14: 表皮ブドウ球菌が産生するヌカシンに対するう蝕原性細菌 *Streptococcus mutans* の耐性メカニズム：貞岡直樹，松尾美樹，LE NGUYEN TRA MI，柴秀樹，小松澤均：第 64 回歯科基礎医学会学術大会，徳島，2022.
- 15: 2020 年の広島県における ESBL 産生菌の遺伝子解析：川柳智暉，松尾美樹，于連升，久恒順三，鹿山鎮男，池田光泰，増田加奈子，荒井千夏，LE NGUYEN TRA MI，柴秀樹，菅井基行，大毛宏喜，小松澤均：第 70 回日本化学療法学会総会（岐阜），2022.
- 16: 2020 年の広島県における ESBL 産生菌の遺伝子解析：川柳智暉，松尾美樹，于連升，久恒順三，鹿山鎮男，池田光泰，増田加奈子，荒井千夏，LE NGUYEN TRA MI，柴秀樹，菅井基行，大毛宏喜，小松澤均：第 75 回日本細菌学会中四国支部総会（岡山），2022.
- 17: 根尖孔の破壊を伴う単根管歯の根管充填後の予後調査.西藤 法子，平田-土屋志津，古玉大祐，成瀬友哉，川柳智暉，西濱早紀，宮田彩加，貞岡直樹，白輪地聡美，吉田和真，中西惇，武田克浩，柴 秀樹：第 61 回広島県歯科医学会 併催 第 106 回広島大学歯学会例会，広島，2022.

F) その他の発表

- 1: 歯内・歯周疾患へのアプローチ：柴 秀樹：2022 年度日本歯内療法学会研修会，Web 開催，6 月，2022.
- 2: Proposal for Biological Endodontics: Shiba H.: Stovit Online Series (TADS), Universitas Airlangga, Web 開催, 7 月, 2022.
- 3: Endodontic topics: Invasive cervical resorption: Takeda K.: Stovit Online Series (TADS), Universitas Airlangga, Web 開催, 7 月, 2022.
- 4: 口腔に潜む薬剤耐性グラム陰性桿菌～感染対策への新たな側面～,川柳智暉：第 1 回 口腔感染症研究セミナー（広島大学 口腔感染症プロジェクト研究センター），広島，2022.

(4) 科学研究費補助金等の受領状況

- 1: 広島県受託研究：柴 秀樹，中国・四国ブロックエイズ歯科医療システム構築に関する調査研究. 3,000 千円
- 2: 科学研究費補助金（基盤研究（B））:柴 秀樹，Cnm 陽性う蝕原因細菌の PRIP を介した脳出血増悪機序解明による健康寿命の延伸. 課題番号 21H03120. 5,000 千円.
- 3: 科学研究費補助金（基盤研究（C））：武田克浩，BDNF による歯髄細胞とマクロファージの細胞連携を基盤とした歯髄保存療法の開発. 課題番号 20K09976. 1,200 千円.
- 4: 科学研究費補助金（基盤研究（C））：土屋志津，共役因子 MTI-II によるエストロゲンシグナル調整を介した硬組織再生療法の開発. 課題番号 20K09956. 1,430 千円
- 5: 科学研究費補助金（若手研究）：吉田和真，歯髄細胞機能制御因子である MXRA5 を用いた新規歯髄温存療法の開発. 課題番号 22K17037. 1,600 千円.
- 6: 科学研究費補助金（若手研究）：中西 惇，ハイブリッド組み換え Phosphophoryn を応用した新規歯髄保存療法の開発. 課題番号 20K18510. 754 千円.
- 7: 科学研究費補助金（若手研究）：中西 惇，ハイブリッド組み換えホスホリンが有する多機能性を付与した骨補填材による骨再生. 課題番号 22K17059. 1,700 千円.
- 8: 科学研究費補助金（若手研究）：古玉大祐，歯周炎によって誘導される慢性炎症がサルコペニアに及ぼす影響の解明. 課題番号 21K16969. 1,800 千円.
- 9: 特別研究員奨励費：熊谷友樹，歯周病現細菌由来 PAD 特異的阻害剤による歯周病関連関節リ

ウマチへの新規治療戦略. 課題番号 22J12547. 900 千円.

10: 科学研究費補助金 (若手研究): 西藤法子, 歯髄炎における semaphorin7A の生理学的機能の解析と臨床応用. 課題番号 19K19029. 1,600 千円.

(5) 学会賞等の受賞状況

なし

(6) 特許

なし

[目次へ戻る](#)

小児歯科学研究室及び口腔健康発育歯科（小児歯科）

（1）職員並びに学生

教授	: 野村良太（2月～）	（*）科長：野村良太（併任）（2月～）
准教授	: 光畑智恵子	科長：光畑智恵子（併任）（～2月）
助教	: 新里法子（～9月），太刀掛銘子，岩本優子，中野将志，秋友達哉	
医員	: 小笠原朋子，浅尾友里愛（4月～）	
大学院生	: 浅尾友里愛（～3月），日下知，臼田桃子，亀谷茉莉子	
研究生	: 林文子，山根陽，渡辺聖子，岡峯愛海，金子周平	

（2）主な研究活動

- 4: 口腔細菌が全身疾患に及ぼす影響に関する研究
- 5: 小児齲蝕の病因と予防に関する細菌学的研究
- 6: 小児の歯周疾患に関する臨床的研究
- 7: 全身疾患をもつ小児の口腔管理に関する臨床的研究（血友病,小児がん周術期）
- 8: 小児の歯科治療時における心理学的ストレス評価法
- 9: 小児の嚥下障害に対する歯科的アプローチ
- 10: カンボジア児童の口腔内状態の調査研究
- 11: 虐待等のマルトリートメントが小児口腔の健康へ及ぼす影響

（3）研究業績

A) 原著（症例報告を含む）

英文

- 1: Three-year survey of oral hygiene conditions of Cambodian public primary school children: Asao Y., Iwamoto Y., Mitsuata C., Naito M., Kozai K.: *Journal of Oral Science*, 64(3), 208-211, 2022.
- 2: Green tea catechins inhibit *Porphyromonas gulae* LPS-induced inflammatory responses in human gingival epithelial cells: Yoshida S., Inaba H., Nomura R., Nakano K., Matsumoto-Nakano M.: *Journal of Oral Biosciences*, 64(3), 352-358, 2022.
- 3: Simultaneous presence of *Campylobacter rectus* and *cnm*-positive *Streptococcus mutans* in the oral cavity is associated with renal dysfunction in IgA nephropathy patients: 5-year follow-up analysis: Misaki T., Naka S., Nagasawa Y., Matsuoka D., Ito S., Nomura R., Matsumoto-Nakano M., Nakano K.: *Nephron*, 23, 1-10, 2022.
- 4: Characterization of the unique oral microbiome of children with Down syndrome: Mitsuata C., Kado N., Hamada M., Nomura R., Kozai K.: *Scientific Reports*, 12, 14150, 2022.
- 5: Detecting the presence of supernumerary teeth during the early mixed dentition stage using deep learning algorithms: A pilot study: Mine Y., Iwamoto Y., Okazaki S., Nakamura K., Takeda S., Peng T.Y., Mitsuata C., Kakimoto N., Kozai K., Murayama T.: *International Journal of Paediatric Dentistry*, 32(5), 678-685, 2022.
- 6: Analysis of the feasibility of using deep learning for multiclass classification of dental anomalies on panoramic radiographs: Okazaki S., Mine Y., Iwamoto Y., Urabe S., Mitsuata C., Nomura R., Kakimoto N., Murayama T.: *Dental Materials Journal*, 41(6), 889-895, 2022.
- 7: Clinical characteristics of children and guardians possessing CBP-positive *Streptococcus mutans* strains: a cross-sectional study: Otsugu M., Mikasa Y., Kitamura T., Suehiro Y., Matayoshi S., Nomura R., Nakano K.: *Scientific Reports*, 12, 17510, 2022.
- 8: Establishment of indicator for screening of child abuse and neglect in primary school-age children: Kaihara Y., Sasahara H., Niizato N., Yamane A., Nikawa H., Yamasaki K., Hosohara K., Kozai K.: *European Journal of Paediatric Dentistry*, 23(4), 315-320, 2022.
- 9: The effect of improving oral health literacy among teachers on the oral health condition of primary

- schoolchildren in Cambodia: Asao Y., Iwamoto Y., Chea C., Chher T., Mitsuahata C., Naito M., Kozai K.: *European Journal of Paediatric Dentistry*, 23(4), 321-326, 2022.
- 10: Distribution of periodontopathic bacterial species between saliva and tonsils: Nomura R., Nagasawa Y., Misaki T., Ito S., Naka S., Okunaka M., Watabe M., Tsuzuki K., Matsumoto-Nakano M., Nakano K.: *Odontology*, in press.
- 11: Detection of *Helicobacter pylori* from extracted teeth of a patient with idiopathic thrombocytopenic purpura: Hamada M., Nomura R., Matayoshi S., Ogaya Y., Kameyama H., Uzawa N., Nakano K.: *Microorganisms*, 10(11), 2285, 2022.

和文

- 1: 血友病患児の口腔衛生状態に関する実態調査：秋友達哉，新里法子，臼田桃子，亀谷茉莉子，日下 知，浅尾友里愛，小笠原朋子，中野将志，岩本優子，太刀掛銘子，光畑智恵子，野村良太，香西克之：小児歯科学雑誌，60(3)，93-98，2022.
- 2: Williams 症候群患児の左側下顎第二大臼歯の異所萌出を咬合誘導にて改善した 1 例：太刀掛銘子，中野将志，秋友達哉，岩本優子，浅尾友里愛，光畑智恵子：日本障害者歯科学会雑誌，43(2)，129-136，2022.

B) 総説

- 1: Management of bisphosphonate preparation-treated children in the field of pediatric dentistry: Mitsuahata C., Kozai K.: *Japanese Dental Science Review*, 58, 155-161, 2022.
- 2: 抗体マイクロアレイによる固相サイトメトリー：小笠原朋子，加藤功一：広島大学歯学雑誌，54(1)，1-10，2022.
- 3: 母親のう蝕経験と子どもの早期小児う蝕との関連—システムティック・レビューによる検討—：近藤実南，隅谷笑里，西村瑠美，石津花子，浅尾友里愛，岩本優子，内藤真理子：広島大学歯学雑誌，54(2)，63-68，2022.

C) 著書

- 1: 保健医療におけるコミュニケーション・行動科学 第2版：岩本優子（共著）：医歯薬出版株式会社（東京），166-171，2022.
- 2: 臨床医のための小児歯科 BASIC & CASEBOOK：野村良太（共著）：デンタルダイヤモンド社（東京），152-155，2022.

D) その他の出版物

E) 学会発表

- 1: 長期観察を行った基底細胞母斑症候群の姉妹例：太刀掛銘子，中野将志，光畑智恵子，香西克之：第60回日本小児歯科学会大会（千葉），2022.
- 2: 同一部位に3度過剰歯が生じた1例：秋友達哉，浅尾友里愛，岩本優子，光畑智恵子，香西克之：第60回日本小児歯科学会大会（千葉），2022.
- 3: 1歳代の上顎乳前歯の外傷に起因すると考えられる後継永久歯の歯冠形態異常を認めた3例：浅尾友里愛，太刀掛銘子，中野将志，秋友達哉，光畑智恵子，香西克之：第60回日本小児歯科学会大会（千葉），2022.
- 4: Pitt-Hopkins 症候群の歯科的所見：臼田桃子，秋友達哉，新里法子，浅尾友里愛，小笠原朋子，光畑智恵子，香西克之：第60回日本小児歯科学会大会（千葉），2022.
- 5: 血友病包括外来における成長期患児に対する継続的な歯科保健活動の効果：亀谷茉莉子，秋友達哉，新里法子，光畑智恵子，香西克之：第60回日本小児歯科学会大会（千葉），2022.
- 6: ホタテ貝由来アパタイトの *Streptococcus mutans* に対する齶蝕原性抑制効果の検討：臼田桃子，亀谷茉莉子，秋友達哉，末廣雄登，又吉紗綾，中野将志，光畑智恵子，仲周平，仲野

- 道代, 仲野和彦, 野村良太: 第 41 回日本小児歯科学会近畿地方会 (枚方), 2022.
- 7: ダウン症候群小児のデンタルプラークを用いた口腔マイクロバイオームの解析: 亀谷茉莉子, 光畑智恵子, 白田桃子, 香西克之, 野村良太: 第 41 回日本小児歯科学会近畿地方会 (枚方), 2022.
 - 8: シコニンの齶蝕原性細菌および口腔レンサ球菌に対する抗菌効果の検討: 末廣雄登, 又吉紗綾, 野村良太, 仲野和彦: 第 41 回日本小児歯科学会近畿地方会 (枚方), 2022.
 - 9: 上顎正中部の逆生理伏過剰歯が数年間経過後に順生過剰歯として萌出を認めた 1 例: 浅尾友里愛, 新里法子, 太刀掛銘子, 岩本優子, 秋友達哉, 光畑智恵子, 野村良太, 香西克之: 第 34 回日本小児口腔外科学会大会 (東京), 2022.
 - 10: 広島県内の一時保護所におけるこれまでの取り組みと一時保護所歯科保健推進事業委託への移行について: 前島真紀子, 岡本 信, 山根 剛, 郷田 浩, 新谷奈穂子, 二井典子, 檀上晶子, 志渡澤正治, 伊藤 孝, 新谷宏規, 山中史教, 上川克己, 山崎健次, 光畑智恵子, 野村良太, 新里法子, 香西克之: 第 61 回広島県歯科医学会, 第 106 回広島大学歯学会例会 (広島), 2022.
 - 11: 広島大学医系科学研究科附属死因究明教育研究センターおよび同法歯学部門の活動ー2021 年度概要報告ー: 岡 広子, 柿本直也, 野村良太, 福本 航, 勝矢脩嵩, 石内直樹, 奈良女昭, 栗井和夫, 長尾正嵩: 第 61 回広島県歯科医学会, 第 106 回広島大学歯学会例会 (広島), 2022.
 - 12: 長期的な口腔内管理を行った線状脂腺母斑症候群の 1 例: 岩本優子, 中野将志, 亀谷茉莉子, 秋友達哉, 渡辺聖子, 浅尾友里愛, 光畑智恵子, 香西克之, 野村良太: 第 41 回日本小児歯科学会中四国地方会 (徳島), 2022.
 - 13: 乳臼歯根管内に破折器具を認めた 1 例: 中野将志, 日下 知, 太刀掛銘子, 金子周平, 小笠原朋子, 光畑智恵子, 香西克之, 野村良太: 第 41 回日本小児歯科学会中四国地方会 (徳島), 2022.
 - 14: 口蓋側に認めた結節が上顎側切歯との癒合歯と診断された 1 例: 秋友達哉, 白田桃子, 岡峯愛海, 新里法子, 光畑智恵子, 香西克之, 野村良太: 第 41 回日本小児歯科学会中四国地方会 (徳島), 2022.
 - 15: スクロース存在下における S-PRG フィラー溶出液の *Streptococcus mutans* に対する抑制効果の検討: 亀谷茉莉子, 白田桃子, 秋友達哉, 中野将志, 末廣雄登, 又吉紗綾, 光畑智恵子, 仲野和彦, 野村良太: 第 41 回日本小児歯科学会中四国地方会 (徳島), 2022.
 - 16: 抜歯適応となった永久歯におけるヘリコバクター・ピロリ菌の局在に関する検討: 白田桃子, 亀谷茉莉子, 門田珠実, 鋸屋侑布子, 秋友達哉, 光畑智恵子, 仲野和彦, 野村良太: 第 41 回日本小児歯科学会中四国地方会 (徳島), 2022.
 - 17: *Porphyromonas gingivalis* が作用したヒト血管内皮細胞に対するシコニンの創傷治癒治療効果の検討: 末廣雄登, 又吉紗綾, 野村良太, 仲野和彦: 第 41 回日本小児歯科学会中四国地方会 (徳島), 2022.

F) シンポジウムおよび依頼講演

- 1: JSPS Core-to-Core program Asia-Africa science platforms international seminar now and future for international medical education and fostering young researchers: Dental support activity in Cambodia -to save children's oral health- : 岩本優子: 広島大学霞キャンパス (広島), 2022.11.10.
- 2: 令和 4 年度愛媛県歯科衛生士会, 第 1 回第 5 次生涯研修制度専門研修会: 幼児・学童期の歯科保健〜「知」を広めて健康をまもる〜: 岩本優子: 愛媛県歯科衛生士会 (オンライン開催), 2022.5.29.
- 3: 第 30 回広島県学校歯科保健研究大会: 小児期の歯の外傷: 野村良太: オンデマンド配信, 2022.9.12-12.20.
- 4: 小児歯科臨床レベルアップ研修会: 一般歯科の先生のための小児歯科治療: 野村良太: 広島県歯科医師会館 (広島), 2022.10.23.
- 5: 令和 4 年度学校歯科医協議会: 子どもの口の外傷〜シンプルでベストな対処法をめざして: 野村良太: 広島県歯科医師会館 (広島), 2022.11.24.

(4) 科学研究費補助金等の受領状況

- 1: 基盤研究 (C) : 野村良太 (代表), 小児期のう蝕および口腔内環境に着目したピロリ菌定着の予防法追究に対する新戦略. 課題番号 21K10184. 1,322 千円
- 2: 基盤研究 (B) : 野村良太 (分担), う蝕原性細菌が誘発する全身疾患の制御に向けた新たな病原メカニズムの解明. 課題番号 21H03149. 1,900 千円
- 3: 国際共同研究強化 (B) : 野村良太 (分担), う蝕原性細菌のコラーゲン結合能に着目した低中所得国の全身疾患低減に向けた新戦略. 課題番号 21KK0160. 1,050 千円
- 4: 基盤研究 (C) : 野村良太 (分担), 全身疾患との関連性が高いう蝕病原性細菌の定着環境の解明と定着予防法の追究. 課題番号 22K10268. 450 千円
- 5: 基盤研究 (C) : 野村良太 (分担), 小児口腔内におけるヘリコバクター・ピロリ菌および歯周病原性細菌定着の関連性の追究. 課題番号 22K10269. 450 千円
- 6: 基盤研究 (C) : 野村良太 (分担), 歯周病レッドコンプレックスと IgA 腎症発症進展機序解明と新規治療法の開発. 課題番号 21K08242. 300 千円
- 7: 基盤研究 (C) : 野村良太 (分担), 抗体模倣分子で解く *S. mutans* コラーゲン結合蛋白質の病原性と機能・構造相関. 課題番号 22K10233. 200 千円
- 8: 基盤研究 (C) : 光畑智恵子 (代表), 発達期の脳形成への幼若期ストレスの影響. 課題番号 21K10161. 1,100 千円
- 9: 基盤研究 (C) : 光畑智恵子 (分担), 苦味受容体 TAS2R ファミリーによる小児の齲蝕予防メカニズムの解明. 課題番号 20K10203. 400 千円
- 10: 若手研究 : 岩本優子 (代表), カンボジアや東南アジア地域における小児への歯科保健教育モデルの開発. 課題番号 19K19330. 800 千円
- 11: 基盤研究 (C) : 岩本優子 (分担), 発達期の脳形成への幼若期ストレスの影響. 課題番号 21K10161. 100 千円
- 12: 公益財団法人富徳会研究者助成 : 秋友達哉, 天然由来成分 Hydroxy- α -Sanshool の有する齲蝕抑制効果の解明, 300 千円

(5) 学会賞等の受賞状況

(6) 特許

[目次へ戻る](#)

歯科麻酔学研究室及び口腔再建外科（歯科麻酔科）

（１）職員並びに学生

講 師 : 吉田充広
 助 教 : 清水慶隆, 土井 充, 向井明里, 大植香菜
 医 員 : 高橋珠世, 小田 綾, 神尾尚伸, 本池芹佳, 佐々木詩佳, 河内貴弘（～9月）
 大学院生 : 今戸瑛二
 研修登録医 : 河原道夫, 安坂将樹, 好中大雅, 前谷有香

（２）主な研究活動

- 1: 麻酔作用機序に関する研究
- 2: 下行性疼痛抑制系の増強を応用した新しい全身麻酔法の開発
- 3: 静脈麻酔薬が引き起こす麻酔要素における各種神経の役割に関する研究
- 4: 全身麻酔薬の興奮作用（興奮期）に関する研究
- 5: 全身麻酔薬からの覚醒とドパミン神経の係わりに関する研究
- 6: 鎮静薬の抗不安効果に関する研究
- 7: 精神鎮静法下歯科治療時の呼吸音モニターに関する研究
- 8: 亜酸化窒素の末梢循環動態への作用に関する研究
- 9: 慢性疼痛に関する研究
- 10: 歯科治療時に起きた全身的合併症への対応に関する研究

（３）研究業績

A) 原著（症例報告を含む）

- 1: Central high mobility group box-1 induces mechanical hypersensitivity with spinal microglial activation in a mouse model of hemi-Parkinson's disease: Sato F, Nakamura Y, Ma S, Kochi T, Hisaoka-Nakashima K, Wang D, Liu K, Wake H, Nishibori M, Morioka N, Biomed Pharmacother, 145, 112479, 2022.
- 2: Real-time assessment of swallowing sound using an electronic stethoscope and an artificial intelligence system: Suzuki K, Shimizu Y, Ohshimo S, Oue K, Saeki N, Sadamori T, Tsutsumi Y, Irifune M, Shime N: Clin Exp Dent Res., 8(1), 225-230, 2022.
- 3: Pentobarbital may protect against neurogenic inflammation after surgery via inhibition of substance P release from peripheral nerves of rats: Onizuka C, Irifune M, Mukai A, Shimizu Y, Doi M, Oue K, Yoshida M, Kochi T, Imado E, Kanematsu T, Nakamura Y, Morioka N, Nakata Y, Sakai N: Neurosci Lett, 6, 771:136467, 2022.
- 4: Effects of antipsychotics on intravenous sedation with midazolam and propofol during dental treatment for patients with intellectual disabilities: Oda Y, Yoshida K, Kawano R, Yoshinaka T, Oda A, Takahashi T, Oue K, Mukai A, Irifune M, Okada Y: J Intellect Disabil Res, 66(4):323-331, 2022.
- 5: Mirogabalin alleviates nociceptive hypersensitivity without causing sedation in a mouse model of post-traumatic trigeminal neuropathy: Kochi T, Nakamura Y, Ma S, Uemoto S, Hisaoka-Nakashima K, Irifune M, Morioka N: Behav Brain Res, 3, 425, 113829, 2022.
- 6: Interoceptive accuracy is related to the psychological mechanisms of the burning mouth syndrome: a cross-sectional study: Yoshino A, Otsuru N, Doi M, Maekawa T, Sasaoka T, Yamawaki S: BMC Oral Health, 22(1), 297, 2022.
- 7: Difficult intubation and postoperative aspiration pneumonia associated with Moebius syndrome: a case report.: Oda A, Oue K, Oda Y, Taguchi S, Takahashi T, Mukai A, Doi M, Shimizu Y, Irifune M, Yoshida M: BMC Anesthesiol, 22(1), 316, 2022.
- 8: Prenatal exposure to valproic acid causes allodynia associated with spinal microglial activation: Imado E, Sun S, Abawa AR, Tahara T, Kochi T, Huynh TNB, Asano S, Hasebe S, Nakamura Y, Hisaoka-Nakashima K, Kotake Y, Irifune M, Tsuga K, Takuma K, Morioka N, Kiguchi N, Ago Y: Neurochem Int, 160, 105415, 2022.

B) 総説

C) 著書

- 1: 痛みの評価：臨床歯科麻酔学 第 6 版（丹羽 均，入船正浩，小長谷 光，澁谷 徹）：土井 充：永末書店（京都），228-230，2022.

D) その他の出版物

E) 学会発表

- 1: 神経発達障害モデルマウスにおける機械的アロディニアの発症とミクログリアの関与：今戸瑛二, Samnang Sun, Abawa Abrar, 浅野智志, 中村庸輝, 中島一恵, 森岡徳光, 津賀一弘, 入船正浩, 田熊一敬, 木口倫一, 吾郷由希夫：第 95 回日本薬理学会年会（福岡），2022.
- 2: RAGE 阻害薬は三叉神経損傷後の疼痛様行動の発症を予防する：麻 思萌, 中村庸輝, 河内貴弘, 中島 一恵, 森岡 徳光：第 95 回日本薬理学会年会（福岡），2022.
- 3: Abnormal pain sensitivity associated with spinal microglial activation in a prenatal valproic acid-induced mouse model of autism : Eiji Imado, Sun Samnang, Abrar Rizal Abawa, Satoshi Asano, Kazuhiro Tsuga, Masahiro Irifune, Yukio Ago : 第 55 回広島大学歯学会総会（広島），2022.
- 4: Waiting Is Effective for Smoothed Tooth Extraction Under Intravenous Sedation: Mitsuhiro Yoshida, Shigehiro Ono, Tamayo Takahashi, Aya Oda, Akari Mukai, Kana Oue, Mitsuru Doi, Yoshitaka Shimizu, Masahiro Irifune: 2022 IADR/LAR General Session & Exhibition (Chengdu, China Web), 2022.
- 5: マウス胎生期のバルプロ酸曝露は脊髄でのミクログリアの増殖とアロディニアを引き起こす：吾郷由希夫, 今戸瑛二, Samnang Sun, 中村庸輝, 中島一恵, 森岡徳光, 田熊一敬, 木口倫一, 浅野智志：第 45 回日本神経科学大会・第 65 回日本神経化学会大会・第 32 回日本神経回路学会大会 合同大会（沖縄），2022.
- 6: Possible role of histone deacetylase inhibition in tactile hypersensitivity in a mouse model of autism spectrum disorder : Samnang Sun, Eiji Imado, Tran Ngoc Bao Huynh, Yoki Nakamura, Kazue Hisaoka-Nakashima, Norimitsu Morioka, Norikazu Kiguchi, Satoshi Asano, Yukio Ago : 第 37 回創薬・薬理フォーラム（岡山 Web），2022.
- 7: 気管支拡張症を有する高齢患者の悪性腫瘍手術を、鎮痛を主体とした鎮静法で管理した症例：高橋珠世, 今戸瑛二, 佐々木詩佳, 本池芹佳, 神尾尚伸, 小田 綾, 大植香菜, 向井明里, 土井 充, 清水慶隆, 吉田充広：第 36 回 中国・四国歯科麻酔研究会（Web），2022.
- 8: リアリティショックと歯学部学生のメンタルヘルス：土井 充, 向井明里, 大植香菜, 高橋珠世, 小田 綾, 佐々木詩佳, 本池芹佳, 今戸瑛二, 神尾尚伸, 清水慶隆, 吉田充広：第 36 回 中国・四国歯科麻酔研究会（Web），2022.
- 9: 多数の薬剤・食物アレルギーを有する重症持続型喘息患者に対して医歯連携で 7 年間にわたり口腔管理を行った 1 症例：小田 綾, 大植香菜, 神尾尚伸, 高橋珠世, 向井明里, 土井 充, 清水慶隆, 吉田充広：第 50 回日本歯科麻酔学会総会・学術集会（東京），2022.
- 10: インプラント埋入術に対してレミゾラムによる静脈内鎮静法をおこなった 1 例：大植香菜, 小田 綾, 好中大雅, 前谷有香, 向井明里, 土井 充, 清水慶隆, 吉田充広：第 50 回日本歯科麻酔学会総会・学術集会（東京），2022.
- 11: 静脈麻酔から覚醒後の悪心・嘔吐におけるラット延髄最後野のドーパミン神経とセロトニン神経の関与 行動薬理学実験及び脳マイクロダイアリシス法による検討：佐々木詩佳, 入船正浩, 今戸瑛二, 本池芹佳, 小田 綾, 大植香菜, 吉田充広, 吾郷由希夫：第 50 回日本歯科麻酔学会総会・学術集会（東京），2022.
- 12: 自閉スペクトラム症モデルマウスにおける持続的なアロディニアの発現と脊髄内ミクログリア活性化の関与：今戸瑛二, 入船正浩, 吾郷由希夫：第 50 回日本歯科麻酔学会総会・学術集会（東京），2022.
- 13: 成人先天性心疾患を有する Down 症候群患者の抜歯後に感染性心内膜炎から脳膿瘍を発症した症例：大植香菜, 尾田友紀, 向井明里, 好中大雅, 小田 綾, 高橋珠世, 今戸瑛二,

- 清水慶隆, 岡田芳幸, 吉田充広: 第 39 回日本障害者歯科学会総会および学術大会 (倉敷), 2022.
- 14: 開口障害を伴う多系統萎縮症患者に対し亜酸化窒素吸入鎮静法下に歯科治療を行った 1 例: 高橋 珠世, 向井明里, 今戸瑛二, 小田 綾, 大植香菜, 尾田友紀, 清水慶隆, 岡田芳幸, 吉田充広: 第 39 回日本障害者歯科学会総会および学術大会 (倉敷), 2022.
 - 15: COVID-19 罹患により治療を延期した高度肥満を伴う自閉スペクトラム症児に対する周術期管理: 小田 綾, 大植香菜, 尾田友紀, 今戸瑛二, 高橋珠世, 向井明里, 清水慶隆, 岡田芳幸, 吉田充広: 第 39 回日本障害者歯科学会総会および学術大会 (倉敷), 2022.
 - 16: 行動活性化により改善がみられた非歯原性歯痛の 1 例: 神尾尚伸, 木村直大: 第 67 回日本口腔外科学会総会・学術大会 (幕張), 2022.
 - 17: 気道確保困難が予測された患者にレミマゾラムを使用して経鼻ファイバー挿管を行った 1 例, 大植香菜, 小田 綾, 高橋珠世, 尾田友紀: 日本臨床麻酔学会第 42 回大会 (京都), 2022.
 - 18: 多小脳回を伴う Klippel-feil 症候群疑い児の周術期管理: 小田 綾, 尾田友紀, 高橋珠世, 大植香菜: 日本臨床麻酔学会第 42 回大会 (京都), 2022.
 - 19: 術中に重度乳酸アシドーシスをきたした糖原病 1 型小児患者の麻酔経験: 高橋珠世, 大植香菜, 小田 綾, 尾田友紀: 日本臨床麻酔学会第 42 回大会 (京都), 2022.
 - 20: 鎮痛作用を示さない低用量 μ オピオイド受容体アゴニストは自閉スペクトラム症モデルマウスの社会性行動障害を改善する: 吾郷由希夫, 内藤 恵, 川瀬啓生, 樋口桃子, 山川英訓, 大波壮一郎, 小川公一, 中邨篤史, 河内貴弘, 今戸瑛二, 田原 孟, 浅野智志, 古武弥一郎, 田熊一徹, 橋本 均: 第 44 回日本生物学的精神医学会年会, 第 32 回日本臨床精神神経薬理学会年会, 第 52 回日本神経精神薬理学会年会, 第 6 回日本精神薬学会総会・学術集会 4 学会合同年会 (BPCNP/PPP4 学会合同年会) (東京), 2022.
 - 21: 胎生期のヒストン脱アセチル化酵素阻害は脊髄ミクログリアの活性化と機械的アロディニアを引き起こす: 今戸瑛二, Sun Samnang, Huynh Ngoc Bao Tran, 中村庸輝, 中島一恵, 森岡徳光, 木口倫一, 浅野智志, 吾郷由希夫: 第 96 回日本薬理学会年会 (横浜), 2022.
 - 22: TRPV1 アンタゴニスト AMG517 は胎生期バルプロ酸投与誘発の自閉症モデルマウスにおいて痛覚感受性の異常と社会性行動障害を改善する: 田原 孟, 今戸瑛二, 川瀬啓生, 樋口桃子, 山川英訓, 小川公一, 古武弥一郎, 田熊一徹, 橋本 均, 浅野智志, 吾郷由希夫: 第 96 回日本薬理学会年会 (横浜), 2022.

F) 特別講演

- 1: シンポジウム 2 歯科心身医療を大学で実践する立場から・歯科心身症患者に対する認知行動療法: 土井 充: 第 37 回日本歯科心身医学会総会・学術大会 (Web), 2022.
- 2: リフレッシュャーコース 6 痛みと心理: 土井 充: 第 27 回日本口腔顔面痛学会学術大会 (松戸), 2022.
- 3: 口腔顔面痛の臨床 II ~薬物療法と情動を中心に: 土井 充: 厚生労働省令和 4 年度慢性疼痛診療システム普及・人材養成モデル事業 (東北地区 Web), 2022.

(4) 科学研究費補助金等の受領状況

- 1: 科学研究費補助金 (基盤研究(C)) 継続: 土井 充: 舌痛症に対する抗うつ薬と認知行動療法による治療効果の脳機能画像的評価, 課題番号 17K11908. 500 千円.
- 2: 科学研究費補助金 (基盤研究(C)) 継続: 吉田充広: 慢性咀嚼筋痛発症過程における中枢神経系の機能的変化の機序の解明. 課題番号 20K10116. 1,040 千円
- 3: 科学研究費補助金 (若手研究(B)) 継続: 大植香菜: 肥満が助長する歯周病感染による認知機能障害における相互作用メカニズムの解明研究. 課題番号 20K18669. 1,170 千円.
- 4: 科学研究費補助金 (基盤研究(C)) 継続: 入船正浩, 向井明里, 吾郷由希夫: ドパミン受容体サブタイプの選択的リガンドを応用した麻酔・鎮静深度調節法の開発. 課題番号 21K10139. 1,300 千円.

- 5: 科学研究費補助金（基盤研究(C)）継続：清水慶隆：歯科鎮静の呼吸器合併症防止を目的とした呼吸音と歯科治療器具からのノイズの特徴解明. 課題番号 21K10072. 1,300 千円.
- 6: 科学研究費補助金（若手研究）新規：河内貴弘：うつ・不安患者に生じやすい歯科治療誘発難治性疼痛の発症機構解明とその予防法確立. 課題番号 22K17015. 1,040 千円.
- 7: 科学研究費補助金（若手研究）新規：小田 綾：脳波と薬物動態の解析を用いたレミマゾラムによる安全な意識下鎮静法の確立. 課題番号 (22K17184). 1,950 千円.
- 8: 科学研究費補助金（若手研究）新規：神尾尚伸：チタン製インプラントの生体適合性と周囲骨再生におけるデコリンの役割の解明. 課題番号 22K17091. 2,600 千円.
- 9: 科学研究費補助金（研究活動スタート支援）新規：本池芹佳：プロポフォール・ケタミンが駆動する情報伝達系とセロトニントランスポーター制御機構. 課題番号 22K20993. 1,430 千円.
- 10: 科学研究費補助金（研究活動スタート支援）新規：佐々木詩佳：全身麻酔薬誘発性悪心・嘔吐の神経化学的基盤の解明. 課題番号 22K21 061. 1,430 千円.

(5) 学会賞等の受賞状況

- 1: 今戸瑛二：第 55 回広島大学歯学会総会 奨励賞
- 2: 今戸瑛二：令和 4 年度広島大学エクセレントスチューデントスカラシップ
- 3: 今戸瑛二：公益財団法人森田奨学育英会 奨学生

(6) 特許

[目次へ戻る](#)

公衆口腔保健学研究室

(1) 職員並びに学生

教授 : 太田耕司 (* 口腔健康科長 : 太田耕司 (併任)
 講師 : 重石英生
 助教 : 前原朝子, 兼保佳乃
 大学院生 : 川村佳美, 中村真梨子 (D3), 矢野加奈子 (D1), 岡伊織, Wu Chia-Hsin (M2),
 佐々木美緒, 濱田菜月, 北崎ほなみ (M1)

(2) 主な研究活動

- 1: 口腔感染症や全身疾患による口腔合併症の予防に関する研究
- 2: 全身疾患患者に対する周術期口腔ケアの有用性を証明する研究
- 3: 口腔扁平上皮癌におけるヒトパピローマウイルスに関する研究
- 4: 微生物に対する口腔粘膜の防御機構を解明する研究
- 5: 高齢者のための介護予防プログラムの有効性を証明する研究
- 6: 口腔衛生管理のための新規デバイス, 検査の開発に関する研究
- 7: 日本人一般成人の嚥下障害と生活習慣に関する研究

(3) 研究業績

A) 原著

- 1: Melatonin enhances cisplatin-induced cell death through inhibition of DERL1 in mesenchymal-like CD44high OSCC cells. Shigeishi H, Yokoyama S, Murodumi H, Sakuma M, Fukada S, Okuda S, Yamakado N, Ono S, Takechi M, Ohta K. *Journal of Oral Pathology & Medicine*, 51(3): 281-289, 2022.
- 2: Co-Infection of Oral *Candida albicans* and *Porphyromonas gingivalis* Is Associated with Active Periodontitis in Middle-Aged and Older Japanese People. Oka I, Shigeishi H, Ohta K. *Medicina (Kaunas)*, 58(6): 723, 2022.
- 3: Prevalence of oral Epstein-Barr virus and *Porphyromonas gingivalis* and their association with periodontal inflamed surface area: A cross-sectional study. Shigeishi H, Oka I, Su CY, Hamada N, Nakamura M, Nishimura R, Sugiyama M, Ohta K. *Medicine (Baltimore)*. 101(43):e31282, 2022.
- 4: Analysis of the Deflection, Bristle Splaying, and Abrasion of a Single Tuft of a Polybutylene Terephthalate Toothbrush after Use: A Randomized Controlled Trial. Kaneyasu Y, Shigeishi H, Ohta K, Sugiyama M. *Materials (Basel)*. 15(14):4890, 2022.
- 5: Immune response to cytosolic DNA via intercellular receptor modulation in oral keratinocytes and fibroblasts. Naruse T, Ohta K, Kato H, Ishida Y, Shigeishi H, Sakuma M, Fukui A, Nakagawa T, Tobiume K, Nishi H, Takechi M. *Oral Diseases*, 28(1): 150-163, 2022.
- 6: Two PARP13 isoforms are associated with induction of antiviral factors in oral mucosal cells. Kato H, Ohta K, Sakuma M, Fukada S, Naruse T, Shigeishi H, Nishi H, Takechi M. *Molecular Medicine Reports*, 25(3): 106, 2022.
- 7: Periodontal inflamed surface area in oral cavity associated with febrile neutropenia in patients with hematologic malignancy undergoing chemotherapy. Nishi H, Ohta K, Kuramoto Y, Shigeishi H, Obayashi T, Yoshioka Y, Konishi M, Munenaga S, Nagoshi H, Yoshida T, Fukushima N, Kakimoto N, Ohge H, Kurihara H, Ichinohe T, Kawaguchi H. *Scientific Reports*, 12(1): 2483, 2022.
- 8: Expression of anti-fungal peptide, β -defensin 118 in oral fibroblasts induced by *C. albicans* β -glucan-containing particles. Sakuma M, Ohta K, Fukada S, Kato H, Naruse T, Nakagawa T, Shigeishi H, Nishi H, Takechi M. *J Appl Oral Sci*, 30: e20210321, 2022.
- 9: Effects of CEACAM1 in oral keratinocytes on HO-1 expression induced by *Candida* β -glucan particles. Sakuma M, Ohta K, Fukada S, Akagi M, Kato H, Ishida Y, Naruse T, Takechi M, Shigeishi

- H, Nishi H, Aikawa T. J Appl Oral Sci, 30:e20220158, 2022.
- 10: Sunitinib promotes apoptosis via p38 MAPK activation and STAT3 downregulation in oral keratinocytes. Fukada S, Ohta K, Sakuma M, Akagi M, Kato H, Naruse T, Nakagawa T, Shigeishi H, Nishi H, Takechi M, Aikawa T. Oral Dis. 2022. (Online ahead of print)
 - 11: Inhibition of angiogenesis and tumor progression of MK-0429, an integrin $\alpha\beta 3$ antagonist, on oral squamous cell carcinoma. Nakagawa T, Ohta K, Naruse T, Sakuma M, Fukada S, Yamakado N, Akagi M, Sasaki K, Niwata C, Ono S, Aikawa T. J Cancer Res Clin Oncol. 148:3281-3292, 2022.
 - 12: 積極的治療終了後の口腔がん患者の抑うつ度と QOL: 笹原妃佐子, 杉山勝, 内田堅一郎, 西村瑠美, 前原朝子, 倉脇由布子, 林堂安貴, 二川浩樹: 口腔衛生学会雑誌, 72 巻 4 号, 266-271, 2022.
 - 13: AYA 世代舌癌患者の肺転移に対する薬物療法中に Trousseau 症候群を発症した 1 例: 加藤大喜, 水田邦子, 佐々木和起, 安藤俊範, 太田耕司, 武知正晃.: 日本口腔外科学会雑誌 68(9): 362-369, 2022.

B) 総説

- 1: 口腔の Human Papillomavirus (HPV) 感染の危険因子としての性行動と喫煙. 重石英生. 日本性感染症学会誌, 33(1), pp1-8, 2022.

C) 著書

- 1: 間違い探しをしてみよう! ~新型コロナウイルス感染症予防~: 兼保佳乃: 株式会社日本学校保健研修社 (京都府), 8-10, 2022.
- 2: 【掲示板で学ぼう】健康診断だよ! 編: 兼保佳乃: 東山書房 (京都府), 84-85, 2022.

D) その他の出版物

- 1: 歯科衛生士の医療安全・感染防止対策分野での活躍に期待. 太田耕司. 日本口腔感染症学会 News Letter. No. 32, 2022.
- 2: 口腔の Human Papillomavirus 感染について. 重石英生. 日本口腔感染症学会 News Letter. No. 33, 2022.
- 3: 【掲示板で学ぼう】私たちの体の中を見てみよう! 編: 兼保佳乃: 東山書房 (京都府), 102-103, 2022.
- 4: 【掲示板で学ぼう】私たちの耳の中を見てみよう! 編 コロナ予防テストに答えて 100 点取ろう!: 兼保佳乃: 東山書房 (京都府), 94-95, 2022.

E) 学会発表

- 1: 口腔の Epstein-Barr virus 感染と歯周炎症表面積 (Periodontal inflamed surface area) との関係: 重石英生, 岡伊織, 濱田菜月, 太田耕司: 第 61 回広島県歯科医学会・第 106 回広島大学歯学会例会 (広島), 2022.
- 2: リーフレットと e-learning の指導教材の比較における口腔衛生指標の経時的変化: 井上歩果, 濱寄萌, 兼保佳乃, 重石英生, 太田耕司: 第 61 回広島県歯科医学会・第 106 回広島大学歯学会例会 (広島), 2022.
- 3: 口腔健康教育におけるインターネットを使用した e-learning 教育の有効性について: システムティックレビュー・メタ解析: 兼保佳乃, 重石英生, 太田耕司: 第 61 回広島県歯科医学会・第 106 回広島大学歯学会例会 (広島), 2022.
- 4: 地域在住高齢者における複合型介護予防教室参加後の口腔および身体機能の変化: 川村佳美, 重石英生, 内田紫乃, 河野史郎, 前原朝子, 杉山勝, 太田耕司: 日本歯科衛生学会 第 17 回学術大会 (Web 開催), 2022.
- 5: 頭頸部がんおよび食道がん周術期患者から分離したカンジダ株の検出状況と抗真菌薬感受性: 矢野加奈子, 西裕美, 重石英生, 兼保佳乃, 河口浩之, 太田耕司: 日本歯科衛生学会

- 第 17 回学術大会 (web 開催), 2022.
- 6: 広島大学歯学部口腔健康科学科口腔保健学専攻のオンライン国際交流プログラムの取り組み: 西村瑠美, 前原朝子, 仁井谷善恵, 松本厚枝, 兼保佳乃, 重石英生, 太田耕司, 竹本俊伸, 内藤真理子: 日本歯科衛生学会第 17 回学術大会 (web 開催), 2022.
 - 7: The association between periodontopathic bacteria and periodontal inflamed surface area in older people. Shigeishi H, Nakamura M, Oka I, Yano K, Hamada N, Sasaki M, Kitasaki H, Wu C-H, Kaneyasu Y, Maehara T, Sugiyama M, Ohta K: 第 55 回広島大学歯学会総会, 2022.
 - 8: Co-infection of oral *Candida albicans* and *Porphyromonas gingivalis* is associated with active periodontitis in middle-aged and older people. Oka I, Shigeishi H, Nakamura M, Yano K, Kaneyasu Y, Maehara T, Ohta K: 第 55 回広島大学歯学会総会, 2022.
 - 9: 頭頸部がんおよび食道がん周術期患者から分離したカンジダ株の抗真菌薬感受性: 矢野加奈子, 西裕美, 重石英生, 兼保佳乃, 河口浩之, 太田耕司: 第 31 回日本口腔感染症学会総会・学術大会 (名古屋), 2022.
 - 10: Associations between passive smoking level and risk of dysphagia: Maehara T, Nishimura R, Hama Y, Tamura T, Kato Y, Kubo Y, Okada R, Nagayoshi M, Hishida A, Wakai K, Hamajima N, Ohta K, Naito M: 2022 IADR/APR General Session (China, Web), 2022.
 - 11: スニチニブの口腔粘膜上皮細胞に対する p38MAPK/STAT3 を介したアポトーシス誘発の解析: 深田翔平, 太田耕司, 赤木美沙季, 佐久間美雪, 重石英生, 鳴瀬貴子, 中川貴之, 加藤大喜, 武知正晃, 相川友直.: 第 69 回 NPO 法人日本口腔科学会中国・四国地方部会 (2022.10.22 鳥取 Web)
 - 12: スニチニブは p38MAPK/STAT3 を介して口腔粘膜上皮細胞にアポトーシスを誘発する: 深田翔平, 太田耕司, 赤木美沙季, 佐久間美雪, 重石英生, 鳴瀬貴子, 中川貴之, 加藤大喜, 武知正晃, 相川友直.: 第 67 回 (公社) 日本口腔外科学会総会・学術大会 (2022.11.4~11.6 千葉 Web)
 - 13: 口腔粘膜細胞における核酸の細胞内導入による ACE2 の発現誘導: 赤木美沙季, 太田耕司, 深田翔平, 佐久間美雪, 加藤大喜, 鳴瀬貴子, 中川貴之, 重石英生, 相川友直.: 第 67 回 (公社) 日本口腔外科学会総会・学術大会 (2022.11.4~11.6 千葉 Web)

F) 講演など

- 1: 太田耕司: 「周術期合併症の予防に対する口腔衛生管理の意義」フォーサム 2022 せとうち (広島), 2022.
- 2: 太田耕司: 「口腔カンジダ症の基礎と臨床」-重症感染症を起こさないためにも- 第 38 回 広島県歯科衛生士教育研究会 (広島), 2022
- 3: 太田耕司: 「AMR に基づく歯科治療における抗菌薬の正しい使い方」第 61 回 広島県歯科医学会・第 106 回広島大学歯学会例会 (広島), 2022
- 4: 矢野加奈子: 日本歯科衛生学会第 17 回学術大会研究討論会 (web), 2022.

G) 社会貢献

- 1: 前原朝子: 特別養護老人ホーム光清苑にて口腔機能評価 (広島), 2022.
- 2: 前原朝子: 広島県地域医療介護総合確保事業 在宅歯科医療推進のための歯科衛生士の資質向上事業 口腔衛生管理 講師, 2022.
- 3: 前原朝子: 広島県地域医療介護総合確保事業 在宅歯科医療推進のための歯科衛生士の資質向上事業 臨地実習 指導, 2022.
- 4: 兼保佳乃: 広島市国際青年ボランティア事業 コロナのよぼうほうをまなぼう 指導, 2022.
- 5: 兼保佳乃: 山梨県都留市養護教員会, 山梨県都留市の養護教員会への資料提供, 2022.
- 6: 兼保佳乃: 山梨県都留市立谷村第一小学校, 身体測定前の保健指導媒体の資料作成・提供, 2022.
- 7: 兼保佳乃: 日本養護教諭養成大学協議会 2022 年度養成教育セミナー ファシリテーター, 2022.
- 8: 太田耕司: 日本歯科衛生学会 認定歯科衛生士セミナー 歯科医療安全管理コース e-ラ

ーニング講義 「感染予防対策としての環境整備」「歯科診療における標準予防策」「歯科衛生士のリスクマネジメント」「口腔外科手術や、全身疾患患者に関連する医療安全対策」、(2022. Web)

- 9: 太田耕司：日本歯科衛生学会 認定歯科衛生士セミナー 歯科医療安全管理コース オンライン演習 「リスクマネージャーとしてのリスクマネジメントプロセスを学ぶ」(2022. Web)
- 10: 太田耕司：日本歯科衛生学会 認定歯科衛生士セミナー 歯科医療安全管理コース運営と開催, (2022. Web).

(4) 科学研究費補助金等の受領状況

- 1: 基盤研究 (C) : 重石英生 (研究代表者), CD44 高発現口腔扁平上皮癌細胞におけるメカノトランスダクション機構の解明 (継続), 課題番号 20K10138.
- 2: 基盤研究 (C) : 重石英生 (研究分担者), 口腔粘膜の 新規カンジダ細胞壁成分認識受容体の機能解析と口腔カンジダ症における意義 (継続), 課題番号 20K10179.
- 3: 基盤研究 (C) : 太田耕司 (研究分担者), ビスホスホネート投与患者の歯科インプラント治療指針作成のための基礎的研究 (継続), 課題番号 21K09952
- 4: 基盤研究 (C) : 太田耕司 (研究分担者), 血管新生作用を有する顎骨壊死治療用移植材料の開発. 課題番号 21K10094
- 5: 基盤研究 (C) : 太田耕司 (研究分担者) (継続), 口腔細菌を標的としたがん化学療法における全身合併症予防システムの構築. 課題番号 20K10162
- 6: 基盤研究 (C) : 太田耕司 (研究分担者) (継続), 口腔内耐性菌の分布の把握と歯科による口腔衛生管理が医療・介護関連肺炎に及ぼす影響. 課題番号 20K10248
- 7: 基盤研究 (C) : 太田耕司 (研究分担者) (継続), プロバイオティクスによる周術期口腔機能管理の有用性 課題番号 18K09880
- 8: 基盤研究 (B) : 太田耕司 (研究分担者) (継続), 集塊培養技術による iPS 細胞由来顎骨・歯肉オルガノイドの樹立と口腔再生医学の深化 課題番号 22H03275

(5) 学会賞等の受賞状況

- 1: 3 ヶ月にわたるデジタル画像を用いた歯ブラシ刷毛の拡がり測定及び歯垢除去効果におけるランダム化比較試験：兼保佳乃, 第 25 回広島大学歯学部同窓会奨励賞
- 2: 日本歯科理工学会論文賞 「In vitro investigation of the cell compatibility and antibacterial properties of titanium treated with calcium and ozone」 Takechi M, Takamoto M, Ninomiya Y, Ono S, Mizuta K, Nakagawa T, Shigeishi H, Ohta K, Ishikawa K, Tsuru K. Dental Materials Journal 40 (3) (2022.5.21)

(6) 特許

なし

口腔保健疫学研究室

(1) 職員並びに学生

教授：内藤 真理子
 助教：西村 瑠美
 大学院生：浅枝 麻夢可 (D3)
 有本 錦 (D3)
 山田 幸子 (D3)
 濱 陽子 (D3) (先端歯科補綴学)
 西本 美紗 (D1)
 倉脇 由布子 (D1)
 近藤 実南 (M1)
 重田 茉穂 (M1)
 福谷 遥 (M1)
 竹下 萌乃 (M1)
 石上 真麗 (M1)
 鈴木 良貴 (研究員)

(2) 主な研究活動

- 1: 口腔健康管理に関する研究
- 2: 歯科保健教育に関する研究
- 3: 口腔機能に関する研究
- 4: 口腔と全身の健康の関連の検討
- 5: 生活習慣病における遺伝子環境交互作用に関する研究
- 6: 健診／検診受診行動と健康状態、生活習慣の関連の検討
- 7: 摂食嚥下障害患者と主介護者に関する研究
- 8: QOL/PRO 尺度の開発、それらを用いたアウトカム研究

(3) 研究業績

A) 原著 (症例報告を含む)

- 1: 母親のう蝕経験と子どもの早期小児う蝕の関連: システマティック・レビューによる検討: 近藤実南, 隅谷笑里, 西村瑠美, 石津花子, 浅尾友里愛, 岩本優子, 内藤真理子: 広大歯誌 54(2), 63-68, 2022.
- 2: 歯周病と認知機能低下に関する文献的考察: 濱久保晴香, 佐々木香奈栄, 西村瑠美, 鶴田圭伊子, 石上真麗, 重田茉穂, 内藤真理子: 広大歯誌 54(2), 69-77, 2022.
- 3: 広島大学歯学部歯科衛生士教育研修センターの活動内容と今後の展望: 倉脇由布子, 三隅恵子, 大上亜由美, 西村瑠美, 松本厚枝, 内藤真理子, 竹本俊伸: 広大歯誌 54(2), 114-121, 2022.
- 4: 積極的治療終了後の口腔がん患者の抑うつ度と QOL: 笹原妃佐子, 杉山 勝, 内田堅一郎, 西村瑠美, 前原朝子, 倉脇由布子, 林堂安貴, 二川浩樹: 口腔衛生会誌 72: 266-271, 2022.
- 5: 歯ブラシにおける毛先形状の違いがプラーク除去に及ぼす効果: 竹下萌乃, 岡澤悠衣, 加藤啓介: 口腔衛生会誌 72(2), 84-91, 2022.
- 6: 介護付有料老人ホーム入所高齢者における食事形態, 摂食嚥下障害関連症状および口腔関連 QOL に関する検討: 吉武明莉, 松田悠平, 藤井航, 秋房住郎, 鈴鴨よしみ, 西村瑠美, 村木祐孝, 内藤真理子: 日本摂食嚥下リハビリテーション学会雑誌 26 (3), 201-207, 2022.
- 7: コロナ禍における大学生の人的交流や健康に対する考え方: 笹原妃佐子, 田地豪, 西村瑠美, 前原朝子, 二川浩樹: 総合保健科学 37, 7-17, 2022

- 8 : Prevalence of oral Epstein-Barr virus and Porphyromonas gingivalis and their association with periodontal inflamed surface area : A cross-sectional study: Shigeishi H, Oka I, Su CY, Hamada N, Nakamura M, Nishimura R, Sugiyama M, Ohta K.: *Medicine (Baltimore)*. 28;101(43):e31282. doi: 10.1097/MD.00000000000031282, 2022.
- 9 : Genetic loci and prioritization of genes for kidney function decline derived from a meta-analysis of 62 longitudinal genome-wide association studies : Gorski M, Rasheed H, Teumer A, Thomas LF, Graham SE, Sveinbjornsson G, Winkler TW, Günther F, Stark KJ, Chai JF, Tayo BO, Wuttke M, Li Y, Tin A, Ahluwalia TS, Ärnlöv J, Åsvold BO, Bakker SJL, Banas B, Bansal N, Biggs ML, Biino G, Böhnke M, Boerwinkle E, Bottinger EP, Brenner H, Brumpton B, Carroll RJ, Chaker L, Chalmers J, Chee ML, Chee ML, Cheng CY, Chu AY, Ciullo M, Cocca M, Cook JP, Coresh J, Cusi D, de Borst MH, Degenhardt F, Eckardt KU, Endlich K, Evans MK, Feitosa MF, Franke A, Freitag-Wolf S, Fuchsberger C, Gampawar P, Gansevoort RT, Ghanbari M, Ghasemi S, Giedraitis V, Gieger C, Gudbjartsson DF, Hallan S, Hamet P, Hishida A, Ho K, Hofer E, Holleczeck B, Holm H, Hoppmann A, Horn K, Hutri-Kähönen N, Hveem K, Hwang SJ, Ikram MA, Josyula NS, Jung B, Kähönen M, Karabegović I, Khor CC, Koenig W, Kramer H, Krämer BK, Kühnel B, Kuusisto J, Laakso M, Lange LA, Lehtimäki T, Li M, Lieb W; Lifelines Cohort Study; Lind L, Lindgren CM, Loos RJF, Lukas MA, Lyytikäinen LP, Mahajan A, Matias-Garcia PR, Meisinger C, Meitinger T, Melander O, Milaneschi Y, Mishra PP, Mononen N, Morris AP, Mychaleckyj JC, Nadkarni GN, Naito M, Nakatochi M, Nalls MA, Nauck M, Nikus K, Ning B, Nolte IM, Nutile T, O'Donoghue ML, O'Connell J, Olafsson I, Orho-Melander M, Parsa A, Pendergrass SA, Penninx BWJH, Pirastu M, Preuss MH, Psaty BM, Raffield LM, Raitakari OT, Rheinberger M, Rice KM, Rizzi F, Rosenkranz AR, Rossing P, Rotter JI, Ruggiero D, Ryan KA, Sabanayagam C, Salvi E, Schmidt H, Schmidt R, Scholz M, Schöttker B, Schulz CA, Sedaghat S, Shaffer CM, Sieber KB, Sim X, Sims M, Snieder H, Stanzick KJ, Thorsteinsdottir U, Stocker H, Strauch K, Stringham HM, Sulem P, Szymczak S, Taylor KD, Thio CHL, Tremblay J, Vaccargiu S, van der Harst P, van der Most PJ, Verweij N, Völker U, Wakai K, Waldenberger M, Wallentin L, Wallner S, Wang J, Waterworth DM, White HD, Willer CJ, Wong TY, Woodward M, Yang Q, Yerges-Armstrong LM, Zimmermann M, Zonderman AB, Bergler T, Stefansson K, Böger CA, Pattaro C, Köttgen A, Kronenberg F, Heid IM.: *Kidney Int.* 102(3):624-639, 2022.
- 10 : Three-year survey of oral hygiene conditions of Cambodian public primary school children : Asao Y, Iwamoto Y, Mitsuhashi C, Naito M, Kozai K. *J Oral Sci.* 64(3):208-211, 2022.
- 11 : Low-intensity cigarette smoking and mortality risks: a pooled analysis of prospective cohort studies in Japan : Inoue-Choi M, Freedman ND, Saito E, Tanaka S, Hirabayashi M, Sawada N, Tsugane S, Usui Y, Ito H, Wang C, Tamakoshi A, Takeuchi T, Kitamura Y, Utada M, Ozasa K, Sugawara Y, Tsuji I, Wada K, Nagata C, Shimazu T, Mizoue T, Matsuo K, Naito M, Tanaka K, Katanoda K, Inoue M; Research Group for the Development and Evaluation of Cancer Prevention Strategies in Japan : *Int J Epidemiol.* 51(4):1276-1290, 2022.
- 12 : Alcohol intake and stomach cancer risk in Japan: A pooled analysis of six cohort studies : Tamura T, Wakai K, Lin Y, Tamakoshi A, Utada M, Ozasa K, Sugawara Y, Tsuji I, Ono A, Sawada N, Tsugane S, Ito H, Nagata C, Kitamura T, Naito M, Tanaka K, Shimazu T, Mizoue T, Matsuo K, Inoue M; Research Group for the Development and Evaluation of Cancer Prevention Strategies in Japan : *Cancer Sci.* 113(1):261-276, 2022.

B) 総説

なし

C) 著書

- 1 : 内藤真理子. 第 11 章 健康行動の理論・モデル. 高江洲義矩 (監修), 深井稜博 (編). 保健医療におけるコミュニケーション・行動科学 第 2 版. 東京: 医歯薬出版; 2022.

D) その他の出版物

- 1: 歯科衛生士のための齶蝕予防処置法 (中垣晴男, 加藤一夫, 石飛國子, 高阪利美 編著) 第 2 版 (第 5 刷): 石飛國子, 犬飼順子, 犬飼由朗, 移川明美, 加藤一夫, 栗田幸子, 高阪利美, 佐藤厚子, 谷 さつき, 田村清美, 中垣晴男, 南方千恵美, 仁井谷喜恵, 西村瑠美,

- 根来武史, 羽根淵えり子, 原山裕子, 星 雅子, 本多さおり, 前田尚子, 村上多恵子, 森田一三, 安井真奈美, 山田小枝子, 第 8 章 5-7 齶蝕活動性 (リスク) 試験: 医歯薬出版株式会社, 東京, p126-130, 2022.
- 2: 最新歯科衛生士教本 咀嚼障害,咬合異常 1 歯科補綴 第 2 版 (第 3 刷): 一般社団法人全国歯科衛生士教育協議会 監修/赤川安正,末瀬一彦,升井一朗,合場千佳子,山田小枝子 編, 田地豪,大川周治,志賀博,大久保力廣,西山雄一郎,細川隆司,正木千尋,大西愛,津賀一弘,安部倉仁,宮崎晶子,曾羽亜希子,関根秀志,西村瑠美,小野高裕,仁井谷善恵 執筆 p.202-211, 2022.
 - 3: 歯科衛生士のための摂食嚥下リハビリテーション 第 2 版 (6 刷) : 公益社団法人日本歯科衛生士会 監修/植田耕一郎 編集代表/井上誠,菊谷武,佐藤陽子,下山和弘,藤谷順子,古屋純一,水上美樹,向井美恵 編著: 赤塚澄子,阿部伸一,有友たかね,小田奈央,小野高裕,金久弥生,菊池真依,木村有子,久保山裕子,小城明子,佐藤光保,柴田由美,白部麻樹,鈴木いずみ,鈴木啓之,田頭いとゑ,高橋浩二,田中祐子,田村文誉,角田由美,戸原玄,中山玲奈,西澤加代子,西村瑠美,福井沙久香,藤本雅史,三鬼達人,村松倫,吉田光由,渡邊裕,渡邊理沙 執筆 p 135-144,2022.
 - 4: 小児科外来や乳幼児健診で使える 食と栄養相談 Q & A 改訂第 2 版 食と栄養: 平岩 幹男(監修)大矢 幸弘 (編集)堤 ちはる (編集)渡部 茂 (編集): 平岩幹男,大矢幸弘,堤ちはる,渡部 茂,飯沼光生,伊藤浩明,井上美津子,岩本勉,太田百合子,斎藤幹,斎藤正人,佐藤未織,三分一恵里,島村和宏,関口五郎,高橋康男,田中英一,中野美樹,中村公俊,夏目統,成田雅美,西村瑠美,長谷川実穂,福家辰樹,福田敦史,福本敏,二村昌樹,堀向健太,松尾嘉人,丸山進一郎,宮新美智世,森田久美子,山本貴和子,吉田幸一,渡邊幸嗣: 診断と治療社,東京,p17,143,144,2022.
 - 5: 日本の歯科衛生士が行っている摂食嚥下リハビリテーション: http://xn--vb0bt7hhzpl6k.com/board/view.php?bo_table=influencer_hygienist&wr_id=10&page=2 : 2022.11.28.
 - 6: フレイルについて知ろう! : http://xn--vb0bt7hhzpl6k.com/board/view.php?bo_table=influencer_hygienist&wr_id=14&page=2 : .

E) 学会発表

- 1: 広島大学歯学部口腔健康科学科口腔保健学専攻のオンライン国際交流プログラムの取り組み: 西村瑠美, 前原朝子, 仁井谷善恵, 松本厚枝, 兼保佳乃, 重石英生, 太田耕司, 竹本俊伸, 内藤真理子: 日本歯科衛生学会第 17 回学術大会 (Web), 2022.
- 2: 若年成人を対象とした口腔内感覚と栄養摂取状況との関連の検討: 佐々木美緒, 黒田梨緒, 西村瑠美, 内藤真理子: 日本歯科衛生学会第 17 回学術大会 (Web), 2022.
- 3: 永久歯における萌出遅延の要因について: システムティック・レビューによる検討: 桑原弓季, 吉村寿望, 西村瑠美, 内藤真理子: 日本歯科衛生学会第 17 回学術大会 (Web), 2022.
- 4: 高齢者の転倒と身体機能および口腔機能との関連性: 福田昌代, 氏橋貴子, 高橋由希子, 上原弘美, 澤田美佐緒, 中村美紀, 水村容子, 浅枝麻夢可, 八木孝和, 吉田幸恵: 日本歯科衛生学会第 17 回学術大会 (Web), 2022.
- 5: お口ぼかんが幼児の成長発育に及ぼす影響~第 1 報~: 中村美紀, 八木孝和, 福田昌代, 西保亜希, 浅枝麻夢可, 高橋由希子, 破魔幸枝, 伴仲謙欣, 山城圭介, 吉田幸恵: 日本歯科衛生学会第 7 回学術大会 (Web), 2022.
- 6: ホワイトニングが及ぼす心理社会的影響と口腔への関心に対する教育的効果: 氏橋貴子, 八木孝和, 福田昌代, 破魔幸枝, 中村美紀, 水村容子, 浅枝麻夢可, 西保亜希, 吉田幸恵: 日本歯科衛生学会第 17 回学術大会 (Web), 2022.
- 7: エアタービンによる模型歯牙切削時における飛沫の飛散状況に関する研究: 重田茉穂, 山田千瑛, 竹本俊伸, 仁井谷善恵, 内藤真理子, 西村瑠美: 日本歯科衛生学会第 17 回学術大会 (Web), 2022.
- 8: 新人歯科衛生士を対象とした職業性ストレスに関する検討: 倉脇由布子, 相見礼子, 三隅恵子, 大上亜由美, 西村瑠美, 松本厚枝, 内藤真理子, 竹本俊伸: 日本歯科衛生学会第 17 回学術大会 (Web), 2022.

- 9 : 当センターにおける日帰り全身麻酔実施患者の肥満に関する実態調査：濱陽子，宮内美和，大石瑞希，保田紗夜，沖野恵梨，新谷宏規，鈴木淳司，大石憲一，早乙女裕彦，實俊也，三好敏朗，山中史教，上川克己，山崎健次：第 39 回日本障害者歯科学会学術大会（岡山），2022.
- 10 : 高齢患者に対する静脈内鎮静法の安全性についての検討：宮内美和，濱陽子，大石瑞希，保田紗夜，沖野恵梨，新谷宏規，鈴木淳司，大石憲一，早乙女裕彦，盛實俊也，三好敏朗，山中史教，上川克己，山崎健次：第 39 回日本障害者歯科学会学術大会（岡山），2022.
- 11 : Intranasal Midazolam Conscious Sedation for Dental Surgery in Child with Left Ventricular Noncompaction : Hama Y, Miyauchi M, Shintani H, Yamanaka H, Kamikawa K, Yamasaki K : The 2nd Congress of Asia Association for Disability and Oral Health (web), 2022.
- 12 : 新型コロナウイルス感染拡大下における歯科衛生士臨床実習についての検討：沖野恵梨，大石 瑞希，保田 紗夜，森下夏鈴，山口舞，濱陽子，宮内美和，新谷宏規，三好敏朗，山中史教，久保康治，上川克己，山崎健次：第 61 回広島県歯科医学会 併催 第 106 回広島大学歯学会例会（広島），2022.
- 13 : 広島市内高等学校における歯科健診結果の推移と事後措置：久保田有里，大杉咲央里，武田七望，川本桃花，菅井千春，鈴木陽子，鈴木良貴，西村瑠美，内藤真理子：第 61 回広島県歯科医学会 併催 第 106 回広島大学歯学会例会（広島），2022.
- 14 : 口腔内装置の印象・装着が困難な患児に対する治療への取り組み：大杉咲央里，久保田有里，武田七望，川本桃花，菅井千春，鈴木陽子，鈴木良貴，中島 克，谷本幸太郎，西村瑠美，内藤真理子：第 61 回広島県歯科医学会 併催 第 106 回広島大学歯学会例会（広島），2022.
- 15 : 広島大学歯学部歯科衛生士教育研修センターにおける歯科衛生士リカレント研修会の取り組み：三隅恵子，倉脇由布子，相見礼子，大上亜由美，西村瑠美，松本厚枝，内藤真理子，竹本俊伸：第 61 回広島県歯科医学会 併催 第 106 回広島大学歯学会例会（広島），2022.
- 16 : 学齢期において口腔保健教育の長期介入が与える口腔への影響：システムティックレビューによる検討：安原あかり，前原百奈，西村瑠美，内藤真理子：第 61 回広島県歯科医学会 併催 第 106 回広島大学歯学会例会（広島），2022.
- 17 : 洗口剤が口臭原因物質および唾液アミラーゼに及ぼす影響について：石上真麗：第 38 回広島県歯科衛生士会研究発表会（広島），2022.
- 18 : 上顎急速拡大装置と機能的矯正装置を段階的に用いた第 1 期矯正歯科治療の 1 例：鈴木良貴：第 41 回日本小児歯科学会中四国地方大会（徳島），2022.
- 19 : オーラルフレイルチェック問診票と口腔機能測定結果との関連性－前期・後期高齢者比較－：福田昌代，氏橋貴子，高橋由希子，上原弘美，御代出三津子，澤田美佐緒，中村美紀，水村容子，浅枝麻夢可，吉田幸恵：第 29 回日本健康体力栄養学会（Web），2022.
- 20 : 大学新入学生の口腔健康状態および口腔保健に対する意識との関連性：川野亜希，八木孝和，浅枝麻夢可，福田昌代，高橋由希子，破魔幸枝，中村美紀，氏橋貴子，山城圭介，吉田幸恵：第 29 回日本健康体力栄養学会（Web），2022.
- 21 : 低口唇閉鎖力状態が小児の成長発育に及ぼす影響：八木孝和，中村美紀，福田昌代，川野亜希，浅枝麻夢可，高橋由希子，破魔幸枝，水村容子，山城圭介，吉田幸恵：第 29 回日本健康体力栄養学会（Web），2022.
- 22 : ウェアラブル咀嚼回数測定装置を利用した咀嚼指導方法の開発：八木孝和，浅枝麻夢可，水村（小林）容子，氏橋貴子，西保（川野）亜希：第 10 回神戸常盤学術フォーラム（神戸），2022.
- 23 : 歯面プラークスコアの客観的評価法の開発：福田昌代，中村美紀，浅枝麻夢可：第 10 回神戸常盤学術フォーラム（神戸），2022.
- 24 : 歯科衛生学生と看護学生の合同演習による専門職連携教育の効果－演習後グループワークの気づきから－：澤田美佐緒，阿児馨，浅枝麻夢可：第 10 回神戸常盤学術フォーラム（神戸），2022.
- 25 : Fiberoptic endoscopic evaluation of swallowing may increase pharyngeal residue in postoperative Oral cancer patients: Nagasaki T, Yamada S, Yoshikawa M, Yoshida M, Kiichi S, Ohtsuka M, Konishi M, Suei Y, Nakamoto T, Kakimoto N.: The 13th Asian Congress of Oral and Maxillo-Facial Radiology (ACOMFR 2022)&The 62th general assembly and annual scientific congress of Japanese Society for

Oral and Maxillo-Facial Radiology(JSOMFR) (web),2022.

- 26 : Associations between passive smoking exposure level and dysphagia risk: Maehara T, Nishimura R, Hama Y, Tamura T, Kato Y, Kubo Y, Okada R, Nagayoshi M, Hishida A, Wakai K, Hamajima N, Oota K, Naito M: 2022 IADR/APR General Session & Exhibition(web), 2022.
- 27 : 卒前における教育能力習得科目「歯科臨床教育学」の学習内容とその効果について：岩本彩香, 角田萌乃, 竹本俊伸, 田地豪, 西村瑠美：第 41 回日本歯科医学教育学会学術大会 (web), 2022.
- 28 : 味覚刺激による唾液分泌促進効果の検討：三分一恵里, 西村瑠美, 金久弥生：第 25 回千葉県学校保健学会 (千葉), 2022.
- 29 : PAPSS1 遺伝子多型と肝機能異常との関連：藤和太, 内藤真理子, 塚本峰子, 門松由佳, 久保陽子, 岡田理恵子, 篠壁多恵, 川合紗世, 田村高志, 菱田朝陽, 竹内研時, 若井建志, 浜島信之：第 32 回日本疫学会学術総会, 2022.
- 30 : APOE ε 2 ハプロタイプは血清尿酸値を増加させる：小倉正恒, 豊田優, 河村優輔, 中山昌喜, 高田龍平, 清水聖子, 東野俊英, 中寫真由子, 四ノ宮成祥, 松尾洋孝, 崎山真幸, 山梨義英, 内藤真理子, 菱田朝陽, 川合紗世, 岡田理恵子, 佐々木誠, 綾織誠人, 鈴木洋史, 高田耕基, 池脇克則, 斯波真理子：第 55 回日本痛風・尿酸核酸学会総会, 2022.

F) 講演など

- 1: 浅枝麻夢可：公開講座「全身の健康はお口の健康から！」：神戸常盤女子高等学校 (神戸) 2022.
- 2: 西村瑠美：東京医科歯科大学病院 歯科衛生士総合研修センター2022 年度公開シンポジウム(web), 2022.
- 3: 西村瑠美・近藤実南・重田茉穂・石上真麗：広島市宇品・似島地域包括支援センター「誤嚥予防・口腔ケア」(似島), 2022.
- 4: 内藤真理子：日本補綴歯科学会第 131 回学術大会シンポジウム「口腔分野における QOL 評価」, 2022.

G) 社会貢献

- 1: 浅枝麻夢可：歯ッピー相談会 (乳幼児対象)：子育て支援施設「KIT」「ときわんモトロク」「ときわんノエスタ」(神戸), 2022.
- 2: 浅枝麻夢可：神戸常盤大学附属ときわ幼稚園にて口腔機能評価 (神戸), 2022.
- 3: 浅枝麻夢可：立花うるま保育園にて口腔機能評価 (兵庫), 2022.
- 4: 浅枝麻夢可：2022 KOBE TOKIWA 健康ふれあいフェスタ：神戸常盤大学にて口腔機能評価 (神戸), 2022.
- 5: 西村瑠美・近藤実南・重田茉穂・石上真麗：特別養護老人ホーム光清苑にて口腔機能評価 (広島), 2022.
- 6: 西村瑠美：広島県地域医療介護総合確保事業 在宅歯科医療推進のための歯科衛生士の資質向上事業 (広島), 2022.

(4) 科学研究費補助金等の受領状況

- 1: 日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究(C)：浅枝麻夢可 (研究分担者)：お口ぼかん (口唇閉鎖力の低下) が幼児の成長発達に与える影響, 課題番号 21K10845 : 200 千円
- 2: 日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究(C)：内藤真理子 (研究代表者)：歯の喪失が QOL に与える影響に関する研究, 課題番号 21K10211 : 1100 千円
- 3: 日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究(B)：内藤真理子 (研究分担者)：患者報告アウトカム・QOL の科学的評価手法確立ー基本理念に基づく検証と応用実践, 課題番号 20H03905 : 200 千円
- 4: 厚生労働科学研究費補助金 行政政策研究分野 政策科学総合研究 (臨床研究等 I C T 基盤構

築・人工知能実装研究)：内藤真理子(研究分担者)：関連学会の取組と連携した PRO ガイドラインの作成，課題番号 20AC1003：300 千円

- 5: 令和 4 年度広島大学女性研究者奨励賞：西村瑠美：口腔内感覚検査による「食べにくさ」の評価：400 千円

(5) 学会賞等の受賞状況
なし

(6) 特許 なし

[目次へ戻る](#)

生体構造・機能修復学研究室

(1) 職員並びに学生

教授 : 加来真人
 准教授 : 下江幸司
 大学院生 : 肥後桃代, 川端晴也, 山田航輔,
 卒業研究生 : 上田 麗, 武田志織, 山本莉紗, 坂本奈央, 首尾木凜子, 森江寧々, 森清七納,
 山我宗一郎
 研究生 : 岩畔将吾
 研修登録医 : 板谷和徳

(2) 主な研究活動

- 1: メカニカルストレスが骨代謝、および血管新生に及ぼす影響
- 2: エレクトロパラトグラフィーを用いた構音、嚥下時における舌と口蓋の接触状況について
- 3: 審美歯科複合材料に関する研究
- 4: 新規歯科用セラミックの新しい臨床応用に関する研究
- 5: 3D データを用いた客観的な評価に関する研究

(3) 研究業績

A) 原著 (症例報告を含む)

- 1: Kaku M, Izumino J, Yamamoto T, Yashima Y, Shimoe S, Tanimoto K. 2022, Functional regulation of osteoblastic MC3T3E-1 cells by hyperbaric oxygen treatment. Arch Oral Biol, 138: 105410. doi: 10.1016/j.archoralbio.2022.105410.
- 2: Yoshioka R, Mine Y, Kaku M, Nikawa H, Murayama T. 2022, Lansoprazole and zoledronate delays hard tissue healing of tooth extraction sockets in dexamethasone-treated mice. Biomed. Pharmacother, 150: 112991.
- 3: Mine Y, Okuda K, Yoshioka R, Sasaki Y, Peng TY, Kaku M, Yoshiko Y, Nikawa H, Murayama T. 2022, Occlusal trauma and Bisphosphonate-Related osteonecrosis of the jaw in mice. Calsif Tissue Int, Sep 27. doi: 10.1007/s00223-021-00916-2
- 4: Kodaira, Akihisa; Koizumi, Hiroyasu; Hiraba, Haruto; Takeuchi, Yoshimasa; Koike, Mari; Shimoe, Saiji. Bonding of resin luting materials to titanium and titanium alloy. J Oral Sci, Vol. 64 (3), pp. 181-184,2022
- 5: Iwaguro, Shogo; Shimoe, Saiji; Yamamoto, Kohei; Mine, Yuichi; Takayama, Yukihiro; Kaku, Masato, Influence of dental abrasives on surface roughness, gloss, and color of titanium. J Oral Sci, Vol. 64 (3), pp. 247-250,2022
- 6: Yamamoto T, Kaku M, Ono S, Takechi M, Tanimoto K. 2022, Correction of severe skeletal Class II high angle case with mandibular retrusion and a gummy smile by double jaw surgery. Bull Tokyo Dent Coll, doi: 10.2209/tdcpublication.
- 7: 義歯床用レジンに塗布した表面滑沢硬化材の耐久性評価について: 肥後 桃代, 下江 幸司, 田村 唯, 岩畔 将吾, 加来 真人. 日本歯科技工学会誌, 第43巻, 第2号, pp. 105-112, 2022.
- 8: 小跡弘幸、山本多栄子、加来真人、2021, 埋伏した下顎右側第二大臼歯を開窓、牽引して治療した骨格性および歯性上顎前突症例. 広大歯誌. 53:102-108. (2022年1月発刊)

B) 総説

C) 著書

D) その他の出版物

E) 学会発表

- 1: 下江幸司：「歯科医療の安全と安心に貢献するために」 日本歯科技工学会第44回学術大会 シンポジウム 1 「これからの歯科技工士の医療技術者としてのミッション」 (オンライン) 2022. 12. 6
- 2: 下江幸司：「補綴物製作過程における感染対策」 厚生労働省委託感染症予防歯科技工士講習会 (宮崎県) 2022. 11. 6
- 3: 山本莉紗, 下江幸司, 岩畔将悟, 加来真人. PEEK とコンポジットレジンおよび義歯床用レジンの接着における UV 照射の影響：第44回日本歯科技工学会(オンライン開催), 2022. 12. 3, 4
- 4: 武田志織, 下江幸司, 高山幸宏, 加来真人. 口腔内スキャナーにおける印象方法が精確さの向上に与える影響：第44回日本歯科技工学会(オンライン開催), 2022. 12. 3, 4
- 5: 肥後桃代, 下江幸司, 大宅麻衣, 加来真人 . PEEK と歯冠用コンポジットレジンおよび義歯床用レジンの接着におけるプライマー処理の影響：第44回日本歯科技工学会(オンライン開催), 2022. 12. 3, 4

(4) 科学研究費補助金等の受領状況

基盤研究 C：(代表) 下江幸司 (分担) 加来真人, 平田伊佐雄 生体にやさしいポリエーテルエーテルケトン(PEEK)複合型修復物の開発. 課題番号 21K10002. 1,000 千円

(5) 学会賞等の受賞状況

- 1: 西村明美：第24回カービングコンテスト金賞 2022. 3. 23
- 2: 山本航平, 下江幸司, 峯 裕一, 高山幸宏, 加来真人：日本歯科技工学会第43回学術大会 最優秀発表賞 2022. 3. 9
- 3: 高山幸宏, 下江幸司, 田地 豪, 二川浩樹：日本歯科技工学会第43回学術大会 優秀発表賞 2022. 3. 9
- 4: 武田志織, 下江幸司, 高山幸宏, 加来真人：日本歯科技工学会第44回学術大会 最優秀発表賞 2022. 12. 6
- 5: 肥後桃代, 下江幸司, 大宅麻衣, 加来真人：日本歯科技工学会第44回学術大会 優秀発表賞 2022. 12. 6
- 6: 肥後桃代：令和4年度広島大学エクセレント・スチューデント・スカラシップ 2022. 12. 21

(6) 特許

[目次へ戻る](#)

口腔健康科学講座 医療システム工学研究室

(1) 職員並びに学生

教授 : 村山 長
 講師 : 峯 裕一
 大学院生 : 蓑田芽萌理, 岡崎昌太, 占部志歩, 佐々木優綺, 加藤摩美, 谷岡慶輝,
 長谷祥輝, 山本航平
 卒業研究生 : 大庭澄礼, 笠川萌香, 佐野瑞歩, 島内美結, 永澤英里, 廣瀬仁音,
 青江ほのか, 新日菜子, 井隈桃歌, 石川芽依, 鎌田真雛, 古川玲音, 前 智子

(2) 主な研究活動

- 1: 人工知能の歯科医療への応用
- 2: 3D技術の歯科医療への応用
- 3: 薬剤関連顎骨壊死の発症機構に関する研究

(3) 研究業績

A) 原著 (症例報告を含む)

- 1: Occlusal Trauma and Bisphosphonate-related Osteonecrosis of the Jaw in Mice: Mine Y, Okuda K, Yoshioka R, Sasaki Y, Peng TY, Kaku M, Yoshiko Y, Nikawa H, Murayama T: *Calcified Tissue International*, 110(3), 380-392, 2022.
- 2: Detecting the presence of supernumerary teeth during the early mixed dentition stage using deep learning algorithms: A pilot study: Mine Y, Iwamoto Y, Okazaki S, Nakamura K, Takeda S, Peng TY, Mitsuhashi C, Kakimoto N, Kozai K, Murayama T: *International Journal of Paediatric Dentistry*, 32(5), 678-685, 2022.
- 3: Alterations to titanium surface depending on the fluorides and abrasives in toothpaste: Shuto T, Mine Y, Makihira S, Nikawa H, Wachi T, Kakimoto K: *Materials*, 15(1), 51, 2022.
- 4: Automated segmentation of articular disc of the temporomandibular joint on magnetic resonance images using deep learning: Ito S, Mine Y, Yoshimi Y, Takeda S, Tanaka A, Onishi A, Peng TY, Nagasaki T, Nakamoto T, Kakimoto N, Murayama T, Tanimoto K: *Scientific Reports*, 12(1), 221, 2022.
- 5: Lansoprazole and zoledronate delays hard tissue healing of tooth extraction sockets in dexamethasone-treated mice: Yoshioka R, Mine Y, Kaku M, Nikawa H, Murayama T: *Biomedicine & pharmacotherapy*, 150, 112991, 2022.
- 6: Influence of dental abrasives on the surface roughness, gloss, and color of titanium: Iwaguro S, Shimoe S, Yamamoto K, Mine Y, Takayama Y, Kaku M: *Journal of Oral Science*, 64(3), 247-250, 2022.
- 7: BMP and activin membrane-bound inhibitor negatively regulate connective tissue growth factor controlling mesothelioma cell proliferation: Hoang NTD, Hassan G, Suehiro T, Mine Y, Matsuki T, Fujii M: *BMC Cancer*, 22(1), 984, 2022.
- 8: Analysis of the feasibility of using deep learning for multiclass classification of dental anomalies on panoramic radiographs: Okazaki S, Mine Y, Iwamoto Y, Urabe S, Mitsuhashi C, Nomura R, Kakimoto N, Murayama T: *Dental Materials Journal*, 41(6), 889-895, 2022.
- 9: Effects of the methyl methacrylate addition, polymerization temperature and time on the MBG@PMMA core-shell structure and its application as addition in electrospun composite fiber bioscaffold: Lin HN, Peng TY, Kung YR, Chiou YJ, Chang WM, Wu SH, Mine Y, Chen CY, Lin CK: *Ceramics International* in press
- 10: 口腔由来乳酸菌がマウス歯肉上皮細胞のタイトジャンクションに与える影響: 首藤崇裕, 峯 裕一, 津山麻衣, 伊東 黎, 田地 豪, 二川浩樹: *日本防菌防黴学会誌*, 50(12), 515-520,

2022.

B) 総説

C) 著書

D) その他の出版物

- 1: 匠の技の定量化-Deep Learning による先駆的顎顔面補綴支援システムの開発: 峯 裕一: COSMETOLOGY, 30, 217-220, 2022.

E) 学会発表

- 1: Deep Learningによるパノラマエックス線画像からの埋伏過剰歯および歯牙腫検出: 岡崎昌太, 峯 裕一, 占部志歩, 竹田沙織, 江口 透, 村山 長: 日本デジタル歯科学会第13回学術大会(東京), 2022.
- 2: 畳み込みニューラルネットワークによる側貌写真からの骨格系角度予測: 占部志歩, 峯 裕一, 岡崎昌太, 伊藤翔太, 吉見友希, 竹田沙織, 江口 透, 谷本幸太郎, 村山 長: 日本デジタル歯科学会第13回学術大会(東京), 2022.
- 3: Deep Learningを用いたMRI画像からの顎関節円板自動検出法の検討: 吉見友希, 峯 裕一, 伊藤翔太, 竹田沙織, 岡崎昌太, 占部志歩, 村山 長, 谷本幸太郎: 日本デジタル歯科学会第13回学術大会(東京), 2022.
- 4: 遺伝的アルゴリズムを用いた納期遅れ時間最小化スケジューリングジョブの納期ずれに基づく交叉法一: 渡辺浩一郎, 江口 透, 村山 長: 日本設計工学会中国支部2022年度研究発表講演会(広島), 2022.
- 5: Prediction of cephalometric ANB angle on lateral profile photographs using convolutional neural network: Okazaki S, Mine Y, Urabe S, Ito S, Yoshimi Y, Tanimoto K, Takeda S, Murayama T: 第55回広島大学歯学会総会(広島), 2022.
- 6: Multiclass Classification of Odontoma and Supernumerary Tooth Using Deep Learning: Okazaki S, Mine Y, Iwamoto Y, Urabe S, Mitsuhashi C, Murayama T: 2022 IADR/APR General Session & Exhibition (Chengdu), 2022.
- 7: 深層学習によるパノラマエックス線画像からの歯数の異常分類: 岡崎昌太, 峯 裕一, 占部志歩, 村山 長: 第61回日本生体医工学会大会2022(新潟), 2022.
- 8: Deep LearningによるマルチベンダーMRI画像からの関節円板検出: 峯 裕一, 岡崎昌太, 吉見友希, 伊藤翔太, 谷本幸太郎, 村山 長: 日本補綴歯科学会第131回学術大会(大阪), 2022.
- 9: リセドロネートはヒト間葉系幹細胞においてPGRNの発現を誘導する: 谷岡慶輝, 峯 裕一, 牧平清超, 二川浩樹, 村山 長: 日本補綴歯科学会第131回学術大会(大阪), 2022.
- 10: 海馬領域の炎症反応に対するL. rhamnosus L8020の効果の検討: 藤代 亮, 木下奈々緒, 神浦維吹, 峯 裕一, 田地 豪, 熊谷 宏, 佐々木正和, 二川浩樹: 日本補綴歯科学会中国・四国支部令和4年度総会・学術大会(高松), 2022.
- 11: PDGFR regulates cell proliferation through CTGF expression: Suehiro T, Mine Y, Fujii M: 第81回日本癌学会学術総会(横浜), 2022.
- 12: 畳み込みニューラルネットワークを用いた顔面写真からの骨格型自動予測: 伊藤翔太, 吉見友希, 峯 裕一, 占部志歩, 岡崎昌太, 竹田沙織, 村山 長, 谷本幸太郎: 第81回日本矯正歯科学会学術大会&第9回日韓ジョイントシンポジウム(大阪), 2022.
- 13: Analysis of mandibular lateral deviation on posteroanterior cephalograms using a deep learning algorithm: Okazaki S, Mine Y, Yoshimi Y, Ito S, Takeda S, Tanimoto K, Murayama T: International Dental Materials Congress 2022 (Taipei), 2022.
- 14: Regulation of bone-related cell differentiation by synthetic BMP-2 peptide and RANKL-binding peptide: Shuto T, Mine Y, Tani A: International Dental Materials Congress 2022 (Taipei), 2022.
- 15: 歯肉上皮様細胞におけるP.gingivalis菌体刺激による遺伝子発現と口腔由来乳酸菌スプレードライ粉末の効果解析: 神崎紗来々, 藤代 亮, 神浦維吹, 峯 裕一, 熊谷 宏, 笹原妃佐子, 河原和子, 田地 豪, 二川浩樹: 第61回広島県歯科医学会 併催 第106回広島大学歯学会例会(広島), 2022.

F) シンポジウムなどでの講演

- 1: Artificial Intelligence in Dentistry: Current Status of Deep Learning Studies: Yuichi Mine: The 2nd International Symposium on Digital Dentistry and Biomedical Materials (Taiwan), 2022.

(4) 科学研究費補助金等の受領状況

- 1: 科学研究費基盤研究 (C) : (代表) 峯 裕一, 局所骨代謝制御による薬剤関連顎骨壊死に対する新規治療法の開発. 課題番号 22K10059.
- 2: 科学研究費基盤研究 (C) : (分担) 峯 裕一, 生体活性 HiPIMS-DLC によるインプラント周囲炎の制御. 課題番号 20K10053.
- 3: 科学研究費基盤研究 (C) : (分担) 峯 裕一, 高齢者の歯の喪失を抑制する新規根面う蝕予防剤の開発. 課題番号 20K10260.
- 4: 科学研究費基盤研究 (C) : (分担) 村山 長, 峯 裕一, デジタルトランスフォーメーションが実現する先駆的顎顔面補綴支援システム. 課題番号 21K10020.
- 5: 公益財団法人コーセーコスメトロジー研究財団 第 30 回研究助成 : (代表) 峯 裕一, 匠の技の定量化-Deep Learning による先駆的顎顔面補綴支援システムの開発
- 6: 国立研究開発法人日本医療研究開発機構 (AMED) 橋渡し研究プログラム preF : (分担) 峯 裕一, 血管石灰化抑制剤の開発
- 7: 国立研究開発法人科学技術振興機構 (JST) START 社会還元加速プログラム (SCORE) チーム推進型 2021 : (分担) 峯 裕一 細胞集塊培養技術によって得られる人工材料不含の骨様組織を用いた顎骨再建療法事業化検証
- 8: 共同研究契約, ノーベルファーマ : (分担) 峯 裕一

(5) 学会賞等の受賞状況

- 1: 岡崎昌太, 峯 裕一, 占部志歩, 竹田沙織, 江口 透, 村山 長 : 日本デジタル歯科学会第 13 回学術大会優秀発表賞 2022.
- 2: 吉見友希, 峯 裕一, 伊藤翔太, 竹田沙織, 岡崎昌太, 占部志歩, 村山 長, 谷本幸太郎 : 日本デジタル歯科学会第 13 回学術大会優秀発表賞 2022.
- 3: 岡崎昌太 : 令和 4 年度広島大学エクセレント・スチューデント・スカラシップ 2022.
- 4: 山本航平, 下江幸司, 峯 裕一, 高山幸宏, 加来真人 : 日本歯科技工学会第 43 回学術大会ポスター発表優秀発表賞 2022.
- 5: 伊藤翔太, 吉見友希, 峯 裕一, 占部志歩, 岡崎昌太, 竹田沙織, 村山 長, 谷本幸太郎 : 第 81 回日本矯正歯科学会学術大会&第 9 回日韓ジョイントシンポジウム学術大会優秀発表賞 2022.

(6) 特許

[目次へ戻る](#)

口腔生物工学研究室

(1) 職員並びに学生

教授	: 二川浩樹 (*) 診療支援部歯科技工室長
准教授	: 田地 豪
講師	: 笹原妃佐子 (-2022.3)
教育研究補助職員	: 田口香織
研究生	: 河原和子
大学院生	: 末廣智也, 神浦維吹, 藤代 亮, 木下奈々緒
卒業研究生	: 武内大河, 一色亜都, 土田愛美花, 篠田佳歩, 八塚愛実, 清水茉莉, 大宇根 遥, 棟本晃司, 越智仁菜, 神崎紗来々

(2) 主な研究活動

- 1: カンジダバイオフィルムとデンチャープラークの研究
- 2: プロバイオティクスを応用したう蝕予防の研究
- 3: 塩基性抗菌性ペプチドの設計
- 4: 歯槽骨吸収機構の解明
- 5: 骨吸収抑制剤の開発
- 6: 新規インプラント材料の開発
- 7: アレルギーに関する共同研究
- 8: デジタルデンティストリーに関する研究
- 9: 大動脈瘤に関する共同研究
- 10: 口腔機能評価法の開発
- 11: 食品物性の解析

(3) 研究業績

A) 原著 (症例報告を含む)

- 1: Occlusal Trauma and Bisphosphonate-related Osteonecrosis of the Jaw in Mice : Mine Y, Okuda K, Yoshioka R, Sasaki Y, Peng TY, Kaku M, Yoshiko Y, Nikawa H, Murayama T : *Calcified Tissue International* 110(3): 380-392.2022.
- 2: Alterations to titanium surface depending on the fluorides and abrasives in toothpaste : Shuto T, Mine Y, Makihira S, Nikawa H, Wachi T, Kakimoto K : *Materials* 15(1): 51.2022.
- 3: Lansoprazole and zoledronate delays hard tissue healing of tooth extraction sockets in dexamethasone-treated mice :Yoshioka R, Mine Y, Kaku M, Nikawa H, Murayama T. *Biomedicine & pharmacotherapy* 150: 112991.2022.
- 4: How school life with international students develops the intercultural competence of domestic dental students: Oka H, Taji T : *European Journal of Dental Education* 26: 717-727.2022.
- 5: Combination of Carbonate Hydroxyapatite and Stem Cells from Human Deciduous Teeth Promotes Bone Regeneration by Enhancing BMP - 2, VEGF and CD31 Expression in Immunodeficient Mice :Nurul Aisyah Rizky Putranti, Ryo Kunimatsu, Kodai Rikitake, Tomoka Hiraki, Kengo Nakajima, Takaharu Abe, Yuji Tsuka, Shuzo Sakata, Ayaka Nakatani, Hiroki Nikawa and Kotaro Tanimoto : *Cells*. 11, doi: 10.3390/cells11121914.2022.
- 6: Comparison of the accuracy of different handheld-type scanners in three-dimensional facial image recognition: Yumi Tsuchida, Maho Shiozawa, Kazuyuki Handa, Hidekazu Takahashi, Hiroki Nikawa: *J Prosthodont Res*. Online ahead of print. 2022.
- 7: 口腔由来乳酸菌がマウス歯肉上皮細胞のタイトジャンクションに与える影響 : 首藤崇裕, 峯 裕一, 津山麻衣, 伊東 黎, 田地 豪, 二川浩樹 : 日本防菌防黴学会誌, 50(12):515-520,2022.

- 8: *Lactobacillus rhamnosus* L8020 含有タブレットの口腔内状態に対する継続摂取による影響—ランダム化プラセボ対照二重盲検並行群間比較試験—：齋藤 静, 田畑祥之, 尾崎 薫, 小阪英樹, 鈴木利雄, 田地 豪, 笹原妃佐子, 二川浩樹：日本歯科衛生学会雑誌, 16(2): 15-24, 2022.
- 9: コロナウイルス感染症と固定化抗菌・抗ウイルス剤 Etak の活用について：二川浩樹, 田地 豪：日本医用歯科機器学会誌, 27(1): 12-15, 2022.
- 10: 歯科学士の国勢調査に対する認識と国勢調査員になる意向の学年変化：笹原妃佐子, 山下 星, 田地 豪, 二川浩樹：広島大学歯学雑誌, 54(1): 11-17, 2022.
- 11: *Lactobacillus rhamnosus* L8020 タブレットの *cnm* 遺伝子陽性 *Streptococcus mutans* 菌数に対する影響：北川雅恵, 田地 豪, 長嶺憲太郎, 二川浩樹：日本口腔検査学会雑誌 (受理)
- 12: コロナ禍における大学生の人的交流や健康に対する考え方：笹原 妃佐子, 田地 豪, 西村 瑠美, 前原 朝子, 二川 浩樹：総合保健科学, 37：7-17, 2022.
- 13: 積極的治療終了後の口腔癌患者の抑うつ度とQOL：笹原 妃佐子, 杉山 勝, 内田 堅一郎, 西村 留美, 前原 朝子, 倉脇 由布子, 林堂 安貴, 二川 浩樹：口腔衛生学会雑誌, 72: 258-264, 2022.
- 14: Establishment of indicator for screening of child abuse and neglect in primary school-age children : Kaihara Y, Sasahara H, Niizato N, Yamane A, Nikawa H, Yamasaki K, Hosohara K, Kozai K: *European Journal of Paediatric Dentistry*, 23(4) : 315-320.2022.

B) 総説

- 1: Role of *Lactobacillus rhamnosus* in Oral Health of Disabled Individuals : Yuki Oda, Chiaki Furutani, Yuika Mizota, Hiroki Nikawa : *Current Oral Health Reports* vol 9:1-6, 2022.
- 2: オーラルケアのための食品開発：二川浩樹：日本調理食品研究会誌, 28, 14-18, 2022.

C) 著書

- 1: Development of Etak, an ethoxysilane-based immobilized antibacterial and antiviral agent : *Biomedical Engineering* (印刷中) : Hiroki Nikawa and Takemasa Sakaguchi

D) その他の出版物

- 1: 義歯のホームケア、プロケア：月刊デンタルダイヤモンド秋季増刊号パーシャルデンチャーの”LEVEL UP” トレーニング 47(14)：二川浩樹, 田地 豪：デンタルダイヤモンド (東京), 136-139, 2022.
- 2: 新型コロナウイルス感染症と Etak (イータック) のお話. 歯科衛生だより 68：二川浩樹, 田地 豪：日本歯科衛生士会 (東京), 1-3, 2022.

E) 学会発表

- 1: 骨吸収抑制薬関連顎骨壊死の高リスク患者に対し侵襲的歯科治療を実施した2症例：板木 咲子, 金久 弥生, 山脇 加奈子, 田地 豪, 吉川 峰加：日本老年歯科医学会第33回学術大会 (新潟), 2022.
- 2: リセドロネートはヒト間葉系幹細胞においてPGRNの発現を誘導する：谷岡慶輝, 峯 裕一, 牧平清超, 二川浩樹, 村山 長：日本補綴歯科学会第131回学術大会 (大阪), 2022.
- 3: 卒前における教育能力習得科目「歯科臨床教育学」の学習内容とその効果について：岩本 彩香, 角田 萌乃, 竹本 俊伸, 田地 豪, 西村 瑠美：第41回日本歯科医学教育学会学術大会 (Web), 2022.
- 4: 海馬領域の炎症反応に対する*L. rhamnosus* L8020の効果の検討：藤代 亮, 木下 奈々緒, 神浦 維吹, 峯 裕一, 田地 豪, 熊谷 宏, 佐々木 正和, 二川浩樹：日本補綴歯科学会中国・四国支部令和4年度学術大会 (高松), 2022.
- 5: コロナ禍における大学生の睡眠の実態調査：八塚愛実, 笹原妃佐子, 熊谷 宏, 田地 豪, 二川浩樹：第61回広島県歯科医学会 第106回広島大学歯学会例会 (広島), 2022.
- 6: 新型コロナウイルス流行前後での大学生の考え方や生活の変化についての研究：篠田佳歩, 笹原妃佐子, 熊谷 宏, 田地 豪, 二川浩樹：第61回広島県歯科医学会 第106回広島大学歯

- 学会例会（広島），2022.
- 7: 歯肉上皮様細胞における*P.gingivalis*菌体刺激による遺伝子発現と口腔由来乳酸菌スプレードライ粉末の効果解析：神崎紗来々，藤代 亮，神浦維吹，峯 裕一，熊谷 宏，笹原妃佐子，河原和子，田地 豪，二川浩樹：第61回広島県歯科医学会 第106回広島大学歯学会例会（広島），2022.
 - 8: L8020乳酸菌使用液体ハミガキの*Streptococcus mutans*に対する抗菌効果：大宇根 遥，笹原妃佐子，河原和子，熊谷 宏，田地 豪，二川浩樹：第61回広島県歯科医学会 第106回広島大学歯学会例会（広島），2022.
 - 9: L8020 乳酸菌米発酵物による *Streptococcus mutans* に対する抗菌効果：土田愛美花，笹原妃佐子，河原和子，熊谷 宏，田地 豪，二川浩樹：第 61 回広島県歯科医学会 第 106 回広島大学歯学会例会（広島），2022.

F) 学会シンポジウム，特別講演

- 1: お口の健康への新しいアプローチ：二川浩樹：岐阜県加茂口腔保健協議会（Youtube）2022.
- 2: お口の健康への新しいアプローチ：二川浩樹：広島市文化財団「熟年口座」（広島）2022.
- 3: デンチャープラーク研究から見出した L8020 乳酸菌と抗菌剤 Etak：二川浩樹：WHITE CROSS 株式会社 Web セミナー（Web）2022.
- 4: プロバイオティクスの口腔への応用～口腔内環境改善に効果が期待される L8020 乳酸菌の知識～ 固定化できる抗菌・抗ウイルス剤とその活用について：二川浩樹：大阪府歯科衛生士会 学術講演（Web）2022.
- 5: L8020 乳酸菌とオーラルケア：二川浩樹：日本歯科保存学 2022 年度春季学術大会 教育講演（Web）2022.
- 6: オーラルケアのための食品開発：二川浩樹：日本調理食品研究会 第 28 回年次大会（Web）. 2022.
- 7: 保険の補綴を極めるー特に有床義歯治療についてー：田地 豪：令和 4 年度山口県歯科医師会日本補綴歯科学会セミナー（Web）2022.
- 8: デンチャープラーク研究から始まった L8020 乳酸菌と Etak の研究：二川浩樹：昭和大学学士会後援セミナー（東京）2022.
- 9: 「L8020 乳酸菌」とは?? 「イータック」とは??：二川浩樹：近畿デンタルショー（大阪）2022.
- 10: 「L8020 乳酸菌とオーラルケア」：二川浩樹：第 39 回日本障害者歯科学会総会、学術大会 ランチョンセミナー（倉敷）2022.
- 11: L8020 乳酸菌とイータックってご存じですか?：二川浩樹：中国・四国地方婦人歯科医会（広島）2022.

G) 開発成果

二川浩樹：

【Etak 関連製品】

- 1: マスク防菌 24（エーザイ）2012-
- 2: 拭いて防菌 24（エーザイ）2013-
- 3: クレンゼ（クラボウ(株)）2009-（白衣，ユニフォームなど）
- 4: 寝具・ベッドカバー・シーツなど（Dinos）
- 5: ベビーカー・おむつ入れなど（ベネッセ）
- 6: ベビー用品（Mikihouse）2014-
- 7: 抗ウイルスコート・スーツ（洋服の AOKI）2015-
- 8: 抗ウイルス体操着（アシックス(株)）2010-
- 9: 抗ウイルスタオル（楠橋紋織(株)）2010-
- 10: 抗菌ゴルフグローブ（キャスコ）
- 11: Etak Oral Care 24 義歯防菌スプレー（エーザイ）2016-
- 12: Etak Oral Care 24 歯ブラシ防菌スプレー（エーザイ）2016-
- 13: Etak 抗菌化スプレーα（エーザイ）2017-

- 14: Neo Plus 抗菌トイレマット (Plus (株)) 2017-
- 15: クレンゼキット 倉敷紡績(株) 2018-
- 16: イータック抗菌化ウエットシート エーザイ(株) 2019-
- 17: イータックマスク (株) トクヤマデンタル 2019-
- 18: ミスト de バリア (ジェクス) 2020-
- 19: 子供用マスク (ミキハウス) 2020-
- 20: マスクインナーフィルター (ジェクス) 2020-
- 21: イータックハンドバリアミスト (ジェクス) 2021-
- 22: クレンゼ 防護ガウン (クラボウ) 2021-
- 23: Etak 抗菌化スプレー α アルコールタイプ (エーザイ) 2021-
- 24: 日産 車内用抗菌・抗ウイルスコート 2021-

【8020 関連製品】

- 25: 8020 ヨーグルト (四国乳業(株)) 2010-
- 26: Cuchupe8020 洗口剤 (紀陽除虫菊) 2013-
- 27: お口の乳酸菌習慣タブレット (ジェクス (株)) 2014-
- 28: ラクレッシュ (ジェクス (株)) 2014-
- 29: ラクレッシュ 歯みがきジェル (ジェクス (株)) 2017-
- 30: UHA デンタクリア タブレット (UHA 味覚糖 (株)) 2017-
- 31: L8020 チョコレート (ドウシヤ (株)) 2017-
- 32: わんサプリー (With Dog & Company (株)) 2017-
- 33: ラクレッシュプロ (株)ヨシダ (歯科専売品) 2018-
- 34: ごん太の歯磨きガム (株)マルカン 2018-
- 35: デンタフローラ フジッコ(株) 2019-
- 36: 歯磨きロープガム アース・ペット(株) 2019-
- 37: プラクオリキッド アース・ペット(株) 2019-
- 38: にゃん太の歯磨きガム (株)マルカン 2019-
- 39: 教授のマウススプレー (ナチュラルホールディング) 2020-
- 40: ゼリープラスメディカル (ジェクス) 2020-
- 41: 歯みがきプチソフト L8020 (アースペット) 2019-
- 42: 歯磨きジャーキー L8020 (アースペット) 2019-
- 43: 歯磨きロープ L8020 猫用 (アースペット) 2019-
- 44: デンタプロ なめるだけのデンタルケア プラクオリキッド (アースペット) 2019-
- 45: L8020 ペット用ヨーグルト (ジャペル) 2020-
- 46: L8020 乳酸菌キシリトールタブレット (ファーマシー薬局) 2020-
- 47: メディカレートチョコレート (セディカル) 2021-

H) 報道関係

二川浩樹：

【TV 放送】

- 1: 5月27日 KBC九州朝日放送 Wish+ L8020 乳酸菌についてのインタビュー
- 2: 5月31日 西日本放送 (岡山・高松) 情報コーナー L8020 乳酸菌についてのインタビュー
- 3: 5月31日 南海放送 RNB ホット情報 L8020 乳酸菌についてのインタビュー
- 4: 6月2日 北海道放送 グッチーナ L8020 乳酸菌についてのインタビュー
- 5: 6月3日 中国テレビ イマナマ! L8020 乳酸菌についてのインタビュー
- 6: 6月3日 広島テレビ 知っとる! L8020 乳酸菌についてのインタビュー
- 7: 6月6日 山陽放送 (岡山・高松) 情報プラス L8020 乳酸菌についてのインタビュー
- 8: 6月8日 RKB 毎日放送 宣伝上手 L8020 乳酸菌についてのインタビュー
- 9: 6月11日 札幌テレビ Mylist L8020 乳酸菌についてのインタビュー
- 10: 6月14日 あいテレビ チャンネルあい L8020 乳酸菌についてのインタビュー
- 11: 6月18日 日本テレビ 世界一受けたい授業 インタビュー映像

- 12: 8月27日 毎日放送 「三度の飯よりアレが好き」 L8020 乳酸菌についてのインタビュー
- 13: 10月28日 RCC ランキン Land! L8020 乳酸菌についてのインタビュー
- 14: 11月2日 RCC ヒット TV L8020 乳酸菌についてのインタビュー
【ラジオ放送】
- 15: 9月1日 広島 FM H-Junk Factory のものづくりラジオ 出演 (イータックの開発秘話)
【雑誌】
- 16: 5月10日 女性自身 2022年5/24号 108-109頁 L8020 乳酸菌で始める歯周病対策 歯周病放置から「脳梗塞・認知症」「誤嚥性肺炎」「糖尿病」につながる可能性も

(4) 科学研究費補助金等の受領状況

- 1: 基盤研究 C : (代表) 二川浩樹 (分担) 田地 豪, 生体活性 HiPIMS-DLC によるインプラント周囲炎の制御. 課題番号 20K10053. 1,430 千円
- 2: 基盤研究 C : (代表) 田地 豪 (分担) 二川浩樹, デジタルトランスフォーメーションが実現する先駆的顎顔面補綴支援システム. 課題番号 21K10020. 910 千円
- 3: 基盤研究 C : (代表) 峯 裕一 (分担) 二川浩樹, 局所骨代謝制御による薬剤関連顎骨壊死に対する新規治療法の開発. 課題番号 22K10059. 1,560 千円
- 4: 共同研究費 : 二川浩樹, エーザイ株式会社. 500 千円
- 5: 奨学寄附金 : 二川浩樹, 四国乳業株式会社. 300 千円
- 6: 奨学寄附金 : 二川浩樹, ジェクス株式会社. 500 千円
- 7: 奨学寄附金 : 二川浩樹, 株式会社 Campus Medico. 2,000 千円

(5) 学会賞等の受賞状況

- 1: 二川浩樹 : 公益社団法人発明協会 令和 4 年度中国地方発明表彰「文部科学大臣賞」
2022.10.28

(6) 特許

- 1: Campus Medico から広島大学へのロイヤリティ納付額 12,858,599 円

[目次へ戻る](#)

医系科学研究科（歯）中央研究室

（1）職員並びに学生

助教 : 加藤 文紀

（2）主な研究活動

- 1: 黄色ブドウ球菌の細胞死を制御するトキシン・アンチトキシンシステムに関する研究
- 2: 黄色ブドウ球菌の病原性遺伝子を制御する転写調節因子に関する研究
- 3: 黄色ブドウ球菌のタンパク質発現、蛍光タンパク質発現ツールの開発

（3）研究業績

A) 原著（症例報告を含む）

- 1: A Novel Inhibitor from Toxin-Antitoxin system expressed by *Staphylococcus aureus* : Kato F., Yamaguchi Y., Inouye K., Matsuo K., Ishida Y., Inouye M : The FEBS Journal, in press, 2022.

B) 総説

C) 著書

E) 学会発表

- 1: 膜タンパク質から成る黄色ブドウ球菌 TA システム TsA/TsaT の機能解析: 加藤文紀, 井上正順: 第 16 回日本ゲノム微生物学会年会 (東京: オンライン), 2022.
- 2: DNA ジャイレースを阻害する黄色ブドウ球菌 TA システムの機能解析, 加藤文紀, Masayori Inouye, 第 95 回日本細菌学会総会 (東京: オンライン), 2022
- 3: Characterization of TsA/TsaT, a novel *Staphylococcus aureus* Toxin-Antitoxin system : 加藤 文紀, Masayori Inouye : 米国微生物学会 (ワシントン D.C., USA) ,2022.
- 4: 黄色ブドウ球菌の TA システムである TsbT トキシンの機能解析: 加藤文紀: 第 45 回日本分子生物学会年会 (千葉), 2022.

（4）科学研究費補助金等の受領状況

- 1: 科学研究費補助金（基盤研究（C））継続：加藤文紀（代表），黄色ブドウ球菌の新規 TA システムによる細胞死制御とパーシスター形成の解明. 課題番号 20K07480. 4,290 千円
- 2: 科学研究費補助金（国際共同研究加速基金（国際共同研究強化(A)））継続：加藤文紀（代表），黄色ブドウ球菌のトキシン・アンチトキシンを利用した新規抗菌薬の開発. 課題番号 19KK0409. 15,210 千円
- 3: 科学研究費補助金（基盤研究（C））継続：加藤文紀（分担），硬組織のエピジェネティックな加齢変化の評価と年齢推定への応用 課題番号 21K10253. 300 千円

（5）学会賞等の受賞状況

（6）特許

[目次へ戻る](#)

医系科学研究科附属死因究明教育研究センター

(1) 職員並びに学生

講師（特命）、主任特任学術研究員：岡 広子

(2) 主な研究活動

- 1: 死因と口腔内所見の関連
- 2: 口腔内試料を用いた年齢推定に関する研究
- 3: 個人識別システムに関する研究
- 4: 歯科法医学教育手法に関する研究

(3) 研究業績

A) 原著（症例報告を含む）

- 1: Oka H, Taji T: How school life with international students develops the intercultural competence of domestic dental students. *European Journal of Dental Education*, 26(4):717-727, 2022.
- 2: Oka H, Ariani MD, Akazaki T, Miyauchi M, Kitagawa M: Some tips on age estimation using DNA methylation in saliva samples as an index across the Japanese and Indonesian ethnicities. *Legal Medicine (Tokyo)*, 56:102042, 2022.
- 3: 岡広子、西裕美、大林泰二、柴秀樹、河口浩之：災害歯科医学に対する教育の有無は研修歯科医の意識に影響を与えているか？-2019、2020 および 2021 年度広島大学病院研修歯科医への質問紙から-：日本歯科医学教育学会雑誌、38(1):43-51, 2022.
- 4: Murata K, Nakao N, Ishiuchi N, Fukui T, Katsuya N, Fukumoto W, Oka H, Yoshikawa N, Nagao T, Namera A, Kakimoto N, Oue N, Awai K, Yoshimoto K, Nagao M: Four cases of cytokine storm after COVID-19 vaccination: Case report. *Frontiers in Immunology*. 13:967226, 2022.
- 5: Oka H, Asao Y, Nakao N, Mitsuhashi C, Matsumoto Y, Nomura R, Kakimoto N, Nagao M, Kozai K: Dental radiographic information of term newborn babies within the first month: Analyzing five radiographic cases along with physical attributes in Japan. *Legal Medicine (Tokyo)*, 60:102171, 2022.

B) 総説

C) 著書

D) その他の出版物

E) 学会発表

- 1: 岡広子、柿本直也：災害対応の多職種連携教育に向けた調査-医・歯学部学生の災害時の歯科および他職種の役割についての知識-：第 51 回日本歯科医学教育学会総会・学術大会、Web 開催, 2022.
- 2: 岡広子、柿本直也、野村良太、福本航、勝矢脩嵩、石内直樹、奈女良昭、粟井和夫、長尾正崇：広島大学医系科学研究科附属死因究明教育研究センターおよび同法歯学部門の活動—2021 年度概要報告—：第 61 回広島県歯科医学会併催第 106 回広島大学歯学会例会、広島、2022.
- 3: 岡広子、大林奈美、北川雅恵、勝矢脩嵩、石内直樹、柿本直也、長尾正崇：高齢者の口腔内に使用されている歯科用金属材料の検証—死因究明教育研究センター 2 1 事例の分析—：第 61 回広島県歯科医学会併催第 106 回広島大学歯学会例会、広島、2022.
- 4: 大林奈美、新谷智章、岡広子、安藤俊範、河口浩之、加治屋幹人：歯科治療後に血管性浮腫を伴う遅延型レジニアレルギーを発症した 1 例：日本口腔検査学会第 15 回学術大会、横浜、2022.
- 5: 岡広子、長尾正崇：アジア人の口腔内に使用されている歯科材料の検証—第 2 報：日本法歯科医学会第 16 回学術大会、横浜、2022.
- 6: 岡広子、竹内明子、鈴木敏彦、葛城梨江香、斉藤久子、櫻田宏一、山下裕美：死因究明等に関する教育及び研究拠点での法歯学分野の現状—令和三年度の概要報告と令和元年度からの変化—：第 19 回警察歯科医会全国大会、大阪、2022.

F) 特別講演、研修会講師等

- 1: 「育てる災害医療：学生への災害医学教育」岡広子（パネリスト）
第 27 回日本災害医学学会学術大会・パネルディスカッション 25（2022 年 3 月 5 日、広島+Web）
- 2: 「歯科所見による個人識別に関連するトピックス」岡広子（講師）
滋賀県歯科医師会会員研修会（2022 年 11 月 24 日、大津）

(4) 科学研究費補助金等の受領状況

- 1: 科学研究費補助金（基盤研究（C）一般）：岡 広子、硬組織のエピジェネティックな加齢変化の評価と年齢推定への応用. 2021-2023 年度. 課題番号 21K10253
- 2: ファイザーヘルスリサーチ振興財団 国内共同研究 2020 年（研究期間延長）：岡 広子、アジア人の口腔内の歯科用金属組成に基づく個人識別スクリーニングに向けた比較検証.

[目次へ戻る](#)

歯系総合診療科（口腔総合診療科）

（１）職員並びに学生

教授 : 河口浩之
 助教 : 西 裕美, 大林泰二（～3月退職）, 宗永修一
 歯科診療医 : 大林奈美
 大学院生 : 井手規暁

（２）主な研究活動

- 1: 対話に基づく患者中心の歯科医療についての検討
- 2: 総合歯科医療に関する研究
- 3: 歯科医師臨床研修プログラムの検討
- 4: 医療コミュニケーション技法に関する研究
- 5: 臨床教育技法に関する研究
- 6: 臨床技能評価法に関する研究
- 7: 模擬患者の養成と標準化に関する研究
- 8: 化学療法を受ける患者に生じる味覚異常に関する研究

（３）研究業績

A) 原著（症例報告を含む）

1. Nishi H, Ohta K, Kuramoto Y, Shigeishi H, Obayashi T, Yoshioka Y, Konishi M, Munenaga S, Nagoshi H, Yoshida T, Fukushima N, Kakimoto N, Ohge H, Kurihara H, Ichinohe T, Kawaguchi H. Periodontal inflamed surface area in oral cavity associated with febrile neutropenia in patients with hematologic malignancy undergoing chemotherapy. *Sci Rep.* 2022 Feb 15;12(1):2483. doi: 10.1038/s41598-022-06485-0. PMID: 35169215; PMCID: PMC8847642.
2. Naruse T, Ohta K, Kato H, Ishida Y, Shigeishi H, Sakuma M, Fukui A, Nakagawa T, Tobiume K, Nishi H, Takechi M. Immune response to cytosolic DNA via intercellular receptor modulation in oral keratinocytes and fibroblasts. *Oral Dis.* 2022 Jan;28(1):150-163. doi: 10.1111/odi.13725. Epub 2020 Nov 30. PMID: 33200485.
3. Nezu T, Hosomi N, Aoki S, Nishi H, Nakamori M, Shiga Y, Imamura E, Shintani T, Kawaguchi H, Maruyama H. Assessment of serum IgG titers to various periodontal pathogens associated with atrial fibrillation in acute stroke patients. *J Stroke Cerebrovasc Dis.* 2022 Jan 12;31(3):106301. doi: 10.1016/j.jstrokecerebrovasdis.2021.106301. Epub ahead of print. PMID: 35032756.
4. Kato H, Ohta K, Sakuma M, Fukada S, Naruse T, Shigeishi H, Nishi H, Takechi M. Two PARP13 isoforms are associated with induction of antiviral factors in oral mucosal cells. *Mol Med Rep.* 2022 Mar;25(3):106. doi: 10.3892/mmr.2022.12622. Epub 2022 Feb 1. PMID: 35103291.
5. Sakuma M, Ohta K, Fukada S, Kato H, Naruse T, Nakagawa T, Shigeishi H, Nishi H, Takechi M. Expression of anti-fungal peptide, β -defensin 118 in oral fibroblasts induced by *C. albicans* β -glucan-containing particles. *J Appl Oral Sci.* 2022 Apr 29;30:e20210321. doi: 10.1590/1678-7757-2021-0321. PMID: 35507985; PMCID: PMC9064192.
6. Sakuma M, Ohta K, Fukada S, Akagi M, Kato H, Ishida Y, Naruse T, Takechi M, Shigeishi H, Nishi H, Aikawa T. Effects of CEACAM1 in oral keratinocytes on HO-1 expression induced by *Candida* β -glucan particles. *J Appl Oral Sci.* 2022 Nov 7;30:e20220158. doi: 10.1590/1678-7757-2022-0158. PMID: 36350873; PMCID: PMC9651918.
7. Miyauchi S, Nishi H, Ouhara K, Tokuyama T, Okubo Y, Okamura S, Miyamoto S, Oguri N, Uotani Y, Takasaki T, Katayama K, Furusho H, Miyauchi M, Takahashi S, Hiyama T, Nakano Y. Relationship Between Periodontitis and Atrial Fibrosis in Atrial Fibrillation: Histological Evaluation of Left Atrial Appendages. *JACC Clin Electrophysiol.* doi: 10.1016/j.jacep.2022.08.018. Epub 2022 Oct 31. PMID: 36697200.

8. Suzuki K, Sasada S, Nishi H, Kimura Y, Shintani T, Emi A, Masumoto N, Kadoya T, Kawaguchi H, Okada M. Impact of oral hygiene on febrile neutropenia during breast cancer chemotherapy. *Breast Cancer*. doi: 10.1007/s12282-022-01410-9. Epub 2022 Oct 21. PMID: 36271187
9. Fukada S, Ohta K, Sakuma M, Akagi M, Kato H, Naruse T, Nakagawa T, Shigeishi H, Nishi H, Takechi M, Aikawa T. Sunitinib promotes apoptosis via p38 MAPK activation and STAT3 downregulation in oral keratinocytes. *Oral Diseases*. 2022 Nov 29. doi: 10.1111/odi.14457. Epub ahead of print. PMID: 36447393.
10. Tamura T, Zhai R, Takemura T, Ouhara K, Taniguchi Hamamoto Y, Fujimori R, Kajiyama M, Matsuda S, Munenaga S, Fujita T, Mizuno N. Anti-Inflammatory Effects of Geniposidic Acid on Porphyromonas gingivalis-Induced Periodontitis in Mice *Biomedicines* 2022 Dec 1;10(12):3096.

B) 総説

- 1: 西 裕美, 宗永修一, 河口浩之. PISA は医科歯科連携の共通言語となりうるか. 歯周病学会誌 2022年 64 巻 1 号 p. 36-38、 <https://doi.org/10.2329/periodo.64.36>

C) 著書

D) その他の出版物

- 1: 西 裕美：医学生のための情報誌「DOCTOR-ASE ドクターゼ」43号 p.20-21, 有限会社ノトコード

E) 学会発表

- 1: 両側下顎智歯部に生じた巨大な含歯性嚢胞の一例：藤井愛弓, 小野重弘, 中川貴之, 多田美里, 福井暁子, 西 裕美, 坂本真一, 武知正晃, 相川友直：第 50 回（公社）日本口腔外科学会中国四国支部学術集会, 岡山, 22/01/22
- 2: PISA は血液がん患者における化学療法誘発性発熱性好中球減少症の発症に関連する. 西裕美, 大林泰二, 宗永修一, 河口浩之：第 65 回春季日本歯周病学会学術大会, 東京, 22/06/03
- 3: 全身性疾患への影響を考慮した新たな歯周病重症度検査項目の策定～学会主導型多施設臨床研究～ 松田真司、河口浩之 他：第 65 回秋季日本歯周病学会学術大会, 仙台, 22/09/02
- 4: 歯周炎は心房細動患者の心房線維化に関与している -ヒト左心耳組織を用いた組織学的評価- 宮内俊介、應原一久、西 裕美, 河口浩之：第 65 回秋季日本歯周病学会学術大会, 仙台, 22/09/02
- 5: 頭頸部がんおよび食道がん術後患者から分離したカンジダ株の検出状況と抗真菌薬感受性：矢野加奈子, 西 裕美, 重石英生、兼保佳乃、河口浩之、太田耕司：日本歯科衛生学会 第 17 回学術大会, 徳島, 22/09/18
- 6: *Fusobacterium nucleatum* の血清抗体価と予後～亜種の違いによる臨床的特徴の検討. 吉川徹、西 裕美, 恵美 学、大澤真那人、廣畑良輔、浜井洋一、岡田守人：食道外科学会, 東京, 22/09/26
- 7: Different amino acid sequence for CprABC affects nisin A susceptibility in *Clostridioides difficile* isolates. : Noriaki Ide, Miki Kawada-Matsuo, Mi Nguyen-Tra Le, Hiromi Nishi, Hiroyuki Kawaguchi, Hitoshi Komatsuzawa : The 15th Korea-Japan International Symposium on Microbiology : WEB 開催 : ポスター発表, 22/10/1

- 8: 抗がん剤 irinotecan 投与により引き起こされる味覚誘発行動の変化様式とその細胞・分子基盤：杉田誠，酒寄信幸，河口浩之，大林奈美：第 74 回日本生理学会中国四国地方会（高知），22/11/05-06
- 9: 歯科治療後に急激な顔面浮腫を伴ったレジニアレルギーの 1 例：大林奈美，新谷智章，北川雅恵，岡広子，安藤俊範，西谷正展，河口浩之，加治屋幹人：第 15 回日本口腔検査学会学術大会（神奈川 Hybrid），22/11/12-13
- 10: 高齢者の口腔内に使用されている歯科用金属材料の検証－死因救命教育研究センター21 事例の分析－：岡広子，大林奈美，北川雅恵，勝矢修嵩，石内直樹，柿本直也，長尾正崇：第 106 回広島大学歯学会 併催 第 61 回広島県歯科医学会（広島），22/11/13

F) セミナー，ワークショップの開催

- 1: 河口浩之（タスクフォース）：ひまわり歯科主催 歯科医師臨床研修指導歯科医講習会（広島） 22/6/21, 22
- 2: 河口浩之（チーフタスクフォース）：令和 4 年度日本歯科衛生士会認定歯科衛生士セミナー 歯科医療安全管理コース（Web 開催），22/8/27, 28
- 3: 河口浩之（タスクフォース）：福岡歯科大学病院主催 令和 4 年度福岡歯科大学病院歯科医師臨床研修指導歯科医講習会（福岡） 22/9/10, 11
- 4: 河口浩之（タスクフォース）：徳島大学病院主催 第 25 回中国・四国地区歯科医師臨床研修指導歯科医講習会（徳島） 22/10/29, 30

G) 講師，シンポジスト等

- 1: 河口浩之：「医療の質と安全管理を見つめ直す－ノンテクニカルスキルからレジリエンスエンジニアリングまで－」日本歯周病学会主催歯科専門医共通研修（オンデマンド開催）22/1/20-3/18.
- 2: 西 裕美：「地域連携～注意すべき疾患ポイント～」広島県歯科保健医療サービス提供困難者相談医養成研修会（広島），22/03/06
- 3: 西 裕美：「周術期口腔ケア・訪問診療における医療安全対策」認定歯科衛生士セミナー「歯科医療安全管理」コース 22/03/07
- 4: 河口浩之：「レジリエンスエンジニアリングと医療安全」ひまわり歯科主催 歯科医師臨床研修指導歯科医講習会（広島） 22/6/22
- 5: 西 裕美：「医歯連携～代表的疾患の連携ポイント～」「口腔衛生管理のスキル～基本から、がん患者などの難しい症例まで～」尾道歯科医師会・歯科衛生士会尾三地区合同研修会（オンライン）22/07/31
- 6: 河口浩之：「医療安全管理」認定歯科衛生士セミナー「歯科医療安全管理」コース（オンデマンド開催），22/07/30～9/4
- 7: 河口浩之：「レジリエンスエンジニアリングと医療安全」認定歯科衛生士セミナー「歯科医療安全管理」コース（オンデマンド開催），22/07/30～9/4
- 8: 西 裕美：「周術期口腔管理における広島大学病院の取組み～口腔検査を用いた臨床研究によるエビデンスの模索～」第 6 回国公立大学歯科臨床研究推進会議（広島） 22/8/26
- 9: 西 裕美：「口腔フローラ～疾患合併症や予後との関係～」第 2 回 NST 栄養管理セミナー株式会社大塚製薬主催（広島），2022/9/28
- 10: 西 裕美：「がん治療における口腔ケア」日本放射線腫瘍学会第 35 回学術大会（広島），2022/11/12
- 11: 西 裕美：「重症患者の栄養を支える口腔ケア」第 5 回重症患者栄養管理フォーラム（広島），2022/11/25

H) 院外講習会，セミナー，ワークショップの受講

I) 客観的臨床能力試験（OSCE，CSAなど）の実施

(4) 科学研究費補助金等の受領状況

- 1: 基盤研究(C)：研究代表者：河口浩之，プロバイオティクスによる周術期口腔機能管理の有用性. 課題番号 18K09880. 4,030 千円
- 2: 基盤研究(C)：研究代表者：西 裕美，口腔細菌を標的としたがん化学療法における全身合併症予防システムの構築. 課題番号 20K10162, 4,420 千円
- 3: AMED 令和 4 年度：研究分担者：西 裕美，「新興・再興感染症に対する革新的医薬品等開発推進研究事業」口腔・気道内薬剤耐性菌の定着阻害に関する研究開発
- 4: 共同研究：研究代表者：西 裕美，「日本人同種・自家造血幹細胞移植を行う造血器悪性腫瘍患者の口内炎に対するダイオードレーザーの有効性と安全性の探索 研究一低出力レーザーによる化学療法誘発性口内炎の軽減効果に関する非盲検探索的研究一」 課題番号 302KA7382, 500 千円
- 5: 科学研究費補助金（若手研究）：研究代表者：宗永修一，HuR と RANKL 陽性 Th17 細胞に着目した歯周病と多発性硬化症の関連機序の解明. 課題番号 21K16970. 4,680 千円
- 6: 科学研究費補助金（若手研究）：研究代表者：大林奈美 塩味に着目した抗がん剤イリノテカンによって生じる味覚異常発症機序の解明， 課題番号 22K17207, 1,560 千円，

(5) 学会賞等の受賞状況

(6) 特許

[目次へ戻る](#)

口腔健康発育歯科（口腔健康科）

（1）職員並びに学生

教授：太田耕司，竹本俊伸，内藤真理子，二川浩樹，加来真人（*）科長：太田耕司（併任）

准教授：田地 豪

講師：重石英生，松本厚枝

助教：仁井谷善恵，西村瑠美，前原朝子，兼保佳乃

教育研究補助職員：中島奈緒美，三好早苗，倉脇由布子，鉄森琴美，大上亜由美，三隅恵子

以下の各項目については，各人の研究室の項を参照下さい。

公衆口腔保健学：太田耕司，重石英生，前原朝子，兼保佳乃

口腔保健疫学：内藤真理子，西村瑠美，倉脇由布子

口腔保健管理学：竹本俊伸，松本厚枝，仁井谷善恵

生体構造・機能修復学：加来真人

口腔生物工学：二川浩樹，田地 豪

（2）主な研究活動

- 1: 高齢者の口腔機能に関する研究
- 2: 歯科衛生士復職支援事業に関する研究

（3）研究業績

A) 原著（症例報告を含む）

- 1: 広島大学歯学部歯科衛生士教育研修センターの活動内容と今後の展望：倉脇由布子，三隅恵子，大上亜由美，西村瑠美，松本厚枝，内藤真理子，竹本俊伸：広大歯誌 54 (2)，114-121，2022.

B) 総説

C) 著書

D) その他の出版物

E) 学会発表

- 1: 歯科衛生研究が「伝わる」一言になる！地域での実践例：三好早苗，日本老年歯科医学会第33回学術大会シンポジウム13（新潟），2022.
- 2: 広島県歯科衛生士会における会員拡大へ向けた取り組み第1報入会者と退会者の動向調査：相見礼子，藤原千尋，栞原里美，奥河知恵，先家道子，大上亜由美，三隅恵子，宮川琴美，倉本晶子，三

- 好早苗,日本歯科衛生学会第17回学術大会(Web),2022.
- 3: 広島県歯科衛生士会における会員拡大へ向けた取り組み 第2報 新人研修会について: 相見礼子,藤原千尋,栗原里美,奥河知恵,先家道子,大上亜由美,三隅恵子,宮川琴美,倉本晶子,三好早苗,日本歯科衛生学会第17回学術大会(Web),2022.
 - 4: 新人歯科衛生士を対象とした職業性ストレスに関する検討: 倉脇由布子,相見礼子,三隅恵子,大上亜由美,西村瑠美,松本厚枝,内藤真理子,竹本俊伸: 日本歯科衛生学会第17回学術大会(Web),2022.
 - 5: 広島大学歯学部歯科衛生士教育研修センターにおける歯科衛生士リカレント研修会の取り組み: 三隅恵子,倉脇由布子,相見礼子,大上亜由美,西村瑠美,松本厚枝,内藤真理子,竹本俊伸: 第61回広島県歯科医学会 併催 第106回広島大学歯学会例会(広島),2022.
 - 6: 広島県歯科衛生士会における「入会メリット」に関するアンケート調査報告: 藤原千尋,相見礼子,栗原里美,奥河知恵,先家道子,大上亜由美,三隅恵子,宮川琴美,倉本晶子,三好早苗,第61回広島県歯科医学会 併催 第106回広島大学歯学会例会(広島),2022.
 - 7: 介護予防・フレイル予防における食支援のポイント: 三好早苗,病院歯科介護研究会第24回総会・学術講演会シンポジウム(Web),2022.

(4) 科学研究費補助金等の受領状況

(5) 学会賞等の受賞状況

(6) 特許

[目次へ戻る](#)

口腔健康発育歯科 障害者歯科

(1) 職員並びに学生

教授 : 岡田芳幸
 (*) 科長 : 岡田芳幸
 講師 : 尾田友紀 (診療)
 助教 : 吉田結梨子
 歯科診療医 : 清水千昌, 朝比奈滉直
 クリニカルスタッフ : 宮崎裕則, 山口久穂, 森本雅子, 西尾良文, 宮原康太 (~3月)
 大学院生 : 宮原康太, 宮崎裕則, 山口久穂, 森本雅子, 西尾良文, 足立萌々 (~3月)
 研修登録医 : 林 文子, 安東信行, 林内優樹 (~3月)

(2) 主な研究活動

- 1: 亜酸化窒素吸入による疼痛性昇圧応答の抑制に関する研究
- 2: 亜酸化窒素吸入が圧反射感受性に与える影響に関する研究
- 3: 口腔炎症と中心動脈硬化度の関連性と血圧反射感受性への影響
- 4: 局所麻酔薬に添加された血管収縮剤が血圧反射感受性に与える影響
- 5: L8020 菌が障害者の齲蝕・歯周病発生リスクに及ぼす影響に関する研究
- 6: 自閉スペクトラム症と口腔内・腸内細菌叢との関連に関する研究
- 7: 歯科治療恐怖症の知的障害者に対するミダゾラムの鎮静効果に及ぼす投与方法の影響
- 8: COVID-19 感染拡大が障害者歯科に関わる人に与えた不安とストレスに関する研究
- 9: ヒラメ筋 H 反射を用いた脊髄回路メカニズムの解明に関する研究
- 10: ブラキシズムと低酸素睡眠が中枢性循環調節機構に与える影響
- 11: 脳性まひ患者における睡眠時歯ぎしり・くいしばりの頻度に関する研究
- 12: ダウン症者の口腔機能低下に対する舐摂 (しせつ) 訓練の有効性に検討する検討
- 13: 口腔乾燥を有する経管栄養者の口腔内細菌叢の経時的变化に関する研究
- 14: ペースメーカー使用患者と健常者における圧受容器反射の比較
- 15: 精神鎮静法応用による血管抵抗と脈波への影響

(3) 研究業績

A) 原著 (症例報告を含む)

- 1: Posture-related changes in sympathetic baroreflex sensitivity during normal pregnancy. Sarah L Hissen, Ryosuke Takeda, Jeung-Ki Yoo, Mark B Badrov, Abigail S L Stickford, Stuart A Best, Yoshiyuki Okada, Sara S Jarvis, David B Nelson, Qi Fu: *Clin Auton Res.* 32(6):485-495, 2022
- 2: Effects of antipsychotics on intravenous sedation with midazolam and propofol during dental treatment for patients with intellectual disabilities. Yuki Oda, Keita Yoshida, Taiga Yoshinaka, Aya Oda, Tamayo Takahashi, Kana Oue, Akari Mukai, Masahiro Irifune, Yoshiyuki Okada: *J Intellectual Disabil Res*, doi: 10.1111/jir.12913, 2022
- 3: Statements from the 2019 Second International Workshop on Sports Dentistry in Osaka Japan. Toshikazu Yasui, Yoshinobu Maeda, Anthony Clough, Melvin Choy, Kazunori Nakajima, Rieko Koushi, Kazunori Ikebe, Paul Picciniinni, Hiroshi Suzuki, Hidehisa Matsumura, Yuto Tanaka, Yuriko Yoshida, Tsung-Chieh Yang, David Kumamoto, Kung Rock Kwon, Tomotaka Takeda, Kairi Hayashi, Sylvaine Goupy, Ashraf Samy Ghanem, Naoki Tsukimura, Hiroshi Churei, Gen Tanabe, Siegfried Marquardt, Richard Lee Sungbok, Tomoyo Gonda, Kazunari Kimoto, Nanaho Katsutani: *International Journal of Sports Dentistry*, 15 (1): pp. 7-16. 2022
- 4: Difficult intubation and postoperative aspiration pneumonia associated with Moebius syndrome: a case report. Aya Oda, Kana Oue, Yuki Oda, Shima Taguchi, Tamayo Takahashi, Akari Mukai, Mitsuru Doi, Yoshitaka Shimizu, Masahiro Irifune, Mitsuhiro Yoshida. *BMC Anesthesiol*,

<http://doi.org/10.1186/s12871-022-01859-3>, 2022

- 5: 障害者における補綴物装着者率の加齢変化に対する検討-平成 28 年歯科疾患実態調査との比較- : 尾田友紀, 若林侑加, 安田陽香, 宮崎裕則, 宮原康太, 古谷千昌, 吉田結梨子, 岡田芳幸 : 日本障害者歯科学雑誌, 43(1), 26-33, 2022

B) 総説

C) 著書

- 1: 歯科衛生士講座 障害者歯科学 第 3 版, 「精神障害と口腔所見」: 岡田芳幸 (共著): 永末書店 (京都市)
2: よくわかる高齢者歯科学 第 3 版, 「高齢者の疫学」: 岡田芳幸 (共著): 永末書店 (京都市)

D) その他の出版物

E) 学会発表

- 1: Comparison of dental plaque flora in intellectually disabled patients and healthy individuals – cross-sectional study: Yuki Oda, Chiaki Furutani, Yuika Mizota, Hironori Miyazaki, Masako Morimoto, Yoshifumi Nishio, Hisaho Yamaguchi, Yuriko Yoshida, Yoshiyuki Okada, Hiroki Nikawa: The 26th Congress of International Association for Disability and Oral Health, (Paris), 2022
2: A case of gingivectomy and fenestration for numerous impacted teeth in patients with Reye's syndrome: Yuki Oda, Hisaho Yamaguchi, Yoshifumi Nishio, Hironori Miyazaki, Masako Morimoto, Hironao Asahina, Kota Miyahara, Chiaki Furutani, Yuriko Yoshida, Yoshiyuki Okada: The 2nd Congress of Asia Association for Disability and Oral Health, (Kurashiki), 2022
3: 亜酸化窒素吸入中に生じた過換気発作の発生期循環動態の連続記録の一例: 宮崎裕則, 西尾良文, 森本雅子, 山口久穂, 宮原康太, 吉田結梨子, 尾田友紀, 岡田芳幸: 第 31 回日本有病者歯科医療学会学術大会 (宜野湾), 2022
4: 抜歯後に感染性心内膜炎と脳膿瘍を発症した重度の心疾患を有する Down 症患者に多施設連携により対応した 1 例: 尾田友紀, 宮崎裕則, 宮原康太, 森本雅子, 山口久穂, 西尾良文, 吉田結梨子, 岡田芳幸: 第 18 回日本有病者歯科医療学会総会および学術大会. (宜野湾), 2022
5: グアンファシン服用患者に対する静脈内鎮静法下での歯科治療の 1 例: 吉田結梨子, 尾田友紀, 宮原康太, 山口久穂, 森本雅子, 岡田芳幸: 第 31 回日本有病者歯科医療学会 (宜野湾): 2022 年
6: 口腔管理継続中に急性心不全を発症した Cornelia de Lange 症候群の 1 例 – 歯科治療との関連性の評価 – : 森本雅子, 尾田友紀, 古谷千昌, 宮崎裕則, 宮原康太, 山口久穂, 西尾良文, 吉田結梨子, 岡田芳幸: 第 31 回日本有病者歯科医療学会学術大会 (宜野湾), 2022 年.
7: 磁性アタッチメントの応用で, グラインディングによる義歯鉤歯への過度な負荷を軽減させた脳性麻痺の 1 例: 山口久穂, 尾田友紀, 宮原康太, 宮崎裕則, 古谷千昌, 西尾良文, 森本雅子, 吉田結梨子, 岡田芳幸: 第 31 回日本有病者歯科医療学会 (宜野湾), 2022 年
8: ストレス経験により誘発されたセントラルコマンドが循環動態に与える影響と亜酸化窒素吸入による修飾: 宮崎裕則, 西尾良文, 森本雅子, 山口久穂, 宮原康太, 朝比奈滉直, 吉田結梨子, 尾田友紀, 岡田芳幸: 第 39 回日本障害者歯科学会総会および学術大会 (倉敷), 2022 年 (優秀発表賞受賞)
9: COVID-19 罹患により治療を延期した高度肥満を伴う自閉スペクトラム症児に対する周術期麻酔管理: 小田綾, 大植香菜, 尾田友紀, 今戸瑛二, 高橋珠世, 清水慶隆, 岡田芳幸, 吉田充広: 第 39 回日本障害者歯科学会総会および学術大会 (倉敷), 2022 年
10: 笑気吸入鎮静法導入前後の保護者の不安と効果に対するイメージの変化: 渡真由子, 中野将志, 神田拓, 尾田友紀, 盛実俊哉, 岡田芳幸: 第 39 回日本障害者歯科学会総会および学術大会 (倉敷), 2022 年
11: 開口障害を伴う多系統萎縮症患者に対し亜酸化窒素吸入法下に歯科治療を行なった 1 例:

- 高橋珠世, 向井明里, 今戸英二, 小田綾, 大植香菜, 尾田友紀, 清水慶隆, 岡田芳幸, 吉田充広: 第 39 回日本障害者歯科学会総会および学術大会 (倉敷), 2022 年
- 12: 先天性心疾患を有する Down 症候群患者の抜歯後に感染性心内膜炎から脳膿瘍を発症した症例: 大植香菜, 尾田友紀, 向井明里, 好中大雅, 小田綾, 高橋珠世, 今戸英二, 清水慶隆, 岡田芳幸, 吉田充広: 第 39 回日本障害者歯科学会総会および学術大会 (倉敷), 2022 年
- 13: 歯科衛生士の介入支援が知的能力障害と家族の意欲を向上し, 口腔内環境を改善させた 1 例: 徳井文, 小園知佳, 中岡美由紀, 尾田友紀, 吉田結梨子, 岡田芳幸: 第 39 回日本障害者歯科学会総会および学術大会 (倉敷), 2022 年
- 14: 神経線維腫症 1 型 (レックリングハウゼン病) を有する患者に口腔衛生管理を行なった 1 例: 和木田敦子, 時数智子, 神田拓, 福谷多恵子, 尾田友紀, 中岡美由紀, 岡田芳幸: 第 39 回日本障害者歯科学会総会および学術大会 (倉敷), 2022 年
- 15: 自傷行為の悪化により医療福祉連携の中断を余儀なくされた de Lange 症候群の患者の 1 例: 森本雅子, 尾田友紀, 古谷千昌, 朝比奈滉直, 宮崎裕則, 宮原康太, 山口久穂, 西尾良文, 吉田結梨子, 緒方克也, 岡田芳幸: 日本障害者歯科学会, 第 39 回日本障害者歯科学会 (倉敷), 2022 年.
- 16: リップバンパー装着後, 唾吐きがみられなくなったモワット・ウィルソン症候群患者の 1 例: 山口久穂, 吉田結梨子, 宮原康太, 宮崎裕則, 古谷千昌, 西尾良文, 森本雅子, 尾田友紀, 岡田芳幸: 第 39 回日本障害者歯科学会 (倉敷), 2022 年
- 17: 胸腔内圧がヒラメ筋 H 反射の遠隔促進に与える影響: 吉田結梨子, 山口久穂, 平林怜, 岡田芳幸: 第 33 回日本スポーツ歯科医学会総会・学術大会 (東京): 2022 年
- 18: 左右の咬合圧バランスが青斑核と脊髄興奮性に及ぼす影響: 平林怜, 岡田芳幸, 吉田結梨子, 江玉睦明: 第 33 回日本スポーツ歯科医学会総会・学術大会 (東京): 2022 年
- 19: 脳卒中発症後, 長期経過した高齢患者の摂食嚥下障害に対し, 摂食嚥下リハビリテーションを行った 1 症例: 尾田友紀, 吉川峰加: 第 33 回日本老年歯科医学会学術大会. (新潟), 2022 年
- 20: 継続した歯科保健指導が知的障害を有する患者及び介助者の行動変容をもたらし口腔衛生状態の改善につながった 2 症例: 小園知佳, 加治屋幹人, 中岡美由紀, 吉田結梨子, 尾田友紀, 岡田芳幸: 第 65 回日本歯周病学会春季大会. (東京), 2022 年.
- 21: 歯肉増殖症の重度知的障害者に必要な歯科保健指導を家族に実施し, 良好な経過をたどった 2 症例: 小園知佳, 加治屋幹人, 中岡美由紀, 吉田結梨子, 尾田友紀, 岡田芳幸: 第 66 回秋季日本歯周病学会学術大会 (仙台), 2022 年
- 22: 慢性心不全を有する余命半年の肺癌患者への歯科治療を行った症例: 朝比奈滉直, 小笠原正: 第 33 回日本老年歯科医学会学術大会 (新潟), 2022 年
- 23: Oral and intestinal bacterial flora in centenarians and octogenarians with low functional independence in nursing homes: Ma Xiangtao, Ikeda Takefumi, Asahina Hironao, Ogasawara Tadashi, Yoshinari Nobuo: 第 33 回日本老年歯科医学会学術大会 (新潟), 2022 年
- 24: フラッシュバックを頻発する解離性同一性障害患者に対し静脈内鎮静法を用いて歯科治療を行った症例: 朝比奈滉直, 村上康彦, 山上裕介, 大崎麻未, 岡田芳幸: 第 39 回日本障害者歯科学会学術大会 (倉敷), 2022 年
- 25: てんかん発作による転倒により歯の破折を繰り返す知的能力障害者患者に服薬管理で対応した 1 例: 西尾良文, 宮崎裕則, 宮原康太, 森本雅子, 山口久穂, 朝比奈滉直, 古谷千昌, 吉田結梨子, 尾田友紀, 岡田芳幸: 第 38 回日本障害者歯科学会学術大会(倉敷), 2022 年.

F) 講演

- 1: 地域で支えるスペシャルニーズ歯科 -誰一人取り残さない社会を目指して-: 岡田芳幸 (講師): 安芸高田市歯科医師会歯科保健研修会, 一般社団法人安芸高田市歯科医師会, 2022 年
- 2: 笑気吸入鎮静法を極める:岡田芳幸 (講師): 第 39 回日本障害者歯科学会総会および学術大会: ランチョンセミナー (倉敷) 2022

- 3: 明日からできる障害者歯科医療と福祉の連携：尾田友紀（シンポジスト）：第 39 回日本障害者歯科学会総会および学術大会：日本障害者歯科学会医療福祉連携委員会（倉敷）2022
- 4: 障害児（者）の基本的知識と歯科の対応 こんなときどうする障害児（者）歯科：岡田芳幸（講師）：広島県地域医療介護総合確保事業 相談医養成研修会：一般社団法人広島県歯科医師会, 2022
- 5: 「歯科医療提供困難者に対する口腔保健における目標と現状」：岡田芳幸（講師）：ライフステージに応じた歯科口腔保健推進事業：郡市地区公衆衛生担当理事者研修会 2022

G) 学会，セミナーの開催

- 1: 第 39 回日本障害者歯科学会総会および学術大会「生きる」を支援する歯科医療-地域医療と福祉の連携-：岡田芳幸（準備委員長），尾田友紀（実行委員長），倉敷市（岡山）2022
- 2: 第 12 回中国地方障害者歯科臨床研究会 つながりで守る健口 医療的ケア児を知る：岡田芳幸（準備委員長），尾田友紀（実行委員長），広島市（広島）2022
- 3: 第 8 回スペシャルオリンピックス日本夏季ナショナルゲーム スペシャルスマイル検診事業：岡田芳幸（準備委員長），吉田結梨子（実行委員長）

（4）科学研究費補助金等の受領状況

- 1: 日本学術振興会 科学研究費補助金基盤研究（A），岡田芳幸（分担，新規），非侵襲マイクロニューログラフィ法の創出：血管力学モデルから末梢交感神経活動を復元．課題番号 22H00197. 41,730 千円
- 2: 日本学術振興会 科学研究費補助金基盤研究（C），岡田芳幸（分担，継続），末梢血管の電気活動測定による手術中の侵害刺激評価方法の確立．課題番号 21K08923, 4,030 千円
- 3: 日本学術振興会 科学研究費補助金基盤研究（C），岡田芳幸（分担，継続），経カテーテル大動脈弁置換術後の心房細動の発生と交感神経性圧反射の関連．課題番号 21K08053, 4,160 千円
- 4: 日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究（C）：尾田友紀（分担，新規），障害者と家族の歯科的ケイパビリティ戦略構築：他施設口腔内・ウェルビーイング調査．課題番号 21K10206. 3,900 千円
- 5: 日本学術振興会 科学研究費補助金（若手研究）：尾田友紀（代表，新規），プロバイオティクスの口腔・腸・脳相関への影響．課題番号 21K17199. 4,550 千円
- 6: 日本学術振興会 科学研究費補助金（研究活動スタート支援）：朝比奈滉直（代表，新規），口腔乾燥を有する経管栄養者の口腔内細菌叢の経時的変化．課題番号 22K21015. 2,200 千円
- 7: 日本歯科医師会 8020 財団 8020 研究事業，岡田芳幸（代表，新規），介助者における口腔ケア児の部位別汚染状況の検証と媒介感染の予防法の確立．600 千円
- 8: 公益財団法人富徳会 研究助成事業，徳井文（代表，新規），介助磨き時における介助者への血液や唾液汚染の危険性．200 千円

（5）学会賞等の受賞状況

- 1: 第 39 回日本障害者歯科学会総会および学術大会 優秀発表賞 宮崎裕則

（6）特許

なし

[目次へ戻る](#)

特殊歯科総合治療部

(1) 職員並びに学生

部長 : 谷本 幸太郎 (併任)

契約言語聴覚士 : 山田 幸子

契約言語聴覚士 : 安原 幸美

(2) 主な研究活動

- 1: 構音障害改善に関する研究
- 2: 舌圧と嚥下・構音機能に関する研究
- 3: 口腔がんの構音・嚥下リハビリテーションに関する研究

(3) 研究業績

A) 原著 (症例報告を含む)

B) 総説

C) 著書

D) その他の出版物

E) 学会発表

- 1: Fiberoptic endoscopic evaluation of swallowing may increase pharyngeal residue in postoperative oral cancer patients : Nagasaki T., Yamada S., Yoshikawa M., Yoshida M., Shimabukuro K., Ohtsuka M., Konishi M., Suei Y., Nakamoto T., Kakimoto N.: The 13th Asian Congress of Oral and Maxillo-Facial Radiology & The 62nd general assembly and annual scientific congress of Japanese Society for Oral and Maxillo-Facial Radiology (岐阜), 2022.

F) 教育講演

- 1: 言語聴覚士の仕事を知っていますか : 安原幸美 : 熊野高校 (安芸郡), 2022. 3.
- 2: 言語聴覚士の仕事を知っていますか : 安原幸美 : 熊野高校 (安芸郡), 2022. 9.
- 3: 言語聴覚士の仕事を知っていますか : 安原幸美 : 広島商業高校 (広島), 2022.
- 4: 言語聴覚士の仕事を知っていますか : 安原幸美 : 柳井学園高校 (柳井), 2022.
- 5: 言語聴覚士の仕事を知っていますか : 安原幸美 : 広高校 (呉), 2022.
- 6: 言語聴覚士の仕事を知っていますか : 安原幸美 : 米子松蔭高校 (米子), 2022.
- 7: 言語聴覚士の仕事を知っていますか : 安原幸美 : 瀬戸内高校 (広島), 2022.
- 8: 嚥下リハビリテーションの評価と実際 : 安原幸美 : 広島県地域医療介護総合確保事業摂食嚥下機能訓練研修会 (広島), 2022. 2.
- 9: 嚥下リハビリテーションの評価と実際 : 安原幸美 : 広島県地域医療介護総合確保事業摂食嚥下機能訓練研修会 (広島), 2022. 10.
- 10: 嚥下リハビリテーションの評価と実際 : 安原幸美 : 広島県地域医療介護総合確保事業摂食嚥下機能訓練研修会 (福山), 2022.

- (4) 科学研究費補助金等の受領状況
- (5) 学会賞等の受賞状況
- (6) 特許

[目次へ戻る](#)

口腔検査センター

(1) 職員並びに学生

教授 : 加治屋幹人
 講師 : 新谷智章
 助教 : 安藤俊範
 歯科診療医 : 大林奈美(口腔総合診療科から研修中)
 技術補佐員 : 宮田梨恵

(2) 主な研究活動

- 1: 幹細胞とその細胞外微小環境を制御する 3次元培養を用いた組織再生に有効な細胞構造体開発
- 2: 細胞構造体・マイクロデバイスを組み合わせ、病態解明・創薬開研究に有効な口腔を模倣する培養システム樹立
- 3: 頭頸部病変の診断病理学的研究
- 4: 金属アレルギーおよび口腔乾燥症に対する検査および治療に関する研究
- 5: 口腔扁平上皮癌の増殖・進展に関する分子病理学的研究
- 6: HBp17/FGFBP をターゲットにした口腔癌の分子標的治療の研究
- 7: 口腔細菌感染に関する実態調査
- 8: 遺伝子異常と Hippo 経路に着目した口腔・頭頸部癌の分子病理学的研究

(3) 研究業績

A) 原著 (症例報告を含む)

- 1: Clumps of mesenchymal stem cells/extracellular matrix complexes directly reconstruct the functional periodontal tissue in a rat periodontal defect model : Sone H., Kajiya M., Takeda K., Sasaki S., Horikoshi S., Motoike S., Morimoto S., Yoshii H., Yoshino M., Iwata T., Ouhara K., Matsuda S., Mizuno N.: *Journal of Tissue Engineering and Regenerative Medicine*, 16(10), 945-955, 2022.
- 2: Assessment of Serum IgG Titers to Various Periodontal Pathogens Associated with Atrial Fibrillation in Acute Stroke Patients : Nezu T., Hosomi N., Aoki S., Nishi H., Nakamori M., Shiga Y., Imamura E., Shintani T., Kawaguchi H., Maruyama H.: *J Stroke Cerebrovasc Dis*, 31 (3), 106301, 2022.
- 3: Impact of Maximum Tongue Pressure in Patients with Jaw Deformities Who Underwent Orthognathic Surgery : Koizumi K., Shintani T., Yoshimi Y., Higaki M., Kunimatsu R., Yoshioka Y., Tsuga K., Tanimoto K., Shiba H., Toratani S.: *Diagnostics (Basel)*, 12 (2), 404, 2022.
- 4: Masticatory dysfunction in patients with diabetic neuropathy: A cross-sectional study : Hamamoto Y., Ouhara K., Miyagawa T., Shintani T., Matsuda S., Fujita T., Sasaki S., Iwata T., Ohno H., Yoneda M., Mizuno N., Kurihara H.: *PLoS One*, 17 (6), e0269594, 2022.
- 5: VEGF-A promotes the motility of human melanoma cells through the VEGFR1-PI3K/Akt signaling pathway : Koizumi K., Shintani T., Hayashido Y., Hamada A., Higaki M., Sakamoto A., Yanamoto S., Okamoto T.: *In Vitro Cell Dev Biol Anim*, 58 (8), 758-770, 2022.
- 6: Integrating Genetic Alterations and the Hippo Pathway in Head and Neck Squamous Cell Carcinoma for Future Precision Medicine : Ando T., Okamoto K., Shintani T., Yanamoto S., Miyauchi M., Gutkind JS., Kajiya M.: *J Pers Med*, 12 (10), 1544, 2022.
- 7: A case of multiple myeloma diagnosed by extramedullary disease in the submandibular region : Koizumi K., Sakaue T., Nakase Y., Obayashi F., Ando T., Shintani T., Yanamoto S.: *J Oral Maxillofac Surg, Med, Pathol*, In press.
- 8: Secretory carcinoma of the minor salivary gland in the lip with ETV6-NTRK3 fusion: case report and literature review : Hamada A., Tani R., Kimura N., Taguchi Y., Hirota S., Ando T., Okamoto K.,

Toratani S., Yanamoto S.: *Journal of Oral and Maxillofacial Surgery, Medicine, and Pathology*, in press, 2022.

- 9: 免疫チェックポイント阻害剤投与口腔癌患者の臨床的検討：吉岡幸男，虎谷茂昭，小野重弘，谷亮治，小泉浩一，浜名智昭，水田邦子，中川貴之，林靖也，安藤俊範，坂本真一，武知正晃，宮内睦美，岡本哲治：日本口腔科学会雑誌，71(3)，161-172，2022.
- 10: AYA 世代舌癌患者の肺転移に対する薬物療法中に Trousseau 症候群を発症した 1 例：加藤大喜，水田邦子，佐々木和起，安藤俊範，太田耕司，武知正晃：日本口腔外科学会雑誌，68(9)，362-369，2022.
- 11: 口蓋に発症した嚢胞腺腫の 1 例：伊藤奈七子，小泉浩一，大林史誠，坂本真一，安藤俊範，虎谷茂昭：広島大学歯学雑誌，54(1)，34-38，2022.
- 12: Non-sebaceous lymphadenoma-like mucoepidermoid carcinoma: A case report : Sakamoto S., Miyauchi M., Ando T., Fujihara M., Nakaguro M., Nagao T., Ogawa I.: *Pathology International*, 72(7), 371-375, 2022.
- 13: Oral administration of bovine lactoferrin suppresses the progression of rheumatoid arthritis in an SKG mouse model : Yanagisawa S., Nagasaki K., Chea C., Ando T., Ayuningtyas NF., Inubushi T., Ishikado A., Imanaka H., Sugiyama E., Takahashi I., Miyauchi M., Takata T.: *PLoS One*, 17(2), e0263254. 2022.

B) 総説

- 1: Integrating Genetic Alterations and the Hippo Pathway in Head and Neck Squamous Cell Carcinoma for Future Precision Medicine : Ando T., Okamoto K., Shintani T., Yanamoto S., Miyauchi M., Gutkind JS., Kajiya M.: *Journal of Personalized Medicine*. 12, 1544, 2022.

C) 著書

- 1: *Medical Technology*, 悪性腫瘍の早期発見に必要な細胞診の目を養う 2. 早期発見に必要な目の付け所 3) 唾液腺，唾液腺，細胞診：坂本真一，安藤俊範，安村奈緒子，齋藤彰久，倉岡和矢，河本涼介，山本利枝，西阪 隆，宮内睦美，小川郁子：医歯薬出版株式会社（東京都）：50(6)，2022.

D) その他の出版物

E) 学会発表

- 1: New Avenues for Regenerative Medicine Opened by 3D Cell Clumps Culture Techniques and Nanodevices : 加治屋幹人：生体医歯工学共同研究拠点 第7回国際シンポジウム (Web)，2022.
- 2: HIV 感染者の歯周治療効果に及ぼす CD4 数の影響について：新谷智章，岡田美穂，岩田倫幸，川越麻衣子，山崎尚也，井上暢子，藤井輝久，柴秀樹：第36回日本エイズ学会学術集会・総会（浜松），2022.
- 3: 歯科治療後に血管性浮腫を伴う遅延型レジニアレルギーを発症した 1 例：大林奈美，新谷智章，北川雅恵，岡広子，安藤俊範，河口浩之，加治屋幹人：第15回日本口腔検査学会総会・学術大会（横浜），2022.
- 4: HIV 感染者の歯周治療効果に及ぼす CD4 数の影響について：岡田美穂，新谷智章，岩田倫幸，川越麻衣子，山崎尚也，井上暢子，古玉大祐，武田克浩，中岡美由紀，水野智仁，藤井輝久，加治屋幹人，柴秀樹：第106回広島大学歯学会例会（広島），2022.
- 5: YAP/TAZ の新規分子間相互作用を標的としたペプチドによる革新的がん免疫治療法：安藤俊範：BioJapan 2022(横浜)，2022.

- 6: AXL による新たな Hippo 経路制御機構の解明：安藤俊範，岡本健人，柳本惣市，宮内睦美：第 33 回日本臨床口腔病理学会・第 32 回日本口腔内科学会・第 35 回日本口腔診断学会 3 学会合同学術大会（札幌），2022.
- 7: AXL activates YAP and confers resistance to EGFR inhibitors in oral squamous cell carcinoma：岡本健人，安藤俊範，加治屋幹人，柳本惣市，宮内睦美：第 55 回広島大学歯学会（広島），2022.
- 8: 口腔扁平上皮癌における AXL の YAP 活性化および EGFR 阻害薬耐性機構の解明：岡本健人，安藤俊範，虎谷茂昭，柳本惣市，宮内睦美：第 76 回 NPO 法人 日本口腔科学会学術集会（福岡，Hybrid），2022.
- 9: 口腔扁平上皮癌頸部リンパ節転移の節外浸潤進展度の臨床的意義に関する検討：檜垣美雷，安藤俊範，吉岡幸男，小泉浩一，浜名智昭，山崎佐知子，濱田充子，伊藤奈七子，木村直大，田口有紀，大林史誠，福谷多恵子，岡本健人，烏帽子田夏希，松山たまも，柳本惣市：第 46 回 日本頭頸部癌学会（奈良），2022.
- 10: 口腔扁平上皮癌頸部リンパ節転移の節外浸潤進展度の臨床的意義に関する検討：檜垣美雷，小泉浩一，安藤俊範，谷亮治，吉岡幸男，浜名智昭，山崎佐知子，濱田充子，伊藤奈七子，木村直大，田口有紀，大林史誠，福谷多恵子，岡本健人，烏帽子田夏希，松山たまも，柳本惣市：第 67 回日本口腔外科学会総会・学術大会（幕張），2022.
- 11: 口腔扁平上皮癌における頸部リンパ節転移の節外浸潤進達度と予後との関連性：檜垣美雷，小泉浩一，國原颯斗，安藤俊範，濱田充子，伊藤奈七子，大林史誠，烏帽子田夏希，松山たまも，岡本健人，高橋秀明，三島健史，福谷多恵子，田口有紀，木村直大，山崎佐知子，浜名智昭，吉岡幸男，谷亮治，林堂安貴，柳本惣市：第 61 回広島県歯科医学会 併催 第 106 回広島大学歯学会例会（広島），2022.
- 12: 抗がん剤 irinotecan 投与により引き起こされる味覚誘発行動の変化様式とその細胞・分子基盤：杉田誠，酒寄信幸，河口浩之，大林奈美：第 74 回日本生理学会中国四国地方会（高知），2022.
- 13: 歯科治療後に急激な顔面浮腫を伴ったレジニアレルギーの 1 例：大林奈美，新谷智章，北川雅恵，岡広子，安藤俊範，西谷正展，河口浩之，加治屋幹人：第 15 回日本口腔検査学会学術大会（神奈川 Hybrid），2022.
- 14: 高齢者の口腔内に使用されている歯科用金属材料の検証－死因救命教育研究センター21 事例の分析－：岡広子，大林奈美，北川雅恵，勝矢修嵩，石内直樹，柿本直也，長尾正崇：第 106 回広島大学歯学会 併催 第 61 回広島県歯科医学会（広島），2022.

F) 症例報告

- 1: 亜鉛欠乏性味覚障害患者に対する酢酸亜鉛水和物製剤の治療効果に関する後ろ向き研究：新谷智章：結節性硬化症連携セミナー（広島），2022.
- 2: 広島大学病院歯科で実施した HIV 感染症に関する臨床研究について：新谷智章：令和 4 年度広島県歯科医師会の会員・準会員のための HIV 感染症に関する講習会（広島），2022.
- 3: 遺伝子解析により確定診断を得た口唇腺原発の分泌癌の 1 例：濱田充子，谷 亮治，木村直大，田口有紀，安藤俊範，廣田 傑，岡本康正，虎谷茂昭：第 50 回日本口腔外科学会中国・四国支部学術集会（岡山），2022.
- 4: 下顎骨に発生した周辺性象牙質形成性幻影細胞腫由来の幻影細胞性歯原性癌の 1 例：加藤大喜，水田邦子，植月 亮，佐々木和起，小野重弘，坂本真一，安藤俊範，宮内睦美，相川友直：第 40 回日本口腔腫瘍学会総会・学術大会（群馬 Web），2022.
- 5: 顎骨骨髓炎の症状を呈した AA アミロイドーシスの 1 例：福井暁子，中川貴之，小野重弘，佐々木和起，安藤俊範，相川友直：第 67 回日本口腔外科学会総会・学術大会（千葉），2022.
- 6: 診断に苦慮した下顎の分葉状毛細血管腫の一例：鈴木泰志，長崎信一，大林史誠，安藤俊範，島袋紀一，大塚昌彦，末井良和，小西 勝，中元 崇，柿本直也：NPO 法人日本歯科放

射線学会 第41回関西・九州合同地方会（金沢），2022.

- 7: 歯科治療後に急激な顔面浮腫を伴ったレジニアアレルギーの1例：大林奈美，新谷智章，北川雅恵，岡 広子，安藤俊範，西谷正展，河口浩之，加治屋幹人：第15回日本口腔検査学会・学術大会（神奈川），2022.
- 8: 下顎に生じた幻影細胞性歯原性癌の1例：水田邦子，小野重弘，佐々木和起，加藤大喜，坂本真一，安藤俊範，宮内睦美，相川友直.：第67回（公社）日本口腔外科学会総会・学術大会（千葉 Web），2022.

G) ワークショップ

- 1: 癌の遺伝子異常による Hippo 経路制御機構：安藤俊範：第72回 HiHA Web セミナー（広島），2022.

（4）科学研究費補助金等の受領状況

- 1: 科学研究費補助金（基盤研究(B)）：加治屋幹人（代表，新規），集塊培養技術による iPS 細胞由来顎骨・歯肉オルガノイドの樹立と口腔再生医学の深化. 課題番号 22H03275, 17290 千円
- 2: JST 研究成果展開事業 大学発新産業創出プログラム(START)：加治屋幹人（代表，新規），間葉系幹細胞集塊から作製する骨様組織を用いた骨再生細胞製剤販売事業～人にも動物にも最高の骨再生医療を～. 課題番号 JPMJST2283, 7500 千円
- 3: 科学研究費補助金（基盤研究(C)）：新谷智章（代表，新規），HBp17/FGFBPノックアウトによる扁平上皮細胞の分化誘導メカニズムの解明. 課題番号 22K10147, 1200 千円
- 4: 科学研究費補助金（若手研究）：安藤俊範（代表，継続），Hippo 経路を制御する受容体型チロシンキナーゼの探索および頭頸部癌治療への応用. 課題番号 20K18477, 1200 千円
- 5: 広島大学基金「のぞみ H 基金」がん医療研究推進助成金：安藤俊範（代表，新規），癌における YAP の新たな核内相互作用因子の解析および治療法の確立. 1000 千円
- 6: 文部科学省科学技術人材育成費補助事業「世界で活躍できる研究者戦略育成事業」地方協奏による世界トップクラスの研究者育成 第3期 HIRAKU-global 教員：安藤俊範（代表，新規），1500 千円（スタートアップ研究費および渡航費として）
- 7: 科学研究費補助金（若手研究）：大林奈美（代表，新規），塩味に着目した抗がん剤イリノテカンによって生じる味覚異常発症機序の解明. 課題番号 22K17207, 1560 千円

（5）学会賞等の受賞状況

- 1: 安藤俊範：大会長賞 一般口演（第33回日本臨床口腔病理学会・第32回日本口腔内科学会・第35回日本口腔診断学会 3学会合同学術大会） 受賞（2022年）

[目次へ戻る](#)

歯科技工室

(1) 職員並びに学生

歯科技工室長 : 二川浩樹 (併任*)
 歯科部門副部門長 : 加藤了嗣
 歯科技工士 : 埴生栄作, 大谷吉広, 岩畔将吾, 高山幸宏, 大宅麻衣

(2) 主な研究活動

- 1: 義歯に埋入する患者データの方法の考案
- 2: 放射線治療補助装置 (スペーサー) の製作法
- 3: インプラントの上部構造に関する研究
- 4: 各種前装歯冠補綴物における審美性の追及
- 5: 歯科鋳造物の適合性に関する研究
- 6: 歯科技工におけるコンピュータによる情報処理に関する研究
- 7: 審美歯科複合材料に関する研究

(3) 研究業績

A) 原著 (症例報告を含む)

- 1: Iwaguro, Shogo; Shimoe, Saiji; Yamamoto, Kohei; Mine, Yuichi; Takayama, Yukihiro; Kaku, Masato, Influence of dental abrasives on surface roughness, gloss, and color of titanium. J Oral Sci, Vol. 64 (3), pp. 247-250,2022
- 2: 義歯床用レジンに塗布した表面滑沢硬化材の耐久性評価について: 肥後 桃代, 下江 幸司, 田村 唯, 岩畔 将吾, 加来 真人. 日本歯科技工学会誌, 第 43 巻, 第 2 号, pp. 105-112, 2022.
- 3: コロナウイルス感染症と固定化抗菌・抗ウイルス剤 Etak の活用について: 二川浩樹, 田地 豪: 日本医用歯科機器学会誌, 27(1): 12-15, 2022.
- 4: Alterations to titanium surface depending on the fluorides and abrasives in toothpaste: Shuto T, Mine Y, Makihira S, Nikawa H, Wachi T, Kakimoto K :Materials 15(1): 51.2022.
- 5: Comparison of the accuracy of different handheld-type scanners in three-dimensional facial image recognition: Yumi Tsuchida, Maho Shiozawa, Kazuyuki Handa, Hidekazu Takahashi, Hiroki Nikawa: J Prosthodont Res. Online ahead of print. 2022.
- 6: Effects of dimensions of laser-milled grid-like microslits on shear bond strength between porcelain or indirect composite resin and zirconia : Iwaguro S, Shimoe S, Takenaka H, Wakabayashi Y, Tzu-Yu Peng, Kaku M : J Prosthodont Res, 66(1), 151-160, 2022.

B) 総説

- 1: オーラルケアのための食品開発: 二川浩樹: 日本調理食品研究会誌, 28, 14-18, 2022.

C) 著書

- 1: Development of Etak, an ethoxysilane-based immobilized antibacterial and antiviral agent : Biomedical Engineering (印刷中) : Hiroki Nikawa and Takemasa Sakaguchi

D) その他の出版物

- 1: 義歯のホームケア、プロケア: 月刊デンタルダイヤモンド秋季増刊号パーシャルデンチャーの”LEVEL UP” トレーニング 47(14): 二川浩樹, 田地 豪: デンタルダイヤモンド (東

京), 136-139, 2022.

E) 学会発表

- 1: 山本莉紗, 下江幸司, 岩畔将悟, 加来真人. PEEK とコンポジットレジンおよび義歯床用レジンの接着における UV 照射の影響: 第44回日本歯科技工学会(オンライン開催), 2022.12.3,4
- 2: 武田志織, 下江幸司, 高山幸宏, 加来真人. 口腔内スキャナーにおける印象方法が精確さの向上に与える影響: 第44回日本歯科技工学会(オンライン開催), 2022.12.3,4
- 3: 肥後桃代, 下江幸司, 大宅麻衣, 加来真人. PEEK と歯冠用コンポジットレジンおよび義歯床用レジンの接着におけるプライマー処理の影響: 第44回日本歯科技工学会(オンライン開催), 2022.12.3,4
- 4: 歯科技工作業のデジタル化がもたらす働き方の多様性に関する考察: 岩畔将吾, 松井哲也, 肥後桃代, 白井政博: 第61回広島県歯科医学会 第106回広島大学歯学会例会 (広島), 2022.
- 5: 広島大学病院における歯科技工士による 3D プリンターを用いた手術支援: 高山幸宏, 岩畔将吾, 大宅麻衣, 加藤了嗣: 第 61 回広島県歯科医学会 第 106 回広島大学歯学会例会 (広島), 2022.

F) 学会シンポジウム, 特別講演

G) 開発成果

H) 報道関係

(4) 科学研究費補助金等の受領状況

(5) 学会賞等の受賞状況

- 1: 二川浩樹: 公益社団法人発明協会 令和 4 年度中国地方発明表彰「文部科学大臣賞」 2022.10.28
- 2: 山本航平, 下江幸司, 峯 裕一, 高山幸宏, 加来真人: 日本歯科技工学会第 43 回学術大会 最優秀発表賞 2022.3.9
- 3: 高山幸宏, 下江幸司, 田地 豪, 二川浩樹: 日本歯科技工学会第 43 回学術大会 優秀発表賞 2022.3.9
- 4: 武田志織, 下江幸司, 高山幸宏, 加来真人: 日本歯科技工学会第 44 回学術大会 最優秀発表賞 2022.12.6
- 5: 肥後桃代, 下江幸司, 大宅麻衣, 加来真人: 日本歯科技工学会第 44 回学術大会 優秀発表賞 2022.12.6

(6) 特許

[目次へ戻る](#)

歯科衛生室

(1) 職員並びに学生

歯科衛生室長：太田耕司

歯科部門長：中岡美由紀

副部門長：岡田美穂（4月より）

主任歯科衛生士：岡田美穂（3月まで）、矢野加奈子、川越麻衣子、猪野奈津美

歯科衛生士：和木田敦子、時数智子、小園知佳、溝田結日、臺信花菜、中野友里絵（8月まで）、徳井文、中村真梨子、安田陽香、木村祥子（3月まで）、二反田陽奈、横山泰子、黒住友香、田邊都寧、長沼希保、松田歩希、宮野瑠理、蘇承翊（4月より）

歯科助手：小谷圭子（9月まで）、長峯沙織、増田絢子

(2) 主な研究活動

(3) 研究業績

A) 原著（症例報告を含む）

- 1: 障害者歯科臨床実習においてケース表を用いた指導と目標設定がもたらした学修効果：渡真由子、長谷由紀子、和木田敦子、時数智子、溝田結日、中岡美由紀：日本歯科衛生学会雑誌 16(2), 75-83, 2022.
- 2: 障害者における補綴物装着者率の加齢変化に対する検討—平成 28 年歯科疾患実態調査との比較—：尾田友紀、若林侑加、安田陽香、宮崎裕則、宮原康太、古谷千昌、吉田結梨子、岡田芳幸：日本障害者歯科学会雑誌 43(1), 26-33, 2022.
- 3: インプラント周囲炎 active と remission の細菌学的な違い：橋本悠平、岡田信輔、保田啓介、川越麻衣子、加治屋幹人、津賀一弘：Scientific reports, 12 (1) 5284, 2022.

B) 総説

- 1: 障害者の口腔衛生における *Lactobacillus rhamnosus* の役割：尾田友紀、古谷千昌、溝田結日、二川浩樹：Current Oral Health Reports, 9(1), 1-6, 2022.

C) 著書

D) その他の出版物

E) 学会発表

- 1: テトラサイクリン変色歯にオフィスホワイトニングを行った 4 年経過症例：矢野加奈子：日本歯科審美学会第 33 回学術大会（新潟）、2022.
- 2: 重度知的障害者患者の家族に作成した歯科保健説明書によって施設職員の口腔衛生管理が改善した一例：田邊都寧、小園知佳、吉田結梨子、尾田友紀、岡田芳幸：第 39 回日本障害者歯科学会学術大会（倉敷）、2022.
- 3: 歯科衛生士の介入支援が軽度知的能力障害者と家族の意欲を向上し、口腔内環境を改善させた 1 症例：徳井文、小園知佳、吉田結梨子、尾田友紀、中岡美由紀、岡田芳幸：第 39 回日本障害者歯科学会学術大会（倉敷）、2022.
- 4: 神経線維腫症 1 型（レックリングハウゼン病）を有する患者に口腔衛生管理を行った 1 例：和木田敦子、時数智子、神田拓、福谷多恵子、尾田友紀、中岡美由紀、岡田芳幸：第

- 39 回日本障害者歯科学会学術大会（倉敷），2022.
- 5: 家族を介した歯科保健指導により、良好な多職種連携が得られ口腔衛生状態が改善した重度知的障害患者の一例：黒住友香，小園知佳，宮崎裕則，吉田結梨子，尾田友紀，岡田芳幸：第 39 回日本障害者歯科学会学術大会（倉敷），2022.
- 6: HIV 感染者の歯周治療効果に及ぼす CD4 数の影響について：岡田美穂，新谷智章，岩田倫幸，川越麻衣子，山崎尚也，井上暢子，古玉大祐，武田克浩，中岡美由紀，水野智仁，藤井輝久，加治屋幹人，柴秀樹：第 106 回広島大学歯学会例会（広島），2022.
- 7: 矯正歯科治療と並行して口腔筋機能療法を行った前歯部開咬症例：石田恵莉，麻川由起，廣瀬尚人，矢野下真，岩井宏次，Concepcion Medina Cynthia，西山沙由理，久保尚毅，北大樹，柄優至，安藤和代，岡田美穂，山田幸子，谷本幸太郎：第 81 回日本矯正歯科学会学術大会（大阪），2022.
- 8: 継続した歯科保健指導が知的障害を有する患者及び介助者の行動変容をもたらし口腔衛生状態の改善につながった 2 症例：小園知佳，加治屋幹人，徳井文，木村祥子，中岡美由紀，吉田結梨子，尾田友紀，岡田芳幸：春季日本歯周病学会学術大会（東京），2022.
- 9: 歯肉増殖症の重度知的障害者に必要な歯科保健指導を家族に実施し、良好な経過をたどった 2 症例：小園知佳，加治屋幹人，中岡美由紀，吉田結梨子，尾田友紀，岡田芳幸：秋季日本歯周病学会学術大会（仙台），2022.

F) 講演

- 1: 要介護高齢者への口腔ケア：矢野加奈子：広島県地域医療介護総合確保事業 広島口腔保健センターにおける教育・研究機能整備事業「広島県歯科保健医療サービス提供困難者相談医養成研修会」（広島），2022.
- 2: 障害者歯科における口腔ケア：時数智子：広島県地域医療介護総合確保事業 広島口腔保健センターにおける教育・研究機能整備事業「広島県歯科保健医療サービス提供困難者相談医養成研修会」（広島），2022.
- 3: 血友病診療における歯科衛生士の役割：岡田美穂：Hemophilia Academy 多職種連携セミナー（広島），2022.

(4) 科学研究費補助金等の受領状況

- 1: 富徳会，歯科衛生学および歯科衛生教育学に関する研究助成：徳井文，介助磨き時における介助者への血液や唾液汚染の危険性．20 万円

(5) 学会賞等の受賞状況

(5) 特許

[目次へ戻る](#)

医療情報室

(1) 職員並びに学生

室長 : 岡田芳幸 (兼任)
助教 : 大塚昌彦 (兼任), 田中武志 (兼任)
技官 : 柳田徳栄 (兼務)

(2) 主な研究活動

- 1: 医療・健康・福祉・介護情報システムの開発と運営に関する研究
- 2: 医療情報学に関する研究

(3) 研究業績

A) 原著 (症例報告を含む)

- 1: 田中武志・国公立大学病院 Web サイトの語彙・漢字の難易度測定・医療情報学, 42(Suppl.): 1411-1414, 2022.

B) 総説

なし

C) 著書

なし

D) その他の出版物

なし

E) 学会発表

- 1: 田中武志、藤田利恵、益田俊、徳毛花菜、奈良井章人・施設間医療福祉連携をサポートする非医療資格者の役割分担の事例・第 23 回日本ロービジョン学会総会 (鹿児島), 2022.
- 2: 奈良井章人、田中武志、藤田利恵、柏倉秀克、仲泊聡、平塚義宗、星川じゅん、氏間和仁・視覚障害当事者の視覚リハビリテーションに対する意識調査・第 23 回日本ロービジョン学会総会 (鹿児島), 2022.
- 3: 田中武志・極めて大きな拡大文字を用いた閲覧に対応した医療機関 Web ページモデルの暫定評価・第 26 回日本医療情報学会春季学術総会 (高松), 2022.
- 4: 藤田利恵、田中武志、益田俊、徳毛花菜、奈良井章人・広島大学病院で実施した「視覚リハ連携支援プロジェクト」について・第 30 回視覚障害リハビリテーション研究発表大会 (名古屋&Web), 2022.
- 5: 藤田利恵、田中武志、木内良明、奈良井章人・視覚リハビリテーション連携支援事業を公的病院で実施した事例・リハビリテーション・ケア合同研究大会 苫小牧 2022.
- 6: 藤田利恵、田中武志、安東ひろみ、岸泰正、木内良明、奈良井章人・医療と福祉の連携を構築する患者参加型パスの試行・第 22 回日本クリニカルパス学会学術集会 (岐阜), 2022.
- 7: 田中武志・国公立大学病院 Web サイトの語彙・漢字の難易度測定・第 42 回医療情報学連合大会 (札幌), 2022.

F) その他

なし

(4) 科学研究費補助金等の受領状況

- 1: 文部科学省科学研究費補助金令和3年度基盤研究(C): 中心視野欠損者の注意集中を考慮した医療機関のWebコンテンツ最適化の指針. 課題番号 21K12594. 1400 千円 (研究代表者)
- 2: 文部科学省科学研究費補助金令和2年度基盤研究(B): 視覚障害者の社会参加を促す視覚リハビリテーション・マネジメント・パスの構築. 課題番号 20H01595. 2100 千円 (研究分担者)

(5) 学会賞等の受賞状況

なし

(6) 特許

なし

[目次へ戻る](#)